

収蔵史料目録九

紀の川市名手市場
堀家文書目録

和歌山県立文書館

b	胡乱者改仲間	121
c	大庄屋	125
d	庄屋・肝煎	142
e	惣廻り	152
f	他国掛合	154
g	地主・医師・帯刀人	155
h	その他	159
6	願書・訴状添付資料	161
五	流木取締方	161
六	御徒浪人	173
七	堀家	
1	由緒	173
2	家政全般	176
3	諸願・請書	177
4	増田嘉兵衛昇進一件	179
5	吉五郎跡式一件	181
6	冠婚葬祭	189
7	所有地	200

8	家計	
a	万覚帳	206
b	大福帳	208
c	年玉・小遣・贈答控帳	209
d	穀物出入帳	214
e	その他勘定帳	216
9	年貢	219
10	米相場・売買	226
11	奉公人	228
12	信仰	231
13	講	233
14	結社	240
15	日記	241
16	法政大字講義録	244
八	売買・貸借	245
九	書状	263
十	勘定書・書付	278
十一	その他	302
十二	板本・写本・摺り物	303

十三	錦絵	309
十四	引巻札	311

凡例

— 本目録は、収蔵史料目録の第九集『紀の川市名手市場 堀家文書目録』である。

— 本目録には、堀家文書三八八一点（目録掲載数による）をおさめた。

— 本目録では、資料群の内容と構造を考慮して項目を設定し、編成した。

— 各項目内の資料の配列順序は原則として年月日順とし、年代が明記されているもの、干支・月・日のみ記されているもの、年代不明のもの順に掲載し、同年月日や年代不明の資料については資料番号順とした。年代を推定した場合は、該当する時期に掲載した。こよりや封紙・袋などで一括された資料は、一括状況を尊重して、年月日順に掲載していない場合がある。

— 目録は、資料ごとに資料番号・標題・年月日・作成者・宛名・形態を記載し、必要に応じて備考を付した。板本・写本・摺り物、錦絵、引き札は、資料の特徴を考慮して次のように目録を記載し、必要に応じて備考を付した。

板本・写本・摺り物、錦絵

資料番号 標題 成立・発行年 著编者・作成・画者 板元・出版社 形態

引き札

資料番号 標題 商店名 発行年 板元・出版社

・資料番号は整理時に付した番号で、閲覧申請はこの番号で行う。

・標題は、原則として原題を採り、原題のみでは内容が解らない場合は（ ）で補足した。また、原題がない資料については、内容にしたがって（ ）で記した。

・標題欄中の【 】は編者が一括や綴りに与えた総称で、必要に応じて枝番号により詳細目録を付した。

・年月日、成立・発行年は、原則として資料が作成された年月日とし、推定した場合は（ ）で記した。

・作成者、宛名、編著者・作成・画者、板元・出版社が多数であり、欄内に全員を記載できない場合は、適当と思われる名前を記し、それ以外は「外○人」と記した。

・形態は次の通りとした。

状 折紙・継紙・切紙などを含む一紙文書

豎帳 小型のものは豎帳小とした。

横帳 小型のものは横帳小とした。

横半帳

豎綴

横綴

綴り こより等で複数の文書が綴られたもの。

豎板・豎写 豎綴じ本の板本・写本、小型のものは豎小板などとした。

横板・横写 横綴じ本の板本・写本、小型のものは横小板などとした。

このほか、郵紙・封紙・包紙・袋・一舗・掛け図・大判などと記した。

・備考は、特に欄を設けず標題欄中に*を付して記載した。

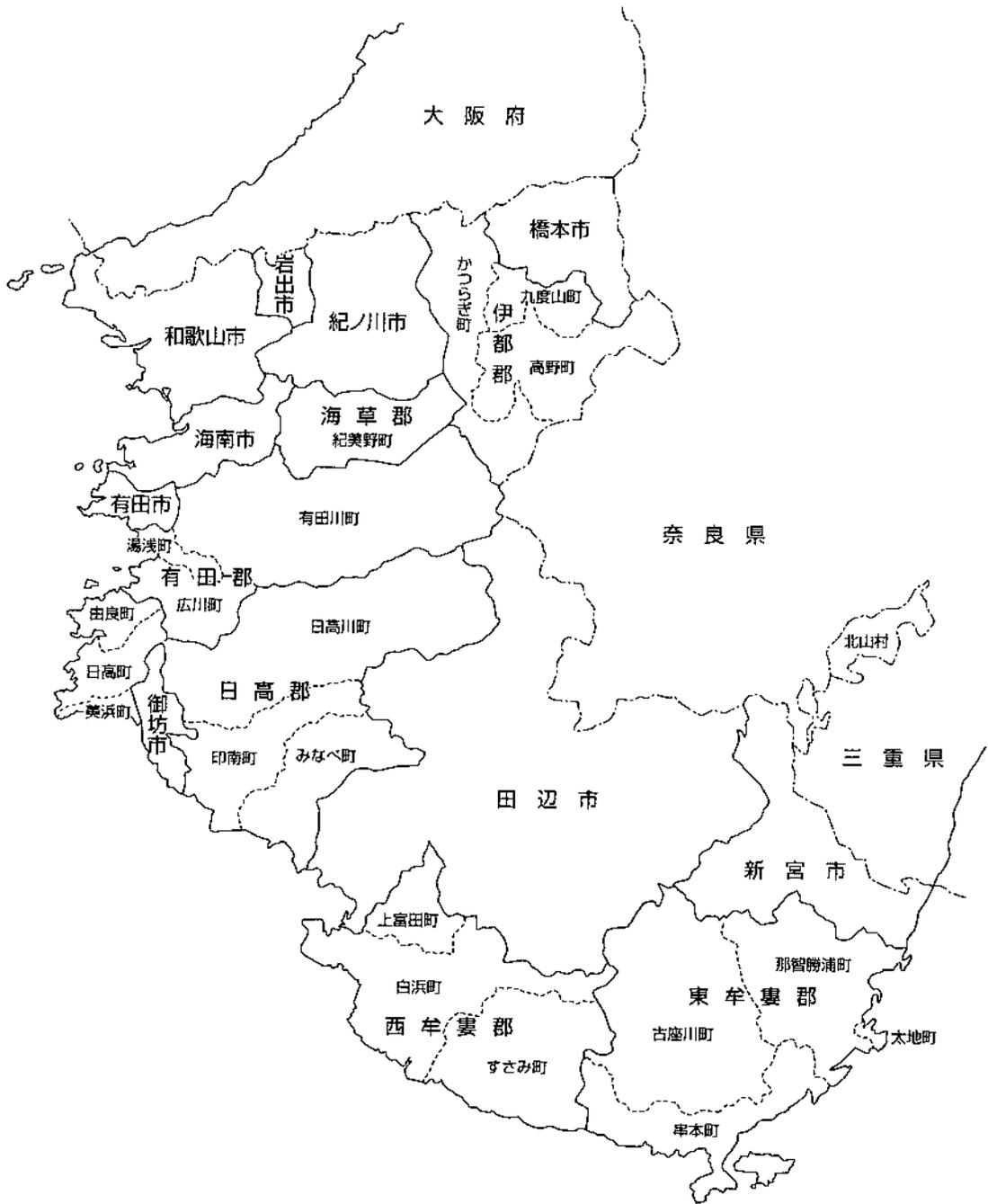
― 本目録では原則として常用漢字を使用し、変体仮名などはひらがなに改めた。

― 判読できない文字は、字数を確定できるものは字数分を□で表し、字数不明のものは「□」とした。

― 本目録に収録した資料は、未撮影の一部を除き、当文書館において写真帳による閲覧・複写が可能である。

― 本目録では、原本の記載にもとづいて職業・身分などに関する差別偏見を表現する用語をそのまま使用している場合もあるが、歴史的事実にもとづく客観的な研究を進めるためであり、もとより不当な差別を容認するものではない。

和歌山県下郡市町村区画図



堀家文書解題

- 一、受入の経緯
- 二、市場村について
- 三、堀家について
- 四、文書群の保存状態と整理方法
- 五、目録編成と各項目の概要
- 六、掲載・調査・参考文献

一、受入の経緯

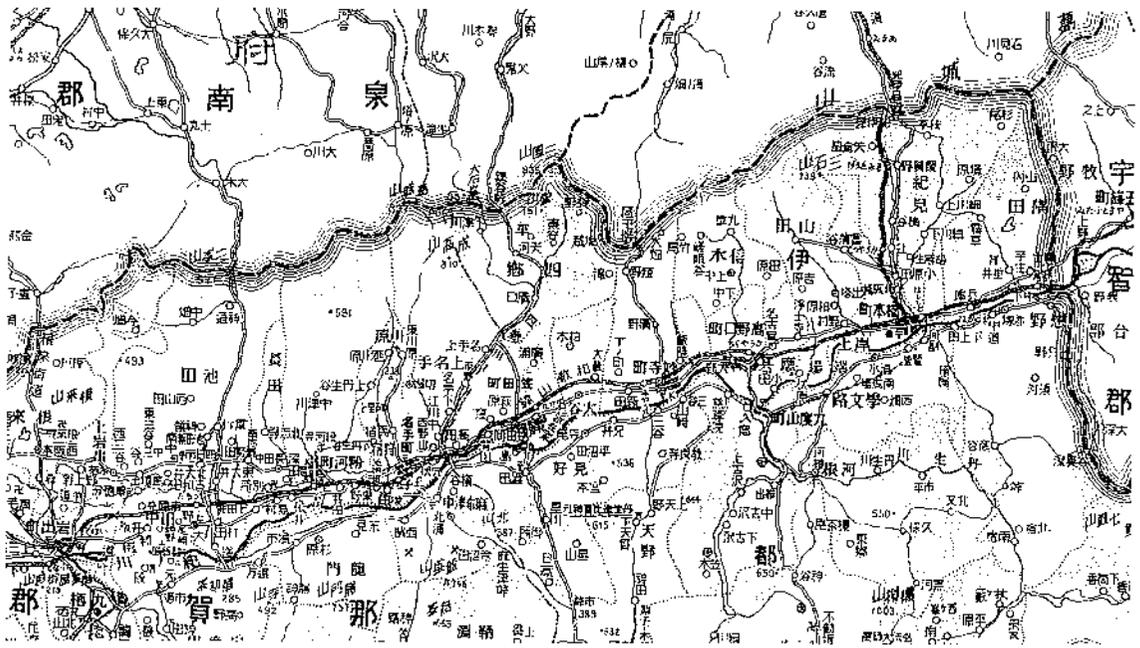
堀家文書三八八一点は、紀の川市名手市場堀家に伝わった文書群である。堀家文書には、堀家が市場村の村役を勤めたことにより残された市場村関係文書、堀家がメンバーであった、紀ノ川の渡し船を経営した官頭座と名手八幡神社の宮座に関する文書、堀源大夫正耀が任命された、警察業務を行った胡乱者改と紀ノ川の流木を取り締まった流木取締方に関する文書、堀家の家政に関する文書など、江戸時代初期の寛永年間から昭和二十年代までの文書がある。『那賀町史料』（一九七〇年発行）『那賀町史』（一九八一年発行）に掲載され、早くから知られた和歌山県下でも著名な文書群の一つである。

現当主の堀武寿氏は長く和歌山県史編纂室の室長補佐を勤め、古文書の利用についてもご理解があり、堀家文書の永続的な保存と利用のために文書館へ寄託された。

二、市場村について

市場村は現在は名手市場と称し、紀の川市の大字である。名手市場は紀ノ川北岸に位置し、東は紀の川市西野山・穴伏、西は紀の川市王子・藤崎、南は紀の川市名手西野・後田、北は紀の川市馬宿に接している。堀家文書では市場村、名手市場村と記されている。

市場村は中世は高野山領名手荘に属し、穴伏の名手八幡神社が荘氏神であった。近世には市場村は紀州藩領となり、藩の蔵に年貢を納める御蔵所であった（紀州藩領では御蔵所と、上級家臣の知行地となる給所の區別があった）。市場村は妹背家（名手市場にある妹背家の住宅は国の重要文化財に、屋敷地は名手本陣として国の史跡となっている）が大庄屋を勤めた名手組に属し、名手組は市場村のほか上村（名手上村）・平野村・下村（名手下村）・切畑村・中村（江川中村）・西野山村・穴伏村・西野村（名手西野村）・後田村・池田垣内村（枝郷西ノ芝村）・狩宿村・西川原村・東川原村・野上村・馬宿村・上丹生谷村・下丹生谷村（すべて現紀の川市）からなっていた。市場村は村内を大和街道が東西に通り、本陣・伝馬所がおかれた交通の要所であった。市場村は『天保郷帳』『旧高旧領取調帳』『紀伊続風土記』ともに石高七四九石一斗三升三合、『紀伊続風土記』では家数二二四軒、人数四三五人となっている。明治五年（一八七二）の「大区小区制」では、市場村の属した那賀郡名手組は第三大区三小区となった。明治十二年（一八七九）の「郡区町村編成法」では、市場・穴伏・西野・後田村四村で戸長役場がおかれ、市場村は名手市場村と改称した。明治二十一年（一八八八）の「市制町村制」では、名手市場村と穴伏村が合併して名手村となり、村名は大字となった。大正三年（一九一四）に名手村は名手町となった。



名手市場とその周辺地図

(日本交通分県地図其十二和歌山県、大正15年、大阪毎日新聞社発行)

昭和三十年(一九五五)、名手町・王子村・土名手村・麻生津村・狩宿村が合併して那賀町となり、平成十八年十一月、那賀町・粉河町・打出町・桃山町・貴志川町が合併して紀の川市となった。

三、堀家について

堀家文書中には、堀家の系図やまとまった由緒書が残されておらず、また所蔵者への聞き取りが行えなかったため、堀家のイエに関しては詳細は解らない。幕末の堀源太夫は「家ハ四代程源右衛門と申候」(ア―40)と記し、江戸時代の後半には代々源右衛門と名乗っていた。

堀家文書から略系図を作成すると次頁のようになった。

享保十九年(一七三四)から安永元年(一七七三)には源右衛門が市場村肝煎として、天明七年(一七八七)から寛政四年(一七九二)には源次郎(年齢から考えて源右衛門植賢であろう)が市場村御蔵庄屋として、文化五年(一八〇八)から文化七年(一八一〇)には源右衛門(同じく源右衛門植賢であろう)が市場村庄屋として署名・判をしている。

文政六年(一八二三)に源右衛門植賢の子源十郎(源太夫正耀)は肝煎となり、その後文政九年(一八二六)から



写真1 堀源十郎(源太夫正耀)へ胡乱者改役を命じる達
(紀州藩文書『弘化三年附込帳』)

文政十一年（一八二八）に御蔵庄屋を、天保四年（一八三三）からは庄

屋を勤める。天保六年（一八三五）に庄屋役御免となり、この時は村民

から源十郎（源太夫正耀）の帰役願い（セー17-1）が出されている。

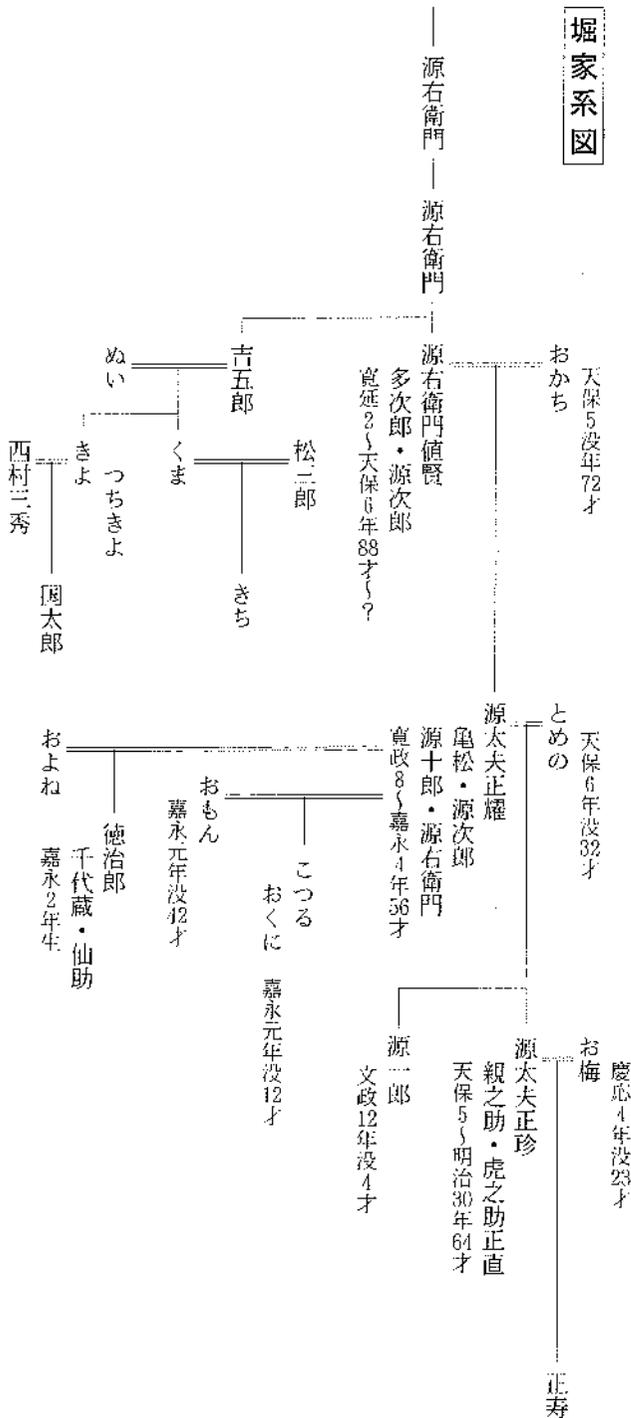
源太夫正耀は庄屋役を退いたあと、さらなる地位の上昇を考え、天保九年（一八三八）には地主仰せ付け願い（テ-31）を提出、弘化二年（一八四五）八月からは胡乱者改への就任運動を行い、弘化三年（一八四六）三月に胡乱者改助役に任命される（写真1）。

源太夫正耀の子源十郎正珍（源太夫正珍）も市場村肝煎役を勤め、慶應二年（一八六六）に名手組帳書（イ-82）となっている。

四、文書群の保存状態と整理方法

堀家文書は蚕小尾を改造した蔵に保管されていた。堀家文書は、和歌山県教育委員会・那賀町史編集委員会や和歌山大学がすでに調査を行っていた。文書館が調査した時点で、堀家文書はタンス・段ボール箱・木箱・衣装箱・プラスチック製コンテナに内容別に分類され、おおまかに年代順に並べて収納されていた（写真2・3）。タンスや木箱は文書収納用の専用容器ではなく、また大きな物であったので、どのタンスや箱に収納されていたかを記録し、中性紙箱に移し替えて文書館へ収納した。整理にあたっては、文書館での受入の状態を現状とし、文書の収納容

堀家系図



器に次の箱番号を与えた。

- ア 四段引き出しのタンス
- イ 二段引き出しのタンス
- ウ 四段引き出しのタンス
- エ 二段引き出しのタンス
- オ 四段引き出しのタンス
- カ・キ 段ボール箱
- ク・ケ 紙製衣装箱
- コ 段ボール箱
- サ 木箱
- シ プラスチック製コンテナ
- ス 段ボール箱

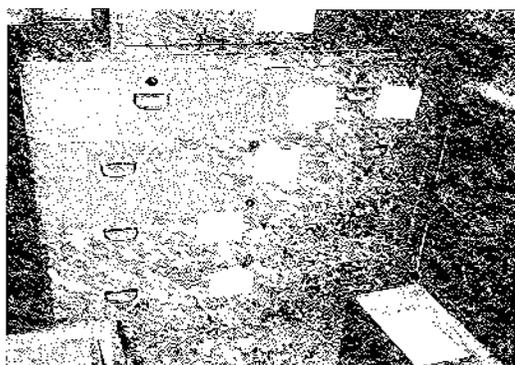


写真2 ア(手前)、イ・ウ(正面)のタンス

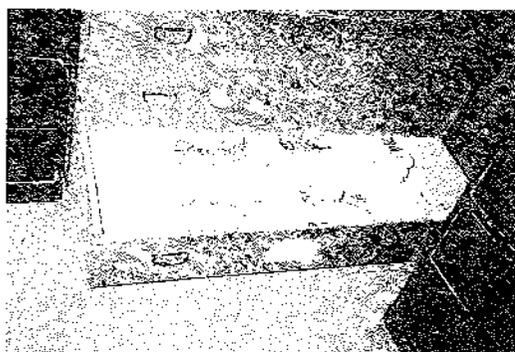


写真3 ウの引き出しの文書収納状況

セ・ソ 紙製書類箱

タ・チ・ツ・テ・ト 段ボール箱

このほか別置されていたナ、ニ(錦絵)、ヌ(引き札)がある。

堀家文書はほとんどの箱で内容別に整理されて収納されていたので、箱ごとにそのまま一点ずつ取り上げ親番号を付けた。袋やこよりで一括された文書群は、一括で親番号を一つ与え、一括内の各文書は枝番号で処理した。この箱番号と親番号、一括文書では箱番号・親番号と枝番号の組み合わせが文書館での資料番号で、文書の出納はこの資料番号で行う。

五、目録編成と各項目の概要

堀家は市場村庄屋・肝煎・御蔵庄屋、胡乱者改・流木取締方の役職を勤め、近世初期から紀ノ川の渡し船の経営を行った官頭座や名手八幡神社宮座の一員であった。また御徒浪人でもあった。堀家文書は、これらの複数の役職によって残された文書が混在している。また近世文書が大半で、明治以降の文書は少ない。

堀家文書はこれまでの調査で、内容別に分類されて保管されていたため、厳密に役職による目録編成は困難であった。目録編成にあたっては、まず比較的容易に判断できた胡乱者改・流木取締方・官頭座・御徒に関する文書を取り上げ、次に大きく名手組と市場村に関わる文書、名手八幡神社の宮座関係、堀家の私的な文書として編成した。

堀家文書で一番扱いに困った文書が、袋に数十通が一括された文書群であった。袋上書と一括文書の内容が合っている場合は問題はないのだが、数点だけ違う内容の文書が混在している一括や、半数近く違う内容

の文書が混在している一括もあり、さらに袋上書と袋に納められた文書が合致しているのかどうか、判断が困難な一括もあった。

これらの一括文書をすべて分離して、文書の内容によって目録を編成することも考えた。しかしこれら一括文書の大半は、勘定書や簡単な書付類であり、一括を崩しても「家計」「年貢」や「その他」などの項目に入れる文書が増えるだけである。現状の一括には何らかの意味があるとも考えられるので、多少の内容の混乱は容認して「勘定書・書付」の項目を設け、一括ごとに年代順に並べ替えて掲載することにした。

袋上書から胡乱者改・流木取締方・村関係などが明らかでない一括文書は、該当する項目へ入れた。袋上書と内容が合わない文書が多数確認できた一括文書は、関連文書の有無等を考慮して、分離して適当な項目へ入れた場合もある。

次に目録項目ごとの概要を記す。

一 名手組市場村

堀家が市場村の村役を勤めた時期の文書のほか、名手組と市場村に関する文書を集めた。ここに集めた文書の一部は、『那賀町史料』に翻刻がある。

1 法令・定書・達 四十七点 藩からの法令、争論裁許状、市場村の村定など。本項末には達をまとめた。

2 留書・控え 二十五点 市場村の公的な役職を勤めたことにより手元に残された留書や、藩あてに差し出した様々な覚書の控えを集めた。アー82は文政六年（一八二三）の干ばつにより起こった一揆に関する資料で、二十三名の処刑者を出した大きな一揆であった。

『百姓一奇談』（スー54）も関連する資料である。

3 諸願・届 五十点 市場村の公的な役職を勤めたことにより手元に残された、様々な願書や届け書を集めた。

4 人別 六十一人 人別送り状、人数差引増減帳を集めた。本項末に往来手形二点を入れておいた。

5 定免 十八点

6 年貢・諸掛かり 百八十三点 年貢の割付・収納やその他入用割に関する文書を集めた。村の全戸に賦課される名手八幡神社の氏子割（イー10、イー45―1）もここへ入れておいた。本項末には村あての通をまとめた。

7 用水 二十五点 大池割入用、小田井割入用に関する文書。大池は紀の川市馬宿の南端にある「名手の大池」（なてのおいけ・おおいけ）と呼ばれる大溜池のことである。

8 立用金 八点

9 袋入り一括文書 大半が勘定書である。

ケー7 天保五年 村方書出 五十二点

ケー8 天保五年 村方書出・受取 三点
八点は胡乱者・堀家・売買貸借に入れた。

ター11 天保五年 小田井割通など 十一人
八点は胡乱者・官頭座・堀家に入れた。

ケー14 子年 組御藏割立村々より書付など 二十五点

ケー15 巳年 小前書出 五十八点

10 明治以降 六点 明治二年（一八六九）以降の市場村に関わる文書を集めた。

堀家文書

一	名手組市場村	1	法令・定書・達	
		2	留書・控え	
		3	諸願・届	
		4	人別	
		5	定免	
		6	年貢・諸掛かり	
		7	用水	
		8	立用金	
		9	袋入り一括文書	
二	官頭座	1	勘定帳	
		2	造船	
		3	官頭仲間	
		4	その他	
		5	袋入り一括文書	
三	名手八幡神社宮座			
四	胡乱者改	1	留書・一件控え	
		2	達	
		3	願書・訴状	
		4	請書	
		5	書状・来状	a 盗賊届
		6	願書・訴状添付資料	b 胡乱者改仲間
				c 大庄屋
				d 庄屋・肝煎
				e 惣廻り
				f 他国掛合
				g 地上・医師・帯刀人
				h その他
五	流木取締方			
六	御徒浪人			
七	堀家	1	由緒	
		2	家政全般	
		3	諸願・請書	
		4	増田嘉兵衛昇進一件	
		5	吉五郎跡式一件	
		6	冠婚葬祭	
		7	所有地	
		8	家計	a 万覚帳
		9	年貢	b 大福帳
		10	米相場・売買	c 年玉・小遣・贈答控帳
		11	奉公人	d 穀物出入帳
		12	信仰	e その他勘定帳
		13	講	
		14	結社	
		15	日記	
		16	法政大学講義録	
八	売買・貸借			
九	書状			
十	勘定書・書付			
十一	その他			
十二	板本・写本・摺り物			
十三	錦絵			
十四	引き札			

堀家文書目録の編成

二 官頭座

官頭座は紀ノ川の渡し船の経営団体で、寛永十年（一六三三）に寄付を募り（サー1「名手渡し舟観進帳」）、紀ノ川北岸の西野から紀ノ川南岸の北脇の間で常設の渡し船経営が始まった。官頭座は西野村・後田村・馬宿村・野上村・切畑村・江川中村・西野山村・穴伏村・市場村の九ヶ村の有力村民がメンバーで、寛永二十一年（一六四四）には三十八名いた（サー3「勘定帳」）。官頭座を形成する村は、名手八幡神社の氏子区域と一致している。

延享三年（一七四六）に市場村藤四郎が渡し船の経営を引き受け、無料の渡し船となった（サー9「寛（横渡無銭往来致し度につき）」）。この功績で、藤四郎は宝暦二年（一七五二）に官頭座加入を認められた（サー10・11「寛（藤四郎入座につき連判）」など）。『那賀町史』に一部文書の翻刻がある。

官頭座は、次の五項目を編成した。

- 1 勘定帳 九十八点 毎年の勘定帳を集めた。
- 2 造船 六十二点 渡し船の新造や修理に関する文書。
- 3 官頭仲間 二十一点 官頭座の座定、座株の売買や譲渡、座入りにあたっての家筋保証書などを集めた。
- 4 その他 四十点 前三項に該当しない文書を集めた。舟賃・船頭関係、明治以降の文書などがある。
- 5 袋入り一括資料 主に造船の勘定に関する文書である。

ケー2 文化元年三月より 諸事書附 三十点

チー5 天保七年十二月会 仲間仲へ書出し 十一點

ター14 天保十二年 横渡新艘乗初之節書附 二十五點

三 名手八幡神社宮座 四十七点

紀の川市穴伏に鎮座する名手八幡神社は中世名手荘の荘氏神で、近世以降も名手組を構成する九ヶ村の氏神であった。名手八幡神社を祭る宮座は五座あり（サー44明治十二年「宮座の事」では四座とする）、次の村から構成されていた。

市場・穴伏 後田・西野

野上 馬宿 西野山・江川中・切畑

村の旧家が宮座のメンバーで、座員の人数制限はなかったが、寛延二年（一七四九）、明和三年（一七六六）ともに市場村・穴伏村で三十二名であった（サー85「宮座市場穴伏仲間定書帳」、サー14「市場穴伏座仲間諸留写シ」）。八月十五日の祭礼では各座が順番に当番をつとめ、当番の村からは馬乗りと称する三・四才から八・九才の男児一人を出し、渡御することになっていた（サー44「宮座の事」）。

この項目には宮座や祭礼に関する文書を集めた。座定・勘定帳・留書・寄進帳など様々な文書があるが、点数が多くないので分類は行わず年月日順に並べた。

村の全戸に賦課される氏子割に関する文書は、名手組市場村一年貢・諸掛かりの項に入れた。また堀家の男児が馬乗りを勤めた時の文書は、堀家一冠婚葬祭に入れた。名手荘の小躍り台本（サー18）は、『那賀町史』に翻刻がある。

四 胡乱者改

胡乱者改は捜査・逮捕・取り調べの警察業務を担当する役職で、十八世紀中頃には設けられていたとされるが（『和歌山県史』近世）詳細は

解っていない。堀家では、堀源十郎正耀（のち源太夫と改名）が弘化二年（一八四五）八月から就任のための運動を開始し（ア―10―1「胡乱者改雜用帳」、弘化三年（一八四六）三月二十八日に伊都代官所へ呼び出しをうけ、熊野牛玉に血判して伊都三組胡乱者改助役に任命された。本来は城下の評定所で任命を受けるはずであったが、藩主斉順の死去による服喪のため伊都代官所への出頭となった。その後十二月八日に、評定所で勘定吟味役勝田七郎右衛門から改めて任命を受けた（ア―27「御通隠密寫」）。

堀源太夫が担当した伊都三組は、丁ノ町組二十五ヶ村・中組二十四ヶ村・上組三十六ヶ村の三組で、現在の紀ノ川北岸の橋本市・かつらぎ町と、紀ノ川南岸の紀州藩領であった九度山町入郷と橋本市の一部が該当する。

「御通隠密寫」には「胡乱者改役勤方御通シ」が写されており、胡乱者改の役職を知る参考となるので次に掲げておく。

一、勤方之儀申迄も無之候得共、実意廉直を元ニいたし可中事

一、博奕之儀、近年別而御制道嚴敷候得共遠郡ハ難行届、就前者風来者杯入込ミ、村内徒者と心安ク博奕有之趣ニ付常々無油断制道いたし、惣廻り非人番共制道方は迄も仕らせ、悪敷所者ため直し、組内取締り方第一ニ可心得事

一、盜賊召捕方ゆるみ不申様、兼々下役共へも無油断心がけさせ可申事

一、都而何之取扱方ニても費弊を省キ、村々之難渋ニ不及様第之事

一、所々より折々ハ売女魅之者、其外町方より何ニ而も遊興めき候事
 企候者参り候義も可有之候間、右等ハ足留致させざる様制道可致事

一、以前より之仕くせニいかゞ之品等も有之、改直可然と心得候儀も有之候ハ、寄々代官所并ニ公事方得も可申出事

八月

胡乱者改は、次の六項目を編成した。胡乱者改就任運動や、就任後の祝儀・贈答に関する文書は堀家―由緒に入れた。

1 留書・一件控え 五十九点 堀源太夫の手元に残された事件の留書や、大庄屋・村役人などの姓名覚などを集めた。

2 達 百点 前半には藩からの達、後半には堀源太夫が差し出した達を集めた。

3 願書・訴状 百三十四点 事件の願書・訴状を集めた。

4 請書 五十五点 事件が解決した時の誤り状・詫び状や請書を集めた。

5 書状・束状 事件を扱う過程で遣り取りされた書状を集めた。大半は差出人ごとに胡乱者改仲間・大庄屋などと区別して、袋に一括された資料である。一括されていない単独の文書は、差出人から判断して該当する項目の最後にまとめておいた。判断出来なかった文書はhその他の項目にまとめた。書状に入れた「私用」と記された袋入り一括文書（ケ―12・ア―88）にも胡乱者改関係の文書が混入しているので参照の事。

a 盜賊届

ア―41（弘化四年か） 三十一點

ア―78 弘化五年 五點

ア―76 嘉永元年 二點

ア―77 嘉永二年 六點

b 胡乱者改仲間

アー84 弘化四年 十四点

アー86 弘化五年 十六点

アー80 嘉永三年 九点

アー79 嘉永四年 七点

单独 六点

c 大庄屋

ター2 弘化三年 三十八点

ター3 弘化四年 四十九点

ター4 弘化五年 十七点

ター5 嘉永元年 六十三点

ター6 嘉永四年 三十点

单独 三十二点

d 庄屋・肝煎

ター7 弘化四年 三十八点

ター8 弘化五年 三十八点

ター9 嘉永二年 三十九点

ター10 嘉永四年 五点

单独 十九点

e 惣廻り

アー81 嘉永二年 十六点

单独 十六点

f 他国掛合

アー85 弘化四年 二点

アー87 弘化五年 七点

g 地士・医師・帯刀人

ター15 嘉永二年 十二点

ター16 (年記なし) 三十一點

单独 二点

h その他 二十五点

6 願書・訴状添付資料 十一點 作成者・宛名・内容から、願書・

訴状へ証拠資料として添付されたと判断される文書を集めた。

五 流木取締方 百五十点

奈良県吉野地方の材木は、奈良県五條市を南から北へ流れる丹生川から吉野川、紀ノ川を下って和歌山へ運ばれていた。丹生川と吉野川の合流点に近い五條市新町・二見・靈安寺などに中継所があり、ここに材木が集められ、筏に組まれて紀ノ川を下っていた(『五條市史 新修』)。大水や洪水の時には、中継所から材木が流失することがある。この流木の隠し置きや、拾得者による勝手な売買を防ぐため、取り締まりを行ったのが流木取締方である。

堀源太夫は弘化四年(一八四七)十月十二日、東家村(現橋本市東家)木村喜太郎の跡を受けて流木取締方に任命された。この時に示された連は(アー13)、紀ノ川の流木取り締まりに関する内容がよく解るので参考のために掲載する。

吉野材木紀の川丈流木之節是迄隠木等多難洪之旨、依願此度左之通取締遣候筈候間、其段夫々江御達様、尤以来出水流木有之節隠木等無之様浦村へ嚴敷御達可有之候、心得違ひ候者有之候へ、吟味之上屹度

可及取扱候条、此段夫々江御達可在之事

十月

一、紀の川丈出水之節吉野惣代共より出役之儀不願出とも、流木取締役并式分口役人出張らせ候間、村々役人共罷出申合夫々取締方取計遣候筈事

川丈ヶ儀者橋本より北島迄取締候事

川口内ハ湊庄屋罷出取締候事

川口より外北者浜・東松江・中松へ・西松江・小屋・東脇・西ノ庄・磯脇・加太浦

川口より南ハ

雜賀崎・田野浦・出嶋・塩津・冷水・黒江・日方・名高・藤代・

大崎・とさか・下津浦・椒

一、右川口より外ハ最寄浦方詰式分口役人出張、浦村役人共罷出立合取締可申事

一、川丈ヶ井川口外浦方共取集材木、其最寄浦村役人江出張役人より相預ヶ候筈、尤預ヶ賃左之通役人より相渡事

取集木品値段不拘忝床ニ付忝ツツ、預ヶ賃相渡候筈

一、川丈ヶ自然掛り之材木問屋并惣代共罷越、自分取片之儀及取計候事

一、人力ヲ以取留筋ハ拾賃向後左之通出張役人より相渡させ可申事

材木若山充立相場相立定式諸掛り物引去り残り仕切銀高之内左之通相渡候筈

一、大水八尺より以上 此賃三步通

中水八尺以下 此賃式步通

海面江出候筋者皆 此賃三步通

右之通 伊都・那賀・名草・海士 御代官中江

吉野材木が大水や洪水で流された場合、紀ノ川流域、紀ノ川河口部、海上に分けて流木の処置を定めている。また、流木を拾った時の手間賃の規定もある。流木の取り締まりには、流木取締役・二歩口役所役人・浦村の役人があたる事になっている。二歩口役所は、漁獲物・林産物などに賦課された税を徴収する役所で、堀源太夫は、茶に賦課された税（茶口銀）や川運上などを扱った岩出番所（『南紀徳川史』第十二冊「二歩口役所控」）の役人と取り締まりを行った。

流木取締方に集めた文書は年月日順に並べ、最後に三つの袋入り一括文書を入れた。ア―150の袋入り一括文書は、袋内にさらに袋入り一括文書（ア―150―1）があったので、それぞれ別に年代順に並べた。流木取締方就任に関わる祝儀・贈答に関する文書は堀家―由緒に入れた。

六 御徒浪人 七点

紀州藩では地士制度があり、農村に定住する浪人を地士として把握し、非常時には御用を命じていた。同じように御徒浪人も農村に定住する浪人で、非常時には御用を命じていたようである。御徒は藩の職掌では、藩主出駕の時に供を勤める役職である。

この項目には、御徒組頭からの達の留書、藩士の書き上げ、御徒浪人の宗門改一札を集めた。留書には御徒浪人の任免や、鉄砲稽古のため和歌山への出府を求める達などがある。胡乱者改一来状・書状―地士・医師・帯刀人に入れたタ―15の一括文書は、本項目にも関係するので参照のこと。

嘉永五年の留書（ア―16）には「御徒浪人心得振条目」があり、御徒浪人がどのような役割を担っていたのか参考となるので、次に掲載する。

在御徒浪人心得振条目

一、在御徒浪人之儀ハ人柄者勿論芸術申立依願被 仰付候儀ニ付在中ニ何事も規矩相立候様相心得、且他国境ニ住居之向者別而之事候、若非常等之節者御用筋も相勤可申筈、右ニ付兼々砲術者不申及芸術心掛致稽古候筈、砲術者年々見分いたし候付其節致出府見分相勤させ候筈

一、在御徒浪人願新規且人代り等之節、人柄并芸術等組頭見試之上可申立、芸術心掛無之筋者不及取扱候事

但、見分三ヶ年懈怠候ハ、御徒浪人可差免事、尤遠在之儀ニ付見分之節ハ前以為相違、年々四月より十月見分相濟候迄毎月御徒中稽古有之候間、右稽古日限之儀ハ年々可相違候付、見分之内三四度稽古ニ罷出可申事

一、殿様近郷江被為成候節ハ郡境迄罷出 御目見仕、相濟候ハ、御駕御跡ニ頭御供ニ相立有之候間罷出候趣可申出、其時之御模様ニ寄御供をも可仕筈、右等之節者指図ニ可及事

但、御参詣等之節ハ熨斗目麻上下、御鷹野等之節ハ野服帯刀、若御模様ニ寄 御本陣御休御宿等被仰付候儀も有之候ハ、御参詣御鷹野ニ不拘麻上下着出張候筈

一、殿様年々御参暇之節致出府 御城御玄關江出張候筈、出張場所之儀ハ其節組頭中より致差図候事

但、熨斗目麻上下着 御城不案内ニ候ハ、面々厄介許江前日参り諸事可承合事

一、年頭初暑寒者御徒浪人者重立候勤ニ付致出府、頭組頭へ廻勤可致事

但、年頭者熨斗目上下着、暑寒ハ平服、若病氣ニ候ハ、名代可差出筈

一、出府いたし候節者定り衣服相用、私用之節者勝手次第、併往来者野服致帯刀候筈、押立候筈熨斗め且黒縮緬紋付羽織着用之儀不相成候筈

一、年々三月中ニ寺手形・誓文状、厄介許夫々江可差出事
右之条々兼而心得可罷在事候

七 堀家

堀家の私的な活動の結果残された文書を集めた。

1 由緒 三十九点 役儀の任免に関する文書、褒状など堀家の由緒に関わる文書を集めた。

2 家政全般 十一點 農作業に関する覚、家普請、家の年中行事書など。

3 諸願・請書 三十點 堀家が差し出した様々な願書や、質屋・紺屋の御免札借用や年貢延引などの請書を集めた。

4 増田嘉兵衛昇進一件 二十七點 東家村（現橋本市東家）の地土脇文兵衛が、粉河村（現紀の川市粉河）の地土増田家の次男嘉兵衛を養子に迎え、地土相続を願い出た一件。

5 吉五郎跡式一件 百點 源右衛門值賢の弟で、分家した吉五郎家跡式相続に関する文書。吉五郎・ぬい夫婦は娘くま・きよのほか男子がいなかったため、くまに婿養子松三郎を迎え跡取りとした。

松三郎・くま夫婦には娘きちが誕生したが、松三郎は死去し、さらに吉五郎も死去した。ぬいは西村三秀に嫁いだきよの子国太郎へ、吉五郎跡式を相続させようとした。これに対して、本家である堀源右衛門はきちへの吉五郎跡式継承を訴え争論となった(堀家系図参照)。

同じ願書の草稿が複数あるため、文書点数が多い。また吉五郎に關わる文書も、この項目へ集めた。『那賀町史料』に一部文書の翻刻があり、一件の概要が解る。

6 冠婚葬祭 百三十九点 祝儀帳・香典帳・饞別帳を集めた。本項末に、堀源太夫正耀の婚姻に関する袋入り一括文書をつづ入れた。

7 所有地 八十四点 堀家の所有地所・借家請書・下作手形などを集めた。本項後半には、下丹生谷(現紀の川市下丹生谷)の川端普請に関する文書、潤川への水車設置関係文書、馬宿村(現紀の川市馬宿)にあった大池尻田地に関する争論文書を入れた。

8 家計 堀家の家計に関する様々な帳面類を集めた。

a 万覚帳 二十四点 名出家銘の帳面が三点あり、ここへ入れておいた。

b 大福帳 十二点

c 年玉・小遣・贈答控帳 七十六点

d 穀物出入帳 二十三点

e その他勘定帳 四十点 様々な勘定帳を集めた。店卸帳(カ-

26・27)水上帳(ソー19)があり、堀家は質屋・紺屋の御免札を持っている(ケー13-1、ソー272)ので、商売を行っていたようであるが、関係文書がほとんどなく詳細は解らない。

9 年貢 九十二点 堀家あての年貢の通を集めた。袋入り、綴り、貼り継ぎなどの一括資料が多いので、実際の点数はもっと多い。文政十三年(一八三〇)の年貢小入用通の一括(ケー5)には吉五郎跡式一件に関する文書が混入している。

10 米相場・売買 二十四点 堀家は嘉永三年(一八五〇)には五十石余を所持し(ケー185)、農地経営を行っていたようである。相場通知書がまとまって残されており、日々の相場を注視して米を売買する時期を計っていたのだろう。

11 奉公人 三十九点 「奉公人請状入置」と上書のある袋に一括

されていたが、一括文書五十通のうち二十三通は別項目へ入れた。

12 信仰 三十二点 西国巡礼・伊勢参宮に関する文書、祈願に関する文書を集め、後半には高野山・日前宮など諸社寺の勸化帳をまとめた。

13 講 百一点 信仰に関する講と、金融に関する講の分離が困難であったので一緒に入れた。帳・状の順に並べ、最後に詳細は解らないが「久野様御講」とある文書を集めた。

14 結社 十一點 明治十年(一八七七)に堀源太夫正珍は、一人二十円の出仕を募り十四年間の運用後、一人当たり七反の田を購入し、小作経営を行う確礎社を組織しようとした。この計画は不朽社と名前を変えて組織され、さらに明治十一年(一八七八)に協修舎の設立となった。協修舎では、漢学の講義も行われた。

15 日記 四十二点 明治二十一年(一八八八)から明治三十年(一八九七)までの堀源太夫正珍の日記十二点、明治三十二年(一八九九)から昭和二十四年(一九四九)までの堀正寿の日記二十九

点、その他一点。堀源大夫正珍の日記には、熊野本宮大社が流失するなど、和歌山県下に大きな被害を与えた明治二十二年（一八八九）八月の台風に関する新聞記事抜き書きと、明治二十四年（一八九一）来日中のロシア皇太子を護衛警官が自傷させた大津事件を報じる新聞付録一括がある。

16 法政大学講義録 十六点 堀正寿在学中の講義録。

八 売買・貸借 二百四十五点

売買・貸借証文は、堀家自身の売買・貸借活動によるもの、堀家が庄屋や証人として署名・判をしたものの区別があるが、厳密な分離が困難であったので、売買・貸借として一括し年月日順に並べた。

九 書状 二百三点

胡乱者改や流木取締方などに入れた、公的な役職により遣り取りされた以外の書状を集めた。弘化四年（ケ―12、一八四七）と弘化五年（ア―88、一八四八）の二つの袋入り一括文書を月日順でならべ、その後単独の書状を年月日順で並べた。

袋入り一括文書は袋上書には、「私用入」「私用状」とあるが、胡乱者改関係の書状が混入している。

十 勘定書・書付

一括された勘定書・書付を集めた。一括されていることを尊重したため、様々な内容の文書がある。本項目の後半には単独で残された、様々な勘定書や書付を集めた。

ケ―1 寛政四年 飛脚賃 三十五点 年貢関係・代金勘定書など。
ケ―6 天保二年 御年貢小入用通 二十二点 年貢関係・代金勘定書など。
チ―3 天保四年 非常書付 三十八点 年貢関係・代金勘定書など。

チ―4 天保四年 書付 十点 割掛かり勘定書・書状など。
チ―17 (天保6年)、上書なし) 十八点 年貢関係、水車設置請書など。
ケ―9 天保十四年 書付 二十六点 代金勘定書、太鼓・鼓ほか役割分損覚など。

チ―12 嘉永四年 雑用書付 四点 旅費・宿泊費勘定書。胡乱者改や流木取締方に関する文書か。

チ―8 卯年 諸色勘定書 四点 様々な勘定書。綴りが二点ある。
チ―15 (年号なし) 四十六点 様々な内容の文書が一括されている。家由緒(チ―15―4)、貸借関係(チ―15―6・7・17・21)、病牛購入につき代金返却願(チ―15―15)、粉河油屋卯兵衛借銀延引願(チ―15―10)など。

チ―16 (年号なし) 諸色受取 六点 主に信仰関係。
チ―17 (年号なし) 三十七点 様々な勘定書や書付。

単独の文書 八十六点 年貢勘定書・代金勘定書など。江戸の地震・大火に関する書付(ソ―11・12)がある。

十一 その他 八点

本紙から分離した封紙、白紙、断簡などを集めた。

十二 板本・写本・摺り物 八十一・二点

堀家では江戸期には、例えば粉河の玉樹堂田辺屋新四郎のように、直接板元に注文したのもあったと思われるが、多くは城下町書肆を通じて、諸国で刊行された板本を取り寄せていた節が窺える。明治期に入ると、初期には和歌山本町にあった平井文助店から、中期以降は地元の平井万二郎・堀富三郎店から買入れたものが多いと考えられる。

板本は伊勢曆を始めとして、明治期の教科書が大半を占めている。伊勢曆は次の年代のものが残されている。

- 宝曆十二・十三 明和四〇・十
- 寛政八・九、十一・十三 享和二・三
- 文化二・十五 文政二・十四
- 天保三・十六 弘化三・四
- 嘉永二・八 安政三・七
- 万延二 文久二・三
- 元治二 慶応二・四
- 明治二・四

このほか、目録には掲載しなかったが、コ箱に『国際写真情報』（東京国際情報社、大正十四・十五年）、『書勢』（書学院、昭和十五年、十二冊、書道雑誌）等の雑誌がある。

十三 錦絵 二十一・二点

幕末から明治期の錦絵。

十四 引き札 四十二・二点

堀家があった名手市場の商店の引き札が二十九点ある。その他、粉河が八点、和歌山市が二点、京都が三点ある。

六、掲載・調査・参考文献

翻刻掲載

- 『那賀町史料』（那賀町教育委員会、一九七〇年）
- 『那賀町史』（那賀町史編集委員会、一九八一年）

調査・目録

- 『堀武寿氏所蔵古文書目録』（那賀町史編集委員会、一九七五年八月調査、ガリ版）
- 『和歌山県古文書目録1』紀の川流域古文書調査報告書（1）（和歌山県教育委員会、一九八三年）

このほか和歌山大学が調査を行い、目録を作成している（未刊行）。

参考文献

- 『那賀町のなりたち―那賀町史概説―』（那賀町史編集委員会、一九七四年）
- 『那賀町史』（那賀町史編集委員会、一九八一年）
- 和歌山大学地理歴史研究会編『昭和五〇年度研究報告上・下』那賀郡那賀町・和歌山市加太
- 『紀伊国名手荘・静川荘地域調査』紀の川流域荘園詳細分布調査概要報告書Ⅲ（和歌山県教育委員会、二〇〇四年）

官頭座について

『那賀町史』、『和歌山県の地名』（平凡社日本歴史地名大系）
胡乱者改について

『和歌山県誌』、『和歌山県史』近世、『和歌山県警察史』第一卷

本目録の作成にあたり、次の方々のご協力を戴きました。記してお礼申し上げます。

田村幸美氏（紀の川市教育委員会、那賀町史収集資料の閲覧について）

前田正明氏（和歌山県立博物館、博物館での那賀町史収集資料の調査について）

前田一郎氏（那賀町史編集委員会調査『堀武寿氏所蔵古文書目録』について）

* 堀家文書の整理は伊藤信明・鎌田和栄・須山高明（板本・写本・摺り物、錦絵、引き札）・裏直記（暦）が行った。目録作成・解題は伊藤が担当した。板本・写本・摺り物の解題は須山が担当した。

紀の川市名手市場

堀家文書目録

一 名手組市場村
1 法令・定書・達

資料番号	標 題	年 月 日	作 成 者	宛 名	形 態
ス-7	郡奉行春廻り之節読聞候書附	正徳6年閏2月			懸 帳
ス-22	新金銀吹替之御書付	(正徳4年5月)			懸 帳
ス-6	在々春中巡見之節庄屋共江申渡候書附	宝永8年	名手組		懸 帳
ス-50	在々御定書	元禄8年~14年	堀源右衛門所持		懸 帳
ス-5	御法度書	貞享元年3月	市場村		懸 帳
タ-11 -9	(高野山領麻生津庄と紀州領名手在の入会山立木伐採争論裁許状)	天和4年2月25日	中隠岐印 彦伯書印 大備前 ○北安房印 甲斐飛騨印 ○木波路印 坂内記 板伊予 ○水右衛門印 印 本 淡路印 坂内 記印 板伊予 印 水右衛門印		状
セ-2	(麻生津庄・名手庄山論裁許状) *端裏「山公争之御写し」	天和4年2月25日	中隠岐印 彦伯書印 大備前 ○北安房印 甲斐飛騨印 ○木波路印 坂内記 板伊予 ○水右衛門印		状
ス-48	御定書	延宝5年10月	市場村		懸 帳
ス-3	御国御制札之写	寛文元年閏8月日	(水野对馬守・安藤帯刀)		懸 帳
ス-4	公儀御高札之写	万治3年8月22日			懸 帳
ス-49	御定書之写	正保2年9月日	市場村		懸 帳

名手組市場村(法令・定書・達)

名手組市場村（法令・定書・達）

スー15	スー14	カ一57	スー13	スー12	タ一49	スー11	スー10	スー25	スー9	スー8	セ一34	カ一20	ソ一9
従公儀御触書之写し 在中菜種作り高穀数年々一村切ニ相調へ一組一帳ニ相認相達し候様との御通し写し	村送り被仰渡之趣写	勢州一志郡川口村常之助孝行書 *孝行人行状書と御通し差し越し、小前末々まで残らず申し届かず旨	御儉約被仰出御通シ写	村定（博奕禁制）	覚（納め方ほか定）	上那賀市場村小前末々迄印形帳 控	郡奉行衆在御詰ニ付被仰出御書附写	儉約村定帳	儉約ノり方申合帳	博奕御制道一統受用印形帳	〔博奕の禁につき公儀触・村定〕	山慈姑之根食物ニ可成制法仕方功能書御通写并永穂村九郎右衛門願出とも写し *水損紙弱り	享保十八辛丑年諸国飢饉ニ付国々ニ而整キもの共雑食を喰其毎ニ当り其後時疫致流行致難義ニ付従公儀被仰出薬法書附并御通之写し （享保18年）
寛政9年7月	寛政9年正月	（寛政8年10月）	寛政8年8月	寛政8年正月	寛政6年12月	寛政5年8月	寛政3年5月	（寛政元か）正月	天明9年 寛政元年正月	天明9年正月	天明8年 申正月 天明8年正月	天明7年7月25日	（享保18年）
名手組市場村	名手組市場村			名手組市場村	名手組大庄屋助役妹背佐左衛門		上那賀市場村	市場村	上那賀市場村	上那賀市場村	市場村五人組親三郎（印）右同 断亦市（印）同村十人組親甚六 （印）外別名署名捺印	上那賀市場村ひかへ	市場村ひかへ
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	状	堅帳	堅帳

スー23	ツー208	スー51	ター44	ツー584	ソー5	スー40	スー20	セー39	スー19	スー18	スー17	スー16
覚書（諸国巡見につき達覚） *表紙上左部水損破れ	請合申一札之事（毛見願につき京早稲のほかは刈らぬ旨村中連印請書）	郷組一札 *ス47も同	天保十五年辰三月御通し写し（浪人・寺社修復勸化につき公儀触達） *卯六月・七月付の達	〔倭約令仰せ出につき村中連印〕 *前欠	〔藍作につき勘定吟味役中からの達〕	来巴年朝鮮信使対州江来聘ニ付従公儀被仰渡候書付写シ	在中倭約御定書	〔百姓願筋の儀ほか達〕 *後半に天明二寅正月、天明三卯二月の触を記す	猪鹿打減御通写	在中倭約定書	御倭約ニ付御通し写	名手組在々御用廻状 村継急々無滞（金銀出入・借財につき）
（11月、丑極月）	申8月	慶応2年10月	天保15年3月	文化13年9月	（文化5）11月27日	文化5年5月	文化3年	文化3年正月	文化元年7月	享和2年12月	寛政12年2月	寛政9年12月
	忠七 孫作 又市 弥市郎 良助 長右衛門 茂七 源五郎 源六 徳 左衛門 繁八 甚作 弥左衛門 魏 四郎 平兵衛 源太郎 嘉右衛門 魏 兵五郎 徳右衛門 弥惣八 仲右 衛門（皆印あり）		小裏惣内	孫作（印）五兵衛（印）藤兵衛（印）安 兵衛（印）源四郎（印）ほか14名	御勘定吟味役、数見角右衛 門、木村平左衛門		市場村	（勘定奉行）	市場村			
			和州五組アテ		五組大庄屋アテ							
察帳	状	察帳	封紙包状	状	察綴	察綴	察帳	状	察帳	察帳	察帳	察帳

名手組市場村（法令・定書・達／留書・控え）

ター32	ター251	ター20	スー44	ター19-37	ター45	スー47	スー43	スー24
〔御仲間重兵衛十八日出立を命じる達〕	〔手沓申付の弥助分年貢米の扱いを五人組へ厳命するよう達〕	〔馬宿村不埒人清蔵散米一件につき喜兵衛を召し連れ出頭を命じる達〕	〔穢多非人心得振につき勘定奉行衆からの申し来たりを伝える達〕 *七月、戌十月付の2通	〔市場村藤四郎在任入方勤めを忤藤五郎へ仰せ付けの旨、添奉行衆より申し来たりを伝える達〕	〔市場村庄屋藤四郎御誓につき寺崎恵左衛門宅へ出頭の旨達〕	郷組御書附	去丑十月被仰出候御触書之事（儉約につき）	御触書（儉約につき） *享保7寅年の御家中儉約定の写し
	11月27日	11月23日	8月5日	6月10日 6月30日	4月25日		（丑年）	
御代官所	得津彦助	得津彦助	間野久左衛門	関係大夫 吉村十助・榎垣三之右衛門	寺崎恵右衛門 小山田庄助、 妹昔四郎五郎			
庄屋源右衛門	庄屋源十郎	庄屋源十郎	五組和州大庄屋アテ	湊御仕入方	市場村庄屋藤四郎			
封紙包状	状	状	縦綴	状	状	横半帳	縦綴	縦綴

2 留書・控え

ター29	ター30	ウー45	ソー17
市場村ニ徘徊致候大嶋利右衛門一件写	吟味菅沼半兵衛殿御物成米紛失一件につき写	戊半知上ケ米之内ニ而村々より市場村銀主へ渡し米・納入三人手前請私井入質舟賃三人分指引過不足とも覚帳外ニ銀主へ入質舟賃とも渡し方覚 郡御役所先納御下ケ米	覚書（巡見につき市場村村勢ほか） *巡見時の問答集・新銭相場ほか
寛政12年9月	寛政10年9月	寛政2年12月	子（宝永5か） 閏正月10日
市場村	市場村	市場村	市場村
縦綴	縦綴	横帳	縦綴

名手組市場村 (留書・控え)

ス-41	イ-64	ス-39	イ-77	ス-21	ア-82-4	ア-82-3	ア-82-5	ア-82-1	ア-82-2	ア-82	ウ-82	キ-6-1	ウ-83
上 (伝馬所人足一件始末)	本銀返し証文之控 * 袋内に快込文書あり、袋上書「天保四年巳諸通シ諸願袋」 * 錯簡がある	御通シ諸願留帳 * 袋内に快込文書あり、袋上書「天保四年巳諸通シ諸願袋」	御礼式御願日下恵 (老中以下御役順につき)	御通シ願書控	徒党人死罪覚	〔騒動後鎮方頭取で御登人書〕	〔他所米・年貢収納などに関する諸事覚〕	文政六未六月乱亡(皇愾乱暴による死罪者書上) * ス54参照	文政六未五月廿日初候□□(乱暴書上) * 5月20日〜7月初日までの始末口を追って書き上げ	【袋入り5点一括】 * 袋上書「文政六未五月より乱亡発し候節書付入 正頼廿八歳之時出村役致し候候ニ付」	卯歳中御通願書覚帳 * 表紙に小字で「辰」とあり	〔樋・橋・懸越渡樋等書上覚ひかえ〕	永代願書覚帳
安政6年2月日	天保4年8月(大保6年)	天保4年8月24日(天保6年10月)	天保4年8月	文政13年正月吉日(弘化3年閏5月)	(文政6年か)	(文政6年か)	未6月11日	文政6年6月	文政6年5月	文政2年正月	(文化14年5月)	文化8年正月吉日(弘化4年)	
堀源太夫	市場村庄屋元	堀源十郎正耀	竹屋文吾(抹消)	市場村								上那賀名手組市場村	
		右人より 堀源兵衛											
堅綴	堅帳	袋入堅帳	横帳	堅帳	状	状	状	状	状	袋	横帳	堅帳	横帳

名手組市場村(留書・控え/諸願・届)

テ-92	ツ-235	ツ-428	テ-62	ツ-197	キ-14	カ-65	ウ-37	ウ-36	イ-65	ソ-15	キ-62	イ-73
奉願覚(粉河村忠次郎と内済につき願書お下げ願) *チ5110-3関係	[納米筋につき忠治郎が書替六石分を渡さない旨訴状]	再奉願上覚(伝馬所御救い米拝借願) *【奥書】名手組大庄屋妹背佐左衛門(印)消	御受状之事(市場村忠右衛門代に新七江戸詰御中間奉公につき)	恐乍奉願上口上覚(借財を含む相続拒否につきその取り扱いを尋ねる旨) *2枚	(妹背四郎五郎所持地・村地・市場新田書上)	(名手組村高・証文類ひな形ほか備忘録)	巳ノ小入用帳(御用お越しの節宿賄料覚) *板橋万平・大沢八左衛門など審判の書付を貼付	亥年中覚帳(荷物送りなど人足人夫書上) *源蔵・十蔵らの勤務日・内容の書上	(口六郡郡組村名書上帳)	商人職人名前書	無高者人数調覚帳 ひかへ	覚(村地敵高・家数・牛馬調べ達し) 市場村ひかえ
(寛政9年)	寛政9年12月13日朝出	巳(寛政9) 閏7月17日	寛政8年9月	寛政5年9月						12月	寅3月	子4月
	市場村願主源次郎	市場村惣代孫作(印)高源五郎(印) 同肝煎利助(印)同幸四郎(印)同良助(印)同庄屋彦十郎(印)	市場村御蔵庄屋源次郎	市場村惣代孫作(印)高源五郎(印) 同肝煎利助(印)同幸四郎(印)同良助(印)同庄屋彦十郎(印)			源五郎	源蔵	源行衛門	市場村	市場村	市場村肝煎次郎吉(印)右同幸四郎(印)庄屋源右衛門(印)
	伊藤助左衛門	河嶋七兵衛 渡辺門九郎	伊都郡名手組御役所	出口弁左衛門								野田佐次右衛門
状	状	状	状	状	縦	横帳小	横帳	横帳	横帳小	縦帳	縦帳	縦

3 諸願・届

テ-145	テ-195	ツ-551	ア-95	ツ-479	ツ-471	テ-63	テ-64	テ-175	イ-74	テ-3-11	テ-56	テ-61
②乍恐奉願上覚(大和屋利介有免願)	乍恐奉願上覚(大和屋利助有免願) *草稿	乍恐奉願上口上覚(召し捕りの利助五人組預け願)	(橋本利助身辺調査報告書状)	乍恐奉願上覚(西野山村喜右衛門へ貸した当寺祇園社祠堂表の元利返却訴え状) *貼紙で訂正、上げ紙で表借用証文写しあり	乍恐奉願上覚(七郎兵衛江戸御仲間新抱につき)	御請状之事(七郎兵衛江戸御仲間新抱につき)	請状一札之事(十兵衛江戸御仲間新抱につき)	(入作村地割符御免願のひかえ) *イ74関連か	乍恐奉願上候(馬宿村人作へ割賦御免願)	乍恐奉願上口上覚(檀家甚六の借入金返済引訴え状)	請込一札之事(江戸御仲間御抱につき請書)	御受状之事(市場村龜松代に喜助江戸詰御仲間奉公につき)
辰10月	辰(天保3)10月日	天保3年10月10日	晩認 (天保3)10月8日	(文政12年11月24日)	文政2年10月	文政2年6月	文政2年6月	(文政2か)3月29日	文政2年3月11日	(文化11年以降)	文化10年11月	文化3年7月
五人組重兵衛 同断弥兵衛 谷口	橋本町利介組丁内惣代徳兵衛 同 衛 右同断弥兵衛	丁惣代徳兵衛 五人組代重 兵衛 右同弥兵衛	名手堀源十郎	伊都郡橋本町儀助	名手市場村安養寺(印)	下村本人七郎兵衛(印)同村受人 弥三郎(印)下村庄屋平次郎(印)	名手組並野村本人十兵衛(印)同 組同村五人組受重右衛門(印)平 野村正原豊次郎(印)	源右衛門	彦重郎印 吉五郎印 外7名 市場村惣代弥作印 外2 名一肝煎次郎吉印 庄屋源右 衛門印 名手組大庄屋田中 元右衛門	(市場村安養寺住職)	市場村本人嘉宣印 受人親類藤 藏(印)五人組証人利兵衛(印)	有田郡小川村本人喜助(印)海士 郡且来村受人次郎右衛門(印)同 郡同村庄屋七藏(印)
田中助三郎 守安禎藏	谷口勘助	町役谷口勘助	西岡余藏		寺社御奉行所	市場村御役人衆中	市場村御役人衆中		伊都御代官津田太郎右衛門		村御役人衆中	上那賀郡市場村庄屋彦十郎
状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	縦	状	状	状

名手組市場村(諸願・届)

テ-68	ツ-433	ツ-176	ツ-163	ツ-259	ツ-175	テ-90	テ-94	ツ-488	ス-52	ツ-430	ツ-424-2	ツ-424-1	テ-145	
(江戸詰御中間忠右衛門代に有田郡屋尾村藤蔵指し出しの旨願) *2通紙綴り	奉願上覚(ニヶ年定免願) *奥書 名手組大庄屋妹背佐左衛門(印)	(残米借払筋蔵元日延願)	乍恐奉願上口上覚(市場村天野屋庄兵衛へ太物代銀支払い仰せ付 け願)	奉願上口上覚(市場村子御納御通附につき)	乍恐奉願上口上覚(子御通附延引願)	(書替が廻ってこないで御通い附の延引願)	(米高値による小入用割掛につき願書) *草案	乍恐御断り奉申上候口上覚(肝煎・納庄屋役御免願い)	(年貢小入用不納人につき村内縫れの旨訴え状)	乍恐奉願上口上覚(紺屋中荷物これまで通り伝馬継ぎ願)	乍恐奉願上覚(忠助性定次郎義絶願)	乍恐奉願上口上(倅仙蔵儀絶願) *封紙で2通1括	①(書付の下書き送り状) *封紙で2通1括 上書(大和屋儀介殿 谷口勘介)	
辰8月	辰4月25日	卯10月	寅10月	丑10月11日	丑10月	丑6月	丑5月	元治2年4月	天保6年4月	天保5年2月	天保4年12月	巳(天保4か)12月	霜月2日	
市場村庄屋彦十郎	妹背佐左衛門	渡辺門九郎 河嶋七兵衛	妹背四郎五郎	名手庄屋源右衛門	妹背佐左衛門	妹背佐左衛門	妹背佐左衛門	市場村御蔵庄屋源次郎(印)	妹背佐左衛門	市場村御蔵庄屋源次郎(印)	狩宿村文之丞(印)	市場村御徳浪人堀源十郎	名手市場村伝馬庄屋重右衛門(印) 同断菅兵衛(印)村惣代惣五郎(印)	市場村御徳浪人堀源十郎
綴り	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	

名手組市場村(諸願・届)

ツ-123	ツ-171-2	チ-19-30	テ-134	ウ-122	ツ-160	ツ-41	ツ-422	ツ-538	ア-71	ツ-182	ツ-171-1	ツ-222	ツ-216
奉願上口上覚(預かり米を渡すよう仰せ付け願)	(他国・御城下への出稼ぎ御許容願)	乍恐奉願口上覚(馬宿村助ヶ作につき) *伏断簡5点	覚(小入用割差継願)	諸道具附立控 紺屋五兵衛分(借財勘定につき)	奉願上覚(春藏出家願案) *文章の訂正貼り紙あり	覚(喜右衛門跡式八左衛門養子藤兵衛引請につき請け合い一札)	乍恐奉願上覚(伝馬所馬代拝借銀貸し下げ願い) *【奥書】名手組大庄屋野田佐次右衛門印	奉願上覚(三年間の定免願) *【奥書】名手組大庄屋八塚恒三郎印	(養子長松に家相続させたまき旨願書)	乍恐奉願上覚(虫大風につき御見分け傷毛荒願)	奉願上覚(他国・城下への出稼ぎ御免願) *後欠	乍恐御断申上覚(市場村忠助世倅定次郎家出につき旧里義絶仕度)	乍恐奉願口上覚(難渋につき御七里御用勤め仰せ付け願い)
			嘉平(12月)大三十日	9月2日	8月	西6月	申11月	申6月21日	未11月	未8月	午10月	午2月	巳11月
	源十郎		大(大和屋三十郎か)	村御役人衆中井五人組親類中	市場村春藏親六(二郎)印)同肝煎利助印)同松次郎(印)同良助(印)同庄屋彦十郎(印)	請人茂兵衛(印)	市場村惣代善助(印)右同孫作(印)伝馬止藤次郎(印)右同藤藏(印)庄屋次郎(印)右同幸四郎(印)庄屋源十郎(印)	市場村惣代源五郎(印)同孫作(印)同肝煎利助(印)同松次郎(印)同良助(印)同庄屋彦十郎(印)	名手市場村孫之丞母	市場村肝煎万次郎(印)右同幸左衛門 庄屋源十郎(印)	市場村庄屋源十郎(印)	市主善助 張類善兵衛 五人組元右衛門 肝煎幸左衛門 同万次郎 庄屋源十郎	市場村本人幸五郎(印)五人組親類善六(印)同断善兵衛(印)同断源次(印)同断文兵衛(印)張類善助(印)
			庄屋源十郎		八塚恒三郎	源右衛門	野間久左衛門	須山嘉平治	大庄屋妹背佐次兵衛	田中元右衛門	田中元右衛門	田中元右衛門	庄屋源十郎
状	状	状	状	横 帳	状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状

名手組市場村（諸願・届／人別）

ツ-533	ツ-473	ツ-472	ツ-423
請合中一札之事（年貢皆納来る七月まで延納につき）	〔伝馬に関する願書か〕 *前欠、下部固着	奉願覚（丑残米借払筋当年凶作で返納無き旨） *後欠	乍恐口上覚（弥介不納重高尋ねにつき返答） *後欠、訂正加除多い
本人庄蔵（印）同人受人喜助（印） 本人弥三（八印）同人受人又左衛門（印） ほか14名			
状	状断簡	状断簡	状

4 人別

ツ-510	イ-32	ツ-500	ツ-503	ツ-368	ツ-515	ツ-507	ツ-525	イ-89
稼手形之事 *利兵衛倅ふさ共に市場村稼ぎ、代々天台宗惣福寺檀那	男女八歳以上卯三月御改より辰ノ三月御改迄増減人指引帳 村控	宗旨送り一札之事 *基吉女房よし当村文次郎女子お才	送り一札之事 *助次郎35才平右衛門方へ養子、不縁につき送り戻し	送り一札之事 *岩八娘きん28才直助方へ縁付け	送り一札之事 *左兵衛倅のぶ40才左兵衛方へ縁付け	宗門一札之事 *治兵衛倅忠藏36才、茂七方へ養子	稼手形之事 *六兵衛稼ぎのため一ヶ年切れ理助方で借家	五人くみ帳 享保2年3月
寛政8年12月	寛政8年3月	寛政8年正月	寛政7年霜月	寛政6年3月	寛政5年2月	寛政5年正月10日	寛政5年正月	名手組市場村
粉川組東ノ村庄屋京助（印）同村肝煎政六右同断多郎右衛門（印）	上那賀市場村	伊都郡広浦村庄屋六兵衛（印） 同郡同村肝煎弥兵衛（印）	藤井村庄屋文之右衛門（印）右同肝煎政八（印）右同断門蔵（印）地蔵寺（印）	田辺領日高郡東岩代村肝煎三右衛門（印）庄屋与惣大夫（印）	粉川村庄屋幸左衛門（印）右同肝煎七郎右衛門（印）	高野山寺願真因正宮村全庄屋二味院様下治兵衛（印）吉村庄屋喜左衛門（印）年寄文次郎（印）	上丹生谷村庄屋兼助（印）同村肝いり兵四郎（印）同村貞那寺浄土寺（印）	市場村御役人衆中
名手組市場村庄屋肝煎衆中		上那賀郡市場村御役人衆中	名手市場村庄屋肝煎衆中	上那賀名手組市場村庄屋吉次郎	名手組市場村庄屋肝煎衆中	名手市場村御役人中	市場村御役人衆中	名手組市場村庄屋肝煎衆中
状	縦帳	封紙包状	封紙包状	封紙包状	伏	封紙包状	封紙包状	横帳

名手組市場村(人別)

ツ-511	ツ-366	ツ-514	ツ-383	ツ-516	ツ-517	ツ-365	ツ-372	ツ-519	ツ-522	ツ-521	ツ-520	ツ-501	ツ-382
(封紙)	送り一札之事	送り一札	送り手形之事	就切支丹宗門御改一札之事	送り一札之事	送り一札之事	送り一札之事	村送り一札之事	送り一札之事	送一札之事	送り一札之事	送り一札之事	就切支丹御改一札之事
*上書「左門手形」ツ366の封紙	*楠本左門家内四人引へ越し	*喜兵衛女子千代の36才布屋新次郎方へ縁付	*大和屋久左衛門娘さま大上平兵衛方へ縁付け	*長八伴忠蔵当寺恒那	*伊右衛門娘へん27才清吉方へ縁付	*善次郎伴りん29才与四兵衛方へ縁付け	*常助姉きわ46才庄兵衛方へ縁付	*源右衛門女子しる弥兵衛方へ縁付	*善太郎妹のと32才瀬五郎方へ縁付	*五郎兵衛伴五兵衛39才助右衛門方へ縁付、封紙はツ382	*半七女子はる39才治兵衛方へ縁付	*吉蔵32才長四郎方へ善子	*善吉弟皆松25才安左衛門方へ善子
(享和2年7月28日)	享和2年7月28日	享和2年3月	寛政13年正月	寛政12年11月	寛政11年正月	寛政11年正月	寛政10年2月	寛政10年正月日	寛政10年正月	寛政10年正月	寛政9年2月	寛政9年正月	寛政9年正月
	泉州大鳥郡湊村年寄重兵衛(印)	池田組新村庄屋文右衛門(印)	摂州大坂長町七丁目会所(印)	(海士郡日方浦永正寺(印))	田中組打田村庄屋忠助(印)	上田井肝煎要蔵(印)同村右同武兵衛(印)同村庄屋儀右衛門(印)	西野山村肝煎常助(印)同村庄屋一郎兵衛(印)	新在家村庄屋佐兵衛(印)	右同旦那寺如意輪寺(印)	上那賀野上村庄屋楠三郎(印)同久七(印)	那智郡田中組窪村庄屋多郎二郎(印)同村肝煎与七郎(印)	市場村肝煎良助(印)同庄屋彦十郎(印)	東三谷村庄屋与中(印)同村肝煎又左衛門(印)同断伊兵衛(印)
	紀州名手市場村御役人中	名手組市場村役人衆中	市場村御役衆中	名手組市場村庄屋肝煎衆中	名手市場村庄御役人衆中	市場村役人衆中	名手市場村御役人衆中	名手組市場村役人衆中	名手組市場村役人衆中	伊都郡名手市場村庄屋彦次郎 肝煎衆中	名手市場村御役人衆中	麻津庄赤沼田村御役人中	名手組市場村庄屋肝煎衆中
封紙	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

名手組市場村(人別)

ツ-518	ツ-369	ツ-505	ツ-508	ツ-374	ツ-523	ツ-370	イ-31	ツ-513	ツ-363	ツ-506	ツ-380	ツ-373	ツ-384
送り手形之事	送り一札之事	送り一札之事	送り一札之事	送り一札之事	就切支丹御改送り一札之事	村送り一札之事	午年八才以上改帳	俗性送手形之事	送一札之事	寺手形一札之事	村送り一札之事	送り一札之事	宗旨送一札之事
* 佐兵衛妹かね29才久次郎方へ縁付	* 藤吉控三人家内四人引越	* 八左衛門養子藤兵衛36才	* 友七妹はつ52才久蔵方へ縁付	* 市右衛門娘もん36才弥重郎方へ縁付	* 平右衛門娘ぎん36才龟次郎方へ縁付	* 八左衛門女子りつ45才善四郎方へ縁付		* 九右衛門娘つき48才源藏方へ縁付	* 十太夫娘しやん58才嫁ぎ方	* 喜助、代々浄土宗	* 与平妹なか39才与市方へ縁付	* 加兵衛妹かね19才利助方へ縁付	* 吉之丞悱ふん利八方へ縁付
文化11年正月	文化10年8月	文化10年7月	文化10年2月	文化10年2月	文化10年正月	文化8年正月	文化7年	文化7年9月	文化4年7月	文化3年7月	文化3年2月	文化3年正月	享和3年6月
中飯降村庄屋佐五郎(印)	後田村庄屋十左衛門(印)同村肝煎勤兵衛(印)	紀州上那賀市場村証人請人茂兵衛(印)庄屋八兵衛(印)	同村肝煎忠治郎(印)	丁ノ町組嶋村庄屋弥重郎(印)	同村肝煎忠治郎(印)	黒土村庄屋久右衛門(印)右同村阿弥陀寺(印)	市場村	和泉国南郡作才村年寄善右衛門(印)	有田郡田角村庄屋次兵衛(印)同村肝煎権五郎(印)	有出郡小川村薬土寺(印)	西ノ山村肝煎恒助(印)同村庄屋兼帯穴伏村庄屋長四郎(印)	池田組新村庄屋文右衛門(印)	西洪田村庄屋太郎左衛門(印)同所地藏寺(印)
市場村御役人衆中	市場村役人衆中	名手組市場御役人衆中	名手組市場村御役人衆中	名手組市場村御役人衆中	名手組市場村御役人衆中	市場村御役人衆中		紀州那賀郡名手市場村庄屋源右衛門	名手庄市場村庄屋彦十郎同村肝煎衆		市場村村役人衆中	名手市場村庄屋肝煎衆中	名手市場村ニ而安養寺同所村役人中
封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	横帳	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状

名手組市場村（人別）

イ-38	イ-37	イ-36	イ-35	イ-34	イ-33	ツ-388	テ-50	ツ-524	ツ-367	ツ-362	ツ-512	ツ-364	ツ-371
文政十一年三月御改より文政十二丑三月迄人数指引増減帳 控	文政十亥三月御改より文政十一年三月迄人数指引増減帳	文政九歳戌三月御改より文政十歳亥三月迄人数指引増減帳 村控	文政七未申三月御改より文政八酉三月迄人数指引増減帳 控	文政六未三月御改より文政七申三月迄人数指引増減帳 村ひかへ	文政五年三月御改より文政六未三月迄人数指引増減帳	宗旨送り手形一札之事 *ニ又村安次郎俸亀蔵36才市場村佐兵衛方へ引越	稼手形一札之事（備前和氣郡ニ又村亀蔵名手市場村佐兵衛方に引越し稼ぎにつき） *ツ388関連	宗旨送り一札 *平右衛門弟古兵衛おくま方へ差子	送り一札之事 *安兵衛俸女子下代楠安次郎妻	送り一札之事 *七左衛門才家内引越	出生送り手形之事 *弁蔵娘ぬひ30才右衛門方へ縁付	送り寺手形之事 *留七俸しけ35才利兵衛方へ縁付	就切支丹御改之事 *伽助妹かる35才清右衛門方へ縁付け
（文政12年3月）	（文政11年3月）	（文政10年3月）	（文政8年3月）	（文政7年3月）	（文政6年3月）	文政3年4月	文政3年正月	（文化14年2月）	文化13年正月	文化13年正月	文化12年7月日	文化12年2月日	文化12年正月
市場村	市場村	市場村	市場村	名手組市場村	市場村	備前和氣郡南方村松本寺 理性院（印）	三又村亀蔵親安次郎（印）同 村庄屋徳兵衛（印）	下村神宮寺（印）同村庄屋平 治郎（印）	丁ノ町組窪村肝煎文次郎（印） 同村庄屋平兵衛（印）	有田郡藤並組長田村庄屋利 右衛門（印）同村肝煎兵蔵（印）	那賀郡窪村庄屋九兵衛（印） 衆中	九度山村庄屋政八（印）同村 檀寺遍照寺（印）	粉河領藤井村庄屋又右衛門（印） 同村肝煎柳助（印）右同次郎 （印）同地蔵寺（印）
							名手市場村御役人衆中	安養寺方丈 御村役人衆中	名手組市場村御役人衆中	伊都郡名手組市場村御役人 衆中	伊都郡名手組市場村御役人 衆中	名手市場村庄屋源右衛門 同村安養寺参る	名手組市場村庄屋肝煎衆中 安養寺参る
罫帳	罫帳	罫帳	罫帳	罫帳	罫帳	伏	伏	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

名手組市場村（人別／定免）

5 定免

ツ-297	ツ-296	ウ-48	ツ-376	ツ-375	ツ-504	ツ-381	イ-44	イ-43	イ-42	イ-41-1	イ-40	イ-39-1
已免定 市場村	免定 *妻書 木村平左衛門（印）	免定	往来一札之事 *牧野駿河守領越後国大沼郡山頭村百姓五右衛門心願にて金比羅参詣	往来一札之事 *八左衛門妻その四国西国巡拝	（封紙） *上書 村送り一札 西野山村	宗旨村送り *糸右衛門女子くす先年嘉八方へ縁付け	拾五歳より六拾才迄人数改	天保五年午三月御改より同六歳末三月迄人数増減帳	子年より当年迄七ヶ年目増減惣人数大改控帳	天保四年巳三月御改より天保五歳午三月御改迄（増減指引人数帳） 控江 *くくり付け文書 ² 義絶・養子・縁付人書上あり	巳三月御改文政十三寅三月御改より天保式卯三月迄人数指引増減帳 控	巳三月御改より寅三月迄八歳以上増減人数指引帳 ひかへ *綴じ紐にくくり付け文書 ^{1,2} 出奔・義絶人数書上あり
文化6年10月	文化3年10月	寛政9年10月	文化8年6月	文化6年2月日		2月	寅4月	（天保6年3月）	（天保5年3月）	（天保5年3月）	（天保2年3月）	天保2年正月
野間久左衛門（印）	湯川八左衛門（印）	水崎楠左衛門 渡辺門九郎 河嶋七兵衛	越後国大沼郡山頭村名主嘉藤治（印）	紀州那賀郡名手市場村安養寺印 抹消同村庄屋堀源次郎（印抹消）		西河原村庄屋平左衛門（印）	上那賀市場村	名手組市場村	市場村	上那賀市場村	名手組市場村	名手組市場村
庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	国々御関所村々御名主中	国々御関所村々御役人衆中		市場村庄屋源次郎						
封紙包状	封紙包状	横 綴	状	状	封 紙	状	整 帳	整 帳	整 帳	整 帳	整 帳	整 帳

名手組市場村(定免)

ツ-311	ツ-310	ツ-309	ツ-308	ツ-307	ツ-306	ツ-305	ツ-304	ツ-303	ツ-302	ツ-301	ツ-300	ツ-299	ツ-298
已免定写	已免定	免定	子免定	免定	酉免定	免定 市場村	未免定	免定	免定 市場村	戌免定	免定	免定	免定
*端裏「天保四年(十月)堀源十郎正補庄屋役受候初リ」						*文政7年中戌式ヶ年			*文化14年(丑寅卯ニヶ年間定免)				
天保4年10月	天保4年10月	文政13年10月	文政11年10月	文政10年10月	文政8年10月	文政7年10月	文政6年10月	文政3年10月	文化14年10月	文化11年10月	文化10年10月	文化8年10月	文化7年10月
志賀弥三左衛門	志賀弥三左衛門(印)	志賀栄吉(印)	山田郷助(印)	山田郷助(印)	山田郷助(印)	小堀九郎左衛門(印)	小坂九郎左衛門(印)	津田太郎左衛門(印)	服部八郎(印)	野間久左衛門(印)	野間久左衛門(印)	野間久左衛門(印)	野間久左衛門(印)
庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中	庄屋肝煎惣百姓中
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

名手組市場村(定免/年貢・諸掛かり)

6 年貢・諸掛かり

ウ-136	イ-50	ウ-26	ウ-135	ウ-134	ウ-153	ウ-133	ウ-132	ウ-131	ウ-128	ウ-127	ウ-126	ウ-2
戌ノ免割賦帳	御種借シ元米式拾九石九升 過不足有之ニ付石四升宛平シ帳	酉御蔵小割帳	申ノ免割賦帳	未ノ免割賦帳	未之免割田高寄帳	午ノ免割賦帳	辰ノ免割賦帳	卯ノ免割賦帳	寅ノ田方免割帳	寅ノ免割帳	子之田方免割帳	(未免定)
寛保2年霜月	寛保元年極月	寛保元年極月	元文5年霜月	元文4年霜月	元文4年10月	元文3年霜月	元文元年霜月	享保20年霜月	享保19年11月	享保19年霜月	享保17年10月	天保5年10月
市場村		名手組	市場村	市場村		市場村	市場村	市場村	名手組市場村	名手組市場村	名手組市場村	岡本勘右衛門
												庄屋肝煎惣百姓中
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横綴

名手組市場村（年貢・諸掛かり）

ウ-25	ウ-95	カ-48	カ-49	ウ-150	ウ-87	ウ-86	ウ-158	ウ-85	イ-86	ウ-157	ウ-156	ウ-155	ウ-154
卯之納伝甫御蔵詰辰年中諸色入用五組朝賦帳	辰之小入用附覚	御宝塔御代参三浦遠江守様高野山御登山被為遊候節高野山より禿 送人馬入用帳	御宝塔御代参三浦遠江守様高野山江御登山之節東野村出張馬役 所并高野辻より禿迄諸入用并右勘定之時諸入用帳	未「 <small>（之本田畑新田畑）</small> 」免割高寄帳	午歳中小入用割賦帳	巳年中小入用割賦帳	辰之本田畑新田畑免割高寄帳	寅年中小入用割賦帳	〔免割帳・納通等貼継一括〕	申之本田畑新田畑免割高寄帳	午之本田畑新田畑免割高寄帳	辰之本田畑新田畑免割高寄帳	丑之本田畑新田畑免割高寄帳
天明5年4月	天明4年	明和2年9月5日	（明和2年9月か）	宝曆12年（11月）	宝曆12年正月吉日	宝曆11年正月吉日	宝曆10年11月	宝曆8年正月吉日	（宝曆7〜寛政2年）	宝曆2年11月	寛延3年11月	寛延元年11月	延享2年11月
名手組	名手組	高野辻役所		名手組市場村佐左衛門	市場村庄屋佐左衛門	市場村庄屋佐左衛門	名手組市場村佐左衛門	名手組市場村		市場村庄屋佐左衛門	市場村庄屋佐左衛門	名手組市場村	名手組市場村
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

ウ-39 -1	ウ-17	ウ-16	イ-53	ウ-18	ウ-19	ウ-147	イ-24	ウ-23	ウ-20	ウ-146	ウ-21	ウ-22	ウ-24
当西納り式夫米并畑銀先納割符集帳	酉歳中諸泊り小入用附帳	酉御蔵割小歩寄寛帳	金銀出入帳 *表紙下部欠	申御蔵詰諸色割賦帳 *見出し「未申組割帳」冊	午納伝法御蔵詰未年中諸色入用五組割賦帳	未御年貢取立帳	御年貢御書替控帳	午小入用附キ御泊り帳 *見出し「組立小入用附帳小寄帳并二人足帳」	午御蔵詰諸色入用組割賦帳	午御年貢取立帳	午御蔵小入用立集帳	辰納伝甫御蔵詰巳年中諸色小入用五組割賦帳	巳御蔵詰諸色組入用割賦帳 *見出し「巳年御割組割帳」
寛政元年6月	寛政元年正月	寛政元年1月	天明9年正月吉日	天明8年霜月吉日	天明8年10月	天明7年11月	天明7年9月	天明6年	天明6年12月	天明6年11月	天明6年霜月	天明6年5月	天明5年12月
市場村庄屋元				名手組	名手組			市場村	名手組	御蔵方		名手組	名手組
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

ウー11 -3	イー51	ウー149	ウー41 -1	ウー12	ウー13	イー25	ウー11 -1	ウー14	ウー148	ウー96	ウー15	ウー27	ウー39 -2
戌残米直平シ帳	金銀出入帳	戌御年貢取立帳	御代官所納り来亥御収納宛先納帳	戌御蔵詰諸色割賦帳	申納伝法御蔵詰酉年中諸色入用五組割賦帳	戌納合高帳	酉残米并ニ町家直取衆借附直平シ帳	戌歳中御泊り小入用附帳	酉御歳貢取立帳	状持人足覚帳	酉御蔵詰諸色割賦帳	酉納合高帳	御代官所部御役所先納銀小前取立帳
寛政3年6月	寛政3年正月吉日	寛政2年11月	寛政2年11月	寛政2年11月	寛政2年10月	寛政2年9月	寛政2年6月朔日	寛政2年正月	寛政元年11月	寛政元年11月	寛政元年霜月	寛政元年9月	寛政元年6月
			市場村	名手組	名手組			名手組	市場村	名手組市場村	名手組		市場村
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

ウ-11 2	ウ-47	ウ-8	ウ-151	ウ-138	ウ-97	ウ-9	ウ-41 -2	ウ-10	カ-38	ウ-150	ウ-137	イ-26	イ-83
亥残米御切米并ニ町家筋子六月迄借り附直平シ相定帳	亥御納米之内不納高寛帳	子御蔵詰諸色割賦帳	子御年貢取立帳	子木新田畑免割賦帳	子年中小入用割賦帳	子歳中御泊り小入用附帳	去戌暮先納御下ケ利銀人別請取印形帳	亥御蔵詰諸色割賦帳	本田畑高并荒高共調帳	亥御年貢取立帳	亥本新田畑免割賦帳	亥納合高寛帳	村地畝高人数控寛帳
寛政4年	寛政4年12月改	寛政4年12月	寛政4年11月	寛政4年10月	寛政4年正月	寛政4年正月	寛政3年12月	寛政3年極月	寛政3年11月	寛政3年霜月	寛政3年10月	寛政3年9月	寛政3年8月改
		名手組		市場村	市場村		市場村	名手組	市場村	市場村	市場村		
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

ウー6	カー58	ウー139	ウー100	ウー99	カー56	ウー98	ウー123	ウー7	イー49	ウー32	イー52	イー27	ウー31
辰納伝甫御蔵詰巳年中諸色入用五組割賦帳 *橋谷組・入郷組・丁ノ町組・名手組・傍川組の署名押印	菜種買石教油絞り石教御調べ帳	巳本新田畑免割賦帳	巳年中小人用割賦帳	辰年中小人用割賦帳	株附茶口銀取立上納帳	寅年中小人用割賦帳	酉戌亥年賦承知印形帳	亥納伝甫御蔵詰子年中諸色入用五組割賦帳	戌亥不納銀高借附筋寛帳	戌亥不納高寛帳	丑歳中金銀出入帳	子納合納高控帳	子御蔵割越銀集帳
寛政10年6月	寛政9年	寛政9年10月	寛政9年正月	寛政8年正月	寛政7年6月	寛政6年正月吉日	寛政5年12月	寛政5年3月	寛政5年2月改	寛政5年2月	寛政5年正月吉日	寛政4年	寛政4年
名手組	名手組市場村控	市場村	市場村	市場村	上那賀名手組	市場村	市場村庄屋元	名手組		市場村			
横帳	竖帳	横帳	横帳	横帳	竖帳	横帳	横帳	横帳	横帳	竖帳	横帳	横半帳	横半帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

ウー109	ウー108	ウー107	ウー143	ウー106	ウー142	ウー105	ウー104	ウー103	ウー141	ウー102	カー39	ウー140	ウー101
辰年中当座帳	辰歳中小入用割賦帳	卯歳中小入用割賦帳	丑ノ本新田畑割賦帳	丑歳中小入用割賦帳	子之本新田畑割賦帳	子歳中小入用割賦帳	亥歳中小入用割賦帳	戌歳中小入用割賦帳	酉本新田畑割賦帳	酉歳中小入用割賦帳	後田村用水取新溝市場村領たにくわ江御普請被仰付候ニ付溝床荒高調并床銀請取渡し双方承知印形帳	未本新田畑割賦帳	未歳中小入用割賦帳
文化5年5月吉日	文化5年正月	文化4年正月	文化2年正月	文化2年正月	享和4年正月	享和4年正月	享和3年正月	享和2年正月	享和元年10月	寛政13年	寛政12年4月	寛政11年10月	寛政11年正月
庄屋元	市場村	市場村	市場村		市場村	市場村							
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳	横帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

カ-40	ウ-113	イ-45 -1	ウ-160	イ-45 -3	イ-45 -2-2	イ-45 -2-1	ウ-112	ウ-145	ウ-111	イ-45 -5	ウ-110	ウ-144	イ-45 -4
酉御毛見指出シ帳 ひかへ * 出損甚大	未割後覚帳	卯辰巳午氏子割惣指引尻迫シ帳 * 5冊一綴	午之本田畑新田畑免割高寄帳	卯小入用残帳	巳のこり払 * 綴じ紐にくくり付け文書あり	辰巳酉歳小入用残帳	巳小入用割後帳 * 綴じ紐にくくり付け文書あり	巳本新田畑割賦帳	巳歳中小入用割賦帳	辰小入用残書出し帳	辰小入用割後帳	辰本新田畑割賦帳	卯小入用残書出し帳
文化10年	文化8年12月	文化8年正月	文化7年11月	文化7年2月		文化7年正月吉日	文化6年12月	文化6年11月	文化6年11月	文化5年	文化5年12月	文化5年11月	文化5年6月
市場村	市場村	市場村	名手組市場村庄屋源右衛門	市場村		市場村	市場村	市場村	市場村	市場村	市場村	市場村	市場村
縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

名手組市場村（年貢・諸掛かり）

ウー88	ウー118	ウー129	ウー52-3	ウー52-2	ウー52-1	ウー51	ウー125	ウー30	ウー50	イー85	ウー115	ウー114	イー84
卯小入用割賦帳	寅小入用割賦帳	寅本田畑新田畑免割帳	亥御納米仕送帳	亥不納人名前帳	亥御年貢納合取立帳	亥不納人書抜キ帳	亥納「」	御蔵平シ割負銀集帳	戌年御納米払上指引勘定帳	村地免割帳	巳年中小入用割賦帳	辰歳中小入用割賦帳	村地畝高相改帳 文化十五寅三月御上より御改ニ付相調へ差上申候
天保2年	文政13年	文政13年11月	文政11年9月11日	文政11年9月	文政11年9月	文政11年5月日	文政10年	(文政10年) 12月	文政10年11月 *2冊あり	文政4年11月	文政4年正月	文政3年	(文化14年3月)
名手組市場村	名手組市場村	市場村庄屋彦四郎	元御蔵庄屋源治郎	元御蔵庄屋源次郎	元御蔵庄屋源次郎	御蔵庄屋源次郎		市場村御蔵庄屋源次郎		市場村庄屋元	市場村	市場村	市場村
			御蔵庄屋彦四郎	御蔵庄屋彦四郎	御蔵庄屋彦四郎								
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

カ-53	イ-78 -1	ウ-130	ウ-56	ウ-53 -1	イ-28	ウ-53 -2	ウ-54	ウ-55	キ-3	ウ-92	ウ-90	ウ-89	カ-41
御忌割符残り名前帳	巳歳中小夫株立帳	巳本新田畑免割帳	傷毛雑用取立帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	傷毛雑用割賦帳	免割入用帳	巳傷毛雑用控帳	上那賀名手組市場村本新田畑内当傷毛改帳	当巳年田畑傷毛出シ控帳	巳傷毛願高地引帳	巳年村中より取かへ物控帳	辰割後入用控帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	辰歳小入用受取払帳	当辰傷毛荒地引帳
天保4年12月改	天保4年12月	天保4年11月	天保4年11月	天保4年10月27日	天保4年10月27日	天保4年9月吉日	天保4年9月	(天保4か)8月16日	天保4年8月	天保4年正月日	天保3年12月	天保3年9月	天保3年9月
市場村分	市場村	市場村庄屋源十郎	市場村庄屋元	市場村					市場村	庄屋元	市場むら庄屋元	名手組市場村庄屋彦四郎	市場村
横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

イ-29	カ-13	イ-78 -2	ウ-59	ウ-58	カ-43	ウ-57	キ-5	キ-4	ウ-94	カ-11	ウ-91	ウ-93	イ-10
午免割日役飯控并小入用割	天保五年午小入用不足書抜キ	午歳中小夫株立帳	傷毛雜用割符帳	伊都郡市場村免定本田畑之内当傷毛荒畝高改帳	午傷毛順道控帳	当毛荒附立帳	午傷毛願高地引帳	村地步預ケ書抜	村方諸色出入当座帳	高祖一千年御忌ニ付入用取かへ	巳小入用割符帳	巳歳中小入用受払帳	氏子陸北山割符差引帳 *馬宮・野上・切畑・中村・西ノ山・後田・穴伏・東川原・市場・西ノ村・符宿
天保5年	天保5年	天保5年12月	天保5年11月日	天保5年10月	天保5年8月29日	天保5年8月21日	天保5年8月	天保5年3月	天保5年正月吉日	(天保4年か)	天保4年	天保4年12月吉日	天保4年12月
		市場村	市場村	庄屋源十郎	市場村	市場村	市場村	市場村	庄屋元		名手組市場村	庄屋源十郎	年番源「」
横半帳	横綴	横帳	横帳	横帳	縦帳	横帳	縦帳	縦帳	横帳	横綴	横帳	横帳	横帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

カ-47	チ-19 -4	ウ-3	キ-9	キ-8	キ-7	カ-45	イ-75	イ-46 -1	ウ-29	ウ-152	テ-296	ウ-60	ウ-61
御鷹御入米ニ付諸雑用控帳	覚 毛附後新破損賃米	御蔵小入用	村地迷書上帳 ひかへ	村地迷米覚	田畑新田荒高覚 ひかへ	本田畑新田畑古荒場所畝高帳 <small>*綴じ紐にくくり付け文書あり</small>	村地迷ひ米覚 上那賀市場村ひかへ	子年指引勘定書(御蔵所納・伝法入米などにつき) <small>*綴じ紐にくくり付け文書1・2・3米代覚あり</small>	伝甫御蔵帳	当子御年貢取立帳 御蔵所	(代官所毛見の節入用銀覚)	当未ノ傷縫渡シ帳	傷毛雑用取立帳
午12月3日	巳極月29日	巳12月	寅4月	寅4月	寅4月	寅4月	寅3月	子年	子極月	元治元年霜月霜月	(天保10年9月26日)	天保6年	天保6年12月
	役所		上那賀市場村	上那賀市場村	上那賀市場村	上那賀市場村	市場村肝煎次郎貞(印)同右幸四郎(印)同庄屋源右衛門(印)	天の屋庄兵衛	平兵衛	名手市場村天野屋庄兵衛内	納庄屋庄屋件		市場村
	市場源十郎						田中元右衛門	御蔵庄屋源次郎					
横帳	状	横帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	横綴	横半帳	横帳	状	横帳	横帳	

名手組市場村(年貢・諸掛かり)

カー12	チー1	ウー49	ウー1	チー19 -29	ウー84	カー46	ウー35	ウー11 -4	イー91	ウー124	イー68	ウー5	ウー4
高祖一千年御忌入用氏子割通	郷出銀請取通 *袋上書「大保三辰年 御役所通入」	市場村御蔵納合通 *郷役米通(山田郷助↓市場)あり	戌納通	覚(茶口銀・馬代ほか・二夫米代受取) *3通	(郷出銀受取通綴)	当[地引順出シ帳	戌不納人名前帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	(切米代書上覚)	ミノ割後午ノ年中当状夫覚帳	当辰割後諸色控覚帳	小入用割飯控帳	戌御納米仕送帳	傷毛諸造用控帳
天保4年3月	天保3年12月	文政9年12月	文政9年11月	文化13年10月20日、丑 6月20日、子10月20日	(文化5、文政2年) (名手組大庄屋元)					12月16日、	12月8日、	亥6月	未8月9日より
市場村	名手組大庄屋元(印)	名手組大庄屋元(印)	山田郷助(印)	名手組役所(印)	(名手組大庄屋元)				彦三郎	市場村庄屋元		二元御蔵庄屋文次	
	市場村庄屋彦四郎		市場村	市場村庄屋源右衛門	(市場村庄屋源右衛門)							御蔵庄屋源治郎	
横 綴	袋入横綴	横 綴	綴	状	横綴の綴	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横半帳	横 帳	横 帳

名手組市場村(年貢・諸掛かり/用水)

イ-48-3-3	イ-48-1	イ-48-2	イ-48-3-1	テ-118	ツ-350	ツ-292	ツ-291	ツ-293	カ-36
末大池三ヶ村割賦帳	午ノ大池三ヶ村割賦帳 *縦じ紐にくくり付け文書あり	巳大池三ヶ村割賦帳	辰大池三ヶ村割賦帳	大池新樋伏込御「」人足着到入用「」 <small>〔書〕</small>	御証文之写(大池尻開発につき定書) *〔奥書〕正徳五年末八月 小山田庄助 関口弥太郎	乍恐返答口上書(符宿村と市場村池床高小入用出入りにつき)	乍恐返答口上書(符宿村と市場村池床高小入用出入りにつき) *訂正加除多い	乍恐奉願口上(符宿村と市場村池床高小入用出入りにつき訴状)	馬宿村高ノ内池床米大豆高帳 *馬やと書右衛門・同左助・同伊右衛門・同小倉・市場村庄屋年寄衆
文化8年12月	文化7年12月	文化6年12月	文化5年12月	享和3年2月	宝永6年10月	元禄10年5月	元禄10年5月	元禄10年4月	寛永14年9月11日
市場村	市場村	市場村		市場「」	符宿村孫右衛門 同村庄屋 兄右衛門 同村肝煎彦八 同断彦大夫	市場村庄屋太郎二郎(印)同肝煎兵衛(印)同助十郎(印)同孫之丞(印)	市場村庄屋太郎二郎 同肝煎助十郎 同孫之丞 同庄兵衛	馬宿村庄屋庄右衛門 肝煎喜藏 同善三郎 同九郎三郎 角十郎 孫市 佐介	市場村
						大庄屋妹背佐五兵衛	大庄屋妹背左五兵衛	妹背佐五兵衛	
横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	状	状	状	状	竖帳

7 用水

チ-19-25	カ-10	チ-19-24
〔封紙〕 *封紙一巨通入 市場村、おそらくチ19、24の封紙か	(氏子割・北山割・陸割ほか通綴) *7通一綴	郷出銀請取通
	(天保4年)	天保4年12月
	(市場村分)	名手組大庄屋元
		市場村庄屋源十郎
封紙	状	横綴

名手組市場村(用水)

ター12 -1	ター12	イ-47 -2-1	ター12 -2	ター114	ター48	ター3	イ-48 3-2	イ-48 -7	イ-48 -6	イ-48 -5	イ-48 -4	イ-48 -3-5	イ-48 -3-4
巳小田井割通 市場村	【袋入り2通一括】 *袋上書「市場村 巳小田井割通入」	巳歳大池掛り入用市場馬宿狩宿三ヶ村江割符帳 *綴じ紐にくくり付け文書-2・-3・-4 入用・工数寛あり	小田井筋名手川七渡井新破損御普請人足通	辰歳大池懸り入用市場馬宿狩宿三ヶ村江村割符帳 *人足に関する添付文書あり	為取替一札之事(新池普請のため高野寺領麻生五ヶ村と名手荘南五ヶ村替え地につき)	寅歳大池懸り入用三ヶ村割符帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	(丑から巳年分元利差引寛)	丑ノ大池三ヶ村割賦帳	子大池三ヶ村割賦帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	亥ノ大池三ヶ村割賦帳	戌大池三ヶ村割賦帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	西大池三ヶ村割賦帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	申大池三ヶ村割賦帳
天保4年	(天保4年)	天保4年12月	天保4年7月	天保3年12月	天保3年11月	文政13年12月吉日		文化14年12月	文化13年12月	文化12年12月	文化11年12月	文化10年12月	文化9年12月
		名手組市場村	市場村	名手組市場村	喜多浦村・中村・横谷村・赤沼川村・西野脇村・西野村・後田村・市場村・穴伏村庄屋・村惣代連印	名手組市場村		市場村	市場村	市場村	市場村	市場村	市場村
状	袋	横帳	横半帳	横帳	状	横帳	横綴	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

ケ-7 -37	ケ-7	ツ-285	ツ-89	ウ-34	ウ-33	ウ-46	ウ-42	ウ-40	ウ-40	ツ-481	イ-47 -1-1
覚(代金勘定)	【袋入り46通一括】 *袋上書「天保五年村方書出シ入」	覚(御立用金受取)	覚(立用金利子下渡) *2通綴	伊都御立用金控	伊都御立用金控	御代官所納り去ル戌ノ十一月立用納元銀御居直ニ付年々利銀御下ケ銀主銘々江相渡シ頂戴印形帳	去酉十月以来被仰付候立用納御下ケ利銀元利とも御立直段を以割返御下ケ米人別渡帳	①亥酉十月以来被仰付候立用納御下ケ利銀人別指引帳	②戌七月被仰出候立用金人別名前并追而御下ケ利銀とも御立直段を以割返シ夫々米指引帳	為取替一札之事(新池普請による替え地につき)	午年大池掛り入用割符帳 *2冊綴綴じ紐にくくり付け文書-2・-3入用・工数書あり
午2月2日	(大保5午年)	未11月	慶応4年7月	嘉永2年10月18日	天保10年5月	寛政4年11月	寛政2年11月	寛政2年11月	寛政2年8月	文久3年12月	天保5年12月11日
多屋清兵衛		名手組大庄屋元印)	宮本孫之丞印	(堀源太夫)	堀源重郎正耀 年四十三歳之節	市場村	名手組市場村	名手組市場村	市場村	後田村・市場村・穴伏村・西野村・西之脇村・中村・喜多崎村・横谷村・赤沼田村所屬村惣代連印	市場村
村役人		市場村源次郎	上那賀名手組市場村役人江、源太夫								
状	袋	状	綴	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳

9 袋入り一括文書

8 立用金

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-7 -33	覚 (工賃勘定)	12月14日	伝之助		状
ケ-7 -29	覚 (小田井筋割ほか勘定)	午極月13日	大たや弥兵衛	御村方	状
ケ-7 -36	覚 (丸太代)	極月11日	材木や常右衛門	堀源右衛門	状
ケ-7 -35	覚 (割木代)	午12月11日	谷口屋又左衛門	村方御役源次郎	状
ケ-7 -21	② (「」数書上)	(12月10日・13日)			状
ケ-7 -3	覚 (食品代勘定)	午12月10日	喜助	村庄屋源治郎	状
ケ-7 -13	覚 (半紙ほか代金勘定)	午12月9日	布や新兵衛	御村方	状
ケ-7 -5	覚 (小田井割銀ほか書上)	極月9日	松源	村御役人衆	状
ケ-7 -24	覚 (魚ほか食品代金書上)	12月2日	魚吉	堀源十郎	状
ケ-7 -15	覚 (杉木代金勘定)	午7月	材木屋常右衛門	市場邑庄屋許	状
ケ-7 -38	覚 (樽代銀)	卯月11日	酒屋庄右衛門	名出文輔 妹背佐次兵衛	状
ケ-7 -7	覚 (人足遣わす旨)	午3月	御勘定同心西村惣吉(印)同右 田松之助(印)同田中大蔵(印)		状
ケ 7 -32	覚 (籠人足遣わす旨)	午3月16日	御勘定同心中嶋源蔵(印)同 加和村半助		状
ケ-7 -31	覚 (ろうそく送り状)	午3月16日	中嶋源蔵(印)加和村半助		状

ケ-7 -20	ケ-7 -18	ケ-7 17	ケ-7 -16	ケ-7 -10	ケ-7 -6	ケ-7 -42	ケ-7 -1	ケ-7 -20	ケ-7 -40	ケ-7 -34	ケ-7 23	ケ-7 -21	ケ-7 -28
③覚（人足賃ほか勘定）	覚（工賃勘定）	覚（工賃勘定）	〔す・池守賃・人足賃ほか勘定〕 *前欠	覚（人夫酒代勘）	覚（筆ほか代金勘定）	覚（利人と払い銀書上）	覚（金銭勘定し遣わす旨）	②覚（代銀渡し願）	覚（御勘定同心が来た時の入費）	〔芝原検校分代金書上〕	覚（酒そばほか食品代金書上）	③覚（割木二束代）	覚（そば代銀）
午12月	午極月	午12月	午12月	午12月	12月朔天	極月29日	午極月21日	極月20日	極月19日	（極月17日）	12月17日	12月17日	午極月15日
庄兵衛	石見や利兵衛	山原弥右衛門	すや彦十郎	布屋酒店	庄助	ヲニばし喜兵衛	大た屋弥兵衛	神宮寺納所（印）	松源		市右衛門	瓦や文兵衛	小じま源兵衛
御役人	市場村方	村方御役人衆中	御役人衆	堀源重郎	村方御役人衆中	村役人衆中	庄屋源十郎	堀源重郎	村御役人衆仲		村御役人	村方御役人衆中	村方御役人
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-7 -8	ケ-7 4	ケ-7 -2	ケ-7 -14	ケ-7 -27	ケ-7 -43	ケ-7 -41	ケ-7 -41	ケ-7 -39	ケ-7 -30	ケ-7 -26	ケ-7 -25	ケ-7 -22	ケ-7 -21
覚(飛脚賃ほか勘定)	覚(残銀渡し願)	覚(工賃勘定)	口上(小入用受払帳面へ記載願)	覚(納め分金額勘定)	覚(代金勘定)	②覚(材木代)	①覚(醬油代)	覚(代金勘定)	おほへ(とうふほか食品代金勘定)	覚(金銭勘定)	覚(石材代金書上)	覚(小田井前割ほか金額書上)	①覚(豆腐代金)
			大30日	29日	午12月	午極月	午12月	午極月	午12月	午極月	12月	午12月	極月日
		北利右衛門	万次郎	庄兵衛	多屋清兵衛	材木屋常右衛門	米屋彦三郎	義八	ふじや		いしや佐左衛門	谷口屋又左衛門	坂屋儀兵衛
		御役人衆中	源重郎 幸左衛門	御役人衆中	御役人中	は村堀源治郎	庄屋源右衛門	堀源次郎	御村方役人衆中	村方御役人衆中	堀氏	村方御役人衆	村方役人中
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-7 ケ-11	ケ-7 ケ-12	ケ-7 ケ-14	ケ-7 ケ-19	ケ-7 ケ-20	ケ-7 ケ-21	ケ-7 ケ-45	ケ-7 ケ-46	ケ-8	ケ-8 ケ-6	ケ-8 ケ-8	ケ-8 ケ-7	ケ-11
覚(工賃勘定)	(彦三郎分高・工賃書上覚)	(幸左衛門分工賃ほか書上覚)	村伏新(工賃勘定)	①(工敷書上)	④覚(巳年御宮出し食品代金)	(表依敷勘定書)	〔小麦ほか入用物値段段書上〕	【袋入り9通一括】 *袋上書(天保五年村方書出入并ニ受取入、6通は別項へ)	覚(村小入用ほか勘定)	〔御蔵米納めの舟賃を小入用に加える旨書状〕	覚(代銀勘定)	覚(飛脚賃ほか勘定)
				*3通重ね巻			享和元年7月・14日	(天保5年年)		12月29日	12月29日	
			尾張屋仙助							後田六左衛門	庄兵衛	天野やみせ
					頭取重兵衛					市場村庄屋源次郎	御役人衆中	御役人衆中
状	状	状	帳	状	状	状	状	袋	状	状	状	状

名手組市場村（袋入り一括文書）

ケ-14-1	ケ-14-3	ケ-14	タ-11-17	タ-11-15	タ-11-14	タ-11-13	タ-11-12	タ-11-11	タ-11-16	タ-11-20	タ-11-19	タ-11-18	タ-11-10
覚（米差引勘定）	覚（年貢差引勘定）	【袋入り25通一括】 *袋上書「子ノ組御蔵割立村々より出書付入并ニ品々書付入」	〔市場村分小田井掛かり人足賃ほか通一括〕	おぼへ（谷川通・大池通・ほか書上）	〔護摩料・陸割・北山割・南山割など宮掛・神宮寺掛の通〕 *6通	覚（市場村分人足人数・米代書上）	午御田井割通	午組割通・午御毛見割・午賄割・午御仲間割	覚（井割銀）	覚（神宮寺分銀）	送り状（右につき）	通（白砂糖・からし・杉原ほか代金書上）	〔高野山での宿泊費用書上〕
子11月17日	（子7月8日）	（子年）	（午年）		（天保5年）		午	午	午12月	午12月28日	11月12日	（4月10日～11日）	（2月3月中）
天の屋庄兵衛			大平		神宮寺納所ほか	名手役所		田中元右衛門（印）	大津屋源助	大三（大和屋三十郎か）	いし屋佐□（印）	布屋新兵衛	
御蔵庄屋源次郎			御村方役所		市場村		市場村	市場村	御役人衆中	堀源十郎	堀源十郎	妹背佐次兵衛	
状	状	袋	綴り	状	綴り	状	綴り	綴り	状	状	状	綴り	状

名手組市場村（袋入り一括文書）

ケ-14 -15	ケ-14 -14	ケ-14 -17	ケ-14 -9	ケ-14 -2	ケ-14 -10	ケ-14 -18	ケ-14 -5	ケ-14 -8	ケ-14 -25	ケ-14 -21	ケ-14 -20	ケ-14 -12	ケ-14 -7
〔残米二十石十日までに納めるよう伝える書状〕	〔残米二十石十日までに納めるよう伝える書状〕	覚（米差引勘定）	覚（銀・米の内訳通知依頼）	〔堀上ケ又三郎の年貢勘定につき書状〕	〔算用合、御宮頼母子掛銀につき書状〕	覚（銀書き上げ引き合わせ依頼）	おほへ（宗四郎分米勘定）	酉戌亥年分通・取替覚	申残米借付帳	覚（銀差引勘定）	覚（銀差引勘定）	子年御年貢通ひ	覚（酒代ほか勘定）
7月7日	7月5日	6月21日	6月12日	4月12日	3月19日	戊極月13日	戌10月20日	（酉戌亥年）	（申）	寅7月	寅7月	子	子極月
木田武右衛門 中村丈左衛門 藤田平三郎 森源右衛門	木田武右衛門 中村丈左衛門 藤田平三郎 森源右衛門		源二郎	天野や庄兵衛		天野屋庄兵衛	天野屋庄兵衛（印）	天の屋庄兵衛		天の屋庄兵衛	天の屋庄兵衛	庄兵衛印	天の屋庄兵衛
御蔵庄屋源次郎	市場御蔵庄屋源次郎		庄兵衛	御蔵庄屋源次郎		源次郎	御蔵庄屋源次郎	御蔵庄屋源次郎		南源次郎	源次郎	又三郎	御蔵庄屋源次郎
状	状	状	状	状	状	状	状	横 綴	横 綴	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-15 -48	ケ-15 -32	ケ-15 -15	ケ-15 -33	ケ-15	ケ-14 -23	ケ-14 -22	ケ-14 -16	ケ-14 -6	ケ-14 -4	ケ-14 -24	ケ-14 -13	ケ-14 -11	ケ-14 -19
覚(あげ・豆腐代金勘定)	覚(小田井入用ほか勘定)	覚(油ほか代金)	覚(紙・蠟燭代ほか勘定)	【袋入り58通一括】 *袋上書「巳ノ年中小前書出し入」天保4年か (巳年)	(長四郎分ほか米高書上覚)	覚(年貢勘定)	覚(米人別高書上)	覚(酒代・御蔵割ほか勘定)	覚(源次郎分ほか米勘定)	口上(長兵衛・源五郎筋私方にて納める旨)	覚(金米を書き上げ引き合わせ算用依頼)	覚(米差引勘定)	(書替精算につき揃え提出を頼む書状)
巳12月10日	巳12月7日	巳12月7日	巳12月6日							11月27日	11月20日	8月	7月11日
喜助	大丸屋弥兵衛	油屋彦十郎	布屋新兵衛							天の屋庄兵衛	(堀)	孫作	天野屋庄兵衛
村庄屋源治郎	庄屋堀源十郎	堀源次郎	村方							御蔵庄屋源次郎	庄兵衛	源二郎	源次郎
状	状	状	状	袋	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り)一括文書

ケ-15 -38	ケ-15 -35	ケ-15 -26	ケ-15 -23	ケ-15 -14	ケ-15 -11	ケ-15 -6	ケ-15 -5	ケ-15 -41	ケ-15 -40	ケ-15 -50	ケ-15 -46	ケ-15 -20	ケ-15 -12
覚(宿泊料受取)	覚(神主料)	覚(酒代ほか勘定)	おぼへ(村方用の代金受取)	覚(棒ほか代金)	覚(とうふ・こんにゃく代)	覚(食費)	覚(井関関係人足賃)	覚(左次右衛門小入用渡)	(金銭受取・勘定書四通一括) *4通あり	覚(勘定送り依頼)	おぼへ(勘定書)	覚(醤油代金)	覚(工賃書上)
巳12月	巳12月日	巳12月	巳極月	巳12月	巳12月	巳12月	巳極月	巳12月28日	巳12月28日	巳12月27日	巳12月27日	巳12月20日	巳極月12日
うを吉	神主(花押)	布屋酒店	木屋常右衛門	石見屋利兵衛	ふじへ	福嶋屋源兵衛	山原弥右衛門	名手役所	村役人、馬やと庄屋許、かわらや店ほか	庄兵衛	平次郎	大た屋弥兵衛	なや円次郎
御村方庄屋	市場村庄屋源十郎	名手神宮寺	市場村庄屋許	村方	御村方御役人衆中	村方御役人中	村方御役人衆中	市場村庄屋源十郎	か 小四郎、市場村御役人中ほか	御役人	源十郎	応神山神宮寺	村方御役人衆中
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-15 -24	ケ-15 -18	ケ-15 -34	ケ-15 -27	ケ-15 -13	ケ-15 -10	ケ-15 -47	ケ-15 -30	ケ-15 -4	ケ-15 -49	ケ-15 -9	ケ-15 2	ケ-15 -56	ケ-15 -54
(京善・魚吉分酒肴飯代金書上)	覚(代金勘定)	覚(酒・肴代ほか勘定)	覚(村方酒・豆腐代ほか勘定)	覚(権茸・筆ほか代金書上)	覚(小田井関係費勘定)	〔不在を詫び近況を尋ねる書状〕	覚(代金勘定)	覚(人足賃)	覚(鯛燭ほか代金勘定)	巳村小入用通(市場村池床)	覚(人足数)	覚(かすがい代金)	覚(小田井割ほか小入用筋勘定)
12月16日	12月12日	12月10日	12月7日	12月7日	極月5日	10月18日	10月9日	(3月8~20日)	午2月30日	天保4年	(天保3年)	巳12月	巳12月
	市右衛門	天の屋佐五兵衛	瓦や源右衛門	天のやみせ	杉源	知心	うを吉(印)	ふじ嘉	布や新兵衛	(印)西野山村庄屋元		かじや甚七	谷口屋又左衛門(印)
	村役人	村方御役人中	御役人衆中	村方御役人衆中	村御役人衆中	堀源重郎	天野屋佐五兵衛	御役人衆中	村方			御村方	村方御役人
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村(袋入り一括文書)

ケ-15-22	ケ-15-21	ケ-15-19	ケ-15-17	ケ-15-16	ケ-15-7	ケ-15-3	ケ-15-1	ケ-15-8	ケ-15-25	ケ-15-43	ケ-15-57	ケ-15-39	ケ-15-37
おぼへ(代金受取)	覚(勘定書) *1通に2点記す	(工数書上覚)	(工数勘定書)	(人足賃書上覚)	(人足賃ほか書上覚) *前欠	覚(紀三井寺・高野行き人足賃)	覚(人足賃ほか書上) *×で抹消	覚(柴代)	(納勘定に関する覚) *3通あり	覚(勘定書)	舌代(勘定書)	覚(小入用勘定)	覚(池料につき)
								28日	16日・28日など	12月	12月28日	12月27日	12月27日
橋本屋常右衛門	藤兵衛							御□□	庄兵衛	大三(大和屋三十郎か)	庄兵衛	かき屋嘉兵衛	庄兵衛
市場村庄屋許	村役人							御役人	庄屋源十郎	御役人衆	御役人	市場村御役人衆中	村方御役人衆中
状	状	状	状	横綴	状	状	状	状	状	状	状	状	状

名手組市場村（明治以降）／官頭座（勘定帳）

サ-125	サ-8	サ-6	サ-5	サ-3	サ-2	サ-119
名手庄船寄合振舞定	名手横渡算用帳	名手横渡万勘定帳	〔勘定帳〕 * 綴じ紐にくくり付け文書あり	〔勘定帳〕 * 綴じ紐にくくり付け文書あり	丑ノ年船之算用帳	〔官頭座勘定覚〕
延宝3年霜月	寛文6ノ延宝7年	〔承応元年霜月23日 ノ寛文5年〕	慶安3年霜月11日	寛永21年12月19日	寛永14年霜月20日	寛永12年卯月11日
			名手舟衆中	名手舟衆中		
縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横綴

二 官頭座

1 勘定帳

カ-78	ソ-13	ソ-4	ス-46	キ-1
那賀郡麻生津村始四ヶ村組合明治参拾九年度歳入出予算表 * 活版	名手小学新建築延期御願	壬申歳租税皆済帳	明治五申八月大政官ヨリ御破御下ケニ相成候訳并素皮田共ヘモ同 様訳之事 覚書	御検地帳「」 * 破損甚大
明治39年3月4日	明治16年8月12日	明治6年3月12日	明治5年9月18日	明治4年正月
麻生津村始四ヶ村管理名手 村長堀島之助	名手市場郵便文四郎 外 95名 名手市場村惣代堀重吉	五ヶ邨副戸長	堀正珍	上那賀「」市場「」
縦綴	縦綴	横帳	縦綴	縦帳

官頭座（勘定帳）

サ-27	サ-26	サ-24	サ-23	サ-22	サ-21	サ-20	サ-19	サ-18	サ-17	サ-16	サ-15	サ-14	サ-11
名手横渡舟方入用算用帳 *綴じ紐にくくり付け文書2通あり	名手横渡舟方入用算用帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	名手横渡舟指引算用帳	名手横渡舟指引算用帳	名手横渡舟指引算用帳	名手横渡船差引算用帳	名手横渡舟差引算用帳	名手横渡舟差引算用帳	名手横渡舟差引算用帳	名手横渡差引帳	名手横渡勘定帳	名手横渡勘定帳	名手横渡勘定帳	名手横渡勘定帳
元禄8年霜月27日	元禄7年霜月26日	元禄5年霜月29日	元禄4年霜月27日	元禄3年霜月29日	元禄2年霜月29日	元禄元年霜月晦日	貞享4年霜月晦日	貞享3年11月24日	貞享2年11月晦日	貞享元年霜月	天和3年霜月	天和2年極月	延宝8年霜月25日
		名手五ヶ村舟仲間中								舟衆中	舟衆中		
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

官頭座（勘定帳）

サ-43	サ-42	サ-41	サ-38	サ-37	サ-36	サ-35	サ-34	サ-33	サ-32	サ-31	サ-30	サ-29	サ-28
名手横渡船指引帳	名手横渡船指引帳	名手横渡シ船指引帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡し舟指引算用帳	名手横渡シ舟指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船指引算用帳	名手横渡船差引算用帳	名手横渡舟方算用帳
宝永7年2月16日	宝永5年極月2日	宝永4年霜月日	宝永3年霜月晦日	宝永2年霜月晦日	宝永元年霜月12日	元禄16年霜月22日	元禄15年11月25日	元禄14年11月28日	元禄13年霜月29日	元禄12年10月26日	元禄11年11月29日	元禄10年11月27日	元禄9年霜月29日
名手庄五ヶ村当村西ノ村	名手庄五ヶ村当番穴伏村	名手庄五ヶ村当番西ノ山村	名手庄五ヶ村当番野上村	名手庄五ヶ村当番馬宿村	名手庄五ヶ村	名手庄五ヶ村				西野村会所			
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

官頭座(勘定帳)

サ-58	サ-57	サ-56	サ-55	サ-54	サ-53 1	サ-51	サ-50	サ-49	サ-48	サ-47	サ-46	サ-45	サ-44
名手横渡シ船入用差引帳	名手横渡舟入用指引帳	名手横渡舟入用差引帳 * 飯とじ	名手横渡船入用差引帳	名手横渡し差引帳	名手横渡差引帳 * 綴じ紐に横張くり付け	名手横渡シ差引帳	名手横渡指引帳	名手横渡シ指引帳	名手横渡シ舟指引帳	横渡船勘定帳	名手横渡指引帳	名手横渡船指引帳	名手横渡船指引帳
享保9年11月24日	享保8年11月	享保7年12月	享保6年12月	享保6年2月	享保4年11月22日	享保2年12月日	享保元年霜月26日	正徳5年霜月16日	正徳4年霜月12日	正徳4年3月17日	正徳3年3月15日	正徳2年2月26日	宝永8年2月29日
当番後田村西野村	当番市場村穴伏村	当番江川村	当番野上村	当番馬宿村	当番西野村	当番江川村	名手庄五ヶ村当番野上村	名手庄五ヶ村当番馬宿村	名手庄五ヶ村絵(公)所後田村	五ヶ村当番穴伏村	名手庄五ヶ村当番中村	名手庄五ヶ村当番のかみ村	名手庄五ヶ村当番馬宿村
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

官頭座(勘定帳)

サ-74	サ-73 -1	サ-73 -2	サ-72	サ-70	サ-69	サ-67	サ-66	サ-65	サ-63	サ-62	サ-61	サ-60	サ-59
官頭座午ノ年中勘定帳	官頭座巳ノ年中勘定帳 *横帳合綴	舟座中間帳	官頭座辰年中勘定帳	官頭座年中造用割賦帳 *綴じ紐にくくり付け文書一通あり	官頭座年中造用割賦帳	寅ノ渡し舟入用帳	官頭座年中造用割符帳	官頭座年中造用割賦帳	名手横渡し船入用指引帳	名手横渡し船入用指引帳	名手横渡し船入用指引帳	名手横渡し船入用差引帳	名手横渡し船入用差引帳
元文3年11月	元文2年閏11月	元文2年11月11日	元文元年11月	享保20年11月日	享保19年11月日	享保19年2月	享保18年霜月日	享保17年極月日	享保14年12月	享保13年極月	享保12年11月	享保11年11月24日	享保10年11月17日
当番穴伏村	当番中村	西ノ村専右衛門	当番野上村	当番馬宿村	当番後田村西の村	当番西野村後田村	当番市場村	当番中村	当番西ノ村後田村	当番市場村穴伏村	当番切畑村中村西ノ山村	当番野上村	当番馬宿村
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

官頭座(勘定帳)

サ-87 -2	サ-84 -2	サ-87 -1	サ-84 -1	サ-83	サ-82	サ-80	サ-79	サ-78	サ-77 -3	サ-77 -2	サ-77 -1	サ-76	サ-75
横渡シ諸色入用帳	官頭座丑之年中勘定帳	横渡し諸色入用帳	官頭座卯ノ年中勘定帳 *表紙懸書「寛延元年同式巳同三年宝暦元年未同 二申、綴じ紐にくくり付け文書一通」横帳合綴	官頭座寅之年中勘定帳	官頭座丑ノ年中勘定帳	官頭座子之年中勘定帳	官頭座亥年中勘定帳	官頭座戌年中勘定帳	申ノ年分(勘定帳)	(取替銀等勘定覚)	官頭座酉ノ年中勘定帳 *横綴合綴	官頭座申年中勘定帳	官頭座未之年中勘定帳 *綴じ紐にくくり付け文書2通
*横帳合綴	*横帳合綴								(寛保元年)	(寛保元年)			
宝暦8年正月より極 月迄	宝暦7年11月日	宝暦7年正月より極 月迄	延享4年霜月28日	延享3年極月朔日	延享2年極月3日	延享元年11月27日	寛保3年11月晦日	寛保2年11月27日			寛保元年11月	元文5年11月	元文4年11月
藤五郎	名手庄当番西野山村	藤五郎	名手庄当番中村西野山村	名手庄当番野上村	名手庄当番馬宿村	当番後田村	当番市場村	当番中村			当番野上村	当番馬宿村	当番西野村
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横綴	横綴	横帳	横帳	横帳

官頭座（勘定帳）

サ-111-3	サ-109	カ-52	サ-108	サ-106-1	サ-105	サ-104	サ-103	サ-102	サ-100	サ-99	サ-92	サ-91	サ-88
官頭座諸入用方覚帳	名手庄官頭座当貢年中諸入用控帳	中間銀差引預ヶ帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	舟仲間諸事入用覚帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	仲間過銀預ヶ方覚帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	名手庄官頭座諸事覚帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	舟仲間諸入用覚帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	官頭座廿歳中諸入用留帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	船座経営之時諸造用帳	舟仲間過銀割賦帳	官頭座会所諸入用 *綴じ紐にくくり付け文書あり	官頭座仲間年々差引余銀預り帳	巳年中船仲間諸入用留帳 *假綴じ	官頭座仲間年「 <small>（心商立帳）</small> 」 *挟込・括り文書あり
天保2年正月	文化15年正月日	文化10年11月改	文化3年	寛政11年	寛政8年	寛政7年	寛政5年	寛政5年霜月	寛政元年11月	寛政元年11月	安永5年11月	安永2年正月	宝暦9年11月 （明治23年）
年番野上村			年番野田半助		歳番野上村	野田佐五右衛門	当番市場村	堀源右衛門	当番西ノ村舟仲間	西野村孫八		当番市場穴伏	
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

官頭座（勘定帳／造船）

サ-118	サ-115	ター13-3	ター13-1	ター13-2	ター13	サ-113	サ-112
官頭座仲間年々勘定帳	官頭座経営控帳	官頭座（膳の献立）	舟座買物帳	官頭座出入日下恵	【袋入り3通一括】 *袋上書「已天保四年霜月廿七日 官頭座諸色入 市場堀源十郎一」	官頭座預ケ銀出方指引帳 并ニ渡方差引共 *縦じ縦にくくり付け文書あり	名手庄官頭座仲預ケ銀帳
明治25年11月17日	天保14年12月13日	天保4年11月27日	天保4年霜月27日	天保4年正月吉日	(天保4年)	天保2年11月	天保2年11月改
	当番堀源十郎正耀 四十八才之節	堀源右衛門	堀源十郎	市バ堀源右衛門正耀		年番楠三郎	年番野上村
横帳	横帳	堅帳	横帳	横帳	袋	横帳	横帳

2 造船

サ-7	サ-124	サ-4	サ-1	ツ-573
名手横渡作申万入用帳	名手横渡舟作申方々寄銀帳	名手横渡船出来仕入用之帳	名手渡し舟観進帳	〔横渡船作り直しにつき勘進頼み書状〕
万治3年極月28日	万治3年卯月吉日	正保4年10月朔日	寛永10年霜月吉日	〔寛永10年正月16日〕
	庄中		庄中舟衆	名手庄中
横帳	堅帳	横帳	横帳	状

官頭座（造船）

サ-64 -1	サ-53 -2	サ-52	サ-40	サ-39	セ-6	ツ-565	ツ-554	サ-25	サ-13	サ-12	サ-10	サ-9	テ-155
名手横渡シ新艘作り申入用并戊午諸色入用差引帳 *横帳合綴	戊夏船作り候時寄銀不足帳	名手横渡船造申入用帳 *綴じ紐にくくり付文書2通あり	亥之新艘造申時方々集銀帳	名手横渡船造申入用帳	一札之事（船完成請書）	渡船覚（舟新造代銀請取）	覚（横渡シ舟新造につき銀二枚受取証）	名手横渡船作申万入用帳	横渡シ船作り申時入用割符長 *綴じ紐にくくり付文書2通	酉之船作申時方々より出銀帳	名手横渡作申万入用帳	名手横渡舟作申万入用帳	（横渡シ船御仕立につき寄附する旨書状）
享保15年12月	享保4年2月	享保3年8月	宝永4年3月	宝永4年3月	宝永3年極月15日	宝永3年6月29日	元禄7年2月15日	元禄6年霜月	天和2年9月	天和元年8月	延宝2年12月19日	寛文12年卯月	（万治3）極月29日
当番馬宿村		当番市場村穴伏村	名手庄五ヶ村		堀上舟大工又兵衛（印）西ノ村彦五郎（印）	請取主西ノ村彦五郎（印）	名手惣代後田村善太郎判		名手舟衆中				太郎左衛門
					名手船仲間衆参	舟仲間中参	学侶年預坊御下代						馬宿村佐介参
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状	状	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	状

官頭座(造船)

サ-89	テ-328	テ-143	チ-3-18	サ-81-2	サ-81-1	ツ-557	サ-71	サ-68-3	サ-68-2	サ-68-1	ツ-556	チ-3-41	サ-64-2
横渡シ新艘作り申入用帳	覚(新船造取替分元利勘定)	覚(勸化銀請取)	覚(新造船祝儀請取)	新艘作り替之節不足銀仲間より取替覚	横渡新艘作り申入用諸色勘定帳 * 縦じ紐にくくり付け文書、横帳合綴	(高野山三派からの銀請取覚書) * 蓮花院・本覚院・五明院からの受取	名手横渡シ新艘作り申入用諸色勘定牒	(差引勘定覚)	渡し舟入用寅ノ四月より書出候	名手横渡シ南川新艘作り申入用帳	覚(横渡し舟破損造作につき銀一枚受取証)	覚(横渡舟造作銀受取)	船筋村々取かへ (享保15年)
明和2年正月	宝暦元年12月	宝暦元年12月	寛延4年閏6月	延享2年11月	延享2年11月20日	元文元年6月	元文元年6月17日		享保19年	享保19年3月	享保19年2月26日	享保19年2月26日	
名手船中間当番馬宿	名手庄惣舟仲間中	(印) 無銭願主市場村藤田藤四郎	名手官頭惣代馬宿村野田庄右衛門 右同市場村源右衛門 無銭願書市八村藤山藤四郎	当番馬宿村	名手庄当番馬宿村		名手庄五ヶ村当番野上村		西ノ村清左衛門	当番西野村後田村		名手官頭中惣代穴伏村原弥兵衛 同後田村南新右衛門 同西ノ村妹背九右衛門	
	市場村藤五郎	当番野上村舟御仲間衆中	学侶御年預 惣分興山寺御役人 御聖御年預							御聖方御年預坊御役人		年預代	
横帳	状	状	状	横帳	横帳	状	横帳	状	横帳	横帳	状	状	横帳

官頭座(造船)

セ-20 -1	セ-20	タ-11 -1	サ-114	サ-123	サ-111 -2	サ-111 -1	ツ-572	サ-106 -2	サ-107	サ-101	サ-97	セ-24	サ-95
横渡舟杉檜赤味揃出来立覚	【封紙包み状3通】 出来いたすと申ニ付此通之代銀にて出来致させ中候依而書付残し過一	口上覚(舟普請銀は向後差し出さない旨) *経緯を記す書付添付	新艘乗初之節入用帳	新艘造替高野山頂戴祝儀控 井ニコ川寺	新艘造替ニ付高野山江祝儀銀請取覚書	新艘造り替ニ付渡方控覚帳 *横張合綴	請取申銀子之事(横渡船新造御祝儀)	西野村前横渡し船作覚帳	享和三亥新艘造替諸入用帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	寛政四子新艘造替諸入用帳	天明四辰年中諸入用 御忌入用 古舟破損ニ付入用 新艘造り入用	口上(新艘御下銀先格の通り御下げ願)	新艘造り寄合乗始諸色造用覚帳
嘉永2年11月16日		丑(天保12)11月8日	天保12年4月	天保12年2月5日	天保2年4月	天保2年3月	文化8年11月	文化8年3月吉日	(享和3年)	(寛政4年)	(天明4年)	(天明4)11月	安永9年8月17日
丞(印) 麻生津佐々江町角田や竹之		根来寺輪番中代福集院(印)	妹背佐次兵衛 官頭座仲間	堀源右衛門	年番野上村	年番野上村	名手庄官頭座惣代橋本楠三郎印 右同断彦三郎印 印 右同断彦三郎印	穴ふし定助	当番市場村 会所元堀源右衛門	村堀源右衛門 当番西野山村 会所元市場	当番後田	名手官頭中惣代馬宿村野田五左衛門 河野上村山田兵衛 同堀村兵衛 堀門 同江川村正兵衛 同後田村南軒 之右衛門 同市場村堀源右衛門	当番馬宿村
堀源太夫		野上村楠木民蔵 山中方助					客坊御年預御役人中					興山寺御役人和光院	
状	封紙	状	横張	横帳	横帳	横帳	状	横帳	横帳	横帳	横帳	状	横帳

官頭座 (造船)

ター11 -8	ツ-580	カー14	サ-121	ツ-579	ツ-569	ツ-561	ツ-582	セ-28	ツ-575	サ-117	サ-116	セ-20 -3	セ-20 -2		
(注文舟板の疵処理につき書状)	覚(舟新造につき寄附頼み状)	(舟板杉渡しにつき書状)	横渡し新艘大積り	覚(横渡し船永代無銭奉加銀預)	乍恐口上覚(横渡し舟大破につき銀御下げか他借銀で新造の旨伺)	覚(材木くぎ代ほか勘定)	船造用覚	口上(新艘・借船・橋入用舟等につき銀御下げ願)	覚(船新造代勘定)	馬船小船新艘作替乗初諸入用帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	新艘作替乗初二付諸入用勘定帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	覚(木代大工賃等書上) (嘉永2)11月16日	横渡し舟並出来立覚 嘉永3年(2年か) 11月16日		
10月18日	閏6月	西10月28日	西2月19日	巳極月	巳霜月	巳11月22日	寅3月晦日	寅2月	子11月24日	安政5年5月吉日	嘉永3年11月	(嘉永2)11月16日	嘉永3年(2年か) 11月16日		
木屋又左衛門	藤田藤四郎(印)	流木方堀源太夫		粉川名手屋清左衛門	野上村仲問徳代新右衛門 馬宿村右同断直之助後田 村右同断勘兵衛	舟人源之助	後田船人源之助	名手官頭中	妹背佐次兵衛	官頭座仲間 名出甚八郎	名出文輔 官頭座仲間	角田屋竹之丞	麻生津佐々江町角田や竹之丞(印)		
堀源太夫	御惣分御役人(年預代御坊を訂正)	上市村木屋又左衛門		名手藤四郎	田中元右衛門	源右衛門	市場村庄屋官頭座御当番堀田直之丞		官頭座御仲問衆中		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		
状	状	状	横	縦	状	状	状	状	状	横	縦	横	帳	状	状

テ-310	ツ-559	〔舟板は約定通りの値段で差し贈り度旨書状〕 〔船新造につき金が必要になること伝える書状〕 *藤五郎あて元利計算書添付	極月17日	極月10日	森屋又左衛門店	堀源太夫	状
-------	-------	--	-------	-------	---------	------	---

3 官頭仲間

セ-21	セ-11	セ-10	ツ-251	ツ-553	ツ-568	セ-8	セ-7	セ-3	セ-3	サ-126
覚 (藤四郎官頭座入座につき連判)	覚 (藤四郎官頭座入座につき連判)	覚 (藤四郎官頭座入座につき連判)	添一札之事 (佐太右衛門官頭座出席につき)	覚 (舟座株は松本坊が佐大夫と改名し二代名代勤めにつき)	覚 (市場村公文跡養子甚助官座入座につき官頭座へも出座の旨連判) *当正月より官座出座につき官頭座へも出る旨	添手形之事 (秀賢入座条件の北屋敷へ家取り立て延引の旨)	仕申一札之事 (馬宿村岡嶋坊跡相続につき)	② (善太郎株筋目外吉右衛門へ譲り出座につき定) *奥へ貼り継ぎ	① 船仲間相定之事 (養子、株売買につき)	上那智郡名手庄官頭仲間帳
(宝曆2)10月	宝曆2年10月	宝曆2年10月	寛延2年11月	元文5年12月	享保20年11月	享保19年11月24日	享保4年2月	元禄5年霜月晦日	元禄4年霜月27日	延宝7年11月
戸孫右衛門(印)原与市(印)原正兵衛(印)野藤右衛門(印)野彦五郎(印)	馬宿村佐五右衛門(印)同彦三郎(印)同浅右衛門(印)同文七(印)同喜右衛門(印)同定五郎(印)同次郎左衛門(印)	穴伏村原幸右衛門(印)名出喜右衛門(印)名出文助(印)林新兵衛(印)林長右衛門(印)	切畑村官頭本人林佐大夫(印)同村同断証人助右衛門(印)中村同断孫右衛門(印)西野山村(印)兵衛(印)	市場村座惣代藤四郎(印)右同断繁右衛門(印)穴伏村座惣代弥三兵衛(印)右同断比次郎(印)	馬宿村本人誠右衛門(印)同村請人吉右衛門(花押)同漸文七(印)同断喜右衛門(花押)	馬宿村岡嶋名代秀賢(印)同村惣代証人喜右衛門(印)同文七(印)同吉右衛門(印)	西野村9名 馬宿村7名 市場村10名 野上村4名 中村7名	西野村9名 馬宿村7名 市場村10名 野上村4名 中村7名	西野村9名 馬宿村7名 市場村10名 野上村4名 中村7名	西野村9名 馬宿村7名 市場村10名 野上村4名 中村7名
惣仲間衆中	惣仲間中	惣仲間衆中	官頭座御仲間衆中	名手庄官頭仲間中	名手官頭衆中	船御仲間衆中	舟座御仲間中			
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	帳

官頭座(造船/官頭仲間)

官頭座(官頭仲間/その他)

セ-4	セ-1	ツ-563	セ-29	セ-37	セ-38	セ-18	テ-5	セ-14	セ-13	セ-12	ツ-566
覚(舟賃・新艘入用につき)	相定渡シ船料当ニ定事	(官頭仲間座経営通知廻状)	口述(延引の官頭座勘定講十八日経営につき案内)	(仙石文左衛門長女よしより西中源次郎へ官頭座継続願書)	定(官頭座員死去の時は香料として米四斗贈る旨) *セ18と同	定(官頭座員死去の時は香料として米四斗贈る旨)	奉御断申上覚(官頭座株義右衛門へ譲りにつき)	覚(孫八家養子次兵衛の親元左衛門家は座筋の旨座送り証)	覚(永次郎宮座筋目の旨座送り)	一札之事(長九郎株龜右衛門相続につき)	覚(藤四郎官頭座入座につき連判)
戌(元禄7)霜月24日	寛永12年霜月23日	(27日発駕)	う12月16日	①明治19年11月7日 ②明治19年11月17日	天保10年2月	天保10年2月	天保5年6月	寛政3年霜月	明和元年極月	明和元年極月	(宝暦2)11月
妹背佐次兵衛	西之村又右衛門(隠座)八右衛門(隠座) 輪右衛門(隠座) 後田村半右衛門(隠座) 加三右衛門(隠座) 後田村右衛門(隠座) (印)市之丞(印) 野上村次郎(印) 伴兵衛(隠座) 切畑村右衛門(印)及右衛門(印) 中村久右衛門(隠座)及五郎(隠座) 西野山村兵衛(印) 六右衛門(印) 市野村三右衛門(花相)七右衛門(隠座) 市野村公文代兼太云(隠座) 助八右衛門(隠座)	年番源右衛門	市場当番源右衛門	①仙石よし(印) ②西中源次郎(印)	座仲間惣代堀源右衛門印 右 同断木村勝次郎印 外10名	座仲間惣代堀源右衛門印 右 同断木村勝次郎印 外10名	後田村孫太郎(控議主安太郎(印)同村証人源次郎(印)同村親類庄兵衛(印)【奥書】庄屋新右衛門(印)	池田組登尾村庄屋葉王吉十郎(印)同村肝煎義平(印)	馬宿村宮座惣代平次郎(印) 右衛門三郎(印)	西野村仲間惣代孫八(印)後田村右同断新之右衛門(印)	野上村仲間津田藤五郎(印) 同山中平蔵(印) 同平野恒右衛門(印) 同額田新九郎(印)
早瀬文左衛門 斎藤富右衛門		後田新之右衛門 西ノ村助右衛門 馬宿源之丞の上座三郎切畑大助 三郎 江川吉兵衛 西ノ山茂左衛門 六郎長四郎 不定同座	西ノ山茂左衛門 宇兵衛 大助 外19名	①②官頭座御中			官頭座御仲間衆中	御仲間衆中 御仲間衆中	船座仲間御衆中	惣御仲間衆中	御仲間中
状	状	封紙包状	封紙包状	封紙入裏紙	状	状	状	状	状	状	状

4 その他

ス-55	カー-9	ツ-574	ツ-567	セ-16	サー-110	ツ-131	セ-33	セ-15	ツ-48	ツ-564	セ-9	ツ-576	セ-5
替舟講證定 *綴切れ、袋内挟込文書あり、付箋多し	替舟講掛金請取帳	盟約一札之事 (舟二艘借り請けにつき)	口上覚 (無銭横渡舟当年から舟賃取り渡したく建札願ひ)	預り申手形之事 (銀百目)	願留并諸事取扱覚日記 *綴じ紐にくくり付け文書あり、文政8年分の借帳添付	預り申銀子之事 (仲間銀預かり) *添付文書 (寅上ヶ錢指引覚)	〔新村惣助による高野山預け銀無断貸し附けにて無銭渡しは当分 錢取渡しとする旨御通写〕	覚 (無銭横渡舟借用筋書上)	(入札落札結果一括)	預り申米之事 (船人長右衛門の給米預り)	覚 (横渡無銭往來致し度につき) *【奥書】名手庄屋妹背四郎五郎 (印)	誤り申一札之事 (船にて狼藉につき)	奉願候覚 (船仲間による船指支配仰せ付け願)
明治15年～明治22年 ころ	明治11年7月5日	明治7年1月1日	嘉永2年閏3月17日	天保4年11月27日	文政3年春吉日(8 年)	文政2年11月1日	文化10年12月	(安永8)閏3月17日	明和9年12月10日	宝暦12年極月	延享3年2月	元文3年5月12日	宝永2年極月
	勘定元	官頭座当番舟かり主妹背秀八 (印)同断引請人山中万輔(印)	名手細舟仲間惣代母上右衛門 庄 右衛門 市右衛門 同氏屋惣代 砂 二郎 佐五右衛門 李次郎 孫八 名手組六止屋妹背佐五衛門	市場村預り主勝次郎(印)同 村証人年番堀源十郎	官頭座仲間	預り主西野村源兵衛(印)同 村証人勘右衛門(印)	名手庄官頭座中	名手細舟仲間惣代馬宿村左助 切畑村佐次右衛門のかみ仁兵 衛 穴ふし市右衛門 西野村孫八	馬宿村権七 穴ふし惣八 市 場長右衛門 ほり上ヶ又之丞	預り人市場村茂左衛門(印) 同村請人久次郎(印)	名手市場村本人藤四郎(印)同村 庄屋佐左衛門(印)同村肝煎源右 衛門(印)同断藤五郎(印)	市場村本人伝吉(印)同村請 人六右衛門(印)同弥兵衛(印) 同村庄屋左五兵衛	名手庄船支配仲間中
		官頭座御仲間衆中		官頭御仲間衆中		官頭座御仲間衆中		妹背佐左衛門		船御仲間衆中	名手横渡船支配人衆中	船御中間衆	妹背佐五兵衛
縦帳	横帳	杖	杖	杖	横帳	杖	杖	杖	封紙包杖	杖	杖	杖	杖

官頭座 (その他)

官頭座（その他）

ツ-571	テ-12	テ-354	セ-22	イ-79	ツ-127	テ-327	サ-127-2	サ-127-3	サ-127-1	サ-127	ツ-560	タ-37
仕り申御受合一札之事（横渡舟人銀三百三十円で請負）	覚（お尋ねにつき横渡連上銀高報告） *上那賀西野村前より高野へ領麻生津横渡	覚（寄合入用ほかお渡し頼み）	覚（船賃につき）	覚（指引勘定書）	覚（舟中間割符銀札受取）	覚（船筋銀受取）	渡船場ニ関スル契約書 *那賀郡麻生津村役場路書紙	王子村役場第三五七号（渡船営業願い一先返却の旨）	渡船営業認可願 *3通あり	【封筒入り状一括】	【官頭座渡し船一件につき書状】	【替舟講に関して相談したく拙宅へ御光来の旨廻状】
辰12月	辰2月	寅12月7日	丑霜月10日	丑4月12日	子極月大晦日	子12月29日	明治31年8月13日	明治31年5月5日	（明治31年5月2日）	明治31年5月2日	明治17年11月9日	
官頭座御仲間衆中	妹背佐左衛門	市場村藤四郎	小林善蔵 浅井友右衛門	妹背左次兵衛	中村船中間衆中	中村舟衆中	野田善四郎外2名	堀賢君	堀賢君	名手市場村替舟講親脇堀源 大夫	井関	名手市場村替舟講親脇堀源 大夫
伏	伏	伏	伏	横綴	伏	伏	紙綴り	紙綴り	紙綴り	封筒	伏	伏

官頭座(その他)袋入り一括文書

5 袋入り一括文書

ケ-2	テ-87	ツ-583	ター11-4	セ-36	ツ-558	チ-3-3	セ-25	テ-165	セ-27	セ-26	ツ-562	ツ-578
【袋入り30通一括】 *袋上書「文化元年子二月より 諸事書附入」	(祝儀金百疋封紙)	(船預かり入札関係資料一括)	巨忍奉願上覚(惣助無銭渡動化銀のうち高野山南院預かり銀につき)	扱いにつき定)	(横渡し舟を藤崎の者へ受けさせるよう相談の旨書状)	(横渡し舟運管、舟賃について書付差し上げにつき写しを送る旨書状)	指上申一札之事(市場村伊助と粉川村万吉ほか争論で横渡難洪の件内済)	(渡し船船人に祝儀を遣わす旨書状)	奉願覚(床銭免除願)	定(舟賃、舟入用等)	西野村より来ル手紙写(諸人救いのため船賃下げ値で横渡し致す旨)	覚(横渡し料米預り)
(文化元年3月)					11月27日	11月19日	9月9日	7月10日	戌10月	西12月8日	午12月28日	巳極月
			左次右衛門		名出文吾	妹背四郎五郎	粉川村内済扱人伝蔵(印)	長田庄屋四郎	(印)名手船仲間惣代助之丞(印)孫八(印)(奥書)名手妹背楠次郎(印)	舟頭後田村紋右衛門(印)同西野村善兵衛(印)同村勘太郎(印)	西ノ村船座仲間中より	市場村預主楠左衛門(印)同村証人源右衛門(印)西野村証人孫八(印)
			源右衛門		堀源十郎	馬宿孫三郎	官頭座仲間衆中	名手西ノ村庄屋清左衛門	三嶋清蔵 白櫻弥四郎	名手舟御仲間衆中参	上ハ手船座御仲間衆中	船仲間衆中
袋	封紙	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

官頭座（袋入り一括文書）

ケ-2 -23	ケ-2 -5	ケ-2 -4	ケ-2 -24	ケ-2 -17	ケ-2 -27	ケ-2 -7	ケ-2 -15	ケ-2 -13	ケ-2 -26	ケ-2 -28	ケ-2 -12	ケ-2 -20	ケ-2 -22
〔銀子請取の登山要請ほか書状〕	覚（午舟雑作代）	覚（官頭座参会筋入用ほか書上）	〔勸進物銀子一枚下さるにつき礼状〕	〔船勸進につき書状〕	覚（仙蔵・庄助・市三郎分代金勘定）	〔馬宿村出入りにつき市場村入用分書上〕	覚（吉五郎取替銀勘定）	覚（船修理代か）	覚（反物代金）	覚（船造用銀）	慶応式年寅七月新船造替ニ付方々祝儀銀受取ニ参り候節諸入用控	覚（釘板代金）	〔名手横渡し船新造につき勸進頼み書状〕
												*横線で抹消	
3月14日	3月11日	〔2月7日〕11月21日〕	2月19日	2月19日	辰7月14日	卯12月19日	卯11月	卯11月17日	卯7月	卯6月	寅11月17日	子5月19日	寛永11年正月16日
不動院堯花押	大工留吉		名手庄年寄中	不動院堯花押	ほり上伝七	市場村	源右衛門	穴伏定助	はかまや幸四郎	舟大工所楠右衛門	惣代	舟大工留吉	名手庄中
公文代	後田船床		三十六院御箱本坊	名手御年寄中御館	馬宿村佐治右衛門	神主	舟座仲間衆中	御仲間	堀上伊助		官頭座御一派衆中	妹背佐次兵衛	三十六院箱本坊
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

官頭座（袋入り一括文書）

ケ-2 -25	ケ-2 -19	ケ-2 -16	ケ-2 -14	ケ-2 -11	ケ-2 -10	ケ-2 -8	ケ-2 -6	ケ-2 -9	ケ-2 -21	ケ-2 -1	ケ-2 -18	ケ-2 -2	ケ-2 -3
預ケ銀過不足（覚書） *馬宿村・後田・市場六伏・野上村・西の山分	覚（舟船頭給米ほか勘定）	〔封紙〕 *封紙のみ4通	覚（船年貢取替銀勘定）	覚（船修理代）	覚（船修理代）	才木カル覚	〔明神講二十八人分出し銀勘定書〕	覚（作佐右衛門分銀元利勘定）	〔横渡し船勘進につき人をさし遣わす事を頼む書状〕	覚（積縄釘ほか代金勘定）	〔後田村の心得違い許し別紙一札を遣わす旨書状〕	覚（舟渡経営賃）	船大工造作入用
								12月	12月23日	11月7日	8月11日	〔6月16日〕	〔4月18日〕6月4日
			吉五郎	藤崎舟大工留吉印	藤崎舟大工留吉				なて庄中印	新次郎	野田佐次右衛門		
			御仲間衆中	ほり上横渡舟御仲間中堀源	ほり上横渡し船季				長谷庄や衆 下花坂庄や衆 東庄や衆 ゆ川庄や衆 ほそ川西上	長四郎	舟仲間中		
状	状	封紙	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

官頭座 (袋入り一括文書)

チ-5 -1	チ-5 -9	チ-5 -6	チ-5 -5	チ-5 -4	チ-5 -8	チ-5 -3	チ-5 -2	チ-5 -10	チ-5 -7	チ-5 -11	チ-5	ケ-2 -30	ケ-2 -29
覚 (ほり上兵衛出し金額)	覚 (大工手間賃・舟板ほか代金)	覚 (舟改め入用ほか)	覚 (かい代金)	覚 (舟造作賃ほか)	覚 (舟大工泊まり入用)	覚 (舟造作賃ほか)	覚 (木材代金)	覚 (舟造作賃)	覚 (舟板ほか代金)	西年分官頭座控 (舟作料ほか勘定書)	【袋入り11通一括】	(経営料・舟造作料勘定書)	(舟造作料・取替銀勘定覚書一括)
	9月	7月	7月日	7月日	5月5日	5月3日	亥11月	酉7月日	申7月		*上書「天保七年上二月之会 楠三郎殿より仲間仲へ書出し」 *横線にて抹消		*21通一括
	舟大工栄蔵	義八	舟大工栄蔵	舟大工栄蔵	儀八(印名手堀儀)	舟大工栄蔵	材木屋常右衛門	舟大工栄蔵	ほり上伝二郎				
	義左衛門	楠三郎	文吉	楠三郎	後田義右衛門	儀右衛門	後田善右衛門		文吉				
扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	袋	扶	扶

官頭座（袋入り一括文書）

タ-14 -15	タ-14 -22	タ-14 -23	タ-14 -12	タ-14 -8	タ-14 -9	タ-14 -5	タ-14 -24	タ-14 -10	タ-14 -20	タ-14 -13	タ-14 -11	タ-14 -7	タ-14	
覚（舟工作賃）	覚（舟工作賃）	覚（源右衛門取かへ分書上）	覚（料理代金）	〔訴訟和濟につき登山の節会所へ立ち寄る旨書状〕	覚（藤四郎の官当座出座を認める旨連判）	覚（藤四郎の官当座出座を認める旨連判）	覚（人足賃書上）	覚（指引勘定書）	覚（舟工作賃）	覚（横渡し舟造作人用ほか渡し）	覚（渡し船頭銀）	〔無銭横渡し関係帳面差出の旨達〕	【袋入り25通一括】	
11月27日	7月	（6月・7月4日）	5月19日	3月12日	申10月	申10月	午12月	午11月	午11月27日	午7月13日	寅3月6日	（天保5）4月25日	（天保12丑年）	
堀上秀八	大工九右衛門			東善院		<small>後田村前近左衛門（印）同村前出善太 三郎（印）同村前長九郎（印）同村前幸右衛門 三郎（印）同村前長九郎（印）同村前幸右衛門 藤四郎（印）同村前長九郎（印）同村前幸右衛門 市塚村味吉（印）同村味吉（印）同村本 村次大夫（印）同村本村善二郎（印）同村本 同宮本助右衛門（印）同宮本田文助 （印）堀上右衛門（印）</small>	野上村舟仲間中		ほり上伝七	切畑村弁右衛門	大工四郎兵衛	岡本勘右衛門		
舟仲間衆中	ほり上わたし舟			名手村船座衆	惣仲間衆中	惣御仲間衆中	舟仲間		中間中	一八藤五郎	清右衛門	田中元右衛門		
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	袋	

*袋上書 〔天保拾貳年丑四月十日 横渡新
 艘乗初之節書附入 会所味吉佐次兵衛一
 *代官から達

官頭座(袋入り一括文書)ノ名手八幡神社・宮座

三 名手八幡神社宮座

サ-120	正保貳年宮ノさん用	(正保2年)										
タ-14-21	覚(舟乗り初め入用ほか書上)											
タ-14-17	〔封紙〕 *上書「銀四拾三匁」(享保十九年寅ノ上)二月廿六日ニ受取											
タ-14-16	〔封紙か〕 *上書「一銀式百拾五匁」											
タ-14-6	覚(金銭指引勅定書)											
タ-14-3	〔封紙〕 *上書「銀拾式匁」											
タ-14-2	〔封紙〕 *上書「渡シ船御祝儀 長田庄中」											
タ-14-1	〔断簡〕 *「興山寺役人」(享保十九年寅一月) などとある											
タ-14-19	〔下げ紙の通りお下げ渡しを頼む旨書付〕			12月15日	妹背左五右衛門	舟座仲間衆中						
タ-14-14	覚(杉板・釘代・作料)		霜月	惣八		御仲間中						
タ-14-4	〔参会への不参を詫び去年通りが宜しい旨を伝える書状〕		11月28日	かせ田中村佐五郎		名手船座講中						
タ-14-25	覚(舟工作賃)		11月27日	材木屋才兵衛		舟座御衆中						
タ-14-18	覚(鮎・酒・素麺代金)		11月27日	十蔵		西野村孫八						
	状	封紙	封紙	状	封紙	封紙	状	状	状	状	状	状

名手八幡神社宮座

カー6	カー5	ツ-352	ソ-14	サ-90	テ-162	ツ-76	ツ-198	サ-122	サ-86	イ-15	ツ-421	サ-85	ツ-570
名手庄明神様前坂切石御寄附御名前銀請取并石屋方江銀渡シ方帳 <small>*綴じ紐にくくり付け文書あり</small>	石細工寛帳	預り申下作田地之事	市場穴伏座仲間諸留写シ <small>*寛延2、明和2年まで、後半に「市場穴伏両村名別書」あり</small>	市場穴伏座仲間勘定帳	(糸右衛門の座筋を保証する一札) *明和2年6月の一札2点を写す	一札之事(養子新次郎へ宮座株譲り入座につき)	覚(穴伏村七兵衛養子新六の座筋保証につき)	万留帳	市場穴伏座仲間勘定帳	宮座出シ銀請取帳	覚(井出村吉右衛門座送り) <small>*吉右衛門、市場村三郎兵衛方へ養子</small>	宮座市場穴伏仲間定書帳	市場穴ふし座談合定(座筋調べにつき) <small>*ツ68関連(享保20)正月</small>
安永8年3月	安永8年3月	明和8年3月	明和3年9月	明和3年8月	(明和2年か)	明和2年正月	宝暦10年7月	宝暦4年正月	宝暦2年11月(破れ)	宝暦2年5月吉日	寛延2年正月	寛延2年正月吉日	
世話人直賢父正耀祖父也	穴伏村石屋久四郎	狩宿村下作人源七(印) 同 村請人源右衛門(印)			市場村(佐右衛門・糸右衛門)	市場村養子親又次郎(印) 同 村源右衛門(印) 右同権太郎 【奥書】同村庄屋佐左衛門	伊都郡寺脇村堂座一老惣助 (印)【奥書】同村庄屋又八(印)	座仲間中			井出村吉右衛門親(左衛門(印)) 同村証人龜右衛門(印) 同村庄屋 橋左衛門(印) 同村煎煎林右衛門(印)		
		御宮座御仲間衆中			市場穴伏御仲間衆中	穴伏市場御座仲間衆中	穴伏村甚五兵衛 長右衛門				市場穴伏座御仲間衆中		
横帳	横半帳	伏	懸	横帳	伏	伏	伏	懸帳	横帳	横帳	伏	横帳	伏

名手八幡神社宮座

ソ-18-3	ソ-18-2	ソ-18-1	ソ-18	ソ-378	カ-7	ソ-478	ソ-2	ソ-386	イ-14	サ-98	サ-96	サ-94	サ-93
小躍入端音頭并太鼓打之事	小躍行列之次第	小躍前書	【袋入り6冊一括】 *袋上書「文政九年八月五日在統願る小躍一件」	座送り一札之事 *平兵衛九頭大明神宮座筋目、男子庄右衛門明神講家筋名出長四郎家に養子	庄田御年貢覚帳	誤一札之事（心得違を申し座経営諸講付合等差し止めにつき詫び状）	小躍諸事入用帳 *仮綴じ	座送り一札之事 *佐太郎九頭大明神座筋目、舍弟儀兵衛名手庄明神講家筋長右衛門家に養子	宮座江両村より入座之節薄縁巻杖つゝ出し来候処近年相談之上入用之節忘人前ニ銀式匆つゝ出し候筈ニ相定候	市場穴伏座仲間諸色留帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	座仲間田地作徳諸色覚帳 *挟込文書あり	市場穴伏座仲間諸勘定帳	穴伏市場座仲間年々勘定帳
*第三五冊之内、共六三 (文政9年8月5日)	*第式五冊之内、共六二 (文政9年8月5日)	*第一五冊之内、共六一 (文政9年8月5日)	(文政9年8月5日)	文政6年12月日	文化11年11月	寛政8年8月	寛政8年8月11日	寛政5年極月	寛政元年極月	天明8年霜月（天保8年）	天明3年極月	安永8年極月	安永8年3月
市場村控	市場村控	市場村控		麻生津彦多浦村平兵衛(印)同村座中惣代太郎八(印)同村庄屋源助(印)神職児玉和右衛門正(印)		木人兵次郎(印)請人勝右衛門(印)同権太郎(印)	市場村	麻生津横谷村佐太郎(印)同一鴈山城守(印)同一臈政八(印)			市場・穴伏村		
				名手庄宮講御座中参ル		源右衛門		名手庄宮講御中					
堅帳	整帳	整帳	袋	杖	横帳	状	横帳	封紙包状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

名手八幡神社宮座

テ-317	テ-317	セ-23	セ-44	ツ-387	テ-106	ツ-509	イ-19	イ-18	チ-19 -36	カ-1	ソ-18 -6	ソ-18 -5	ソ-18 -4
①覚(米・小入用額書上)	②覚(座中間作徳米送り)	覚(市場穴伏座仲間銀より銀子借用証)	宮座の事(宮座由緒につき)	座送り一札之事 *堀源大夫氏神明講筋目、東野村神明講家筋井田村林清兵衛方へ男子養子	〔市場村堀文兵衛家由緒調〕*先祖申問書付之事・座仲間御調ニ付添書之事の2点、封紙一切堀村源右衛門旧里由緒書一	曆座送一札之事 *久次郎八幡宮・介財天社曆座筋目地藏寺講中出席の家筋、郎梓源助藤田新次郎方へ養子	六社明神御屋根替勸化帳 *イ18と同じ	六社明神御屋根替勸化帳 *世話入市場村庄屋堀源重郎、同村肝煎辻幸左衛門・木郎龜次郎ほか	〔恒例の応神山初参会への出席案内状〕 *抽「天保五年正月より下抽年番」	宮入用控帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	小躍入端同取組太鼓打処音頭ニ合せふし附置 *五巻之外別ニ巻冊添、共六六	小躍太鼓打方 *第五五冊之内終、共六五	花打子種取組 音頭附り新発智之言葉 *第四五冊之内、共六四
(巳か)極月15日	巳霜月13日	卯12月	昭和11年3月24日梗概を記せる	嘉永6年12月	天保15年8月	天保14年8月	天保6年	天保6年	(天保5)正月22日	天保4年正月	(文政9年8月5日)	(文政9年8月5日)	(文政9年8月5日)
	幸次郎	穴伏村幸次郎(印)		名手庄穴伏村宮講惣代名出文助印 同庄市場村宮講惣代井関庄兵衛印	市場村堀文兵衛・堀源右衛門	名倉村座方惣代木村為右衛門(印)右同断久保茂十郎(印)右同断老中林彦六(印)	市場郵	市場郵	市バ庄屋源十郎	年番彦四郎	市場村控	市場村控	市場村控
座中間	源右衛門	座仲間中		東野庄宮講衆中	野上村御座中間衆中	名手莊宮座御中			西ノ村・後田村・馬南村・の上村・東川原・切畑村・江中・西の山村・穴伏村庄官				
扶	扶	扶	歴緯紙	扶	扶	封紙包扶	堅	帳	封紙包扶	横半帳	堅	帳	堅

名手八幡神社宮座ノ胡乱者改(留書・一件控え)

四 胡乱者改

1 留書・一件控え

ケ-10-3	ケ-10-2	ケ-10-1	カ-63	ア-26	チ-2-8	ア-27	ツ-502	カ-15	テ-91	テ-96	テ-119
中組地士帯刀人村役人中姓名帳	(上組庄屋・惣廻り姓名帳)	(下ノ町組庄屋・皮田組頭・地士・帯刀人・惣廻り姓名帳) *袋入り帳面3冊一括、袋上書「弘化三年丙午二月 姓名入...	御勘定同心 御領分胡乱方 口六郡大庄屋許 伊都地士御徒 庄屋姓名録	受取渡控帳(奉公人・不奉公人につき)	姓名帳 胡乱方改役ニ付(大庄屋庄屋姓名)	御通隠密富(胡乱者改役被仰付候付御通隠密共富帳)	座贈一札之事 *堀源太夫、男常造、代々名手在応神山六社大明神座、井田村林清兵衛方へ養子	応神山ノ御志寄進帳	二月十六日両村寄合定(家筋につき) *市場村茂平様・後田村孫右衛門・元右衛門家・源右衛門につき	仕り一札之事(久米右衛門入座につき) *佐平次株譲り受け入座、久米右衛門は私家筋	御宮寄進銭
弘化3年5月	(弘化3年3月)	(弘化3年3月)	弘化3年3月吉日	弘化3年3月	弘化3年3月晦日	弘化3年3月28日 12月25日	年月日		(2月16日)	西6月	午12月改
			(堀源太夫正耀)	伊都郡胡乱者改堀正耀	堀源十郎正耀	胡乱者改堀源十郎	市場村親堀源大夫印 座講 惣代衆誰印 同年寄衆誰印	市ば庄屋元		久米右衛門(印)市場村伝右衛門(印)	
堀源十郎							若一王子権現御座講衆中			市場穴伏座御仲間衆中	
横半帳	横綴	横綴	横帳小	縦帳	横半帳	縦帳	杖	縦帳	杖	杖	横帳

胡乱者改(留書・一件控え)

イ-80	カ-50	チ-2 -4	ア-22 -1	ア-20	ア-22 -3	カ-60	ア-19	ア-15	ア-37 -3	ア-14	ア-37 -2	ア-34	ア-37 -1
名手組上村領立木笠田庄七ヶ村より伐取見分帳	笠田七村名手三ヶ村山論ニ付見分被仰付候故控帳 *下部欠	中食泊控帳	(喧嘩博奕盜賊不奉公人控帳) *3冊綴	(御通達控帳)(胡乱者改につき)	東家橋本縛一件写	諸色目下繪	喧嘩博奕盜賊不奉公人控帳	御通達(伊都胡乱者改につき控)	糺(中組出塔・柏原村打擲一件出入につき)	極密内聞控(伊都胡乱者改)	嘉永元申四月廿四日夜和州吉野郡東川村又次郎六右衛門新七金子 甘西佐野村金右衛門方ニ而紛失ニ付替氏より手紙ヲ以願ニ付取扱 ひ左之通ニ致し濟(一件控)	覚(盜賊定吉につき添え達し控) (嘉永元か)3月11日	中組役所江盜賊忍入一条控 *3冊綴
嘉永3年4月2日	嘉永3年3月10日	嘉永3年正月吉日	(嘉永3)戊正月 12月22日	(嘉永3)戊正月20日	嘉永2年	嘉永2年正月吉日	嘉永2正月	嘉永2年正月吉日	7月20日	嘉永元年6月晦日	嘉永元年4月24日	弘化5年2月26日	
伊都胡乱者改堀源太夫(印)	堀源太夫正耀	堀源太夫	(堀源太夫)	(堀源太夫正耀)		伊都胡乱者改堀源太夫	伊都胡乱者改堀源太夫正輝	伊都胡乱者改堀源太夫正耀	正フ谷村吉兵衛、庄屋小三郎、堀源太夫、田中助三郎	堀源太夫正耀		胡乱者改堀源太夫、上組大庄屋後見久保吉之右衛門	胡乱者改堀源太夫 所持
的場紋九郎									広井藤右衛門			的場紋九郎	
横帳	横帳	横帳小	竖帳	竖帳	横帳	横帳小	竖帳	竖帳	竖帳	竖帳	竖帳	竖帳	竖帳

胡乱者改（留書・一件控え）

ソ-8	ス-1	カ-67	イ-71	ア-35	カ-62	ア-23	イ-67	テ-1	チ-2 -3	ア-31	ア-22 -2	カ-61	イ-81
〔胡乱者改役に関する留書〕 *仮綴じ	諸国入墨控 *伊都郡胡乱者改堀源太夫正耀所持、堀源太夫所持同姓親之助写之	〔伊都郡中飯降村木綿屋藤吉方盗難に関する報告書〕	〔泉州丸鬼村大般若経ほか盗難一件願書写〕	吟味白状・覚（贖金所持の久兵衛改につき）	亥中春控帳	〔喧嘩博奕盗賊不奉公人控帳〕	御用状夫控（御用状御預ヶ置につき）	中食泊控帳（御用ほかにつき） *流水方の記載もあり	状夫帳	吟味白状三元高野寺領教良寺村藤吉伴龜之進盗みの始末	中組端場村落文一条願書写し	諸色目下絵	名手組上村領立木笠田庄七ヶ村より伐取見分帳 控 *綴じ紙にくくり付け文書（山名書上覚）あり
		西閩4月	(申12月)	亥7月・8月2日	嘉永4年2月吉祥日	(嘉永4年2月)	いのとし(嘉永4年)2月27日	嘉永4年正月吉日	戌年(嘉永3)	(戌)	嘉永3年12月26日	嘉永3年6月8日	嘉永3年4月2日
(的場紋九郎が多い)	堀氏所持			伊都胡乱者改堀源太夫、中組大庄屋辻田伝兵衛	伊都郡胡乱者改堀源太夫正耀		伊都胡乱者改堀源太夫	堀源太夫	伊都胡乱者改堀源太夫	(無宿盗賊龜之進)		伊都胡乱者改堀源太夫正耀	
(堀源太夫・藤田新次郎など)				的場紋九郎									
堅帳	堅帳小	堅綴	堅綴	堅綴	横帳小	堅綴	横半帳	横帳小	横半帳	堅帳	堅帳	横帳小	横帳

胡乱者改（留書・一件控え／達）

2 達

ケ-11 -20	ケ-11	チ-11 -9	チ-11 -6	チ-11 -5	チ-11 -3	チ-11 -1	チ-11 -2	チ-11 -10	チ-11 -8	チ-11 -7	チ-11 -4	チ-11
〔改名手続き、小浦惣内替わり広井藤右衛門着任の旨書状〕	【袋入り39通一括】 *袋上書「弘化四年未正月吉日御通入」	〔妻村連印状に無印の者取り調べの内容覚書〕	惣右衛門申分（取り調べ内容覚書）	投文写し・〔取り調べ内容覚書〕	奉申上覚（橋本御殿へ投げ文につき見廻りの様子報告） *5日から9日まで	午恐追而御届奉申上候覚（橋本横町豊田屋富助方の失火につき）	内聞奉申上候覚（上組帳書小三郎退役を求める無名の投げ文につき調査報告）	〔妻村からの願書へ無印の者取り調べを行う旨書状〕 *全体を二本線で抹消	〔妻村からの願書へ無印の者取り調べを行う旨書状〕 *別紙連印願書（小三郎永役仰せ付けの旨）あり	〔妻村からの別紙連印状に無印の者の取調を命じる達〕 *投げ文写しあり	〔橋本町大庄屋役所・銀札方投げ文につき探索を命じる達〕	【袋入り10通一括】 *袋上書「嘉永三戌十二月二日夜八ツ半時 妻村」〔北頭小一〕
正月23日	（弘化4未年）				12月10日	12月10日	12月5日	12月4日五ツ半	12月4日五ツ過	12月3日	12月2日	（嘉永3年）
（野村）又兵衛					堀源太夫	堀源太夫	伊都胡乱者改堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	的場紋九郎	的場紋九郎	
源十郎				久保吉之右衛門	的紋九郎	的紋九郎	的紋九郎	的紋九郎	的紋九郎	堀源大夫	堀源太夫	
状	袋	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	袋

胡乱者改(達)

ケ-11 -9	ケ-11 -26-4	ケ-11 -26-1	ケ-11 -26-2	ケ-11 -7	ケ-11 -15	ケ-11 -12	ケ-11 -18	ケ-11 -28	ケ-11 -24	ケ-11 -36-4	ケ-11 -33	ケ-11 -16	ケ-11 -36-3
〔松尾忠次郎に召し仕えの田中勇次江戸で欠け落ちにつき召し捕るよう御目付中からの達し伝え書状〕 *土生+北裏は7月15日付け	〔名古屋村伝兵衛不支払一件は御支配から御廻し仕り度旨書状〕	乍恐御内存御伺奉申上候覚(城下万町升屋兵蔵訴えの名古屋村伝兵衛代金不払一件の処理につき伺い) *封紙で4通一括	〔名古屋村伝兵衛代金不払一件の取り扱い頼み書状〕 *袖部に二三印	〔てぬぐいを忘れ置いていないか尋ねる書状〕	〔久太郎一条の状況を内々に伝える書状〕	〔粉河祭礼舟方跡々の通り取り計るよう達〕	〔博奕賭諸勝負富躰御制禁の別紙勅定奉行からの申し越し達〕 *別紙は5月出	〔藤田源助急中引につき同人御用向の兼勤を命じる達〕	〔米早便で送るよう依頼書状〕	〔友次一件は下拙から掛け合う旨ほか書状〕	〔安丞不奉公につき一旦親伊助へ戻すよう頼む書状〕	〔老中仰せ渡しによる民部卿様逝去につき普請鳴り物停止の段勤定奉行衆の申し越しを伝える達〕	〔友次売払の盗品の扱いにつき書状〕
7月22日	7月7日	7月7日	7月4日	6月24日	6月15日	6月14日	6月9日	6月7日	6月5日	5月17日	5月16日	5月13日	5月11日戌上刻
土生庵右衛門、小裏惣内	伊都胡乱者改堀源太夫	伊都郡胡乱者改堀源太夫 (印)	山中勇右衛門 平野宅左衛門	上村右門	木村儀左衛門	広井藤右衛門	広井藤右衛門	広井藤右衛門	中村仙之助	津田源次太夫	嶋田善次	広井藤右衛門	津田源次太夫(印)
鈴木太右衛門 堀源十郎	山中勇右衛門平野宅左衛門	広藤右衛門	堀源太夫	名手市場村源三郎	堀源太夫	伊藤八右衛門 堀源太夫	伊藤八右衛門、名出文輔、鈴木兵右衛門、田中助三郎、秋山次郎、田中助三郎、野賀某等堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	堀源十郎	堀源太夫 藤田源助	堀源十郎 藤田源助
状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状

胡乱者改(達)

ケ-11 -30	ケ-11 -29	ケ-11 -3	ケ-11 -1	ケ-11 -2	ケ-11 -38	ケ-11 -39	ケ-11 -6	ケ-11 -11	ケ-11 -35	ケ-11 -23	ケ-11 -8	ケ-11 -13	ケ-11 -14
〔当未給銀遣わす旨書状〕	〔当未非人番給銀遣わす旨書状〕	〔狩宿村慶次郎など四名の盜賊の手掛かり尋ね書状〕	〔留守中の見舞いの御礼書状〕	〔状着き次第出座の旨書状〕	〔白米早便で差し越しを頼む書状〕 * 広井藤右衛門内中村仙之助	〔中組大庄屋御免・申付の申し渡しを伝える達〕	御内存奉申上候覚(中組大庄屋辻田伝兵衛大病につき停慶五郎を跡役に勤める旨)	〔才五郎付き添いの他国女を追い払うよう勘定奉行の達し伝え達〕	〔郡追放の笠田中村徳兵衛帰住御免の申し渡しを伝える達〕	〔米早便で送るよう依頼書状〕	〔別封一通を九度山地蔵堂へ届けるよう依頼書状〕	〔藤田源輔役の兼勤を解く辞令〕 * 藤田忠中により兼勤	〔若山藤次郎内願筋につき移り村松次郎からの書付を送る旨ほか書状〕
12月12日	12月12日	12月9日	極月9日	11月20日	霜月13日	10月15日	10月6日	8月12日	8月10日	8月10日	8月7日	7月23日	7月22日
嶋甚助	嶋甚助	広井藤右衛門	(板橋)伊太郎	広井藤右衛門	中村仙之助	広井藤右衛門	伊都胡乱者改堀源太夫	広井藤右衛門	広井藤右衛門	中村仙之助	南雲作兵衛	広井藤右衛門	中口和助
堀源太夫	藤田源助 堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	伊藤八右衛門 名出文輔 鈴木 兵右衛門 田中助三郎 秋山次 郎 藤田源助 堀源太夫	広藤右衛門	堀源太夫	鈴木兵右衛門 堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改(達)

テ-138	ア-144	タ-34	ア-138	イ-76	タ-35	タ-36	タ-26	ア-139	テ-127	テ-127	テ-176	ケ-11 --25	ケ-11 -37
(山田村惣十郎跡役につき書状)	(藤田新次郎押込差し免しにつき上那賀両組胡乱者改兼帯を解く達)	御通詞写し(博奕禁制につき)	(松坂牢舎から破牢者の人相書通達)	(本居弥四郎へ古文書等選付等仰付につき古文書等差し出す旨御勘定吟味役中からの達)	(大納言様逝去につき諸事慎み方など達)	(辰次郎様卒去につき鳴り物停止の旨奉行衆からの申し越しを伝える達)	(辰次郎様卒去につき鳴り物停止の旨老中からの仰せ渡しを伝える達)	(大御能につき御用筋勤めを命じる達) *端裏「大御能ニ付御廻り組頭衆より嘉永元申九月」	①(手形返却の旨達) *手形添付、菅若組は郡中立で御扶持方でないため返却	②受取申手形之事(御用につき扶持方として米受取)	(組内を廻り様子を急々達する旨達) *土生、広右衛門へ大番頭仰せ付けにつき	(勘定役中からの申し来たりを伝える達)	(中組大庄屋取り調べに立合を命じる達)
3月4日	2月13日	正月22日	正月18日	嘉永2年10月27日	(嘉永2)3月29日	(弘化5)10月10日	(弘化5)10月9日	(嘉永元)9月20日	(弘化3)10月18日	(弘化3)閏5月	(弘化3)閏5月18日		12月15日
的場紋九郎内直川米次	的場紋九郎	的場紋九郎	西山与七郎	的場紋九郎	的場紋九郎	広井藤右衛門	西山与七郎	宇都宮弥一郎	(野村)又兵衛	(印)伊都郡胡乱者改堀源十郎	小浦惣内	広井藤右衛門	広井藤右衛門
名手堀源太夫	堀源太夫	五組大庄屋アテ 堀源太夫	口六郡両熊野御代官中	五組和州大庄屋アテ	鈴木兵右衛門 辻田伝兵衛 堀源太夫	藤田源助 堀源太夫		堀源太夫 吉田佐之右衛門 赤松房次郎ほか3名	源十郎	伝法御蔵所	鈴木兵右衛門 辻田伝兵衛 田中助三郎 堀源十郎	堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	状	状	綴り	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

テ-196	ア-140	タ-30	テ-125	タ-41	テ-146	タ-19	ア-99	ア-102	タ-24	ア-133	ア-106	タ-39	ア-97
〔岸上村皮田善九郎・妻まん、同村皮田すが引きまとも評定所へ出頭の旨達〕 *西山与七郎・広井藤右衛門あて達を貼り継ぎ	写し〔地主代役・相統仰せ付けにつき達〕 地主代役、赤塚村田中三郎へ地主相統と後見上田村久保吉之右衛門	〔山論場所見分けに出頭を命じる達〕	〔評定所からの刑罰申し渡しを伝える達〕 *佐野村後家しつ、市場村弥助・久兵衛・孫助はかにつき	〔赤塚村七郎出頭延日願い出につき同人の病体内聞を命じる達〕	〔人相書達〕 *那賀郡南勢田村古右衛門停当寺無宿弥右衛門につき	〔西丸御連中様御逝去につき普請・鳴り物停止の旨奉行衆からの申し越しを伝える達〕	〔橋本銀札方御用申し付けに関する勘定組頭中からの達〕	〔板橋伊太郎へ日高地方元ノ手代申し付けに関する達〕	〔山論場所見分けに野村又兵衛・前田幾左衛門を遣わすので立合を命じる達〕	〔吟味役からの別紙申し渡しを伝える達〕 *支配手代前出幾左衛門へ18日下さる旨	〔堺同心から申し来たる別紙の趣取り調べ返答するよう達〕	〔中組大庄屋盗難につき惣廻り吉助妻お糺しのため胡乱者改役共引き纏め出頭を命じる達〕	〔中組大庄屋元へ盗賊入るにつき評定所へ出頭するよう達〕 *端裏「中三月十一日御通し、惣廻り吉助妻引纏ひ候様の」
8月28日	8月10日	8月5日	8月3日	7月29日	7月27日	7月3日	6月25日	6月3日	5月13日	5月7日	3月22日	3月12日	3月12日
広井藤右衛門	的場紋九郎	的場紋九郎	中村九郎兵衛	的場紋九郎	碓新右衛門	的場紋九郎	的場紋九郎	的場紋九郎	的場紋九郎	的場紋九郎	的場紋九郎	広井藤右衛門	広井藤右衛門
堀源太夫 辻田伝兵衛	テ 五組和州大庄屋胡乱者改ア	堀源太夫	広井藤右衛門	堀源太夫	藤田源助 堀源十郎	テ 五組大庄屋・胡乱者改役ア	テ 伊都和州大庄屋胡乱者改ア	テ 五組和州大庄屋胡乱者改ア	堀源太夫 鈴木兵右衛門	テ 五組和州大庄屋胡乱者改ア	堀源太夫	堀源太夫	辻田伝兵衛 堀源太夫
封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状

胡乱者改(達)

胡乱者改(達)

ア-123	ア-141	ア-113	チ-4 -6	タ-40	ア-103	ア-98	タ-31	テ-221	タ-38	タ-27	テ-137	タ-25	タ-28
(柏原村山論喧嘩をした者の名前を尋ねる達)	(藤田源助へ別紙の通り申し付けにつき御用向き其許兼勤致すべき旨達)	(上那賀郡胡乱者改助役藤田新次郎押込の処分につき町奉行所申し渡しを伝える達書) *勝負事をした者について容易に内済にしたことにより	(日向守死去につき鳴り物停止の旨御勘定奉行衆から申し越を伝える達) *11月14日御老中より仰せ渡しにつき	(御部屋様卒去につき鳴り物・普請停止の旨奉行衆からの申し来る達)	(御部屋様卒去につき鳴物停止の旨奉行衆からの申し越しを伝える達)	(寺領兄井村安次郎殺害による丁ノ町村小間物屋吉左衛門の召し捕りの達)	(伊都郡・上那賀から高野寺領・他領へ米を積み売りする者に関して内謝を求める達)	(御能拝見の節頂戴した御菓・公事方書改送り状)	(御能拝見時の御頂戴品は御代官所へ差し出しにつき入手するよう伝える書状)	(差紙) *只今非人番同道にて出頭	(善九郎・妻まん郡追放申し渡し書) *里山庚申堂まで召し連れ退放	(岸上村皮田善九郎・妻まんにつき評定所からの申し渡しを伝える達)	(差紙) *非人番召し連れ出頭
	12月27日	12月26日	12月15日	11月26日	11月26日	11月24日	11月20日	10月8日	10月8日	9月4日	9月3日	9月3日	9月朔日
(広井藤右衛門)	的場紋九郎	西山与七郎	小浦惣内	的場紋九郎	的場紋九郎	松尾藤蔵	広井藤右衛門	右門	岩崎時十郎	御代官所		中村九郎兵衛、 門 広井藤右衛門	広井藤右衛門
	堀源太夫	的場紋九郎	伊藤八右衛門 名出文輔 藤田源輔 堀源十郎	堀源太夫 藤田源助	堀源太夫 藤田源助	堀源太夫 藤田源助	堀源太夫 藤田源助	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		辻田伝兵衛 堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

テ-191	ア-83-1	ツ-543	ア-130	ア-69	ア-63	ア-60	ツ-294	タ-18	ツ-499	ア-50	ツ-498	ツ-483	ア-70
(身元宜しき人内聞の義につき返答書状)	(両替金のこと、死去無宿者につき書状) *袋入り2通一括、袋上書状通シ控入	奉御届申上候覚(伊都三組巡回報告)	(調べ方に御支配下惣廻り五郎兵衛を召連たき旨書状)	御答奉申上覚(御通につき) *明後19日惣廻り源兵衛小番清助・熊太御代官所へ召連れ罷り出る旨	①請取申銀子之事(盗賊平兵衛入牢の入用銀受取・渡しにつき) ②覚(盗賊平兵衛入牢入用銀遣わしにつき)	①受取申銀子之事(盗賊平兵衛入牢までの諸入用銀につき) ②覚(盗賊平兵衛入牢までの諸入用銀) *【奥書】的場紋九郎	御達奉申上覚(名手組静川庄と丁ノ町組笠田庄山論ケ所見分けの別帳差上の旨)	覚(憲章院様御宝塔が高野山上へ届いた旨届)	覚(二村に一人非人番を置くよう願) *端裏「藤田より非人番抱へ候願イ書」	内存奉申上候覚(麻生津村藤蔵宅盗難品早々御下げ下されたき旨) *盗賊与吉・慶一郎につき	覚(日高郡園村皮田与吉上那賀郡皮田慶次郎召し捕りにつき出府の旨)	御尋ニ付奉申上候覚(狩宿村慶次郎平四郎ほかの行方報告) *下け紙に岸上村庄源四郎・狩宿村庄屋伊平次報告写しあり	受取申米之事(扶持米につき) *米合6月但一人扶持、閏5月15日夕より22日朝まで
8月2日	7月17日	4月26日	3月5日	2月17日	嘉永3年9月	嘉永3年9月	(嘉永3か)4月5日	(嘉永2)西7月朔日	嘉永元年5月15日	(嘉永元)正月21日	(弘化4)末12月21日	弘化4年12月7日	弘化3年閏5月
堀源太夫	堀源太夫	伊都胡乱者改堀源十郎	伊都胡乱者改堀源太夫	伊都胡乱者改堀源太夫(印)	①上組大庄屋久保古之右衛門(印) ②伊都郡胡乱者改堀源太夫	①上組大庄屋田中吉三郎(印) ②伊都郡胡乱者改堀源太夫(印)	伊都胡乱者改堀源大夫(印)	堀源太夫 辻田伝兵衛	堀源太夫 藤田源輔(印抹消)	伊都郡胡乱者改堀源太夫(印)	胡乱者改堀源太夫 中組大庄屋辻田慶五郎	伊都郡胡乱者改堀源太夫(印)	伊都胡乱者改堀源十郎
野村亦兵衛	岸ノ上源右衛門	小浦惣内	麻生津中村庄屋保兵衛	的 紋九郎	①路銀御蔵	①路銀御蔵	的場紋九郎	的場	広井藤右衛門	広井藤右衛門	広井藤右衛門	広井藤右衛門	伝法御蔵所
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改(達)

胡乱者改(達ノ願書・訴状〔弘化3年〕)

3 願書・訴状

ツ-236	ツ-464	ツ-462	ア-45	ツ-267	ツ-199	ツ-429	ツ-463-2	ツ-463-1	ツ-461	ツ-587	ツ-466	ア-83-2
口上(不奉公人の銀子返却につき厳しき取り扱い願) *ツ256関連	乍恐奉願上口上(吉次郎病気につき出頭延引願)	乍恐奉願上口上(粉河村清右衛門への訴え下済につき願書御下げ願) *ツ465が封紙か	乍恐内存奉願上口上(風来者竹藏捕払い願)	乍恐奉願上口上(伏原村文七打擲一件願書御下げ願)	乍恐奉願上覚(庄兵衛・卯吉への貸し金返済取り扱い願) *ツ199関連	乍恐奉願上覚(牛市開催願)	(嶋村久二郎一件への御厚情につき礼状)	御調申書附口上覚(久次郎隣家で頼死一件につき病死の旨届) *封紙で2通一括 上替上 丁ノ町紐島村より一	乍恐奉願上口上(下女ことよ不埒筋は相手方久藏と下済につき願い下げ)	乍恐御答奉申上候覚(嶋村彦兵衛と名倉村弥右衛門ほか口論一件の経過につき) *後欠、ツ225・467関連	乍恐奉願上覚(北名古曾村惣助ほか強盗につき金子戻し訴え状)	(才五郎頼死のあつかいにつき書状案)
午12月11日	午11月	午11月	午霜月晦日	午10月	午10月	午10月22日	10月18日	午10月	午8月	(弘化3年5月か)	午4月	(15日か)
木下伊右衛門	妙寺村吉次郎親類忠治郎(印) 同村五人組為三郎(印)同村庄屋半四郎(印)	妙寺村吉次郎(印)同村庄屋半四郎(印)	大野村庄屋喜十郎(印)同村庄煎兵次郎(印)	橋本町幸助(印)同町虎右衛門(印)奥書橋本町年寄森岡藤右衛門(印)	下村願主弥次郎(印)下村庄屋忠次(印)	芋生村本人秀市(印)同村庄屋定次郎(印)	嶋村庄屋栄三郎	久一郎(印)仲卯右衛門(印)親類伊右衛門(印)五人組幸次郎(印)肝煎彦兵衛(印)右同長四郎(印)庄屋栄三郎(印)	妙寺村孫十郎(印)妙寺村庄屋半四郎(印)		嶋村願人彦兵衛(印)同村右同安兵衛(印)同村庄屋栄三郎(印)	堀源太夫
堀源右衛門	堀源十郎	堀源重郎	胡乱者改堀源太夫、中組大庄屋辻田伝兵衛(印)↓小浦惣内	田中助三郎 堀源十郎	名出文輔 堀源十郎	堀源重郎	堀源重郎	堀源重郎	堀源十郎御役所		堀源十郎	岸ノ上村役人中
状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状

ツ-490	ツ-489	ツ-482	ツ-169	ツ-164	ツ-158	ツ-156	セ-41	ツ-165	セ-40	ツ-496	ツ-485	ツ-223	ツ-256
乍恐御最章奉願上候口上(伊右衛門せがれさよを引き取るよう訴え状) *ツ489関連	乍恐奉願上候覚(伊右衛門せがれさよ不奉公につき代人を立てるよう訴え状) *ツ490関連	乍恐奉願上口上覚(上組山内村音松牛代残金未払いにつき訴状)	乍恐奉願上候口上覚(南名古屋村吉兵衛牛代金不払いにつき取り扱い頼み)	乍恐奉願上候覚(伏原村伊十郎へ託した大坂問屋送り氷豆腐不着につき取り戻しの扱い願)	乍恐奉願上候口上覚(但州博芳源次郎手代常助へ牛売りの勘定をすよう願) *ツ156の添え書	乍恐御願奉申上候(名倉村藤助牛代残銀未払につき)	再応奉嘆願口上(伝兵衛未納金勘定につき再願)	乍恐奉御断申上候覚(丑売買勘定仕度き旨届け)	乍恐奉願口(南名古屋伝兵衛へ未納勘定相立候様仰付願)	乍恐奉申上候覚(下済みにつき願書御下げ願)	乍恐奉願上候口上覚(東家村吉次郎牛代金不納につき訴え状)	乍恐奉願上口上(先祖伝来の大黒天を移村松二郎持ち帰りにつき早々戻すよう取り扱い願)	乍恐奉願上覚(短野村平兵衛伴熊不奉公につき取り扱い願) *ツ236関連
未2月	未2月	未2月	未2月	弘化4年2月日	未2月日	未2月	弘化4年2月	未2月9日	弘化4年正月	午12月	午12月	午極月	午12月11日
岸上村願上与八(印)岸上村肝煎友三郎(印)同村右同断左衛門(印)同村庄屋源右衛門(印)	岸上村願上善左衛門(印)同村肝煎友三郎(印)同村右同断左衛門(印)	市場村願人惣助(印)同村同人家主万次郎(印)同村庄屋代肝煎与助(印)	但州博芳百姓源次郎手代常助	笠田中村百姓政七(印)庄屋元右衛門(印)	浄土寺村問屋利助(印)同村肝煎庄屋代弥右衛門(印)	紀州百姓博芳源次郎手代常助	(若山万町)柳屋兵蔵(印)	竹尾村彦四郎(印)同村庄屋久次郎(印)	(若山万町)柳屋兵蔵(印)	西之芝村願主庄蔵(印)庄屋善左衛門(印)	願主庄蔵(印)西之芝村庄屋善左衛門(印)	前山藤十郎(印)	木下伊右衛門(印)
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	盜賊方御役人	堀源太夫	盜賊方御役人	盜賊方御役人	伊都郡胡乱方御役所堀源重郎	堀源太夫	伊都郡胡乱方御役所堀源重郎	名手市場町堀源右衛門	名手組市場町堀源右衛門	中江和助	鈴木兵右衛門 堀源右衛門
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改(願書・訴状)(弘化3年/弘化4末年)

胡乱者改(願書・訴状(弘化4未年))

ツ-420	ツ-530	ア-47	ツ-207	ソ-16	ツ-157	ツ-205	ツ-452	ツ-536	ツ-535	ツ-495	ツ-442	ア-58	ツ-492
乍恐御届奉申上候口上(妙寺村源助魚代未払い一件下済につき願書御下願)	乍恐奉願口上覚(橋本瓦町小三郎へ預けた大小一腰返却訴え状) *封紙一上 佐野村	乍恐奉願上候(忠兵衛弟定次郎一件につき)	乍恐奉願口上覚(南名古曾村伝兵衛魚置継代銀不支払、丁ノ町増田武兵衛貸銀不返済取り扱い願)	乍恐奉願口上(名古曾村伝兵衛魚代未納につき)	乍恐奉願口上覚(奉公人楠を秀右衛門へ遣わした代銀残金支払い願)	乍恐奉願口上覚(名倉村武右衛門梓甚助不奉公につき勤め仰せ付け願)	乍恐奉願口上覚(奉公人定次郎家出欠落の旨訴え) *テ66関連	乍恐願下仕候覚(三谷村市郎・寺領安楽川梅川と縫合一件につき)	乍恐奉願口上覚(寺領黒川村よしの不奉公につき給銀戻し訴え状) *ツ138関連	乍恐奉願口上覚(赤尾出嶋村甚蔵へ貸し渡ししの牛返却訴え状)	乍恐口上覚(山内村音松牛代残銀未払一件内済につき願書御下げ願) *下紙(賞(諸兵衛へ先貸金につき)	奉願上覚(妙寺村嘉兵衛瓦屋職工料不返済につき)	乍恐御届ケ奉申上候口上(御糺御用召し出し時に他出中の与介ほか帰村届)
未9月	未8月	弘化4年8月	未7月	未7月	未6月	未6月10日	弘化4年4月日	未3月	弘化4年3月	未3月日	未3月	未3月	未3月朔日
若山外屋兵蔵印)	田端謙之助(印)	東谷村願人忠兵衛(印)同村組合 荒太郎(印)同邑庄屋彦太郎(印)	駿河町枳屋兵蔵	升屋兵蔵	学文路村金助(印)学文路村 庄屋孫之進(印)	丁ノ町組妙寺村金助(印)同 村庄屋半四郎(印)	上村願主惣兵衛(印)庄屋弥 三郎(印)	丁ノ町村文蔵(印)【奥書】 同村庄屋安次郎(印)	市場村源五郎(印)同村庄屋 代文兵衛(印)	佐野嶋垣内願主又兵衛(印) 同垣内役善右衛門(印)佐野 村庄屋太郎(印)	市場村願人惣助(印)同村同 人家主万次郎(印)同村肝煎 庄屋代与助(印)	中飯降村鈴木文亭(印)同村 庄屋彦四郎(印)	岸上村庄屋源右衛門(印)
堀源大夫	藤田源輔	胡乱方堀氏源太夫	東御番所		堀源太夫	堀源太夫	堀源右衛門	堀源太夫	藤田源輔	堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門、堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	状	状	綴	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状

ツ-227	ツ-447	ツ-214	ツ-546	ツ-173	ア-64	ツ-534	ツ-171-3	ツ-445	ツ-167	ツ-448	ツ-529	ツ-476	ツ-168	
乍恐奉願口上覚 (下男佐右衛門欠落につき捜索願い)	乍恐奉願上候口上覚 (市脇村宇右衛門ほか五名による金子強盗一件訴状)	奉願口上覚 (神願の手踊り仕るにつき願い遅れ用捨頼み)	奉願口上覚 (腹痛による新殿村庄屋元への出頭遅刻を詫び容赦願い状)	乍恐奉願口上覚 (奉公入うた駆落一件は忠兵衛・市兵衛お糺しの上造用着類等返すよう仰せ付け願)	乍恐奉願口上覚 (喧嘩手負い人入用銀払い并犯人召出し吟味下され度旨) * 初手伊都郡大野村長蔵・市原村出兵衛	乍恐奉願口上覚 (背ノ山村新介奉公不足分の作間日雇いを勤めるよう訴え状)	乍恐奉願上覚 (日高屋理兵衛油代銀横取りにつき取り扱願)	奉指上規定一札之事 (惣五郎と村方内済につき) * 前欠	乍恐奉願口上覚 (丁ノ町茶碗屋安兵衛・弟又太郎押借金子の返却願) * 借用証写し添付	乍恐奉願上候口上覚 (大病につき召し出し日延べ願) * ツ62調連	乍恐再追奉申上候口上 (古佐田村方吉不奉公訴え状) * ツ62調連	乍恐奉願上覚 (丁ノ町往来茶屋売女差し止め願)	御尋ニ付奉申上覚 (当村内水茶屋に売女躰の者召し抱え無き旨報告)	
申4月日	(嘉永元)4月15日	申3月5日	申3月4日	申2月	弘化5年2月	弘化5年正月	弘化5年正月21日	弘化4年12月	未12月	未12月25日	未11月	弘化4年11月	未11月19日	
村庄屋代甚之右衛門(印)	打田村願主次兵衛(印) 打田村庄屋代甚之右衛門(印)	吉原村願主徳兵衛(印) 同村親類元五郎(印) 【奥書】 吉原村庄屋善兵衛(印)	新田村せう人久兵衛(印) 同吉右衛門(印) 同善兵衛(印) 庄屋兵五郎(印)	市場村次兵衛(印) 兵助(印) 藤蔵(印) 久兵衛(印) 庄屋文兵衛(印)	学文路村願主嘉右衛門(印) 同村親類源次(印) 同村庄屋孫之進(印)	市場村肝煎与助(印)	鷺家村願人肝煎重次郎(印) 庄屋甚七(印)	西飯降村願主油屋庄屋栄次郎(印) 同村肝煎九右衛門(印)	上兵庫村惣五郎 同村五人組仁兵衛 【奥書】 同村肝煎庄蔵 同村庄屋善七	同組同村庄屋半次郎(印)	上組中嶋村願人庄兵衛(印) 同組同村庄屋半次郎(印)	【奥書】 同村庄屋安次郎(印)	野村願主多十郎(印) 同村庄屋新右衛門(印)	野村願主多十郎(印) 同村庄屋新右衛門(印)
堀源右衛門	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	辻田伝兵衛 堀源大夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源大夫 田中助三郎	堀源大夫 田中助三郎	堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門 堀源大夫	鈴木兵右衛門 堀源大夫	神谷仲助 鈴木平右衛門 堀源太夫
状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	

胡乱者改(願書・訴状) (弘化4末年/弘化5・嘉永元申年)

テ-29	ツ-470	ツ-469	ツ-455-2	ツ-455-1	ツ-547	ツ-537	ツ-436	イ-30	ツ-431	ツ-552	ツ-532	ツ-427	ツ-161
乍恐奉願上候覚 (窪村三藏伴不奉公につき戻り給銀の払い訴状)	乍恐奉願上候覚 (病氣につき出頭延引願)	乍恐奉願上候覚 (伴源松を博奕に引き入れた才一郎へ質物戻しと奉公先への詫びを求める訴状)	奉指上規定書之事 (この度の公儀吟味沙汰差し延べ願)	奉差上規定書之事 (この度の公儀吟味沙汰差し延べ願) *封紙で2通一括	奉願候口上 (太助娘とく出奔不奉公つき太助召し出し吟味願い) *端裏「中組大庄原より不奉公願い」	返金訴え)	乍恐奉願上候口上覚 (鍛冶屋職伊兵衛・請合金造ほか判形人への願)	乍恐内訴口上覚 (村役人罷免交代願)	乍恐奉願上候口上 (平村辰次郎金銭盗み逃亡につき訴状)	乍恐奉願上候口上覚 (南名古曾村惣兵衛取り込みの大般若経戻り内済につき願書お下げ願)	乍恐奉願上候口上覚 (丈助が白木綿を質物差し入れにつき戻し願い訴え状)	乍恐奉願上候口上覚 (おせん株家屋敷売渡し纏れにつき再願)	乍恐奉願上候口上覚 (名倉村おせん株家屋敷売渡し纏れにつき取り扱ひ頼み) *端裏「印妙寺孫助より」
西4月	西4月2日	嘉永2年3月	西2月22日	西2月22日	申12月	申極月	申12月	嘉永元年極月	申12月24日	申12月22日	申11月	申11月	申11月
笠田中村願人金助(印)庄屋 (元右衛門(印))	田原村政次郎(印)田原村庄 屋市右衛門(印)	古佐田村願主みよ(印)同村 組親庄兵衛(印)同村庄屋市 郎兵衛(印)	辻村太兵衛(印) 辻村庄屋又 六(印)	辻村弥吉(印) 辻村庄屋又六 (印)	北名古曾村地士辻田伝兵衛 (印)	妙寺村願主太右衛門(印)庄 屋又三郎(印)	東家村堺屋嘉助 同村庄屋 嘉助	佐野村東郷者共より	泉州松尾村瓦屋徳兵衛(印) 同人親類粉河村伊右衛門(印)	同ノ願「平村願人喜治郎(印)同 村親類惣兵衛(印)同村庄屋三郎 (印)同村軒頭佐左衛門(印)同村 庄屋佐太郎(印)」	東家村堺屋嘉助(印)同村庄 屋嘉助(印)	妙寺村願人清兵衛(印)右同断 孫助(印)同村庄屋又三郎(印)	妙寺村願人孫助(印)同村右同断 清兵衛(印)同村庄屋又兵衛(印)
堀源太夫	堀源太夫	田中助三郎 堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫 藤田新次郎	堀源太夫	堀源太夫	御屋鋪御代官衆	中組田中辻田伝兵衛 伊都 郡堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門 板橋伊太郎	
状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	縦	封紙包状	状	封紙包状	状	状

胡乱者改(願書・訴状)(嘉永元年申年/嘉永2酉年)

胡乱者改(願書・訴状)(嘉永2、酉年/嘉永3、戌年)

ツ-213	ツ-191	ツ-189	ツ-188	ア-91	ア-90	ツ-480	ツ-457	ツ-459	ツ-497	ツ-219	ツ-446	ツ-220	テ-150
乍恐奉申上候覚(田村孫兵衛の田地に關してお尋ねにつき返答書)	乍恐奉願上候覚(連明院から返却の金子隠し置き一件につき入郷村定之丞召し出し吟味願)	乍恐再応奉願上候覚(名倉村彦右衛門悻利兵衛不奉公一件再扱い願)	乍恐奉願上候口上覚(妙寺村利兵衛押借物返方取り扱い願) *下げ紙で押借物一覽あり	奉差上一札之事(惣福寺住僧什物売払につき訴え書) *ア90と同文で後欠	奉差上一札之事(惣福寺住僧什物売払につき訴え書)	乍恐奉願上口上覚(南名古屋村阿波屋林之丞滞りの宿料支払い訴え状)	乍恐奉願上口上覚(佐野嶋助右衛門へ貸した牛を返すよう訴え状)	乍恐御達奉申上候覚(金助の御糺延引願)	乍恐奉願上候口上覚(佐野嶋清助悻忠右衛門不奉公につき給銀返却の旨訴え状)	乍恐奉願口上覚(出塔村嘉右衛門悻おなかへ品物代金勘定仰せ付け願)	[封紙] *上書「名手堀源大夫 村木平兵衛」ツ220の封紙か	乍恐御達奉申上口上(佐野村市兵衛代呂物代金不支払一件願下)	差上申一書之事(盗目お戻しにつき) *端裏「嶋田買主一条ニ付 寺領番人より写シ」テ142關連か
戌6月	戌6月	戌5月	嘉永3亥年4月	(嘉永2年12月か)	嘉永2年12月日	嘉永2年11月	酉11月日	(嘉永2)11月10日	酉7月	酉5月		嘉永2年閏4月	嘉永2年閏4月10日
丁ノ町村庄屋代元次郎	出塔村願人藤兵衛(印) 【奥書】同村庄屋賀下郎(印)	市原本人惣助(印)同村庄屋善次郎(印)	丁ノ町村願人喜右衛門願人丹ざん(印)【奥書】丁ノ町村庄屋善左衛門(印)	(名倉村)	名倉村惣代誰 同村寺受(か)誰 庄屋	大坂中津町和泉屋与助(印)	丁ノ町細東谷村願主喜兵衛(印)五人組徳左衛門(印)肝煎源兵衛(印)庄屋彦太郎(印)	妙寺村庄屋又左衛門(印)	中飯降村高岸垣内源助(印)同村庄屋太蔵(印)	萬満谷村願主善兵衛(印)同村肝煎惣三郎(印)同村庄屋小三郎(印)	(村木平兵衛)	橋本町畑屋平兵衛事同町年寄村木平兵衛(印)	寺領九度山村惣廻り角七印 同屋川村文平印 同洪田村九兵衛印
鈴木兵右衛門	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	(辻田 堀 藤田宛)	辻田 堀 藤田宛	伊都郡胡乱者改堀源右衛門	堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門 堀源大夫	堀源太夫	堀源大夫	堀源太夫	畑屋藤蔵 山田屋左兵衛
状	状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙	状	状

ツ-190	再往奉願上口上 (東家村元次郎魚荷持ち逃げ一件取り扱い願)	嘉永3年12月	名手伝馬庄屋卯兵衛(印)	堀源太夫	状
ツ-185	奉願上口上覚 (伴乙松博奕に携わるにつき厳しい取り扱いと銀返 (納願))	嘉永3年極月	江川中村頼主与兵衛(印)藤源親 頼惣代重兵衛(印)江川中村五人 組惣兵衛(印)同村庄屋大助(印)	胡乱者御改堀源太夫	封紙包状
テ-69-3	借用申手形之事 (銀子借用につき)	嘉永2年11月	西飯ふり村本人金助 瀧村受人 善左衛門 同村受人重左衛門 東 谷村神野受人保太郎	上村恒五郎	状
テ-69-2	乍恐奉願上候覚 (妻弟又助不奉公で取替の給銀返済の旨訴状)	嘉永3年12月	静川上村願上恒五郎(印)同 五人組与兵衛(印)同肝いり 万次郎(印)同庄屋弥三郎(印)	藤田源助	状
テ-69-1	〔願書回送の旨書状〕	12月7日	藤田新一郎	堀源太夫	状
ツ-179	〔封紙〕	(戌10月)	(名倉村願主政助)		封紙
ツ-426	乍恐奉願上候覚 (中飯降村儀助女子まつ不奉公につき訴状)	戌10月日	名倉村願主政助(印)同村庄 屋定七(印)	堀源太夫	状
ツ-183	乍恐奉願上口上覚 (熊右衛門不奉公につき、賠償と奉公を勤める よう取り扱い願)	戌10月	川原亀太郎(印)	堀源太夫	状
ツ-166	乍恐奉願上覚 (野上村作兵衛牛代銀不払いにつき取り扱い願)	戌9月	中村十太郎(印)中村庄屋元 右衛門(印)	堀源太夫	状
ツ-295-2	乍恐奉願上覚 (山論和済に付き願書御下げ願)	嘉永3年8月晦日	立田中村庄屋正右衛門同 同惣代藤 次郎同 同東村庄屋平次郎同 同又保生 深金助同 同吉ノ山庄屋辰蔵同 同移り 止屋善太郎同 同、城止助同	鈴木兵右衛門	状
ツ-295-1	乍恐奉願上候覚 (山論和済に付き願書御下げ願)	嘉永3年8月晦日	上村庄屋代恒三郎(印) 同惣代藤 助 平野庄屋辰蔵(印) 同惣代藤 兵衛 下村庄屋忠次(印) 同惣代藤兵 衛 〔願書〕 名出文補	的場紋九郎	状
ツ-202	乍恐奉願上候口上覚 (奉公人左七の代人庄兵衛が盗んだ品と給銀 返済仰せ付け願) *別紙で紛失品・戻り品あり	戌7月	庄屋又左衛門(印)	堀源太夫	封紙包状
ツ-184	乍恐奉願上候覚 (中飯降浅次郎未納牛代金支払い取り扱い願)	嘉永3年7月	中組名倉村平兵衛(印)庄屋 定七(印)	堀源太夫	封紙包状
ツ-230	乍恐奉願上候覚 (伴新三郎不調法につき帰在御免願)	戌6月	丁ノ町村新次郎印 同村庄 屋代元次郎印	鈴木兵右衛門	状

胡乱者改（願書・訴状（嘉永4亥年））

ツ-444	ツ-226	ツ-477	ツ-211	テ-49	ツ-450	ツ-475	ツ-451	ツ-449	ア-72 -4-1	ア-72 -3	ア-72 -5	ア-72 -1	ア-72 -2
〔内洛願断簡〕 *前欠	御届奉申上候覚（東村清助が曾根田村源右衛門女子とみの疵付け一件内洛）	奉願上候覚（短野村幸次郎牛代未払いにつき牛返却願）	乍恐奉願上候覚（大野村力助・要助ほか博奕下濟始末金不支払の件ほか取り扱い願）	訴状 乍恐奉願上覚（中飯降村兵右衛門梓菊太郎不奉公につき給銀返却）	乍恐奉願上候口上（役所預かりの盜難品御下げ願）	乍恐御答奉申上候口上（卯右衛門から不埒者文治を奉公人に召し抱えた件訴えにつき返答）	乍憚奉願口上覚（約定金未払いにつき喜兵衛方へ養子に差出のつね戻し願）	内存奉願上覚（奉公人文次の不埒訴え）	〔徳右衛門方に入った盜賊判明・盜品お戻し願書状〕 *添付文書（-2） 盜品の内質入品覚書	御届奉申上候覚（盜賊に盜まれた品物につき）	〔万次郎・新太郎一件につき書状〕	〔短野村平助の別紙願書につき書状〕 *封紙で5通一括	乍恐奉願口上覚（無罪徳三郎拷問掛け事件御吟味下され度につき）
5月3日	3月9日	3月4日	亥6月	亥4月日	亥4月	亥2月	嘉永4年2月	亥正月	（正月）	亥正月	正月12日	正月11日	亥正月5日
名倉村同断政助（印）	南名古善村庄屋角兵衛（印） 北名古善村右同慶五郎（印）	東村庄屋藤四郎（印）	大野村扱人願主良助（印）同 村同断安兵衛（印）	木下伊右衛門（印）同村肝煎 治郎兵衛（印）	丁ノ町村頭上作五郎（印）同村庄 屋善左衛門（印）〔奥書〕胡亂者 改堀源太夫、丁ノ町組大庄屋善 木兵右衛門（印）	伊都郡妙寺村下村安右衛門 （印）	木下勝守（印）肝煎利助（印）	佐野村松山卯右衛門（印）	広口村庄屋伝次郎	廣口村頼人徳左衛門（印）同 村五人組忠五郎（印）同村庄 屋伝次郎（印）	辻田伝兵衛	鈴木兵右衛門	短野村徳三郎親頼願主要助（印） 同村右同断津十郎金三短野村肝 煎兵助（印）同断文助（印）同村 庄屋兵次郎（印）
堀源十郎	堀源太夫	鈴木兵右衛門 堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	的場紋九郎		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門、堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状

ツ-225	ツ-187	ツ-186	ア-42	4-72	ツ-540	ツ-465	ツ-425	ツ-6	テ-178	ツ-234	ツ-491	ツ-528
乍恐御詫奉申上候覚(嗚村彦兵衛・安兵衛と口論の件不調法お詫び一札)	乍恐誤り奉申上候覚(口論内済につき誤り一札) 右衛門と酒宴口論内済につき誤り一札	乍恐誤り奉申上候覚(口論内済につき誤り一札) *南名古曾村惣兵衛北名古曾村惣兵衛名倉村弥右衛門酒宴口論につき	預り申一札之事(彦兵衛口論時紛失品預りにつき)	乍恐奉願上候覚(中組出塔柏原支配奥山川端往來道作り争論につき吟味願)	乍恐奉願上候覚(利助売り払い菜種につき代金支払いか菜種戻しを願う訴え状) *上部破れ	〔封紙〕 *上書「上 妙寺村吉次郎」	乍恐奉願上候覚(御召捕の利助御免願ひな形) *ア3 関連	乍恐奉願上口上(佐野村増田武兵衛・丁ノ町安兵衛・吉兵衛の止宿料ほか取替筋未納につき)	〔慈尊院村番新助・神谷村九兵衛を理不尽召し捕りにつき丁ノ町組惣廻り武兵衛ほかお糺し願〕	乍恐奉願上口上(京都堺屋利兵衛出の荷物を吉蔵が売り捌いた旨訴状) *下げ紙あり	御断奉申上候覚(岸上村友之丞と山田村万次郎出入一件下済につき願書御下げ願)	御答申上候覚(粉河今山屋彦七から金・襦取次代銀佐略一件出願につき返答)
弘化3年5月	弘化3年5月8日	弘化3年5月8日	弘化3年5月8日		「」月			極月28日		12月10日	12月7日	9月13日
中組南名古曾村惣兵衛 同北名古曾村惣兵衛 同安兵衛 同利助兵衛 同吉兵衛 同彦兵衛 同彌右衛門 同酒宴口論内済につき誤り一札	丁ノ町組惣兵衛 同彦兵衛 同安兵衛 同利助兵衛 同吉兵衛 同彌右衛門 同酒宴口論内済につき誤り一札	丁ノ町組惣兵衛 同彦兵衛 同安兵衛 同利助兵衛 同吉兵衛 同彌右衛門 同酒宴口論内済につき誤り一札	丁ノ町組鳴村庄屋栄三郎(印)	東村願主条右衛門(印) 東村庄屋平四郎(印)	五人組誰誰	寺領慈尊院村庄屋芳兵衛(印)	東家村本人大和屋喜兵衛(印) 同村庄屋嘉助(印)	山田村善兵衛(印) 同村庄屋藤次郎(印)	山崎屋卯兵衛	堀源大夫	辻田伝兵衛 堀源大夫	藤田新次郎
堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎
状	状	状	状	綴り	状	封紙	状	綴	状	状	封紙包状	状

4 請書

胡乱者改(願書・訴状(嘉永4亥年)ノ請書(弘化3午年))

ア-55	ア-56	ツ-527	ツ-531	テ-57	ア-52	ア-43	テ-323	ア-46	テ-15	ア-61	ア-65	ツ-201	ツ-120
指上申一札之事(不行跡お詫びにつき)	奉差上不調法書覚博奕お詫びにつき	奉差上儀定一札之事(勝負事に携わったことを詫び吟味延引願い)	書附之事(左助による為七への私家屋敷無断売却一件解決につきこの後売却時は為七に売る旨)	乍恐御受奉申上候覚(中飯降村惣助へ清次郎不奉公返給につき)	仕ル一札之事(お末手込め未遂一件お詫びにつき)	覚手番仰せ付の利助、五人組預けにつき請状)	受取申一札之事(不奉公戻し給銀受取)	御尋ニ付奉申上覚(左右衛門兄妙寺村利右衛門は居ない旨)	奉差上受書之事(木綿荷代金横取りにつき残銀返却の旨)	乍恐御届奉申上覚(猪鹿獺無事終了につき)	受書一札之事(鷺家村入用銀返済日延願につき) *ア64参照	受書一札之事(鷺家村一件の支払銀延引につき)	受書一札之事(争論入費支払延引)
嘉永2年2月	西2月28日	西2月21日・22日	嘉永元年12月	申10月朔日	申7月	申6月5日	嘉永元年5月2日	申3月	弘化5年3月4日	申3月朔日	弘化5年2月18日	弘化5年2月17日	弘化5年2月17日
門(印)【奥書】庄屋直吉(印)	郎(印)	橋谷村嘉右衛門(印)【奥書】 細河下村庄屋茂市郎(印)	名倉村酒屋長兵衛(印)同藤兵衛(印)	西飯降村清助伴清次郎(印) 右同村五人組多助(印)同村役人代平兵衛(印)	橋本町本人辰之助(印)【奥書】 橋本町年寄代房五郎(印)	五人組親善次郎(印)庄屋元右衛門(印)	上村本人惣兵衛(印)同親類証人弥十郎(印)庄屋三郎(印)	河瀬村庄屋利兵衛(印)	新在家村本人弥助(筆軸印) 同村五人組惣代九右衛門筆軸印(同村庄屋代茂兵衛(印)	柱本村本人平次郎(印)同村平次郎五人組金蔵(印)【奥書】 柱本村庄屋四郎五郎(印)	名倉村願主竹蔵(印)同村庄屋代源兵衛(印)	大の村願主長蔵(印)市原村願主忠兵衛(印)【奥書】大の村庄や代友右衛門(印)市原村庄屋代伊兵衛(印) 兵衛 同村庄屋代伊兵衛	大の村願主長蔵(印)市原村願主忠兵衛(印)【奥書】大の村庄や代友右衛門(印)市原村庄屋代伊兵衛(印)
堀源太夫	堀源太夫、田中助三郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	藤田源輔	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	胡乱者改堀源太夫	胡乱者改堀源太夫	胡乱者改堀源太夫
状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

胡乱者改(請書(弘化5・嘉永元申年/嘉永2酉年))

胡乱者改（請書〔嘉永2酉年／嘉永4亥年〕）

ア-73 -1	ツ-526	ツ-454	チ-4 -8	ツ-460 -2	ツ-460 -1	ツ-178	テ-30	テ-24	ツ-548	ツ-456	ツ-210	ツ-218	ツ-458
不調法申一札之事不突々問敷所作預御見咎めにつき） *袋入り4通一括	奉差上儀定書一札之事（勝負事に携わったことを詫び吟味延引願 い）	御詫申上候口上覚（五人組預け用捨願）	乍恐奉差上書附之事（不正の品買い取りにつき詫び状）	乍恐御受奉申上口上（勝負事不調法を詫び御有免願）	乍恐御受奉申上候覚（勝負事不調法を詫び用捨願）*封紙で2通一括	乍恐御受奉申上口上候覚（勝負事携わった旨お詫び）	差上一札之事（不調法詫び状）	御詫奉申一札事（不埒品あるにつき）	乍恐御断奉申上候口上（作問稼ぎに水茶屋作り売女躰の者召し抱 えにつき詫び状）	乍恐奉願上候口上（五人組預け御免願い）	誤申一札之事（心得違い博奕に携わるにつき）	奉差上議定之事（勝負事に携わるにつき詫び議定）	奉差上一札之事（五人組預け御免につき詫び状）
亥2月29日	酉12月日	酉12月11日	（嘉永2）11月	（酉か）6月19日	酉6月3日	酉5月6日	酉3月	嘉永2年3月	酉3月	酉3月	酉3月	酉3月2日	酉2月
辻田伝兵衛、堀源太夫	堀源太夫	辻田伝兵衛 堀源太夫	堀源太夫 久保吉之右衛門	堀源太夫	胡乱者改方堀源太夫	胡乱者改方堀源太夫	胡乱者改役堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫 口中助三郎
封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改（請書（嘉永2酉年／嘉永4亥年）／書状・来状（盜賊届））

ア-41 -17	ア-41 -18	ア-41	ツ-177	ツ-209	ツ-159	ツ-453	ア-73 -3-2	ア-73 -3-1	ツ-212	ア-73 -4	ア-73 -2
〔召し捕え盜賊盜品覚書〕	申口覚長三郎盗み取り物始末につき	【袋入り29通一括】 *袋上書「弘化四未十二月盜芝条書付入」	乍恐御受奉申上候覚（米代用捨のうえ返済の旨）	御請奉申上候覚（万次郎五人組預けにつき請書） *端裏 万次郎受書 山田村庄原藤次郎より	乍恐不調法書奉差上候（不勤御詫）	乍恐御受奉申上候覚（彦三郎不奉公につき銀百五十目返済の旨請 け書） *テ53関連	不調法申一札之事（人寄せし不実ヶ間敷所作企て預御見咎めにつき）	不調法一札之事（人寄せし不実ヶ間敷所作企て預御見咎めにつき） *封紙で2通一括	為念差入書附之事（博奕始末金借用につき） *ツ211関連	預り由書付之事（丈助不実所持物差押さえ預りにつき）	不調法申一札之事（不実ヶ間敷所作預御見咎めにつき）
	未4月朔日	（弘化4未年）		正月16日	嘉永4年6月	亥5月22日	亥5月2日	亥4月29日	亥4月22日	嘉永4年3月朔日	亥2月29日
	名倉惣廻吉助		世話人甚蔵 南名古曾村本人半兵衛（印） 同村証人十右衛門（印）同村	山田村庄屋藤次郎	大野村非人番半兵衛（印）大 野村庄屋代良助（印）	平村下津川垣内熊右衛門梓 彦三郎筆軸同村肝煎平兵衛	山田村庄大助事清左衛門（印）同村 勝五郎（印）同村嘉吉（印）同村 古藏（印）同村五人組惣代徳次 郎（印）同村庄原代利兵衛（印）	柱本村枝郷紀伊見峠政次郎 （印）同村十兵衛（印）同村庄尾 代源三郎（印）	本人力助印 同断用助印 同 断安松印	中組惣廻り十兵衛（印）	端場村留松（印）同村五人組弁蔵 （印）同村松太郎（印）同村五人組 惣右衛門（印）同村肝煎平兵衛 門（印）同村庄屋八郎右衛門（印）
			堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	鈴木兵右衛門 堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	挨拶人良介 同断安兵衛	堀源太夫	辻田伝兵衛、堀源太夫
状	状	袋	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状

a 盜賊届

5 書状・来状

胡乱者改(書状・来状〔盜賊屈〕)

ア-41-6	〔惣廻り内聞の報告書状〕	未12月朔日	岸上村庄屋源右衛門	堀旦那	状
ア-41-13	〔先日の盜賊一件の挨拶と不奉公人一件につき書状〕	11月29日	中役所	堀源太夫	状
ア-41-9	糺(無宿与吉止宿させた事につき梅松白状)	11月28日	北名古屋村枝郷北垣内皮田梅松 同村庄屋柳蔵		状
ア-41-1	覚(御吟味品質屋に紛れ込み無き旨)	11月25日	佐野村肝煎六兵衛	堀源太夫	状
ア-41-16	奉伺上候口上覚与吉女房引纏の旨伺い書写)	(11月23日)	〔堀源太夫〕		状
ア-41-15	御内存奉申上候覚(盜賊善九郎召し捕え・他の中間につき伺い)	11月23日	堀源太夫	広 藤右衛門	状
ア-41-28	〔人名付箋〕 *「元九鬼方牧野桑之助 十河方田中万助」とあり	未11月22日	大庄屋中組兼勤鈴木兵右衛門	広井藤右衛門	状
ア-41-10	覚(日高郡曾野村皮田無宿与吉狩宿村止宿ほか一件) *下書きか、ア41-19に同じ	11月21日	胡乱者改堀源太夫、丁ノ町組庄屋代鈴木兵右衛門	広井藤右衛門	状
ア-41-20	覚(逃亡者新藏召し捕え・田辺惣廻りへ渡し届けにつき)	未11月20日	胡乱者改堀源太夫、中組大庄屋代鈴木兵右衛門	広井藤右衛門	状
ア-41-19	覚(逃亡者新藏召し捕え・田辺惣廻りへ渡し届けにつき)	未11月20日	胡乱者改堀源太夫(印)、丁ノ町大庄屋中組兼帯鈴木兵右衛門(印)	広井藤右衛門	状
ア-41-11	〔岸上村買集の品書上〕	11月20日	胡乱者改堀源太夫		状
ア-41-29	〔人名付箋〕 *「牧野桑之助 上村勇助」とあり	未11月13日			状
ア-41-23	〔無宿盜賊市兵衛初三人引纏につき同道願書状〕	11月12日	田中助三郎	堀源太夫	状
ア-41-12	御内御達シ申上覚	11月4日	御役所	堀源太夫	封紙包状

胡乱者改(書状・来状(盜賊届))

ア-41 -26	ア-41 -25	ア-41 -22	ア-41 -21	ア-41 -14	ア-41 -7	ア-41 -8	ア-41 -24-2	ア-41 -24-3	ア-41 -24-1	ア-41 -3	ア-41 -2	ア-41 -5	ア-41 -4
覚(東村荒物屋弥五郎宅からの盗品につき)	覚(盗物の質入品につき)	吟味白状(与吉盗みにつき) *与吉・慶一郎の盗み	中口(盜賊与吉・女房しげ・慶二郎白状書) *盜賊与吉・女房しげ・慶二郎につき	(盜人につき願出覚)	覚(中組名倉村で逃げた盜賊召し捕えにつき)	(惣廻り給受取・夜前慶次郎召し捕えほか報告)	(昨日のお礼と十兵衛お助け願ひ書状)	申口(十兵衛盜品につき) *端裏書「慶次郎白状」	(十兵衛一件につき御用状をいただき弟を遣わす旨書状) *こよりで3通一括	(東家村で豊吉盜につき白状書)	覚(上組東家村で盜賊召し捕えにつき) *盜品一覽あり	(盜人ほか覚書)	乍恐奉内扱覚(狩宿村無宿平四郎・慶次郎不明につき)
						18日早天	未12月19日		未12月18日	(12月15日以降)	12月15日	(12月10日ほか)	未年12月5日
		胡乱者改堀源太夫、丁ノ町大庄屋中組兼帯鈴木兵右衛門			胡乱者改堀源太夫	堀源太夫	米屋清右衛門		米屋清兵衛		胡乱者改堀源太夫、上組大庄屋田中助三郎		狩宿村庄屋伊平次
		広井藤右衛門				同姓親之助	堀源太夫		堀源太夫		広井藤右衛門		堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改(書状・来状(盜賊届))

ア-77 -2	ア-77 -6	ア-77 -5	ア-77	ア-76 -2	ア-76 -1	ア-76	ア-78 -3	ア-78 -2	ア-78 -1	ア-78 -5	ア-78 -4	ア-78	ア-41 -27
覚(金子受取につき)	(本年分盗一件造用高につき書状)	覚(召捕方・惣廻り入用金につき)	【袋入り6通一括】 *袋上書「嘉永一己酉年正月日 盜賊届ケ入」	覚(伏原村勝次郎盜取品白状書)	申口(柏原村係兵衛盜取品白状書)	【袋入り2通一括】 *袋上書「嘉永元年十一月日 盜賊届入」	不足之品覚	(土生屋源兵衛方へ質入品名書)	不足品覚(衣類・反物)	覚(不足品につき)	覚(不足品につき)	【袋入り5通一括】 *袋上書「弘化五申年正月日 盜賊一条書付入届書入」	(出入名前) *田辺惣廻り源八・徳藏、ア4119関連か
西5月10日	3月22日	酉正月	嘉永2酉年	(西10月〜戌3月の出来事)	(西7月〜10月の出来事)	(嘉永元年)				(嘉永元年)11月27日	(嘉永元年)11月27日夜・28日(昼届出)	(弘化5・嘉永元年)	
麻生津佐々江町清兵衛	中役所	中組		名倉村又助	惣廻り又助					名倉辻本や市兵衛			
堀源太夫	堀源太夫			御役所	堀源太夫					堀源太夫			
状	状	状	袋	状	状	袋	状	状	状	状	状	袋	状

胡乱者改(書状・来状〔盗賊届〕胡乱者改仲間)

ア-84 -12	ア-84 -1	ア-84 -13	ア-84 -11	ア-84 -5	ア-84 -3	ア-84 -7	ア-84 -8	ア-84 -6	ア-84
〔別封で願書送る旨書状〕	〔学文路村で木盗取一件につき端場皮田調査頼み書状〕	〔移村松次郎内々取調べ願ひ書状〕	〔忌み明けの達しにつき書状〕	預申金子之事(備中国無宿友次堺表より持出品代銀預りにつき)	〔開帳案内ほか書状〕	〔手掛かりある所の取調べにつき書状〕	〔人相書の者徘徊の節召捕え願ひ書状〕	〔年賀、力士梅川一件につき書状〕	【袋入り14通一括】 *袋上書、弘化四丁未年正月吉日 胡乱者改方仲間来状入
11月25日	11月24日	10月8日	7月22日	弘化4年6月	5月17日	4月25日辰刻	2月21日	正月6日	(弘化4未年)
藤田源輔	榊新右衛門	榊新右衛門	藤田源輔	名草郡胡乱者改津田源次夫	〔津田〕源二太夫	藤田源輔	津田源太夫	〔寺領胡乱方〕田中勘右衛門	
堀源太夫	堀源十郎	堀源十郎	堀源太夫	伊都郡胡乱者改堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	
状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	袋

b 胡乱者改仲間

ア-77 -3	ア-77 -4	ア-77 -1
〔堀源太夫・惣廻り他へ出す食物代書上げ〕	覚粉川石町喜助盗取品白状書	〔中飯降村松次郎盗取品白状書〕
	*ア136関連	
	(当月20日の事件)	酉7月朔日
	惣廻り武兵衛	惣廻り武兵衛
	御役所	御役所
横帳	状	状

胡乱者改(書状・来状(胡乱者改仲間))

ア-86 -11	ア-86 -12	ア-86 -7-2	ア-86 -7-1	ア-86 -8	ア-86 -3-3	ア-86 -3-2	ア-86 -3-1	ア-86	ア-84 -9	ア-84 -2	ア-84 -14	ア-84 -10	ア-84 -4
書 〔五人組預けのつる嶋の不当取り扱いは覚えなく先方相手御調願〕	〔名手組上村庄弥三郎願出添状〕	〔病气見舞い書状〕	〔惣廻り跡役推薦書状〕	〔丁之町村から出願筋下済申出一件ニ付書状〕	〔会談諸費計算書〕	内存奉願口上(御用出在村方泊時御扶持方手形差置き度につき)	〔仲間ニ統会談案内廻文〕	【袋入り12通一括】 *袋上書「弘化五年正月吉日 胡乱者改方仲間来状入」	〔名前覚書〕	〔京都役人中から来る加州金沢家中藤田与三之助の手配書〕	〔別紙ニ通学文路村から野山へお届させ御願書〕	〔梅川一件につき書状〕	〔直治郎手当につきお礼書状〕
			*封紙で3通一括				*紙ひもで巻き3通一括					*ア84-6参照	
5月20日	5月15日	卯月15日	3月28日	2月20日	弘化5年2月13日 会談	2月1日	弘化5年2月5日	(弘化5申年)			21日	12月28日	未12月23日
伏原村庄屋保三郎	藤田源輔	榊新右衛門	(河田)源太夫	藤田源輔			津田源二太夫、同源太夫				津田	田中勘右衛門	(泉州堺)岡田多七
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫、源助	堀源太夫			榊新右衛門、堀源太夫、藤田源助					堀源十郎	堀源太夫
状	状	状	封紙包状	封筒入状	状	状	状	袋	状	状	状	状	封紙包状

胡乱者改（書状・来状（胡乱者改仲間））

ア-80 -2	〔引渡し盗賊入用金多く負担を頼む旨書状〕	4月4日	高野山総分役人長谷川数馬 （印）	伊都郡胡乱者御改堀源太夫	封紙包状
ア-80 -8	〔粉河組から人足引纏出府につき御用状〕	正月24日（か）	堀源太夫	藤田新一郎	状
ア-80 -3-1	〔去十二月出塔村弥三郎一件御苦勞につき酒肴代送り書状〕 *2追啓あり	正月10日	中組	源太夫	封紙包状
ア-80 -4	〔年賀書状〕	正月8日	長谷川数馬副充（花）	堀源太夫	状
ア-80 -5	〔年賀書状〕	戊正月3日	（堺）前橋佐兵衛	堀源太夫	状
ア-80	【袋入り9通一括】 *袋上書「嘉永三戊年正月 胡乱者改仲間来状入」 （嘉永3戊年）				袋
ア-86 -7-3	〔別紙調印願い〕		藤田源輔	堀源太夫	状
ア-86 -2	〔名草同士からの別封送り、去年来の一件済み口につき書状〕	12月26日申下刻	藤田新一郎	堀源太夫	状
ア-86 -6	口上〔残金明春までお延引の旨書状〕 *封紙上書「堀源様貴下 高野源次兵衛」	極月18日	高野源次兵衛	堀源	封紙包状
ア-86 -5-1	〔奉公人梅の無断縁付残給銀引請一件につき書状〕 *2追啓あり	12月24日	太夫（花押） （名草胡乱者改）津田源次	藤田源助	状
ア-86 -9	〔佐野皮田疑惑ほか書状〕	11月30日辰下刻	藤田新次郎（従佐野）	堀源太夫	状
ア-86 -10	〔御内室様御逝去悔やみ状〕	6月14日	柳新右衛門	堀源太夫	封紙包状
ア-86 -4	〔お見舞お礼書簡〕	6月20日	（関戸）関加茂四郎	堀源太夫	封紙包状
ア-86 -1	〔お悔やみ礼并御日見不仕の理由尋ね書状〕	5月23日	堀源太夫	藤田源輔	状

胡乱者改(書状・来状) (胡乱者改仲間)

ア-105	ア-79-2	ア-79-1	ア-79-4	ア-79-3-2	ア-79-3-1	ア-79-6	ア-79-5	ア-79	ア-80-9	ア-80-1	ア-80-7	ア-80-6
〔志賀甚が盗品を持ち込んだ東家村嶋久の捜査願い書状〕	①〔無宿志賀甚一条につき橋本組惣廻り源兵衛の扱いが遅いことを訴える書状〕 *封紙で2通一括	〔酒肴御礼と御所村一条お申越の儀につき書状〕	〔名草同役から人来る別紙内容に付取計い願い〕	〔良助娘かめの戻し奉公人の返給一件訴え書状〕	〔良助娘かめの戻し奉公人の返給一件訴え書状〕 *封紙で2通一括	〔先頃御入来の節の事につき書状〕	〔別紙内容につきお取調べ願い書状〕	【袋入り6通一括】 *袋上書 嘉永四年正月より 胡乱者改仲間来状入	〔出府御祝儀他につき書状〕	〔盗賊亀之進盗品御預け下げと召し捕え後造用につき書状〕	〔伊都三組御立用金名前帳につき書状〕	〔行方不明奉公人見つかかり候旨書状〕
(嘉永2) 閏4月7日	(嘉永2) 閏4月5日	巳刻	4日	4月25日	4月18日	3月14日	3月4日	(嘉永4亥年)	10月4日	8月16日	5月10日	4月4日
衛(印) (寺領胡乱方) 宇野源次兵	宇野源次兵衛	宇野源次兵衛	藤田新二郎	藤田新二郎	藤田新次郎	宇野源次兵衛	津田源二大夫、同源大夫		藤田新二郎	宇野源二兵衛	藤田新次郎	松浦伊左衛門
田中助三郎 堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	久保吉之右衛門、田中吉三郎、堀源太夫	名手市バ堀源太夫	堀源太夫、藤田源助		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	袋	状	封紙包状	状	封紙包状

胡乱者改（書状・来状（胡乱者改仲間／大庄屋））

ター2-10	ター2-6	ター2-21	ター2-15	ター2-22	ター2-23	ター2-25	ター2-16	ター2
〔高野山宝塔御用時の御厚配に対する礼状〕	〔広口村大宮祭礼の儀につき出役を見合わす旨書状〕	〔高岸垣内岩松、井森垣内皮田喜三八ほか打擲一件願い下げにつき奥印を頼む書状〕	〔井ノ森一件願い下げほか書状〕 *端裏「井ノ森筋又次郎殿」	〔下済が整ったことを伝える書状〕	〔市原井森皮田との争論相手方自害につき見分出張を頼む書状〕	〔御祝いを述べる書状〕 *封紙「市場村堀源十郎様 丁ノ町組大庄屋評」	〔惣廻り御下げ金御礼書へ調印の上差し上げる旨書状〕	【袋入り34通一括】 *袋上書「来状 伊都三組大庄屋衆より二弘化三丙午三月廿八日」
7月26日	7月15日	閏5月24日	閏5月12日	閏5月8日	5月7日夜	4月13日	3月22日	(弘化3午年)
三木賀十郎	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	又次郎	兵右衛門	
堀源十郎	堀源次郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	源十郎	
封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	袋

c 大庄屋

ター11-6	ア-44	ア-124-1	ア-124-2
〔御所村筋は凶作で返答できず来春早々に掛け合う旨書状〕	舌代(別紙の儀につき)	〔名倉村西福寺什物一条につき藤田氏の別紙を伝える事ほか書状〕 *封紙で2通一括	〔名倉村道具の儀につき粉河村丸屋武兵衛の白状ほか伝え書状〕
11月14日	7月11日	卯月9日	4月3日
星山村宇野源次兵衛	藤田源輔	辻田伝兵衛	藤田新次郎
堀源大夫	堀源大夫	源大夫	辻田伝兵衛 堀源大夫
封紙包状	状	状	状

胡乱者改(書状・来状(大庄屋))

ター2-28	ター2-31	ター2-30	ター2-2	ター2-27	ター2-5	ター2-12-1	ター2-33	ター2-12-2	ター2-12-3	ター2-9	ター2-18	ター2-29	ター2-17
を伝える書状) 〔上組惣廻り源兵衛大病につき俣源助へ惣廻り役を申し付けた旨を伝える書状〕	〔角力一件は和済につき願書お下げの旨書状〕	〔橋本町文七ほか船頭が和歌山相撲取から打擲大疵につき別紙願書を差し出し取り扱いを頼む書状〕	〔達し順達の旨送り状〕	〔妙寺村和兵衛粉河村勘右衛門出願筋願い下げの旨を伝える書状〕	〔東家源兵衛惣廻り小屋へ引込む旨書状〕	〔召捕方につき名前間違いで召し捕りなきことを決した旨書状〕 *こよりでくり3通一括	〔盗品買い取りの源兵衛は偽名で嘉兵衛を村役人預けにした旨書状〕	〔盗品買い取りの源兵衛は偽名で喜兵衛を村役人預けにした旨書状〕	〔東家村源兵衛を惣廻り小屋へ引き込み置く旨書状〕	〔岸上村才印一条の扱い方につき書状〕	〔市脇村三部明神祭礼につき出張願〕	覚(駕籠人足賃ほかお渡し)	〔胡麻生八幡宮祭礼につき出張願〕
10月13日	10月8日	10月6日	10月4日酉ノ上刻	9月2日	8月28日	8月26日	8月23日	8月23日	8月21日	8月20日	8月18日	8月10日	8月9日
田中助三郎	辻田伝兵衛	田中助三郎	藤田源輔	藤田源輔	助三郎	鈴木兵右衛門	田中助三郎	田中助三郎	田中助三郎	伝兵衛	田中助三郎	(印・若山御伝馬役所)	田中助三郎
堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎	源十郎	堀源十郎	鈴木兵右衛門 堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎 鈴木兵右衛門	源十郎	堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎
封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状

胡乱者改(書状・米状(大庄屋))

タ-2 -1	タ-2 -7	タ-2 -14	タ-2 -24-2	タ-2 -11	タ-2 -34-1	タ-2 -19	タ-2 -32	タ-2 -4	タ-2 -34-2	タ-2 -24-1	タ-2 -20	タ-2 -26	タ-2 -13
(麻生津ほか高野山寺領の惣廻り人名書上)	(掛かり金取替筋など勘定書の通り受け取り下され度旨書状) *端裏「上組俊蔵より 堀兵衛源兵衛」	(伊部三組非人番へ下し金につき書状)	(仰せ聞かせの筋につき送り状)	(伊部郡中の状況につき書状)	(大野村弥三郎一条和済につき願書お下げの旨書状) *封紙で2通一括	覚(大野村徳右衛門方竹蔵追払の旨)	(堀上浦まで出張を求める書状)	(矢たて別封で送る旨書状)	乍恐御断奉申上候覚(和済につき願書御下げ願)	(南名社村周蔵盗難一件につき願書へ在判の上御達しを頼む書状)	(盗賊白状書ほかへ在判の上取り扱い願)	(願書を遣わし入れ込みを頼む書状)	(京都破牢の者召し捕りにつき達) *別紙手配書2通あり
	12月21日	12月20日	12月15日	12月12日	12月4日	午12月4日	11月27日	11月24日	午11月	霜月23日	11月3日	10月24日	午10月15日
	俊蔵	兵右衛門	北垣小三郎	鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛	胡乱者改堀源十郎	鈴木兵右衛門	丁ノ町組又治郎	大野村願人弥三郎(印) 同村庄屋喜十郎(印)	(中組)慶五郎	辻田伝兵衛	辻田伝兵衛	森田勝蔵
	堀源次郎	源十郎	堀源十郎	堀源次郎	堀源十郎	小浦惣門	堀源次郎	堀源十郎	辻田伝兵衛 堀源十郎	源十郎	堀源十郎	源次郎	藤田源輔 堀源次郎
状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

ター3 -23	ター3 -20	ター3 -17	ター3 -26	ター3 -15	ター3 -16	ター3 -19	ター3 -21	ター3 -36	ター3 -3-1	ター3 -3-3	ター3	ター2 -8	ター2 -3
覚（受負、人足賃差上）	〔別紙願出を送り取り扱いを頼む書状〕	〔別紙届出に調印し達し願書状〕	〔豆嘉一条の状況を伝える書状〕	〔お忘れの手拭い送る旨書状〕	〔中飯降村からの別紙願い出取り扱いを頼む書状〕	〔名倉村新五郎盗難につき別紙届書に調印し達し願書状〕	〔盗賊一丈解決につき礼状〕	〔当組惣廻り別紙申口書提出につき役所へ出張を求める書状〕	〔小浦様所替の通知と年賀への礼状〕 *封紙で3通一括	〔小賊召し捕りにつき扱いを尋ねる書状〕	〔袋入り46通一括〕 *袋上書「弘化四丁末吉日大庄屋許より来状入」	〔石持ち人足名前書上〕	〔伏原前での論事打擲に関わった人名書上〕
未6月14日	5月27日	5月6日	4月5日	3月22日	3月18日	2月16日	2月15日	2月2日	正月27日	正月3日	（弘化4末年）		
役所	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	伊藤八右衛門	北垣祥	鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	田中助三郎	伝兵衛			
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀雅君	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	源十郎			
状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	袋	状	状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

タ-3 -12	〔大蔵村あわじ人形芝居興行に出役を頼む書状〕	9月8日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	封紙包状
タ-3 -42	〔廻状の送り状〕	8月29日	辻田伝兵衛	堀源太夫	状
タ-3 -5	〔芝居への招きを断る書状〕	8月29日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	封紙包状
タ-3 -40	〔雨乞立願三番そうじ演につき入来願書状〕	8月25日	柳蔵	堀源太夫	状
タ-3 -43	〔小田村孫兵衛才藏紛失品の争論和済の旨を伝える書状〕	8月23日	辻田伝兵衛	堀源太夫	封紙包状
タ-3 -45	〔学文路村忠右衛門届出に在印の上御達願書状〕 *追啓一孫兵衛才藏紛失一和済について	8月22日	伝兵衛	源太夫	状
タ-3 -44-1	〔前山藤次郎出願の件は片付いた旨を伝える書状〕 *封紙で2通一活、移村松次郎との争論につき	8月13日	中口和助	堀源太夫	状
タ-3 -39	〔胡麻生村八幡宮祭礼へ御詰願書状〕	8月12日	田中助三郎	堀源太夫	封紙包状
タ-3 -22	口上（合羽に関するお尋ねの返答）	7月23日			状
タ-3 -18	〔別紙届書に調印し達し願書状〕 *端裏「丁ノ町役所より盗賊ニ付」	7月23日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	状
タ-3 -44-2	口上覚（山崎村藤十郎養子相統争論につき）	未7月17日	移村願主松二郎（印）	堀源太夫	封紙包状
タ-3 -46	〔金子指上につき書状〕	7月11日	辻田伝兵衛	源太夫	封紙包状
タ-3 -32	〔甚助不奉公につき名倉村武右衛門からの戻り給を受け取るよう願人へ仰せ付け願書状〕	7月9日	慶五郎	源太夫	状
タ-3 -1	〔勘助所持品の受取法につき伺い書状〕	7月9日	中組大庄屋元	堀源太夫	状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

タ-3 -8	タ-3 -9	タ-3 -30	タ-3 -29	タ-3 -33	タ-3 -34	タ-3 -2	タ-3 -28	タ-3 -10	タ-3 -13	タ-3 -11	タ-3 -38	タ-3 -37	タ-3 -35
〔丁ノ町村家主文右衛門等出願の取り扱いを頼む書状〕	〔別紙届出に調印し達し願書状〕	〔名倉村金助不奉公人婦り給につき造用割掛り取立を頼む書状〕 *下紙あり	〔惣廻り召し捕りの盗賊申口送り状〕	〔辻田伝兵衛死去を伝える書状〕	〔岸上村才右衛門等内聞書を送り調印し達し願書状〕	〔先達ての状の子細に關する谷奥深村からの返答につき書状〕	〔出府につき婦村日を知らせる書状〕	〔佐野村一件につき別紙書附提出につき内覧の旨書状〕	〔別紙御達を廻達する旨書状〕	〔慈尊院宮祭礼案内書状〕	〔馬場村天満宮祭礼の別紙取組へ在判し達するよう頼む書状〕	〔東村弥五郎盗難届出書に調印し達し願書状〕	〔大敷村で淡路傀儡興行につき出張を頼む書状〕
11月15日	11月7日	11月4日	11月4日	弘化4年10月26日	10月23日	10月17日	10月14日	10月6日	10月朔日	9月27日	9月26日	9月11日	弘化4年9月8日
鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	賀十郎	田中助三郎	守内伊左衛門 二木賀十郎	兵右衛門	〔上組杖突〕 芋生俊藏	〔中組より〕	鈴木兵右衛門	大庄屋元	鈴木兵右衛門	中組大庄屋元	鈴木兵右衛門	丁大庄屋許
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

タ-4 -6	タ-4 -7	タ-4 -5	タ-4	タ-3 -31	タ-3 -14	タ-3 -4	タ-3 -3-2	タ-3 -6	タ-3 -27	タ-3 -25	タ-3 -41	タ-3 -7	タ-3 -24
〔上坂様への書状差上について尋ね、的場様書状への添え状を頼む書状〕	〔別紙廻達の送り状〕	〔学文路村嘉右衛門願出につき市原村忠兵衛大野村吉兵衛対決のうえ取り計り頼み書状〕	【袋入り17通一括】 *袋上書「弘化五申正月吉日大庄評屋より米状入」(弘化五申年)	追啓(お礼ほか)	〔別紙の取り扱いを頼む旨添え書〕	舌代(藤田氏忌み明け御通の有無尋ね)	申口(定右衛門の盗みにつき調書)	〔上兵庫村惣五郎受書送り状〕	〔岸源右衛門筋につき明日立合を頼む書状〕	〔盗賊一件の御達控・白状書など七通送り状〕	〔丁ノ町組役所へ出張を求める書状〕	〔別紙届出に調印し達し願書状〕	〔召捕盗賊しげの身元を伝える書状〕
3月11日	2月26日	2月20日						18日	12月17日夜	極月2日	11月26日	11月19日	11月18日
伝兵衛	伝兵衛	伝兵衛		(辻田)		名出より	中組惣廻り吉助	(田中)助三郎	辻田慶五郎	大庄屋元	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	文輔
源太夫	源太夫	源太夫				堀	御役所	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫
状	状	状	袋	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

胡乱者改(書状・来状)(大庄屋)

ター4-15	ター4-16	ター4-17	ター4-13	ター4-14	ター4-11	ター4-2	ター4-12	ター4-10	ター4-4	ター4-3	ター4-1	ター4-9	ター4-8
(灌頂府祭礼につき出張依頼書状)	(手前にて秋原村善二郎相糺書付取り差出につき一覽調印の上御達願書状)	(四郷荘からの届出に調印の上御達願書状)	(粉川村小前と庄屋争論につき状況説明書状)	口演(妙寺村東市願出不奉公筋の扱いを頼む旨ほか)	(三浦様御講半口加入依頼書状)	(御内室様逝去につき悔状)	(岸上村善九郎ほか評定所へ引き纏めにつき若府表へ取り成しを頼む書状)	(狩宿村と東村枝郷皮田筋纏れ合い一条下済につき願書お下げの旨書状)	(東村垣内皮田勇左衛門と狩宿村若き者共口論打擲一件の取り計り頼み書状)	(五人組預筋につき出張取り締まり依頼ほか書状)	(諸勝負事を行った者につき書状)	(利助不埒筋につき利助お糺の上取り扱い願ひ書状)	(別紙伺書への添削依頼書状)
9月28日	7月晦日	7月20日	7月19日	6月28日	6月25日	6月12日	5月27日申ノ刻	5月16日	5月11日	5月10日	5月6日	4月23日	4月14日
丁ノ町組役所	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	伊藤八右衛門	又次郎	名出文輔	(上組大庄屋)芋生俊蔵	伝兵衛	(大庄屋)名出文輔	大庄屋文輔	丁ノ町大庄屋兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	伝兵衛
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源大夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫
状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

ター5 -19	ター5 -40	ター5 -29	ター5 -49	ター5 -59	ター5 -45	ター5 -41	ター5 -39	ター5 -30	ター5 -46	ター5 -6	ター5 -39-1	ター5 -60	ター5
〔別紙届出書に在印の上御達願書状〕	〔佐野村高田屋宇兵衛願書につき当組へ入れ込み願書状〕 *佐野村江屋宇兵衛より別紙願書差し出しにつき	〔当役所内紛失物の取り調べにつき出張を頼む書状〕	〔品書は伊右衛門に渡し差し上げる旨、内談の吉印の儀ほか書状〕	〔別紙届出に調印し達し願書状〕	〔師匠山水喧嘩願書願い下げの願書一覽を頼む書状〕	〔中組へ預かりの慶次郎盗み品紛失につき書状〕	〔学文路村嘉右衛門願筋下濟整わず取り扱い願書状〕	〔盗賊慶次郎から岸上村善九郎へ売払の品が当役所より紛失の旨を伝える書状〕	〔市原村吉助別紙願書差出につき達し願書状〕	〔年賀挨拶ほか書状〕	〔取り扱いを頼みたく出勤を願う書状〕 *封紙で2通一括	〔岸源右衛門取調の留控送り書状〕	【袋入り62通一括】 *袋上書「嘉永元申年人住屋より来状入」〔嘉永元申年〕
3月12日	3月5日	3月4日酉刻	3月3日	3月2日	2月26日	2月26日	2月26日	2月26日	2月17日	正月25日	正月19日	正月17日	
伝兵衛	鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛	〔辻田〕伝兵衛	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	惣廻り吉助	伝兵衛	辻田伝兵衛	兵右衛門	田中助三郎	辻田伝兵衛	辻田伝兵衛	
源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	
状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	袋

胡乱者改（書状・来状〔大庄屋〕）

タ-5 -26	タ-5 -25	タ-5 -15	タ-5 -13	タ-5 -37	タ-5 -5	タ-5 -16	タ-5 -43	タ-5 -11	タ-5 -42	タ-5 -32	タ-5 -28	タ-5 -31	タ-5 -3
〔御内室様の見舞いを述べ、五人組預けの者の取り扱いを頼む書状〕	〔取扱延引仕度旨書状〕	〔和州東川村筏乗新七が佐野村立花屋金右衛門宅で金子紛失の件の扱いにつき書状〕	〔博奕禁制の別紙勘定奉行衆からの達を伝える達〕	〔売女并女髪結取調べにつき書状〕	〔明日の出張を頼む書状〕	〔奥様の病気を見舞い、当組取り扱い筋の状況を伝える書状〕	〔別紙願書差上につき出張願書状〕	〔盗取の儀届け出につき御調の上達し願書状〕	〔別紙届出に在印の上達し願書状〕	〔出塔村利兵衛出願筋願下げほか書状〕 *端裏「中組大庄屋殿より三月廿六日米 惣廻り彦兵衛役儀願書添」	〔吉助女房引纏出府の詳細につき書状〕	〔古沢村伝兵衛盗難品渡しにつき書状〕	〔吉助女房ちか御糺につき評定所への召し連れ方ほか伺い書状〕
5月7日	5月7日	4月26日	4月25日・4月	4月23日	4月23日	卯月22日	卯月15日	4月6日	4月4日	3月25日夜	3月15日	3月14日	3月14日
鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛	鈴木兵右衛門	広井藤右衛門	鈴木伝兵衛	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	伝兵衛	伝兵衛	助三郎	伝兵衛
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	組和州大 胡乱者改 アテ	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	源太夫	源太夫	源太夫
状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改(書状・来状〔大庄屋〕)

タ-5 -12	タ-5 -35	タ-5 -58	タ-5 -27	タ-5 -48	タ-5 -38	タ-5 -4	タ-5 -10	タ-5 -8	タ-5 -14	タ-5 -22	タ-5 -2	タ-5 -7	タ-5 -23
〔盗賊召し捕りにつき出張依頼書状〕	〔神事につきご来光依頼書状〕 * 隅田八幡宮胡麻生八幡宮につき	〔学文路村忠左衛門盗難届出に調印の上達し願書状〕	〔願筋取り計りにたいするお礼ほか書状〕	〔四郷大宮例祭符踊りへの出勤頼みほか書状〕	〔出塔・柏原村から貴館へ差出の段承知につき書状〕	〔覚(郡中割から取分)〕	〔講掛り銀差し越願書状〕	〔別紙届書差出につき調印の上御達し願書状〕	〔堀氏忘中引延引のつね不奉公筋の扱い依頼書状〕	〔御内室様逝去につき悔状〕	〔村方からの別紙届出に調印の上御達し願書状〕	〔御内室御病死につき悔状〕	〔御内室様の病状を尋ね、お見舞い延引お詫び書状〕
8月4日	8月3日	7月29日	7月28日	7月13日	7月10日未下刻	申7月9日	7月8日	7月3日	6月14日	5月28日	5月26日	5月25日	5月20日
右衛門 〔丁ノ町組大庄屋〕 鈴木兵	北垣小三郎	辻田伝兵衛	一色仙輔	鈴木兵右衛門	伝兵衛	役所	名出文輔	鈴木兵右衛門	又次郎	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	田中助三郎	辻田伝兵衛
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	藤田源輔	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

ター5 -1	ター5 -61	ター5 -53	ター5 -17	ター5 -18	ター5 -51	ター5 -50	ター5 -36	ター5 -41	ター5 -20	ター5 -55	ター5 -57	ター5 -54	ター5 -24
〔佐野村一条につき出張依頼書状〕	〔病氣中手省差し免し願書差遣旨書状〕	〔学文路村榎屋幸助方止宿人急病につき出張願書状〕	〔佐野嶋皮田一件片付き御礼状〕	〔別紙願筋の取扱を頼む書状〕	〔丁ノ町組皮田一件につき書状〕	〔丁ノ町組皮田一件につき書状〕	〔願出の不奉公人筋につき藤田氏へ厳しい扱いを頼むことほか書状〕	〔大野村からの別紙願い出つき在判の上達し願書状〕	〔大ず村彦藏盗難品見改め、別紙届けに在印お達し願書状〕	追啓（岸上村善九郎差出品は麻生津村からの盗品かお調べ願）	〔祭礼御達に御在印の上達し願書状〕	口上（岸上村善九郎・まんから善九郎買い取りの盗品調べにつき）	〔移村一条につき御達願書状〕
12月14日	12月8日	12月3日未刻	12月3日	12月12日	11月29日	11月29日	11月29日	11月晦日	10月23日	10月9日	10月朔日	9月朔日	8月5日
鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛	鈴木兵右衛門	伝兵衛	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	伝兵衛	辻田伝兵衛	（中組大庄屋）辻田伝兵衛		辻田伝兵衛	伝兵衛	兵右衛門
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源十郎	堀源太夫		鈴木兵右衛門 堀源太夫	源太夫	源太夫
封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状

胡乱者改（書状・来状（大庄屋））

タ-6 -28	〔願書預り置を頼む書状〕	2月29日	辻田	堀	状
タ-6 -26	〔熊五郎埋捨届につき調印し達し願書状〕	正月晦日	門 田中吉三郎 久保吉之右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -27	〔熊五郎召捕につき別紙達書へ調印し達し願書状〕	正月25日	久保吉之右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -21	〔山田筋并端場筋につき出勤頼み書状〕	正月17日	辻田	堀	状
タ-6 -6	〔傘返却頼書状〕	正月12日	中組役所	堀源太夫	状
タ-6	【袋入り29通一括】 *袋上書「嘉永四年亥正月吉日 大庄屋ヨリ来状入」	（嘉永4亥年）			袋
タ-5 -47	〔お紅しにより雑用銀払いの延引を頼む書状〕 *熊家村は奈良県東吉野村、紀州藩の本陣が置かれる		伊都郡胡乱者改堀源太夫	鶯家村大庄屋辻四郎三郎	状
タ-5 -21	〔上岐孫次郎様役替えを伝える書状〕		名出	堀御氏	状
タ-5 -9	〔尊書の趣承知の旨ほか書状〕		名出	堀	状
タ-5 -56	〔金子送状〕	27日			状
タ-5 -62	〔別紙盗難届に在印の上達し願書状〕	11日	助三郎	源太夫	状
タ-5 -52	〔別紙届出に在印の上達し願書状〕	12月27日	辻田伝兵衛	堀源太夫	状
タ-5 -33	〔願下願書差出につき書状〕	12月24日	辻田	堀	状
タ-5 -34	〔佐野村宇兵衛願出不奉公人筋下済につき願書御下げの旨書状〕	12月23日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	封紙包状

胡乱者改（書状・来状）（大庄屋）

タ-6 -7	〔盗難届指出につき調印し達し願書状〕	7月3日	田中吉三郎 久保吉之右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -5	〔惣廻りから別紙御書差出につき書状〕	7月2日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -20	〔別紙盗難届に印形し達し願書状〕 *前欠	6月24日	久保吉之右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -16	〔大野村で小賊召捕につき処置について何う書状〕	6月11日	伝兵衛	源太夫	状
タ-6 -3	〔毛綿手違筋につき代官所へ達し願い書状〕	6月5日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -22	〔別紙届出につき調印し達し願書状〕	6月4日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -24	〔惣廻りから別紙届出につき取扱願書状〕	5月22日	鈴木兵右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -11	〔別紙盗賊達へ調印し達し願書状〕	5月21日	久保吉之右衛門	堀源太夫	状
タ-6 -25	〔加藤氏一条の状況を伝え取り扱い法につき意見を述べる書状〕	3月19日	（辻田）伝兵衛	源大夫	状
タ-6 -17-2	〔風邪気味につき勤めを休む旨書状〕	3月11日	吉之右衛門	源太夫	状
タ-6 -17-1	〔盗賊召捕につきご来臨依頼書状〕 *封紙で2通一括	3月8日	久保吉之右衛門	堀源大夫	状
タ-6 -14	〔来客人へ同伴するので孫助から聞き取りの上取計願書状〕	3月朔日	聡十良	辻田	状
タ-6 -13	〔別紙の通り木村氏申し出につき談じ申し度出張依頼書状〕	3月朔日	辻田	堀	状
タ-6 -29	〔木村氏一条につき出張願書状〕	2月30日	辻田	堀	状

ア-120	チ-3 -44	ケ-8 -9	タ-6 -9	ター6 -10	ター6 -2	ター6 -1	ター6 -18	ター6 -4	ター6 -23	ター6 -8	ター6 -19	ター6 -12	ター6 -15		
	〔定次郎不奉公一件の処理内容を伝える書状〕 <small>*端裏一東谷上惣願ニ付鈴木殿より</small>	〔東谷村惣兵衛願い出定次郎不奉公一件取り扱い願ひ書状〕	〔下村弥次郎から別紙願ひ出につき取り扱い願ひ書状〕	〔葉差上の旨書状〕	〔石井氏十八日貴館へ伺う旨を伝える書状〕 <small>*葉の調合のため</small>	〔恒例神事につき胡麻生村八幡宮へ出張依頼書状〕	〔病氣見舞い書状〕	〔宗兵衛願出の熊右衛門悻彦三郎不奉公の件下済につき願書御下 げ取扱書状〕	〔野村吉原村からの別紙届書へ在印の上達し願書状〕	〔天野村柳之進盗難品御下げにつき受取手形などに関して書状〕	〔掛合依頼書状〕	〔龜之進盗取品の内高野寺領天野村柳之進返却分につき宇野氏と 掛合依頼書状〕	〔盗賊一件書類ご覧の上調印し達し願ひ書状〕	〔上組で召捕盗賊の御調べ内容を伝え取り扱いを頼む書状〕	〔盗賊三人召捕につき出張を頼む書状〕
	〔弘化4〕7月6日	〔弘化4〕7月3日	〔弘化3〕10月19日	8月25日	8月16日	8月10日	8月朔日	7月25日	7月24日	7月21日	7月18日	7月9日	7月8日	7月4日	
	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	名出文輔	守内伊左衛門	守内伊左衛門	田中吉三郎	辻田伝兵衛 杖突帳書中	鈴木兵右衛門	伝兵衛	田中吉三郎 久保吉之右衛 門	田中吉三郎 久保吉之右衛 門	久保吉之右衛門	〔辻田〕伝兵衛	久保吉之右衛門	
	堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	堀源太夫	堀源十郎	堀源大夫	堀源大夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源大夫	堀源太夫	
状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状		

胡乱者改(書状・来状〔大庄屋〕)

胡乱者改（書状・束状（大庄屋））

テ-266	チ-3 -17	テ-267	テ-230	チ-3 -45-2	ア-127	チ-3 -45-1	チ-3 -13	タ-33	テ-264	タ-43	ア-117	ア-136	テ-142
〔調査を頼む書状〕	〔取り扱い通りに済まない場合は願書お戻し願ひ書状〕	③〔いかげや源助方で勝負事が行われている旨訴え書状〕	〔惣廻り非人番代官所から召し出しの御通詞ほか書状〕	〔庄三郎御用の時は市場村役人に召し連れさせることほか書状〕	〔短野村藤助召捕一件につき書状〕	〔丁ノ町百姓吉助を暴行した庄三郎・釘吉を市場村で捕縛につき取り扱ひ願ひ書状〕	〔鶯家村役人からの願書は下済にしたき旨書状〕	〔大谷村安右衛門別紙願出の取り扱ひを頼む書状〕	〔願ひ下げを差し出した旨を伝える書状〕	〔東家村塀屋嘉助行認荷流失につき拾ひ人は荷主へ渡すよう配下村々へ取り扱ひを頼む書状〕	〔盗賊亀之進今日若山へ引き纏めの旨書状〕	〔粉河石町喜助召し捕り糺口取書差し出しにつき取り扱ひ願ひ書状〕	②〔寺脇村嶋屋久兵衛は盗品買人と解りお越しを願う書状〕
*前欠				*端裏 丁ノ町吉助ニ付藤田氏より		*こよりでくり2通一括						*ア77-4関連	
3月10日	3月10日	2月18日	2月18日	2月16日	2月14日	2月12日	2月12日	2月10日	正月30日	（嘉永3）7月22日	（嘉永3か）6月26日	（嘉永2）11月22日	（嘉永2）閏4月4日
助三郎	〔鶯家大庄屋〕辻四郎三郎	田中助三郎	吉之右衛門	藤田源輔	鈴木兵右衛門	丁ノ町組大庄屋元詰中	〔鶯家大庄屋〕辻四郎三郎	鈴木兵右衛門	田中	上組大庄屋後見久保吉之右衛門	久保吉之右衛門	〔丁ノ町組大庄屋〕鈴木兵右衛門	田中助三郎
源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀	堀源太夫 田源太夫 榊新右衛門 津	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

ター11-5	ター129	チー4-12	ター29	ター58	ター116	チー19-5	ター108	ター220	ター181	チー3-38	ター23	ター17	ター22
書状 〔中飯降村伊右衛門から別紙願書差し出しにつき取り扱いを願う書状〕	出張を求める書状 〔西飯降村平助・短野村長兵衛の別紙札口取書を達し、役所への出張を求める書状〕	〔丁ノ町村作五郎盗難品発見の旨粉河惣廻りから達し出につき取り扱いを願う書状〕 *別紙盗難品一覽あり	書状 〔中飯降村木下伊右衛門方盗難につき別紙願書に調印し達し願う書状〕	〔油代取替銀を送る旨書状〕	〔盗賊召し捕りにつきお越しを願う書状〕	〔認め直しの別紙を差し上げる旨書状〕	〔今日盗賊引きまとい申すべき旨書状〕	〔盗一件が片付いた旨書状〕	〔書簡を拝見した旨を伝え宜しく事件の取り扱いを頼む書状〕	〔仲蔵一件につき入用銀受取書を遣わした旨、下済が調ったことへのお礼書状〕	〔小賊召捕につき六日出張のこと承知の旨書状〕	〔丁ノ町村利兵衛藏限入の儀につき来朔日のお越しを頼む書状〕	〔岸上村久太郎買取品一件につき中飯降藤吉から願書差出につき達し願う書状〕
12月22日	11月29日	10月7日	10月3日	7月8日	6月5日	5月22日	5月3日	5月2日	卯月24日	4月10日	卯月4日	3月28日	3月22日
鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	鈴木兵右衛門	丁大庄屋許	田中吉三郎	久保吉之右衛門	鈴木兵右衛門	久保吉之右衛門	鈴木兵右衛門	〔駕家大庄屋〕辻四郎三郎	辻田伝兵衛	鈴木兵右衛門	辻田伝兵衛
堀源次郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	惣廻り武兵衛	堀源太夫	堀源十郎	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	源太夫
状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

胡乱者改(書状・来状(大庄屋))

胡乱者改（書状・来状）（大庄屋／庄屋・肝煎）

d 庄屋・肝煎

ター7 -4	ター7 -28	ター7 -17	ター7 -2	ター7 -27	ター7 -30	ター7 -12-2	ター7 -12-1	ター7 -11	ター7 -31	ター7 -9	ター7	ター10
〔学文路玉屋奉公人一条の状況を伝え取り計りを頼む書状〕	〔玉屋一条につき御通しを申し聞かせた旨書状〕	〔願意は使吉左衛門からお聞き取りの旨書状〕	〔玉屋与治右衛門奉公人吉三郎を粉川村千鯛屋利兵衛が拘引につき利兵衛に対する取扱願書状〕	〔惣吉願出の音次牛代残金未払の件取扱願書状〕	〔岡市一条の状況を伝える書状〕 *封紙と本紙が合わない、封紙上書〔堀源太夫様 粉川村庄屋勝次郎〕	覚（吟味口の金額内訳）	〔風邪で不参につき学文路村岡市について金屋茂兵衛から申し上げる旨書状〕 *封紙で一通一括	〔古佐田村角力廻行のお託びと穩便の扱いを願う書状〕	〔文藏一件につき急速に出銀するよう仰せ付け願書状〕	〔年賀挨拶・進物ほか書状〕	【袋入り36通一括】 *袋上書〔弘化四年未正月吉日 庄屋許 肝煎中より来状入〕	〔封紙〕 *上書〔伊都胡乱方改 堀源太夫様 御用草々〕□（辻か）四郎三郎
4月19日	4月6日	4月4日	3月27日	3月7日	3月朔日	2月19日	正月晦日	正月25日	正月10日	〔弘化4未年〕		
八塚喜太郎	〔学文路村庄屋〕孫之進	木綿屋藤吉	禿村庄屋孫之進	山田村庄屋惣十郎	八塚喜太郎	八塚喜太郎	市郎兵衛	丁ノ町村庄屋安次郎	池田又次郎			辻四郎三郎
堀源太夫	堀源太夫	堀御氏御中	藤田源輔	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	堀源太夫			伊都胡乱方改堀源太夫
封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	袋	封紙

胡乱者改(書状・来状〔庄屋・肝煎〕)

ター7 -16	ター7 -23	ター7 -24	ター7 -15	ター7 -35	ター7 -22	ター7 -33	ター7 -21	ター7 -13-2	ター7 -13-1	ター7 -36	ター7 -26	ター7 -20	ター7 -25
〔伏原村からの盗賊届け書達し願書状〕	〔上村源介娘不奉公一件は同村嘉介世話で済口につき書状〕	〔次郎兵衛調への内容を伝える書状〕 *端裏「野垣内庄屋猪三郎より次兵衛義二付」	〔源助娘不奉公一件につき状況を尋ねる書状〕	〔安兵衛義につき取り扱い願書状〕	〔学文路村玉屋与次右衛門奉公一件の状況を伝える書状〕 *奥に庄屋吉太郎の副あり	〔玉屋一条の状況を伝え、学文路村市兵衛一件の取り扱いを頼む書状〕	〔鵜虎豆腐屋仙助両人不正の品売買について軽きお取扱を願う書状〕	受書(月十五日勤仰せ付けにつき)	〔当村文市郎から妙寺村嘉兵衛に対する願い出取り扱いにつき礼状〕 *封紙で2通一括	〔干か屋利兵衛母召出延引伺い書状〕	〔久三郎方不奉公一件下済の旨を伝える書状〕	〔久三郎奉公人召連参上の件は病気なので用捨を願う書状〕	口満(久三郎方の源次不奉公につき取り扱いを願う書状)
7月9日	7月5日	未6月晦日	6月21日	6月20日	6月16日	5月26日	5月15日	5月2日	5月8日	4月28日	4月24日	4月24日	卯月19日
辻田慶五郎	大万津伝次郎	西野山村庄屋猪三郎	大木屋伝次郎	丁ノ町村庄屋安次郎	粉川村庄屋勝次郎	粉川村庄屋勝次郎	吉原村庄屋嘉助	中飯降村鈴木文市郎	彦四郎	粉河村庄屋勝次郎	広口村庄屋伝次郎	広口村庄屋伝次郎	広口村庄屋伝次郎
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改(書状・来状(庄屋・肝煎))

タ-8	タ-7-1	タ-7-14	タ-7-7	タ-7-8	タ-7-29	タ-7-5	タ-7-10	タ-7-18	タ-7-3	タ-7-19	タ-7-6	タ-7-34	タ-7-32
【袋入り38通一括】 *袋上書(弘化5申正月日 庄屋肝煎中より来状入)	(頂戴したものの返納と世話延引につき書状)	(奉公人みつ一件につき甚之丞へ厳しき仰せ付けを願う書状)	(中組雑用銀差し出し督促書状)	(私方預りの流木取締方極印の取り扱いにつき書状)	(入郷村文治郎から別紙願出につき取扱願書状)	(翁上演したく御免願い書状)	(かしの木送り状)	(遷宮おきな献じ度ご来光願書状)	(安兵衛・吉右衛門呼出の日延べを願う書状)	(牛博勞仲間牛市仕度につき内分願書状)	(伊助差し上げ延引につき書状)	(目薬送りにつき礼状)	(玉屋奉公人一条につき残銀調わずその処置につき書状)
(弘化5申年)	28日	12月19日	11月5日	11月2日	9月11日	9月8日	8月24日	8月13日	8月6日	8月4日	7月22日	7月11日	7月11日
	辻田与輔	平ノ啓代次郎	胡乱者改堀源太夫	池田兵次郎	入郷村庄屋加太郎	広口村庄屋伝次郎	中組浄土寺村庄屋弥右衛門	中組山田村庄屋藤次郎	(丁ノ町村) 庄屋安次郎	吉原村庄屋善兵衛	(東野村) 庄屋吉十郎	(北垣) 小三郎	粉川村庄屋喜太郎
袋	堀源三郎	堀源右衛門	野上屋金助	堀	堀源十郎	堀源太夫	名手胡乱方源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	胡乱者御改方堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改（書状・来状（庄屋・肝煎））

タ-8 -31	〔利助開催の博奕関係者を伝え取り扱いを頼む書状〕 *新在家村より	申4月15日	庄屋甚蔵	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -19	〔未納銀処理、受取書ひな形について書状〕 *受取書（大野村庄屋喜十郎殿配下長蔵殿あて）ひな形あり	弘化5年3月			状
タ-8 -28	〔河内屋徳右衛門出奔を伝える書状〕	3月15日	中村庄屋元右衛門	堀源太夫	状
タ-8 -27	〔次郎兵衛一件につき弥助二両持参の旨ほか書状〕 *新在家村より	3月14日	庄屋甚蔵	堀源太夫	状
タ-8 -24	〔次郎兵衛一件につき弥助から返金があった旨を伝える書状〕	3月14日	大谷村惣五郎	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -1	貴答（善兵衛驚家行きお断りの旨）	3月12日	（名倉村庄屋）政助	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -16	〔天満宮社内で祝儀角力仕度き旨書状〕	3月7日	木綿屋藤吉	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -29	口上（角力仕度出張を求める書状）	3月6日	移村庄屋善太郎	市場村堀源太夫	封紙包状
タ-8 -3	〔十六日から操陣行の旨を伝える書状〕	3月6日	庄屋七右衛門	堀源次郎	封紙包状
タ-8 -12	〔馳走礼状、進物につき書状〕 *封紙上書（名子市場村堀源太夫様 御用 中組大庄屋元）	3月4日	柳蔵	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -2	口上（国境の柴につき）	3月4日	大畑村役人	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -15	〔治郎兵衛願上一件早々取り扱い願書状〕	3月3日	新在家村庄屋甚蔵	堀源太夫	状
タ-8 -6	〔平次郎足病難波につき鉄砲筒さらえさせたく内聞書状〕	2月24日	柱本村庄屋四郎五郎	堀源太夫	状
タ-8 -11	〔桶半へ貸付銀の義につき状況を伝える書状〕	2月7日	中組大庄屋元甚蔵	堀源太夫	封紙包状

胡乱者改（書状・来状〔庄屋・肝煎〕）

タ-8-5	〔狩宿村一条につき状況を伝える書状〕	11月28日	辻田与助	堀御氏	状
タ-8-35	〔名倉村丈助一件の早々取り扱いを頼む書状〕	申11月23日	堺屋嘉助	堀源大夫	封紙包状
タ-8-7	口上（盗人の行方を伝える書状）	11月21日	木綿屋藤吉	堀源太夫	状
タ-8-38	〔安次郎願い出牛一件は下済の旨書状〕	11月12日	（池田）兵次郎	堀	状
タ-8-9	〔盗難品買入につき戻し願書状〕	9月22日	東家村藤右衛門	堀源太夫	状
タ-8-37	〔亀屋喜兵衛方から頼みたいことがある旨を伝える書状〕	9月1日	学文路村肝煎重助	堀源大夫	封紙包状
タ-8-4	〔別紙達書控送状〕	7月22日	小三郎	堀源太夫	状
タ-8-30	〔事件の手掛かりがなく願い下げ内済で処理したい旨を伝える書状〕	7月18日	庄屋甚蔵	堀源太夫	状
タ-8-36	〔頼む書状〕 〔嶋寅方からの盗難は無かったことを寺領胡乱者方へ伝えるよう頼む書状〕	7月14日	東家村庄屋嘉助	堀源大夫	封紙包状
タ-8-22	〔内室様死去につき悔やみ状〕 *端裏一上組役所伊十郎殿状〕	6月12日	伊十郎拝	堀源大夫	状
タ-8-25	〔不快引き籠もりにつき兵五郎一人を参上させる旨書状〕	5月13日	広門村庄屋伝次郎	堀源太夫	状
タ-8-10	〔勇右衛門狩宿村え争論の件取扱いのお礼ほか書状〕	5月12日	東村庄屋藤四郎	堀源太夫	状
タ-8-26	〔奥様不快につき見舞い状〕	5月3日	政助	堀源太夫	状
タ-8-18	〔加勢田村出願につき手代利助の吟味内容を伝え、ご来光の御委細を申し上げる旨書状〕 *新在家村より	4月16日	庄屋甚蔵	堀源太夫	封紙包状

タ-9 -23	(源助一条につき礼状)	2月22日	垂井村庄屋作右衛門	堀源大夫	封紙包状
タ-9 -24	(品物届けの日限延引願い書状)	2月9日	粉河村庄屋代三右衛門	堀源大夫 名出文輔	封紙包状
タ-9 -6	【封紙・袋断片】 *2点 袋上書「嘉永三酉正月吉」 「庄屋肝煎」「来状」				断筒
タ-9	【包紙で35通一括】	(嘉永2酉年)			包紙
タ-8 -14	(喜平治方に妙寺村嘉兵衛召抱の有無取り調べ報告を求める書状)		堀源太夫	河瀬村庄屋利兵衛	状
タ-8 -23	口上(堀源太夫様へ梨三つ送り状) *端裏「名手伝馬所様 外兵出」	26日	外屋兵蔵	名手問屋葉宇	状
タ-8 -20	(盗難見舞い礼状)	12月	木綿屋藤吉	堀源太夫	封筒入状
タ-8 -17	(為七名倉一件につき名倉村長兵衛方の申し分を伝える書状) *妙寺新家より	12月28日	助次郎	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -13	(「厚情への礼、進物につき書状」) *「大野」とあり	臘月28日	池田兵次郎	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -33	(当村惣兵衛一件に関して惣兵衛難渋につき御用捨を願う書状)	12月17日	嶋村庄屋栄三郎	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -8	(矢倉脇村安次郎牛一件下済ほか書状)	12月9日	兵次郎	堀	状
タ-8 -32	(村内惣兵衛ではなく南名古曾村惣兵衛の関与を知らせる書状)	12月8日	名倉村庄屋定七	堀源太夫	封紙包状
タ-8 -34	(二件取り扱いへの礼状)	12月6日	孫之進	堀源大夫	状
タ-8 -21	(あつらえ置きの塚袋持参する旨書状)	11月29日	(池田)兵次郎	堀源太夫	封紙包状

胡乱者故(書状・米状(庄屋・肝煎))

タ-9 -14	口演(当村二人有免につき礼、御受書達しにつき)	5月3日	守内伊左衛門	堀源太夫	状
タ-9 -11	(かじ伊兵衛は金蔵の兄であることを知らせる書状)	閏4月27日	出塔村庄屋賀十郎 友七	堀	封紙包状
タ-9 -13	(下中村庄屋元へ御通の件につき五人組預かりについては早速取り計ることほか書状)	閏4月21日	(中組) 守内伊左衛門	堀源太夫	封紙包状
タ-9 -20	(博奕に関わった者を知らせる書状)	閏4月14日	守内伊左衛門	堀源太夫	状
タ-9 -27	(古筒で太鼓を仕立てる可否を伺う書状)	西卯月4日朝	岸上村庄屋源右衛門	堀御氏	封紙包状
タ-9 -31	(願筋につき伺いたく都合を尋ねる書状)	3月24日	畑屋平兵衛	堀源太夫	状
タ-9 -32	(政右衛門妻と佐野村茂兵衛一条につき本人病気で取り計り延引願い書状)	3月17日	大藪村庄屋孫兵衛	堀源太夫	状
タ-9 -34	(政二郎五人組預け御免願い書状)	3月14日	田原村庄屋市右衛門	堀源太夫	封紙包状
タ-9 -33	(清次郎不奉公返給の方法につき書状)	3月14日	西飯降村庄屋栄次郎	堀源太夫	状
タ-9 -15	(申し越しの趣は承知の旨書状)	3月10日	柳藏	堀源太夫	状
タ-9 -35-1	(源松・才次郎の件は下済伺い中につき任せておいてほしい旨を伝える書状) *封紙で2通一括	3月3日	吉出房五郎	堀源太夫	状
タ-9 -18	(嶋寅について今度は穏便な扱いを頼む書状)	2月26日	(東村庄屋) 嘉助	堀源太夫	封紙包状
タ-9 35-2	(日時ごとの人名人数書上) *端裏「橋谷嘉右衛門 小三郎」	(酉2月23日)			状
タ-9 -21	(橋谷村嘉右衛門筋の別紙議定送り状)	2月23日	小三郎	堀	状

ター9 -19	ター9 -2	ター9 -28	ター9 -4	ター9 -3	ター9 -5	ター9 -25	ター9 -17	ター9 -26	ター9 -16-3	ター9 -7	ター9 -8	ター9 -9	ター9 -10
(嘉兵衛仲角兵衛は現在和州兵野村から呼び寄せている旨書状)	(別紙願書送り状)	(辻市殿へ掛け合いの件につき藤田氏へも話してくれるよう頼む書状)	(恋野村清左衛門差し出しの別封送り状)	(たばこ十斤送り状)	(難波の民屋市兵衛を鉄砲的に仕度き旨書状)	(石太郎忤筋につき大庄屋衆へ報告のため金子請書のお渡し願ひ書状)	乍恐内存奉願上覚(赤塚村才次郎へ帯刀御免願ひ)	(利助一条につき穩濟な取り扱いを願う書状)	(腹痛で利助召連れの日延べを願う書状)	(病気による呼び出しの延引頼みほか書状)	(木村様修理見分けに立合につき伺えない旨を伝える書状) <small>*中組大野より</small>	(かじや金蔵兄のことにつき書状)	(下中村幸次郎上中村秀次郎召し出し日限報告の延引を頼む書状)
霜月25日	霜月12日	11月11日	11月6日	10月25日	10月18日	10月4日	酉8月	7月8日	6月16日	6月13日	6月10日	5月29日	5月27日
南名古屋村庄屋角兵衛	(妙寺村)庄屋又左衛門	名倉村庄屋定七	(北垣)小三郎	堀内与十郎	柱本村庄屋四郎五郎	瀧村庄屋作五郎	上組大庄屋田中吉三郎	平四郎	(東村庄屋)平四郎	門 (下中村庄屋)守内伊左衛	(池田)兵次郎	中組三木(賀十郎)より	(中組)守内伊左衛門
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	的場紋九郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀御氏	堀御氏	堀源太夫
封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

胡乱者改（書状・来状（庄屋・肝煎））

ター10-5	ター10-4	ター10-1	ター10-2	ター10-3	ター10	ター9-16-4	ター9-16-2	ター9-16-1	ター9-12	ター9-11	ター9-30	ター9-22	ター9-29
〔惣兵衛方の一件につき別紙願書を差し出す旨書状〕	〔妻病気につき兵右衛門の召し出し延引願い書状〕	〔元庄屋惣十郎役中の諸帳面取り調べにつきよろしく願います旨書状〕	〔次助一儀につき和済が調わないことを伝える書状〕	〔去十二月出奔の万次郎が帰った旨を伝える書状〕	〔袋入り5通一括〕 *袋上書「庄屋肝煎米状入」「嘉永四年亥正月より」	〔茂兵衛調書送り状〕	覚（反物など代金書上）	岸上彦兵衛女房申口 *こよりでくり4通一括	〔人名書付〕	追啓（什物一条につき金子持参無く延引の様子を伝える）	書状 〔当村与市と折居村采助牛一条につき与市からの聞き取りを頼む〕	頼む書状 〔岸上村友之丞が当村万次郎を打擲・牛横取りにつき取り扱いを頼む書状〕	〔村内喜兵衛と佐野嶋助右衛門との牛の件につき取り扱い再願書状〕
6月15日	5月8日	4月晦日寅刻	2月18日	正月6日	（嘉永4亥年）						12月19日	12月5日	11月26日
良助	（中飯降村肝煎）治郎兵衛	（山田村）中岡孫二郎	（新在家村）伊八	（山田村）庄屋藤次郎		土屋孫兵衛	松屋茂兵衛			（名倉庄屋定七）	伏原村庄屋保三郎	山田村庄屋藤次郎	東谷村庄屋彦太郎
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		堀源太夫					堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	袋	状	状	状	状	状	状	状	状

テ-205	チ-19 -10	テ-248	ア-89	テ-224	ア-110	テ-250	テ-307	チ-3 -43	ア-146	タ-51	ツ-193	ア-92	チ-3 -36
〔書状送り状〕	〔枝郷高垣垣内源助方佐野村不奉公人一件につき厳しき取り扱 を頼む書状〕	〔伊助急死につき弟金蔵との借銀返済約定につき書状〕	〔私宅盗難扱いへの礼と近状報告書状〕	〔中組地士常刀人村役人の名前調べ書を届ける旨書状〕	〔盗難品九分方戻った旨ほか書状〕	〔木綿屋平兵衛のかせ田返済銀十日までの延引を頼む書状〕 <small>*木綿屋平兵衛・二木賀十郎あて延引願い添付</small>	五月五日夜紛失覚(盗まれた品物書上)	〔書状の件は承知し、状況を伝える書状〕	〔不奉公人一件再扱い願い書状〕	〔流失の認につき井田村田中村拾い分を申し請け度旨書状〕 <small>*タ43関連</small>	口上覚(垂井村源介預かりを伝える旨)	〔名倉村丈助一件解決の礼と進物送り書状〕	〔長蔵ほか二人の義につき入用銀請取の旨書状〕
10月14日	8月24日	8月9日	5月25日	5月17日	5月16日	5月6日	5月5日	3月3日	(嘉永3)12月15日	(嘉永3)8月7日	西(嘉永2)3月朔日	(嘉永元)12月16日	(嘉永元申)4月8日
嘉村庄屋栄三郎	中飯降村庄屋大蔵	三木賀十郎	守内伊左衛門	三木より	守内伊左衛門	三木賀十郎	下中村守内伊左衛門	新田庄屋兵五郎	名倉村政助	堺屋嘉助	垂井村庄屋作右衛門(印)	(東家村庄屋)嘉助	(和州鶯家村)庄屋甚七
堀源重郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	胡乱者方堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	横 綴	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状

胡乱者改(書状・来状〔庄屋・肝煎／惣廻り〕)

ツ-217	チ-3 -11	タ-42	ツ-194	テ-267
古代(木綿屋平兵衛一件につき書状)	〔文蔵金子につき按川の吟味を頼む書状〕	〔慈尊院祭礼出張御礼一封の送り状〕	〔年賦皆済取り扱い願書状〕	④〔雑用出銀の儀につき書状〕
*テ250関連				
14日	12月27日	12月26日	12月8日	11月28日
助次郎	(丁ノ町庄屋)安次郎	(丁ノ町組)又次郎 伊左衛門	(中飯降)木下伊右衛門	東村庄屋平四郎
堀源大夫 同源三郎	堀源十郎	堀源大夫	堀源右衛門	堀源大夫
伏	伏	封紙包伏	伏	伏

e 惣廻り

ア-81 -5	ア-81 -15	ア-81 -10	ア-81 -16	ア-81 -4	ア-81 -12	ア-81 -1	ア-81
〔赤塚村瀧蔵一件下済につき届書状〕	〔三田市で召捕盗賊一件お尋ねにつき返答書状〕	〔老封御受納願書状〕	白状之事(弥蔵盗取品につき)	寛(盗品売払)先書上げ	〔盗賊伊助盗品白状書〕	申口〔盗賊伊助白状書〕	【袋入り16通一括】 *袋上書,嘉永二己酉年正月より年々入 惣廻り非人番へ
		(嘉永4)亥6月13日	(嘉永3)戌7月17日	(嘉永3)戌6月	嘉永3年4月30日	嘉永3年4月30日	(嘉永2酉年)
5月晦日	5月13日						
上組惣廻り源兵衛	(上組)惣廻り源兵衛	岸上村庄屋源右衛門	惣廻り十兵衛	惣廻り十兵衛	惣廻り武兵衛	惣廻り武兵衛	
堀源大夫	堀御旦那	堀御氏旦那		御役所	御役所	御役所	袋
封紙包伏	伏	封紙包伏	伏	伏	伏	伏	

胡乱者改（書状・束状（惣廻り））

ア-96	ア-53	ア-68	ア-59	ア-109	ア-81 -13	ア-81 -6	ア-81 -14	ア-81 -2	ア-81 -3	ア-81 -8	ア-81 -9	ア-81 -7	ア-81 -11
〔柏木村利兵衛悱無宿十兵衛盗品白状書〕	〔橋本町出生虎吉・平兵衛盗品白状書〕	〔寺領野田原村佐吉盗品白状書〕	〔孫助盗品白状書〕	乍憚申上候（竹藏の処分につき報告）	白上（盗品白状書）	覚・申口（盗賊但馬国山田村次三郎白状書）	覚講元につき * 講元裏町利光・宇兵衛・重兵衛	〔役所放火の落し文により小二郎様出勤差止めにつき届書〕	〔奥書印願状〕	〔橋本川原の花相撲で喧嘩につき一名召し捕え届〕 * 東家村髪結い熊五郎と橋本川原町若連中口論喧嘩	〔上夙村若連中人形仕旨届書状〕	乍恐（流木）本盗取られ候届につき）	〔江州古端村熊次郎持物書上〕
（嘉永4）亥4月16日	（嘉永4年4月朔日以降）	（嘉永4）亥3月9日	（嘉永4）亥3月6日	（弘化3）12月2日			極月6日	11月晦日	10月22日	9月17日	9月13日	7月26日	6月17日
惣廻り武兵衛		惣廻り武兵衛	惣廻り武兵衛	中組惣廻り吉助	惣廻り重兵衛	惣廻り武兵衛		堀源大夫	堀源大夫	上組惣廻り源兵衛	上組惣廻り源兵衛	惣廻り重兵衛	惣廻り武兵衛
御役所		御役所	御役所	堀御氏	上	御役所		上組惣廻り源兵衛	辻田伝兵衛	胡乱者改堀源大夫	御旦那	堀御氏	御役所
状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

胡乱者改（書状・来状〔惣廻り／他国掛合〕）

f 他国掛合

ア-85 1	ア-85	ア-111	ア-94	ア-67	ア-51	ア-217	ア-126	ア-129	ア-142	ア-137	ア-122	ア-134
〔直藏植尾山で見失につき後の事願い書状〕 *袋入り封紙包文書 *袋上書、弘化四丁未年五月朔日 他国掛合入 *封紙で2通一括、封紙上 書名「市場堀源太夫様御用書 堺長史夫方岡田太七」ノ末四月廿七日 上原村より	〔袋入り封紙包文書〕 *袋上書、弘化四丁未年五月朔日 他国掛合入 （弘化4未年）	〔伊惣次郎盗品白状書〕	〔無宿嘉兵衛盗品白状書〕	〔東家村出生平兵衛盗品白状書〕	〔藤田新四郎宅進入の盗賊受取りに参る旨届け書状〕	〔手先の者へ調査させた内容報告書状〕 *手掛かりない旨	口書（泉州伊豆郡篠田村多兵衛伴無宿長吉の盗品書上）	口書 白状おぼへ（伊勢松盗品白状書）	〔嶋吉病気につき取立を九月晦日まで延引の可否伺い書状〕	〔私妻につき委細はこの人からお聞き取りを願う書状〕	〔二十三日上ノ町川原で相撲興行の旨内達書状〕	〔甚三郎盗品白状書〕
4月27日					11月21日	7月23日	7月3日	6月11日	6月晦日	3月14日	正月20日	（嘉永4）亥5月22日
岡田太七					源兵衛	惣廻り源兵衛	惣廻り重兵衛	惣廻り重兵衛	上組惣廻り源助	橋本源助	上組惣廻り源助	惣廻り武兵衛
盗賊方堀源太夫					堀御旦那	堀御旦那		御役所	堀旦那	御旦那	市場村堀旦那	御役所
状	袋	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状

胡乱者改（他国掛合／地士・医師・帯刀人）

ター15 -3	ター15 -6	ター15 -9	ター15
〔山鳥送り状〕	〔朝飯後止宿所まで尋ねてよいか何う書状〕	口演（荷物横取横売質入につき）	【袋入り11通一括】 *袋上書「嘉永二己酉正月吉日 地士医師帯刀人状入」
弥生3日	2月23日	正月21日	（嘉永2酉年）
（名倉村）木村聡十郎	田中七郎	（東家）木村喜太郎	
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	
封紙包状	状	封紙包状	袋

g 地士・医師・帯刀人

ア-87 -7	ア-87 -6	ア-87 -4	ア-87 -3	ア-87 -2	ア-87 -1	ア-87 -5	ア-87	ア-85 -2
申口（盗賊万蔵倅無宿市次郎白状書）	〔伝右衛門方入り込盗賊人相書〕 *端裏書「泉州より頼越候」	〔堺の地区每名前書上〕	覚（泉州堺辺塩穴村無宿かん安事安次郎人相書）	人相書（九日夜半抜讃州出生喜三郎事藤助につき）	〔逃亡人手配願書状〕 *袋入り7通一括	覚（大作分につき）	【袋入り7通一括】 *袋上書「弘化五申年正月 他国掛合人」	〔直次郎一件筋の太義料請取書〕
				申7月10日	6月19日	正月26日	（弘化5申年）	5月14日
				（泉州より）	堺悲田寺前橋佐兵衛	中役所		惣兵衛
					胡乱方御役所	堀源太夫		名手組堀御氏
状	状	状	状	状	状	状	袋	状

胡乱者改（書状・来状（地主・医師・帯刀人））

タ-16-12	タ-16-10	タ-16-13	タ-16-22	タ-16	タ-15-2	タ-15-11	タ-15-10	タ-15-10	タ-15-8	タ-15-1	タ-15-7	タ-15-4	タ-15-5
覚（馬宿村郷役米の内大谷村へ渡し分）	ハ助右衛門他出中につき出頭延引願い書状）	覚（妙寺村孫助清兵衛訴えの西藤家につき願書へ名前を無断で記した事を詫びる旨）	〔別紙願いにつきこの者を聞き取りの上取り扱い願い書状〕*草稿	【袋入り31通一括】 伊都三組地主「元」地土衆中 医師「」状入れ *袋上書 地土平人伏人	頭取名前覚（強せ申し掛ける者につき）	〔出塔村弥三郎不埒一条につき報告と取り扱いを頼む書状〕 *博打開催場所関係者一覽あり	②〔流木諸人用帳面差出につき書状〕	①〔縁談につき書状〕 *封紙で2通一括	〔赤塚村灌藏一件が片付いた旨礼状〕	〔不奉公人願書取り扱い頼み書状〕	〔御登詣の供を頼まれたことと進物の礼状〕 *高野山より	〔明日の出府を頼む書状〕	〔今日明日の都合を尋ねる書状〕
3月19日	3月13日	（嘉永元）申8月	（弘化3）午12月27日		（嘉永4）亥3月11日	11月26日	8月25日	8月25日	6月2日	5月当賀	4月25日	4月15日辰刻	4月6日
大庄屋元	（佐野村）庄屋茂兵衛	（名倉）辻木屋店佐助	堀源十郎		中岡孫二郎	一色孫左衛門	藤吉	木下伊右衛門	（恋野村）芋生左太夫	同政之輔 （中飯降）木下伊右衛門	名倉村久保信助	（上組山田村）中岡孫二郎	中岡孫二郎
源次郎	板橋伊太郎	藤田源助	田中勘右衛門		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源右衛門	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	封紙包状	状	状	袋	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

タ-16 -19	〔東家塚屋へ風呂敷返却につき書状〕 *タ-16-20の追啓か	12月19日	親之助より	父	状
タ-16 -18	〔封紙〕	12月18日	堀源太夫内堀親之助	流木方堀源太夫	封紙
タ-16 -5	〔大谷村で樽丸盗難につき書状〕	12月18日	親之助	堀源太夫	状
タ-16 -6	〔佐野村皮田一条につき鈴木様籠人足賃出金額み書状〕 *名手駅より	極月17日	親之助	堀源太夫	状
タ-16 -11	〔妙寺村孫助清兵衛願出家の件、佐野村皮田助右衛門牛の件につき書状〕 *端裏「藤田源輔家亮候付妙寺にて板橋殿より来状」	12月14日	板橋伊太郎	堀源太夫	状
タ-16 -26	〔佐野村から投文駄の願書、正之助知行米納めにつき皮田騒立の風聞につき内偵を命じる達〕 *端裏「御代官所より隠密筋」	12月8日	林権左衛門		状
タ-16 -8	〔六百圓筋の処理につき書状〕	10月28日	兵蔵	源右衛門	状
タ-16 -21	〔江川中村次郎吉願・切畑村仲助願、鈴木氏書状送り状〕	9月27日	西ノ山村文左衛門	堀源十郎	状
タ-16 -15	〔佐野村定助所持品書上〕	8月	惣廻り武兵衛	御役所	状
タ-16 -24	〔嘉兵衛帰宅につき取り扱いを頼む書状〕	8月16日	(中飯降)鈴木又市郎	堀源太夫	封紙包状
タ-16 -7	〔文次郎出銀の扱いにつき旨書状〕	4月19日	権太郎	源右衛門	状
タ-16 -4	覚〔移り村松次郎・まつゑは私方に宿泊した旨〕 *封紙「堀源十郎様 藤左衛門」	4月9日	山崎村藤次郎	藤左衛門	封紙包状
タ-16 -30	〔文次郎出入り筋につき銀子処理状況伝え書状〕	4月7日	権太郎	源次郎	状
タ-16 -9	〔惣兵衛・勘兵衛・弥右衛門と鶴村彦兵衛口論一件の内済を勧め書状〕	4月2日	堀源十郎	南名古曾村庄屋角兵衛 名古曾村庄屋慶五郎 村庄屋政助 名倉	状

胡乱者改（書状・来状（地主・医師・帯刀人））

テ-211	ター16 -14	ター16 -1	ター16 -31	ター16 -23	ター16 -3	ター16 -2	ター16 -29	ター16 -17	ター16 -25	ター16 -16	ター16 -28	ター16 -27	ター16 -20
〔順在時の礼を述べ別紙写しの旨を心掛けるよう頼む書状〕	覚 市場村（年貢差引勘定）	〔卯から午年分元利勘定書〕	覚（銀勘定差引計算書）	覚（銀差引勘定書）	市場村文次郎と私年々勘定目六写シ	午忍奉願口上覚（文次郎へ取替銀の返済願）	〔密々御意を得たく中組旅宿まで入来願い書状〕	〔封紙〕	〔短野村不奉公一件で差紙頂戴につき代人を遣わす旨ほか書状〕	〔祭礼出張へのお礼と一樽送り書状〕	願い書状 〔佐野村一条につき林様からの別紙御通し・下げ紙一覽の上達し〕 *端裏「鈴木兵右衛門殿より来状隠密筋ニ付」	〔書状送り状〕	〔堀・藤田給銀、非人番御下銀に関する伊郡代官所からの達しを伝える書状〕
4月14日	（戌）	未極月	午極月	午極月	安永6年10月	（安永6か）10月			極月23日	12月22日	12月19日	12月19日	12月19日
中岡係二郎		源右衛門	源右衛門	源右衛門	市場村源右衛門	源右衛門 庄屋		（中飯降）鈴木又五郎	木下伊右衛門	守内伊右衛門 池田又次郎	鈴木兵右衛門	親之助	親之助
堀源太夫		文次郎	文二郎	文次郎		田村	上村右門	堀源太夫	堀源右衛門	堀源十郎	堀源太夫	父	父
状	状	状	状	状	横 帳	状	状	封紙	封紙包状	状	状	状	状

チ-4 -10	〔願い筋の処理状況を伝える書状〕	6月7日	(山田村) 中岡孫一郎	堀源太夫	封紙包状
------------	------------------	------	-------------	------	------

h その他

テ-232	〔堀氏への取り扱いを頼む書状〕 *ソ16・ソ207関連	弘化5年7月4日	舩屋兵藏	名手市場渡田屋半兵衛	状
ア-57	容体書(吉原村徳兵衛病気につき) *封紙上書(容体書医家書)	弘化5年4月20日 (か)	辻邑吉田将監(印)	御役所	封紙包状
テ-324	覚(端場村皮田留松一件諸入用受取)	(嘉永2)西3月8日	泉州堺悲田寺前橋佐兵衛様 より	同国新家村勝藏	状
テ-202	〔旧冬より願い筋の状況伺いほか書状〕 *ソ480関連	(嘉永3)2月28日	(大坂中津町) 和泉屋与介	札場源五郎	状
タ-55	〔名倉村彦右衛門一件につき急々取り立てを願う書状〕 *ソ189関連	(嘉永3)3月17日	帯屋惣助	堀源太夫	状
テ-188	〔取り扱いを頼む書状〕 *ソ183関連	10月17日	川原龜太郎	堀源太夫	封紙包状
チ-19 -2	〔山田村万次郎牛一条の取り扱いを頼む書状〕	正月5日	田村丹宮	堀源太夫	封紙包状
チ-19 -8	〔佐満村治兵衛牛一条につき聞き取りの上沙汰をを頼む書状〕	正月29日	田村丹宮	堀源太夫	封紙包状
テ-197	〔赤塚村瀧蔵の詮議取り扱いを頼む書状〕	2月15日	上田伝五右衛門	堀源太夫	状
テ-141	〔旧臘頼みの儀は浪速から別紙の通り申し参るにつき取り扱いを頼む書状〕	3月4日	たけ屋文吾	堀源太夫	状
テ-198	〔丁ノ町組中組山論裁許状写し〕	5月			状
テ-139	〔嶋屋茂兵衛一条につき明後十八日大谷丸一方まで御出願い書状〕	7月16日	大和屋安右衛門	堀源十郎	封紙包状

胡乱者改(書状・来状〔地主・医師・帯刀人/その他〕)

胡乱者改(書状・来状(その他))

テ-200	テ-199	ツ-289	ツ-288	チ-3-24	セ-42	ツ-47	テ-263	テ-171	テ-146	チ-3-35	ア-125	テ-267
(先頃お話の一件は片付と思う旨を伝える書状)	覚(手重兵衛が賊受け取りを行わなかった旨を詫び、賊の扱いにつき伺い)	(河内国錦部郡北村願人徳次郎・名手組市場村利助へ渡銀書上覚)	(南名古屋伝兵衛・慶助魚代末納銀ほか内訳書上覚) *上書「上 かき屋権太郎家貫」	(妻村惣右衛門の行動につき覚) *チ11関連か	(伊都郡地土・帯刀人・平庄屋書上覚)	(人別遣金延引につき覚) *端裏「中殿降より頼筋」	(頼み一条の取り扱い再願書状)	(先達での一件につき内談したく都合を尋ねる書状)	口演(かせ田村伊兵衛から頼みの儀について風邪で不参を詫びる書状)	(下男与兵衛不奉公の取り扱い頼み書状) *端裏「大孫より 相手怕木与兵衛」	(番人等の入用銀につき書状)	⑦(藤田氏からの別紙送り状)
						(12月18日)	11月19日	11月15日	10月15日	9月26日	8月25日	7月朔日
							一色孫左衛門	太右衛門	辻本屋幸助	下村兵五郎	名出長太夫	役所
							堀源太夫	源次郎	堀源太夫	堀源太夫	間江野善次郎	堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

6 願書・訴状添付資料

テ-20	テ-53	ツ-136	ツ-385	テ-67	テ-65	ツ-138	テ-3 ...4	テ-59	テ-60	ツ-62
借用申書附之事(銀借用につき) *端裏「妙寺村太右衛門より願筋」、ツ537関連	奉公人受状之事(彦三郎奉公につき) *ツ453関連	覚(元利指引) *ツ497関連	陳状之事 橋本惣廻り源兵衛より来ル 学文路十兵衛方宮兵衛妻へ暇遣し候写し *端裏「嘉永元年申七月十二日」	奉公人請状之事 *テ66関連	奉公人請状之事(弟定次郎奉公につき) *ツ452関連	請状一札之事(よしの奉公につき) *ツ535関連	覚(牛代・米代ほか差引勘定書) *ツ156関連	泊り茶屋食焼奉公人請状之事(娘むめ奉公につき) *タ5-34・40関連	年季奉公人請状之事(悴竹造奉公につき) *タ5-34・40関連	奉公人請一札之事 *ツ529関連
申2月	戌(嘉永3)12月	酉(嘉永2)8月	弘化5年2月8日	弘化3年12月日	弘化3年霜月	弘化3年11月	(午8月)12月	弘化2年5月	弘化元年12月	天保7年12月
堀源太夫正耀	妙寺村本人伊兵衛印 出塔村受人金蔵印 妙寺村受人要誠印 同村受人惣兵衛印 教良寺村受人伴七印	下つ川奉公人親熊右衛門(印) 同村受人惣治郎(印) 同村役人平兵衛(印)	喜兵衛	奉公人つね 同親請人彦次郎(印) 同請人楊吉(印) 下村庄屋忠次(印)	(東谷村) 中畑垣内奉公人兄忠兵衛(印) 同親請人景太郎(印) 同村庄屋彦太郎(印)	寺領黒川村幸祐粹よしの(印) 名手市場世話人およし(印)	たじま常助	親播磨屋藤兵衛 受人十一屋松之助 山城屋吉兵衛	東村奉公人親寛治郎 同請人幸助【奥書】 東村庄屋藤四郎	上組橋本古佐田村之内本人 万吉印 同所請人仙助印 同所組頭吉兵衛印
	妙寺村太右衛門	堀源太夫	いは方へ	丁ノ町組妙寺村藤市	上村惣兵衛	名手市場村札場源五郎	なぐらかせだや藤助	河内屋喜右衛門	高田屋守兵衛	同郡中組野村森下多十郎
状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状

五 流木取締方

ア-13	弘化4年10月13日	堀源太夫正耀	堅帳
吉野材木流木取締方被仰付候付御通諸方掛合控帳			

胡乱者改(願書・訴状添付資料)ノ流木取締方

流木取締方

ア-3	ア-41	ア-143	ア-107	ア-62	ア-7	ア-5 -1	ア-149 -3	ア-149 -2	ア-149 -1	ア-8 -1	ア-6	ア-4	ア-36
戌流木調帳	不調法申一札之事 (流木売払隠木一件御容赦内済願)	覚 (流木拾い謝金受取)	覚 (流木処理につき世話料受取)	御預り奉申上候覚拾い取る流木届け)	出水ニ付流木相調べ控帳	流木隠密帳 *綴じ紐にくくり付け文書 ②佐野島人名書	覚 (工数書上)	覚 (工数書上、工賃受取)	流木改日役控帳 *袋入り3通一括、袋書「流木帳曲入」 「弃材天山西東下南 田中棟」 「町奉行」西	大水ニ付流木人夫控 *綴じ紐にくくり付け文書 ①大水ニ付流木人夫控	流木調控帳	流木日役控	吉野材木流失ニ付締御通写帳
嘉永3年7月22日	嘉永2年10月2日	嘉永2年10月2日	嘉永2年10月2日	嘉永元年10月	嘉永元年(8月)	嘉永元年8月10日	(嘉永元)12月	(嘉永元)12月	嘉永元年8月9日	嘉永元年8月9日 大水 水向13日大々水	嘉永元年8月9日 大水	嘉永元年8月9日 日出 水筋	弘化4年10月
堀源太夫	中程小田村百姓六三郎(印)司 村河橋兵衛(印)同村司久兵衛 (印)「奥書」小田村庄屋吉三 郎(印)	小田村百姓龜右衛門(印) 兵次郎(印)	小田村井守嘉藏(印)	佐野村庄屋茂兵衛(印)		胡乱者改流木方兼勤堀源太夫 岩出御番所流木方大橋兵四郎	嘉八・源三郎外24名	伊都胡乱者改流木兼帯堀源 太夫 岩出御番所本見方大 橋兵四郎	伊都胡乱者改流木方兼帯堀 源太夫代堀源三郎	堀源三郎	堀源三郎	流木改伊都郡胡乱者改堀源 太夫	胡乱者改流木方兼勤堀源太 夫
	流木御改堀源太夫	和州吉野郡国津村善右衛門	和州国津村善右衛門	流木方御役所									
横半帳	封紙包伏	伏	伏	伏	横帳	横半帳	伏	横半帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳

流木取締方

テ-159	テ-159	テ-129	ツ-482	ア-104	ツ-440-3	ツ-439-2	ツ-439-1	ツ-440-2	ツ-440-1	ア-2-3	ア-2-2	ア-2-1	ア-1-1
①覚(流木御用出張人足賃銀十匁請取) *封筒で4通二括、封向上書「流木ニ付所々より受取入」	④覚(夕飯・ろうそく・酒代金受取)	(妙寺村久次郎等へ無調法書の提出を命じたことほか書状) *端裏一戊十一月四日九ツ時流木筋ニ付島野寛右衛門殿より	乍恐内行書奉差上候口上(国領の流木取り扱いの委任求めと寺領村々の扱いにつき)	流木方御役人衆様造用覚	口上覚(番賃多分入用につき流木にしないようお願い)	(流木取り込み一件銀納による取り扱いを願う書状)	乍恐奉願上候覚(流木取り込みにつき詫び状) *封紙で2通二括、封紙上書「上 大敷村」	乍恐差上申一札之事(大水の節丸太を流失させた旨詫び状)	覚(流木方雑用書上) *こよりでくり3通二括	隠木一条控付帳	役定法控帳	流隠木再三諸色控帳 尚四度調へ *3冊一綴	流木改控帳 *綴じ紐にくくり付け文書12流木覚えり
(嘉永3)極月24日	11月4日	(嘉永3)11月3日	(嘉永3)10月	(嘉永3)10月書出し	(嘉永3)9月	9月11日	(嘉永3)9月	9月26日	9月26日	嘉永3年9月3日出 水筋	嘉永3年9月3日調 べ候	嘉永3年9月3日出 水10月7日ニ出勤	嘉永3年9月3日よ
粉河組惣廻り弥兵衛(印)	大野村ひ人番	島野寛右衛門	伊都郡流木調岩出御番所詰 島野寛右衛門・田村勝蔵 伊都郡流木方堀源太夫	妙寺花屋本次郎	伊都郡中飯降村木下伊右衛門(印)	嘉十郎	拾ひ主嘉右衛門(印)親類 嘉十郎(印)【奥書】庄屋 孫兵衛(印)	橋本河原町幸助(印)	妙寺いせ屋源右衛門(印)		流木方兼勤堀源太夫	堀源太夫正耀	伊都郡胡乱者改流木方兼勤 堀源太夫代同姓源十郎
堀旦那			吉村伝蔵 松田八郎	流木方惣代	御役人中 伐木方惣代衆中	堀御氏	堀源太夫	御役人中	流木方御役衆中				
封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳

流木取締方

テ-187	テ-166	ア-126 1	テ-167	テ-180	テ-153	ア-135	テ-2 -6	ア-126 -2	テ-4 -11-2	テ-4 -11-1	ア-114	テ-159	テ-159
〔事件に関する答書を受け取り意見を述べる書状〕	〔流木方御用ほか入用費書上〕	覚〔酒肴費差引勘定〕 *封紙で2通一括	〔流木改造用魚吉へ取替を頼む書状〕	〔妙寺花源宿泊一条の状況を伝えるよう達〕	〔惣代指し上げお調べ願ひ書状〕	〔中飯降村鉄勤吟味につき出張頼み書状〕	流木調べ帳	〔流木隠木調造用を隠木をした村へ賦課につき書状〕	〔定七願出の流木造用勘定につき意見を伺う書状〕	〔流木造用につき魚吉方への取替を頼む書状〕 *封紙で2通一括	覚〔流木方締方勤につき金二両受取〕	③覚〔役人案内費受取〕	②覚〔流木御用人足賃銀九匁受取〕
12月3日	(11月5日(晦日))	(10月以降)	10月27日	10月7日	9月27日	9月16日	8月13日	3月17日	3月13日	2月晦日	2月7日	(嘉永3)12月29日	(嘉永3)12月24日
島野覚右衛門		さや橋屋店	とうふや定七(印)	田村達右衛門 岸弁次 堀 岡兵右衛門 水谷喜右衛門	高野辻御用先森利助 柄本 八助	田村幸之右衛門 梶岡兵右 衛門	源右衛門 北源	木嶋源右衛門	水谷喜右衛門 岸弁次 梶 岡兵右衛門 田村幸右衛門	とうふや定七	桃新右衛門	吉右衛門	重兵衛(印)
源太夫		惣代衆	堀源太夫	堀源太夫	堀源次郎	名手堀源太夫		堀源太夫尊下	堀源太夫	梶岡兵右衛門	堀源太夫	堀源太夫	流木方堀源大夫
封紙包状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	横半帳	状	状	状	状	状	状

流木取締方

ア-150 -1-59	ア-150 -1-26	ア-150 -1-54	ア-150 -1-40	ア-150 -1-9	ア-150 -1	ア-150	ア-148	ア-115	ア-112	ア-101	ツ-180	ア-100	テ-259
(松木流木搜索依頼書の達)	覚 (流木筋金預り)	(流木売買人訴え状)	覚 (宇右衛門より杉丸売買無き旨保証)	覚 (当所縫の時の雑用取替分受取)	【袋入り62通一括】 *袋上書「弘化四年十月十二日流木筋書付入」	【袋入り22通一括】 *袋上書「嘉永元年八月大水ニ付流木改書付入」	(封紙)	(粉川村窪村人別木数代銀書上)	(流木御用人足、野村夜打ち廻り人足進達書)	(流木改めにつき御通趣意を村役人へ申し付けるよう大庄屋へ掛け合う件ほか書状) *全体を一本線で抹消、訂正加除も多い	乍恐内存奉願上候覚(流木再吟味雑用銀取替願)	(学文路村隠木吟味にかかる諸雑用割を川上木元への負担を求め る書状)	(道具返却を伝える書状) *封紙「名字堀源太夫様 流木方三人」
3月晦日	申9月8日	嘉永元年8月20日	申8月18日	弘化5年3月	(弘化4末年10月12日)	(嘉永元年6月)					「」12月	12月20日	12月6日
岩出御番所栗林大次郎 東弥 左衛門 吉村伝蔵 三宅一平	中いふり村藤吉(印)	訴金蔵	三谷安蔵(印)	駕家村肝煎重次郎印 同村 庄屋甚七印			岩出御番所より 三宅一平				学文路村肝煎重助(印) 同 村庄屋孫之進(印)	重助 孫之進	梶岡 宇治 島野
堀源十郎	堀源太夫		堀源太夫	紀州伊都郡大野村長蔵			伊都流木方御用先堀源太夫				流木方堀源太夫	堀源太夫	堀
状	状	状	状	状	袋	袋	封紙	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状

流木取締方

ア-150-1-6	ア-150-1-38	ア-150-1-24	ア-150-1-4	ア-150-1-55	ア-150-1-49	ア-150-1-16	ア-150-1-21	ア-150-1-47	ア-150-1-50-3	ア-150-1-50-1	ア-150-1-46-1	ア-150-1-52	ア-150-1-51
(拾い木本数を伝える書状)	(中飯降村役代人名覚)	覚(流木本数知らせ)	(洪水につき今日松田盛兵衛出張の旨ほか達)	(流木拾い木につき吟味を求める書状)	(帰りの日程ほか追啓) *ア150-1-16の追啓	(十二日夜大水の状況、隅田祭礼が済むまでは帰宅しない旨書状)	奉願上口上(材木丸太類流失につき流木見分けの筋取り扱い依頼) *封紙「上よし崎茂兵衛」	覚(手拭い・姓名帳ほか橋本住吉屋へ送り依頼状)	(急ぎの書状に見えたので写しを取らず回送する旨書状)	(大橋兵四郎・松嶋弁次郎を改め方に申し付け渡し舟通行次第出立する旨達) *封紙で3通一括、2は追啓	(新たに分かった流木の処置伺い書状) *2は別紙追啓	(源大夫受取の極印につき報告を求める達)	(吉野流木取締方改極印につき書状)
8月17日	8月16日	8月16日	8月15日	8月14日	8月14日	8月14日辰上刻	8月13日	8月11日	8月10日	8月9日	8月4日昼	7月6日	7月4日
中飯降庄屋彦四郎		庄屋善蔵	(岩出御番所)三宅一平	流木方兼勤堀源太夫 御番 所流木方大橋兵四郎	源太夫	堀源太夫	本村御材木請人池田垣内村 茂兵衛	源太夫	親之助より	吉村伝蔵 三宅一平	(名倉より)辻木屋孝助	三宅一平 (岩出御番所)吉村伝蔵	(丁ノ町組大庄屋)鈴木兵 右衛門
堀源太夫		流木方御役人衆中	堀源太夫	(九度山村)庄屋佐助	兩人へ	同源三郎 同親之助	堀源太夫	親之助	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	吉村伝蔵 三宅一平
状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状

流木取締方

ア-150-1-22	ア-150-1-12-2	ア-150-1-12-1	ア-150-1-1-11	ア-150-1-42-1	ア-150-1-1-18	ア-150-1-42-2	ア-150-1-1-8	ア-150-1-58-2	ア-150-1-1-36	ア-150-1-1-7	ア-150-1-58-1	ア-150-1-1-35	ア-150-1-1-39
〔堀氏出府につき拾襦袢送りを頼む書状〕	〔岡次郎の畑に流れ込みの材木川出願い書状〕	〔谷の義は普請中で差し支えある旨伝え書状〕 *封紙で2通一括	〔返書は御代官所公事方からも廻ってくる旨を伝える達〕	〔別紙評定所からの申し来たり送り状〕 *封紙で2通一括	覚 〔御用大提灯・弓張送り〕	〔吉野材流木筋取り調べにつき御勘定同心・手代一名派遣の旨達〕	〔預りの材木早々に受取を頼む書状〕	〔拾・襦袢送り状〕	〔一昨日の大水につき様子を尋ねる達〕	〔流木拾い主と本数を伝える書状〕	〔大谷桶屋挽割木につき取り調べ依頼達〕 *封紙で2通一括	口上覚〔彦兵衛・重兵衛分流木拾い本数伝え〕	覚〔食料代金受取〕
9月3日	9月朔日	9月朔日	8月28日	8月24日	8月24日夜	8月22日	8月21日	8月20日	8月19日	8月19日	8月18日	8月18日	8月17日
松田嘉左衛門	嶋村役人	東洪田村庄屋源右衛門	三宅一平	岩出御番所	岩出御番所三宅一平	式分口役所	松井村庄屋定五郎	親之助	三宅一平	丁ノ町村庄屋安次郎	(岩出御番所)三宅一平	深田村五郎右衛門	井田宗次郎
岩出御番所御一統	堀源太夫	堀源太夫 松田嘉左衛門	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫 大兵四郎	岩出御番所	名手市場村堀源太夫	父	堀源太夫 大橋兵四郎	堀源太夫	堀源太夫	御役所	
状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状

流木取締方

ア-150 -1-60	ア-150 -1-17	ア-150 -1-25	ア-150 -1-14	ア-150 -1-28	ア-150 -1-31	ア-150 -1-37	ア-150 -1-41	ア-150 -1-5	ア-150 -1-57	ア-150 -1-45	ア-150 -1-20	ア-150 -1-19	ア-150 -1-2
(源大夫の出役工数控帳の借用依頼達)	御報(彫印の義につき)	(流木方彫印差し送りにつき書状)	(流木取締方任免・役人出張・流木拾い賃に関する大庄屋中への御通し写)	(大谷村桶屋庄吉は五人組預けにしておく旨書状)	(八月九日十二日洪水につき上組は流木拾い木のない旨を伝える書状)	覚(清二郎分流木拾い木数)	(流木方役人等四人出張につき参上を命じる書状)	御達奉申上覚(砂糖調方利兵衛の流木買入訴え)	(流木改め出役依頼書状) *封紙は川西善右衛門・竹内文左衛門・大橋兵四郎の連名	奉願上候覚(高野寺領の流木隠木につき)	(流木拾い賃渡す旨書状)	奉願上候覚(流木隠木につき寺領へ掛け合い願ひ)	(寺領村の隠木を役所へ達するよう勤める書状)
11月朔日	10月晦日	10月18日	10月12日・10月・10月10日	9月28日	9月18日	9月17日	9月15日	9月12日	9月10日	9月6日	9月6日	9月6日	9月5日
大橋兵四郎	木村喜太郎	木村喜太郎	広井	大橋兵四郎	上組流木改久保吉之右衛門	嶋村庄屋栄三郎	堀源太夫	御勘定同心川西善右衛門・同竹内文左衛門・岩出御番所木見方大橋兵四郎・伊都郡流木方堀源太夫	大橋兵四郎	名手流木締め方堀源太夫	堀源太夫	名手流木方堀源太夫	早川元助
堀源太夫	藤田源輔	名手市場堀源太夫	伊藤 名出 鈴木 辻田 田中、五人庄屋衆など	堀源太夫	堀源太夫	流木方御役人衆中	中惣廻り喜兵衛へ		堀源太夫	大橋兵四郎 松田嘉左衛門	浦上田井孫四郎		堀源太夫
状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状

流木取締方

ア-150 -1-29	ア-150 -1-23	ア-150 -1-13	ア-150 -1-10	ア-150 -1-3	ア-150 -1-56	ア-150 -1-15	ア-150 -1-33	ア-150 -1-62	ア-150 -1-34	ア-150 -1-27	ア-150 -1-61	ア-150 -1-30	ア-150 -1-1
堀源太夫・御番所流木方大橋兵四郎↓九度山村庄屋佐助 〔拾い木覚書〕裏〔流木拾いにつき糾明依頼書状下書〕8月14日、	流木ひろひ人足着倒（人名書上）	〔岩出御番所金方・木見方役人書上覚〕	覚（人別木数） *端裏一清水普野孫四郎と中大匠屋へ大水流木世話礼写シ	〔流木世話振に対する礼状〕	〔高岸の流木拾い木ほか追啓〕	〔其元手紙拝見、拙者忠惑と合う旨ほか書状〕	〔流木改方につき談じたき旨を伝える書状〕	覚（流木改の飛脚貸受取）	〔宮瀧新兵衛杉樽丸盗難につき訴え書状〕	〔松御用材川下しにつき御勘定吟味役からの申し来たりを伝える 達〕 *マルカ極印ヤマキ切り判の材木は出水等にて散乱の節は取り置くよう	〔寺領流木改の状況報告書状〕 *岩出御番所木見方大橋兵四郎との連署	〔別紙申し来たりの送り状〕	覚（御役人衆酒肴代銀勘定）
					18日	14日上刻	4日	12月	12月5日	11月	11月12日	11月7日	11月4日
				岩出御番所流木方堀源太夫 胡乱者改流木方兼勤人橋兵四郎			川西善右衛門 竹内文左衛門	御代官所（印）		広井藤右衛門	流木方堀源太夫	（広井藤右衛門か）	松源
				萱野孫四郎			堀源太夫	堀源太夫		広藤右衛門 伊達八右衛門 名出文補 幹木 吉右衛門 流木方堀源太夫 味 器止田兵衛 中正助三郎 止次郎 止四郎三郎			堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

流木取締方

ア-150-3	ア-150-9	ア-150-19	ア-150-12	ア-150-6	ア-150-21-1	ア-150-2	ア-150-7	ア-150-1-53	ア-150-1-48	ア-150-1-44	ア-150-1-43	ア-150-1-32
(上使記録簿に受け取りの旨書状)	書状 (吉野郡東川村新七佐野村旅館で金子二十両盗難につき扱い依頼)	覚(流木御用給銀受取)	不調法一札之事(流木拾いにつき詫び)	(先達で頼んだ金子をこの者へお渡し願ひ書状)	御届申上候覚(流木世話役免職届) *封紙で2通一括、-2別紙届け送り状、給木兵右衛門堀	奉差上一札之事(勝負事には一切携わっていない旨を訴え吟味差し延べ願ひ)	頂戴仕一札之事(惣廻給金受取書)	曆次第(八月五日神事覚)	覚(流木改入足工数)	覚(御答所の村ほか)	(寺領の隠木等覚書)	(中飯降流木拾い質勘定書)
7月13日	4月26日	申12月朔日	嘉永元年9月	申2月2日	申正月	申正月	弘化4年12月16日					
板橋伊太郎	榊新右衛門	上田井村吉兵衛(印)	大谷村嘉助(印) 新在家村三之助(印) 同村直次郎(印) 同村市兵衛(印) 大谷村庄屋藤兵衛(印) 新在家村庄屋甚感(印)	ほりこし喜右衛門 同所使 惣兵衛(筆軸印)	田村利兵衛(印)	辻村弥吉(印) 同村庄屋又六(印)	上廻惣廻り源助(印) 中組惣廻り吉助(印) 丁ノ町組惣廻り武兵衛(印)					
堀源太夫	堀源太夫	粉川惣廻り紋兵衛	川西善右衛門 竹内文左衛門 堀源太夫 大橋兵四郎	名手市場堀源太夫	丁ノ町組御役所	堀源太夫	伊都胡乱者改堀源太夫					
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

流木取締方

ア-150 -20	ア-150 -11	ア-150 -1	ア-150 -8	ア-150 -15	ア-150 -16	ア-150 -2	ア-150 -16	ア-150 -1	ア-150 -18	ア-150 -13	ア-150 -4	ア-150 -5	ア-150 -14	ア-150 -22	ア-150 -17	ア-150 -10
(反古)	(二分口役所出頭を命じる評定所からの差紙を伝える達) *封紙 で2通一括、1伝蔵より別紙回送の旨書状、堀源大夫・榎新右衛門の出頭に付き	(流木改日役給銀ほか受取の旨書状)	(書付を来春まで借り置き仕度旨書状)	(学侶方年預代長寿院書状写し送り状)	(寺領学侶方の流木改めの状況伝え書状) *封紙で2通一括	覚(工賃受取)	(東川筏乗から願出の清水村樽材盗難一件に関する達)	(樽丸出しへの礼ほか書状)	(吉野東川与八郎清水村で樽材盗難につき取り扱い依頼達)	(返答書落手、この件につき面談したく出張依頼書状) *端裏に岩出御番所より	(吉野流木一条につき高野山からは兩三日中に返事がある旨書状)	(別紙仰せ渡し写しを送る旨書状) *流木取締方任免・吉野材木流木取締方取扱につき	(奉公人すへが橋本町辰之助に打擲された一件の取り扱い願い書状)			
	12月26日	極月22日	12月18日	12月18日	12月12日	11月晦日	11月28日	11月28日	11月23日	11月14日朝	10月17日	10月14日	7月24日			
丁ノ町組惣廻り武兵衛(印) 中組惣廻り嘉兵衛(印)上 組惣廻り源兵衛(印)	式分口役所 岩出御番所	惣廻り源兵衛	東川又次郎	助三郎	学侶年預代長寿院印	しま村竹次郎(印)	三宅一平	東川又次郎	三宅一平	大橋兵四郎 吉村伝蔵	田中助三郎	榎新右衛門	一色仙輔			
	堀源大夫	堀御旦那	堀源大夫	源大夫	田中助三郎		堀源大夫	名手村堀源大夫	堀源大夫	堀源大夫	源大夫	堀源大夫	源大夫			
状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状			

流木改取締方

チ-18 -11	チ-18 -9	チ-18 -8	チ-18 -3	チ-18 -1	チ-18 -12	チ-18 -10	チ-18 -2	チ-18 -7	チ-18 -6	チ-18 -5	チ-18 -4	チ-18
〔銀子受取証〕	〔鉄勘聞き合わせの内容伝えほか書状〕	覚〔取替分書上〕	おぼへ〔処理すべき仕事書上〕	覚〔たこ・酒・ろうそくなど代金勘定書〕	覚〔酒肴ほか食費〕	覚〔昼食酒肴代〕	〔二ヶ所書付は申組扱いが片付き次第差し上げる旨、四人様雑用取替筋につき書状〕	覚〔吉野郡惣代衆分費用〕	覚〔御入込九人分宿泊料〕	〔上田村・東家村・下兵庫村分流木雑用負担人書上〕	覚〔妙寺村隠木不埒人に負担させる金額につき〕	【こよりひもでくくり12通一括】
					10月9日	8月12日	正月20日	正月17日	亥正月19日	亥正月19日	亥正月18日	
かせだしまや喜兵衛				茶碗や女兵衛〔印〕	船戸与市	若山橋源右衛門	堀源太夫	花源	とうふ屋定七〔印〕			
				中飯降庄屋	名手村堀源右衛門	源十郎		御役人衆	堀源太夫			
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	

六 御徒浪人

テ-4 -6	チ-14 -3	チ-14 -2	チ-14 -1	ア-21	ア-17	ア-16
就切支丹宗門御改一札之事	〔藩士の住所氏名書上覧〕 *「天保三辰正月晦日」の日付あり	〔藩士の住所氏名書上覧〕 *「文政十式年正月」の日付あり	〔藩士の住所氏名書上覧〕 *袋入り3通一括、袋上書「御徒書付入」	御徒頭衆并組頭廻状うつし	御徒組頭衆より御通事留帳	御徒組頭衆より通じ写留
寛政9年3月				安政2年9月4日	嘉永6年	嘉永5年
新在家村御徒浪人安田瀬助 (花押)				堀源太夫	堀氏(源十郎)	堀源十郎正珍
河嶋七兵衛殿 渡辺門九郎						
状	状	状	状	懸帳	懸帳	懸帳

七 堀家

1 由緒

タ-11 -3-1	タ-11 -3-2	ア-151 -5	テ-99
〔改名聞き届けの旨達〕 *封紙で2通一括	〔源右衛門へ改名願書〕	役儀ニ付買物并ニ所々江遣ひ物覚帳 *封紙「名乗 堀多次郎」	〔堀多次郎値賢名乗書〕 *封紙「名乗 堀多次郎」
3月4日	文化6年2月	文化5年4月27日	寛延2年9月改之
中嶋仁右衛門	名手組市場村堀源次郎(印)		
堀源右衛門			
状	状	懸帳	封紙包伏

御徒浪人／堀家(由緒)

堀家(由緒)

セ-17 -2	ア-10 -1	ア-10	ター1 -6	ター1 -5	ター1 -4	ター1 -3	ター1 -2	ター1 -1	ター1	ター31	セ-17 -1	ター97
乍恐愚意内存奉申上候覚(別紙村中一統願書御見分けほか願)	胡乱者改役ニ付諸雜賣入用帳	胡乱者改雜用帳 *ア10全体の表紙、3冊一綴、-3は家計へ	(封紙)	(勤め方・博奕・盜賊などにつき大庄屋へ進上書)	(身分昇進のための冥加金をいくら差し上げるか尋ね書状)	(出銀の年号を知らせるよう達)	(内存書、救合又はこれまでの出金の内容を認め差し出すよう達)	(別紙内存書返却の旨ほか書状)	【袋入り6通一括】 *袋上書「天保十年亥正月廿日 だいじの書付入 御代官所より来状入 堀正耀四十四歳之節」	乍恐奉願上口上覚(地主仰せ付け願) *奥書「右願書天保九年戌十二月止耀四十二才之節差上候」	乍恐奉願上口上(源十郎庄屋役御免につき掃役願) *袋入り2通一括、封紙上書「上 村方より源十郎掃役願書」	誓文事(兄弟誓文血判) *端裏「藤屋龜右衛門より入誓文」
弘化2年10月27日	弘化2年8月11日初	弘化2年8月10日初			12月23日	2月17日	2月12日	2月4日	(天保10年)	(天保9)12月	天保6年12月	文政5年3月3日
堀源十郎	(堀源太夫正耀)				桑山五右衛門	(桑山)五右衛門	桑山五右衛門	桑山五右衛門		堀源十郎(印)	頭百姓六(印)右同茂兵衛(印)右同源兵衛(印)右同利兵衛(印)右同四次郎(印)村惣代方五郎(印)右同小太郎(印)右同善四郎(印)右同元右衛門(印)右同龜右衛門(印)右同文兵衛(印)	鈴木氏龜右衛門(血判か)
					源次郎	源十郎	堀源十郎	堀源十郎		桑五右衛門	田中元右衛門	
状	帳		封紙	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	袋	状	封紙包状	状

堀家（由緒）

セ-30	イ-82	ア-9	チ-2 -1	ツ-215	ア-40	テ-290	テ-280	タ-21	セ-32	セ-31	ア-10 -2	ア-166 -4	ツ-181
奉御調ニ付有躰申上候（堀家由緒につき） *端裏「御代官所人別調ニ付堀源太夫肝煎役之節書付」	当組帳書被仰付候ニ付諸入用控帳 并ニもらひもの共 *綴じ紐にくくり付け文書（出府造用等書上）あり	吉野材木流木取締役被仰付候付諸雜貫控帳	暑中見舞帳 *袋入り帳而8冊一括、表紙「とよもの入九日」	乍恐御内存奉申上候覚（上那賀胡乱者改助仰せ付け願ひ） *前欠、胡乱者改・御徒仰せ付けはか違、買い求め田地など	（堀家の事跡覚書） *前欠、胡乱者改・御徒仰せ付けはか違、買い求め田地など	覚（町人名書上）	（人別贈答金書上） *とき孫次郎、松田清兵衛、まとは紋九郎、小池博平など、	御礼廻勤ヶ所（住所人名書上） *21名、胡乱者改め仰せ付けにつき	（改名願の処理につき内報書状） *封紙はセ31のもの	御願奉申上候覚（源太夫と改名願）	胡乱方ニ付歳頭暑中寒氣諸雜貫控帳	胡乱者改役被仰付祝儀帳 *端裏「表之通致土生松右衛門様江奉差上候 ほかへ」	乍恐愚意内存奉申上候覚（庄屋役退役につき） *端裏「表之通致土生松右衛門様江奉差上候 ほかへ」
子7月	慶応2年6月16日	弘化4年10月11日	弘化4年林鐘（6月） 10日	28日 （弘化3以降か）6月	（弘化3・嘉永元）3・3・ 慶応2以降ほか）	（弘化3年か）	（弘化3年か）	（弘化3年か）	（弘化3）極月23日	弘化3年11月25日	弘化3年閏5月27日 より	弘化3年3月28日	弘化2年10月27日
市場村源次郎	（市場村肝煎源十郎）	堀源太夫正耀	堀源太夫正耀	伊都郡胡乱者改助堀源太夫 （印）					板橋伊太郎	伊都郡胡乱者改助堀源十郎 （印）	堀源太夫正耀	堀源十郎正耀五十志歳節	堀源十郎
田中元右衛門									堀源十郎	小浦惣内			
状	横帳	横帳	横半帳	状	横帳	状	状	状	封紙入状	状	横帳	横帳	状

堀家（由緒／家政全般）

2 家政全般

テ-2	ア-233 -2	ア-233 1	テ-113	コ-21	ナ-2	ナ-1	ケ-8 -4	チ-19 -19	テ-3 -21	テ-53	タ-46	ケ-13 -3
古金銀錢目録控	覚（松材代金）	酒屋鋪普請入用	空豆植付覚記帳	〔人物写真〕	和歌山県会議員選挙投票用紙	〔下等歩兵辞令〕 *封紙「堀仙助、裏判」辛未正月十二日 第一予備兵	〔地主株につき金子の儀は宜しく取り計ように伝える書状〕	〔差紙〕 *若山より、テ15-4参照	〔源右衛門忬源次郎へ御徒浪人相続は差し支えないか取調を命じ る達〕	〔江戸中屋敷焼失につき冥加人足賃金差上度の願につき優状〕	〔江戸中屋敷焼失につき冥加人足賃銀差上願い出優状〕	奉願上候覚（御蔵庄屋御免願） *寛政4年か
		*綴じ紐にくくり付け文書1と松木注文覚		*2.5×3.5cm、堀止寿氏か	*封筒「県会議員選挙投票」に「選挙人」							
文政11年11月	5月2日	文化10年3月11日	明和3年正月吉日	〔近代〕		〔明治4〕辛未 2月10日	12月17日	8月21日	7月27日	申3月	3月	子9月2日
堀源次郎正權事源十郎事源 右衛門事堀源太夫正權	大つ古孫		堀源右衛門			和歌山藩戌宮（朱印）	堀内定右衛門 （北垣）小三郎 （藤田）伊十郎	堀内定右衛門	山田郷助	和田伊右衛門	和田伊右衛門	市場村御蔵庄屋堀源次郎 （印）
	源次郎					堀仙助	堀源十郎	（在御徒浪人）堀源右衛門 同源次郎	田中元右衛門	上那賀市場村源右衛門	上那賀市場村庄左衛門	田中元右衛門
横帳小	状	横半帳	横帳	写真	封筒入状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状

堀家(諸願・請書)

ター11 -7	ツ-246	ツ-196	ツ-264	ツ-358	ア-28	テ-3 -8	ツ-410	テ-3 -9	ツ-340	ツ-284	ツ-272	ター47	ケー13 -2
奉願上口上覚(相続にともなう家代渡し方につき) *つね株につき	奉願上口上覚(市場村弥助家代支払い願)	奉願上口上(立て替への弥介不納家代取立願)	奉預り銀子之事(御救方御貸下金預り)	請書一札之事(年貢不納米五月まで延引につき) *【奥書】同村庄屋代肝煎文之系(印)	小太郎謀反申掛ケ候ニ付小林仙太夫殿御取扱ひ写し	覚書(小太郎年貢延引一件につき口上控)	御年貢書付之事(年貢延引聞き済みにつき請書)	書出し之事(誤り状) *端裏(天保十三重八月九日夜小太郎誤申出候書付)	請取申一札之事(井戸普請賃銭請取)	覚(江戸御普請につき御用金請取)	借用申一札之事(紺屋御免札年金一両で借用) *ツ269の封紙	御通し写し(無札で作問稼ぎ手賃商売をしないよう命じる達)	(無札で質商売致さざる旨達)
卯2月	寅9月	丑12月	嘉永5年12月19日	天保14年12月	天保14年2月	(天保13年か)	天保13年極月	(天保13)8月17日	天保10年11月	戊(天保9)12月17日	天保5年10月	9月20日	(天保3)9月20日
	市場村源次郎	源次郎	市場村預り主堀源十郎(印) 同村請人山崎屋源三郎(印)	かり宿村本人儀助(印)同村 受人柳八(印)同村引受人弥 右衛門(印)	堀源右衛門		本人十藏(印)証人源重郎 (印)	(小太郎)	狩宿村李兵衛(印)	名手組役所(印)	かり主渡田屋半兵衛(印) 受人太右衛門(印)右同理 兵衛(印)	志賀弥惣左衛門	志賀弥惣左衛門
栗本佐助	栗本佐助	栗本佐助	名出文輔取次人米屋清兵衛	市場村源右衛門			後見妹背佐次兵衛		堀源右衛門	堀源十郎	堀源右衛門	田中元右衛門	田中元右衛門
状	状	状	状	状	張	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

堀家（諸願・請書／増田嘉兵衛昇進一件）

4 増田嘉兵衛昇進一件

チ-8 -16	チ-8 -27	チ-8	テ-26	ツ-494	ツ-204	ツ-206	テ-3 -14	ツ-493	ツ-52	ツ-280	ツ-435	ツ-50
〔喜兵衛養子願・嘉兵衛地上相続願写〕	〔豆嘉殿昇進ニ付雜貫入控〕	〔袋入り27通一括〕 *袋上書ニ傍河中町大豆屋喜右衛門次男増田嘉兵衛殿昇進一条ニ付書付入	〔借銀年限切れにつき家屋敷を渡すよう求める訴状草案〕	指入中手形之事（年貢米七斗納延引につき）	奉追願口上覚（文次郎へ取替銀急ぎ返済仰せ付け願）	乍恐奉願口上覚（文次郎へ取替銀返済仰せ付け願）	御請書一札之事（七右衛門不納分引受人の上納延引につき）	御請書奉差上覚（年貢米四斗納め延引につき）	覚（畑地筋金請取）	覚（石段建立につき先銀受取証）	引請申一札之事（年貢不納上納延引につき）	差上申一札之事（つね株家土蔵弥助へ売払代銀不納一件済口） *ツ596関連
（未正月）	弘化3年12月	（弘化3年年12月11日）			戌4月	西10月	酉7月	中極月	午12月	辰12月	辰2月日	卯4月8日
東家村地土脇文兵衛ほか			（市場村源右衛門）	符宿村本人伝助（印）同村引受人利八（印）同村石岡断脚八（印）同村正屋伊平次（印）	市場□願主源右衛門（印）	源右衛門	符宿村本人九郎兵衛（印）同村五人組作左衛門（印）同村庄屋伊左衛門（印） 符宿村本人九郎兵衛（印）同村正屋伊平次（印）同村庄屋伊左衛門（印）	符宿村本人九郎兵衛（印）同村五人組作左衛門（印）同村庄屋伊左衛門（印）	符宿村彦三郎（印）世話人柳八（印）	穴伏村請取人善四郎（印）同村請取人千右衛門（印） 〔奥書〕名出長四郎（印）	本人兼助（印）引受人利吉（印）証人藤兵衛（印）	市場村源二郎 屋彦重郎 〔奥書〕庄
小浦惣内・広井藤右衛門			（市場村与四郎）	市場村堀源太夫			市場村源右衛門	名出文吾	市場村堀井源治郎	林山城守 堀源右衛門	堀源大夫	伊都（か）助左衛門
縦	横半帳	袋	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状

堀家(増田嘉兵衛昇進一件)

チ-8 -21	チ-8 -13	チ-8 -11	チ-8 -4	チ-8 -17	チ-8 -8	チ-8 -7	チ-8 -6	チ-8 -2	チ-8 -20	チ-8 -23	チ-8 -19	チ-8 -26	チ-8 -15
〔別紙の通り願済みにつき写し送り状〕 *別紙は不明	〔源太夫の帰宅を尋ねる書状〕	〔二色仙介殿ほかへの進物を頼む書状〕	〔仰せの品を送ったので宜しく取り計りを頼む旨書状〕	覚(柳行李受取)	〔父十七回忌兄一周忌法要に出席依頼書状〕	〔和歌山から願書到来後の扱いにつき書状〕	〔願書下書拝見し返却を藤田氏の使いへ頼んだ旨書状〕	〔悴が隣村まで行くので伺いの可否を尋ねる書状〕	覚(鷹御用時の止宿入用差し遣わす旨)	乍恐奉願上口上覚(榎坂勘兵衛養子正三郎へ地土相続願書)	〔札四十匁使いに持参させる旨書状〕	覚(米三俵受取) *堀源太夫殿分下夙村字(卯)兵衛出	覚(養子持参金受取)
4月5日	卯月朔日	3月26日	3月12日	3月3日	2月3日	正月29日	正月29日	正月13日	丑11月22日	未霜月朔日	弘化4年10月22日	弘化4年10月10日	未2月朔日
年番久保吉之右衛門	増田嘉兵衛	増田嘉兵衛	増田祥	土岐屋敷	増田嘉兵衛	増田嘉兵衛	増田嘉兵衛	増田嘉兵衛	山田兵之右衛門	橋本町地土榎坂勘兵衛、上組 地土番久保吉之右衛門	脇嘉兵衛	酒屋庄右衛門(印)	東家村十兵衛印
脇文兵衛	名手市場堀親之介	堀源太夫	堀御氏	堀源太夫	堀源太夫	堀御氏	堀源太夫	堀源十郎	名手村	広井(藤右衛門)	堀源太夫	納片屋藤兵衛・名出文輔	堀源太夫
状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状

堀家（増田嘉兵衛昇進一件／吉五郎跡式一件）

カ-16 -2	テ-85	下作渡シ方控	本銀返シ証文之事 *端裏「吉五郎方大池尻田地」	文政11年4月3日	堀氏おくま		横半帳
テ-8-24		〔未開封書状〕 *未発送の書状か			胡乱者改堀源太夫	石町正三郎	状
テ-8-18		乍恐奉願上候口上（地主相続願書ひな形）		何月	東家村地主脇文兵衛	広井藤右衛門	状
テ-8-3		〔年末の祝儀を送る旨、脇氏の系図書につき書状〕		臘月28日	増田嘉兵衛	堀源十郎	状
テ-8-12		〔進物への礼状〕		12月16日	伊十郎（北垣）小三郎	堀源十郎	封紙包状
テ-8-5		〔俵に銀百五十目持参させる旨書状〕		12月16日	こ川増田	市場堀御氏	状
テ-8-9		口演（品物を持参する旨）		8月日	増田より	堀御氏	状
テ-8-22		〔嘉兵衛地主相続の旨を伝える書状〕 *奥に地主相続申付け違の写しあり		5月22日	脇嘉兵衛	堀源太夫	封紙包状
テ-8-25		〔差紙〕 *俵嘉兵衛とも来る15日麻上下で代官所へ出頭		5月12日	広井藤右衛門	脇文兵衛	状
テ-8-10		乍恐奉願上候口上（養子嘉兵衛に地主相続願い） *端裏「地主願 是ハ御通し留へ写ス書」		4月	伊都郡東家村地主脇文兵衛印、 地主年番久保吉之右衛門印	広井藤右衛門	状
テ-8-1		〔仰せ聞かせの一条は金二十九両の旨書状〕		4月21日	北垣拝	堀源太夫 脇嘉兵衛	状
テ-8-14		〔願い筋の状況伺い書状〕 *前欠か		卯月10日	堀源太夫	鳴甚助 野村又兵衛	状

5 吉五郎跡式一件

堀家(吉五郎跡式一件)

キ-20	キ-28	キ-19	キ-27	キ-41	テ-39	テ-33	キ-25 1-2	チ-2 5	キ-26	キ-25 -3	キ-25 -1-1	キ-24	カ-16 -1
吉五郎方くまきち田地諸色出入控帳	つちへ譲り証文之写し	①吉五郎田地御年貢預ヶ歩畝高尋控帳 ②吉五郎方田地御年貢并 二下作出入控帳 *2冊一綴	くまきち公事ニ付御礼廻り長面控	裁許書写し *弘化4年3月写 (天保元年3月)	乍恐歎キ御願奉申上候 (吉五郎株は後家と娘へ相続願) *テ33と同	乍恐歎キ御願口上 (吉五郎株は後家と娘へ相続願)	御評定所へ御差出シ ひかへ	諸雜用控帳 是ハおくま公事ニ付	本銀返シ証文之事 (写し) *添一札あり	乍恐祖母ぬひより願出候返答覚	願書写シ 是ハ発端ノ願書 *四冊一綴	山崎屋吉五郎方移り田地三秀よりかり候て萩原村兵右衛門頼母子 へ差入候証文之写し	諸雜用控帳
天保3年11月朔日	文政13年12月15日	①文政13年 ②天保2年9月6日	文政13年3月15日	文政12年 (天保元年3月)	文政12年	文政12年	文政12年霜月18日	文政12年10月28日	文政12年8月	文政12年7月5日ひ かへ	文政12年5月	文政11年11月	文政11年7月吉祥日
堀源十郎写ス		①②堀源十郎	堀源十郎止瀧	堀源太夫	源右衛門	上那賀郡名手市場村堀源右 衛門			名手市場村本人五太郎印同請 考太郎印同村御遺注原善兵衛 印同村正屋善兵衛印		源右衛門より		堀氏おくま
		郎 ①②妹昔左次兵衛 楠楠三			庄屋彦四郎				名手細後田村太神宮講惣代 直之丞				
横帳	堅綴	横帳	横半帳	堅綴	状	状	堅綴	横半帳	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	横半帳

キ-30-1	テ-272	キ-31-2	キ-31-3	キ-22	テ-292	テ-288	テ-283	キ-19-33	キ-31-1	テ-289	キ-30-1	キ-29	キ-21
② 乍恐奉願口上寛	御尋ニ付奉答上候 (吉五郎所持田地につき) *端裏「丁ノ町組大庄屋より当役所へ掛合ニ付願上候写し」	移村田地ニ付萩原村より願書写し	御尋ニ付奉答上候 是者萩原村より願出候ニ付 *狭込文書3通あり	諸色勘定帳	(差紙) *妹背佐次兵衛・米屋清兵衛・西村三秀・堀源十郎出願	(講銀不納一件の証文・願書写) *本銀返証文・下作証文・願書などの写し	乍恐御答奉申上覚 (吉五郎株相統につき祖母ぬい願書に關して尋ねへの返答)	*端裏「天保九戊十一月御答書 後見宛ニ而御代官所へ 上祖母ぬひ謀儀ニ付」	ぬいよりの手にて差上候写し *7冊綴	(講銀不納一件の証文・願書写) *12通綴	萩原村忠次郎殿より引受書付写し 同村愛宕講明神講三秀より取候而頼母子不掛ケニ付日者満講迄掛統キ候約定ニ付御請書奉差上候写し 尤御代官所へ	くま田地ニ付出入控帳	
天保13年2月3日	(天保12年7月)7月	天保12年7月	天保12年7月2日	天保10年9月吉日	(天保10)9月10日	天保10年7月	天保9年12月	天保9年12月	天保9年11月	(天保6年)	天保6年8月	天保6年8月	天保4年正月吉日
市場村三秀後家樋喜代印 粉川組長田中村親類惣代喜兵衛印				吉五郎	桑山五右衛門	(萩原村より)	市場村願主堀源次郎	親類理兵衛 同文蔵 願主 堀源次郎			市場村西村三秀妻樋喜代印 同村庄屋代肝煎幸左衛門印		
市場村庄屋太右衛門					藤田新次郎		妹背佐次兵衛 平井清兵衛	妹背佐次兵衛 平井清兵衛					
縦綴	杖	縦綴	縦綴	横帳	杖	杖	杖	杖	縦綴	杖	縦綴	縦綴	横帳

堀家(吉五郎跡式一件)

堀家(吉五郎跡式一件)

テ-111	キ-37	キ-36	キ-32-2	キ-32-1	キ-31-7	キ-31-6	キ-31-5	キ-30-12	キ-30-9	キ-30-8	キ-30-7	キ-30-11	キ-31-4				
諸色勘定帳	吉五郎方相統一件祖母ぬい槌喜代より倅源柳を賀養子願 原三郎を賀養子願	乍恐奉願上口上 吉五郎方相統一付	乍恐奉願上口上 控	願上 *5冊一綴	乍恐奉願上口上 相統願	願出	内存奉申上口上 控へ	乍恐奉願上口上 覚 控江	天保十三寅十一月願書	乍恐奉願上口上	内存奉申上口上	内存奉申上口上	吉五郎方家督流渡致し候を取留候并家名相統色々工夫ヲ以源三郎 吉へ致さず前御裁許頂戴致し候ハ大苦勞之心配事ニて今ハ其節を 存候得者中下之心配ニて候(諸願書写し)				
天保13年極月日	天保13年12月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月	天保13年9月	天保13年2月3日				
堀吉五郎株	堀正耀写之	願主堀源次郎	市場村吉五良孫さち	堀源十郎	市場村吉五郎孫さち	ぬいより	堀源十郎	名手吉五朗株	ぬいより	市場村吉五郎孫さち	願主堀源次郎		堀源石衛門正耀				
横	帳	堅	帳	堅	綴	堅	綴	堅	綴	堅	綴	堅	綴	堅	綴	堅	綴

堀家(吉五郎跡式一件)

キ-30-10	キ-30-3	キ-30-2	テ-298	キ-30-4	テ-35	テ-34	ス-26	テ-279	ウ-76	テ-109	テ-32	キ-40	キ-38
乍恐奉歎申上口上覚	乍恐奉願申上口上覚	奉伺口上覚	内存奉窺覚(吉五郎家へぬい引き戻しと孫さちへ婿養子を迎える事について窺い)	内存奉窺覚	乍恐口上覚(吉五郎後家ぬひの兄弟につき)	乍恐実々口上書覚(吉五郎後家ぬひの兄弟につき)	乍恐奉申口上覚(吉五郎につき) *卓稿	〔講銀不納につき質物田地の作徳を講銀にあてることを申し付けるよう頼む書状〕	よるづおぼへ長	誓文一札之事(本家へ不義不忠を致さざる旨ほか)	乍恐奉伺上覚(吉五郎株相続につき預り銀は精算のため差上延引願)	吉五郎株諸勘定仕送り帳 *堀源次郎正羅四十八才写之	天保十三寅十一月願書之写し 同十四卯五月十日口達之覚と致シ候而御裁許御下ニ付評定所ニ而被仰聞写し
寅8月	寅8月	寅8月	寅8月12日	寅8月12日	丑8月	丑8月	丑6月	丑3月9日	天保14年	天保14年7月6日	天保14年6月	天保14年5月16日	(天保13・14年)
吉五郎方本家後見差添堀源次郎 親類万五郎 同文兵衛	吉五郎本家市場村堀源次郎 親類万五郎 同文兵衛	市場村山崎屋吉五郎後見米屋清兵衛印 同断妹背佐次兵衛印	名手市場村吉五郎株後見米屋清兵衛印 同断妹背佐次兵衛印	名手市場村吉五郎株後見米屋清兵衛印 同断妹背佐次兵衛印	上那賀名手市場村源右衛門	市場村源右衛門	上那賀名手市場村源右衛門	萩原村庄屋忠次郎	きち	源柳 本人槌喜守印 喜兵衛印	同村親類惣代卯兵衛印	妹背佐次兵衛 米屋清兵衛 庄屋太右衛門	堀源右衛門正羅写之
		藤田新次郎	的場紋九郎	的場紋九郎				市場村庄屋妹背多右衛門		本家堀源右衛門	吉五郎株後見名出庄右衛門 右同断西本喜十郎		
懸綴	懸綴	懸綴	状	状	状	状	懸綴	状	横帳	状	状	懸綴	懸帳

堀家(吉五郎跡式一件)

キ-32 -4	キ-32 3	キ-25 -2	キ-23	ア-33	ア-32	テ-239	テ-147	ス-38	テ-281	ツ-232	キ-30 -6	キ-30 -5	テ-37
(願書案)	(願書案綴)	願書写	(高・代金書付)	乍恐存心奉申上候(弟吉五郎家跡相続につき)	乍恐奉申上口上覚(吉五郎跡児玉源柳根来株跡相続人願につき) *後欠	乍恐奉申上口上覚(吉五郎跡児玉源柳根来株跡相続人願につき) *後欠	(吉五郎跡式相続解決礼状への返礼)	(吉五郎一件につき痛気で参上出来ない旨を伝える書状)	御通シ之写シ(吉五郎につき)	(吉五郎株後見に庄屋多右衛門を申し付ける旨岡本勘右衛門からの達を伝える書状)	乍恐奉内存何覚(吉五郎株きち積み金貸し付けにつき)	奉向上口上覚	乍恐奉歎申上口上覚(吉五郎株田地につき)
		願人 児玉源柳坊幼年ニ付 祖母ぬひ		(名手市場村源右衛門)	名手市場村源右衛門	小林仙大夫	大和屋義助		田中元右衛門	市場村吉五郎親類源十郎 (印)	名手組市場村吉五郎本家堀 源右衛門(印)	吉五郎本家堀源右衛門	吉五郎本家後見差添堀源次 郎(印)親類万五郎(印) 右伺文兵衛(印)
						堀源次郎	堀源治郎		妹背佐次兵衛 堀源十郎	田中元右衛門			
縦綴	綴	縦綴	横綴	縦綴	縦綴	縦綴	封紙包伏	封紙包伏	縦綴	伏	伏	伏	伏

堀家(吉五郎跡式一件)

ス-34	ス-33	ス-32	ス-31	ス-30	ス-29	ス-28	ス-27	キ-39	キ-35	キ-34	キ-33	キ-32 -5
乍恐奉申上候口上(吉五郎一件につき)	乍恐奉申上口上覚(吉五郎につき)	乍恐奉申上口上(国太郎兎玉源柳跡勤めにつき御尋ね返答) *草稿 ス26と同	乍恐奉歎申上口上覚(吉五郎につき)	乍恐奉申上口上覚(吉五郎につき)	乍恐奉願上口上覚(吉五郎につき)	乍恐祖母めひより願出候返答覚(源柳跡につき)	乍恐申上候(国太郎兎玉源柳跡勤めにつき御尋ね返答)	御裁許御下ケ写し	御尋ニ付奉答上候(案)	内存奉申上口上(案)	乍恐申上候	(願書案)
*草稿	*草稿			*草稿	*草稿	*草稿	*草稿					
上那賀名手之庄市場村源右衛門 ほか	上那賀名手市場村源右衛門	上那賀名手市場村御徒浪人堀源右衛門 私忰御徒浪人同源次郎私娘くま 松三郎妻私娘吉五郎梓松三郎 松三郎妻私娘くま 松三郎娘さち 吉五郎娘きよ 三秀伴国太郎 吉五郎妻ぬひ	吉五郎方本家後見差添堀源次郎 親類万五郎 同文兵衛	橋本町儀助	上那賀名手組市場村源右衛門女子くま			堀源次郎写之			堀源右衛門	
堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴	堅綴

堀家(吉五郎跡式一件)

テ-291	テ-285	テ-278	テ-76	テ-42	テ-38	テ-36	ツ-443	ツ-377	ツ-228	ツ-153	ス-37	ス-36	ス-35
(講銀不納一件の経過覚書)	(私方と相手方三秀と間違っていないか内分尋ねとその返答書付)	(不納講掛銀の処理につき願)	(吉五郎株相続一件願書下書き)	乍恐奉願上口上(吉五郎株相続一件につき) *草稿	乍恐存心奉申上候(吉五郎株相続一件につき)	御尋之趣奉答候(吉五郎一件お尋ねにつき譲り状・国太郎へ根来組譲りほか返答書)	(吉五郎跡きちへ相続一件につき願書草稿)	(吉五郎跡きちへ相続一件につき願書)	再慮奉願上覚(吉五郎株きち相続一件につき)	再慮奉願上覚(吉五郎株相続一件につき)	乍恐奉歎申上口上覚(吉五郎につき) *草稿	乍恐奉申上口上覚(吉五郎につき) *草稿	乍恐奉申上候口上(吉五郎一件につき) *草稿
				願主源右衛門 親類利兵衛	堀源右衛門				名手組市場村源右衛門	吉五郎方本家後見差添堀源次郎 親類刀五郎 同文兵衛		上那賀名手市場村源右衛門	上那賀名手市場村源右衛門 ほか
状	状	状	状	状	状	状	状	綴り	状	状	堅綴	堅綴	綴

堀家（吉五郎跡式）一件／冠婚葬祭

ア-246	ア-245	ア-244	ア-243	ア-242 -4	ア-242 -2	ア-242 -1	ア-242 -3	ア-242	ア-230 -5	ア-230 -4	ア-230 -3	テ-300
吉凶諸費比加「」	西園参り之節餞別覚帳	安産御祝儀覚帳 雛御祝儀物覚帳（鶴千代につき）	伊勢参餞別覚帳 *挟込文書、辰四月伊勢参り餞別覚	お磯雛祭初御祝儀覚	源次郎四拾式役御祝儀請取覚	〔祝儀帳〕 *表紙欠	祝儀物覚帳（おいそにつき）	【源次郎・おいそ祝儀関係帳（面綴）】	諸色入用帳	観阿妙全之時入用 *高野山ほか寺院ごとの書き上げ	香奠帳 *表紙「天性自明」	〔吉五郎株相統一件につきめいの処分につき願書〕 *卓稿
寛政7年時雨月 （明治28年正月）	寛政6年3月8日	寛政5年2月12日生	寛政3年4月2日	寛政2年3月吉日	寛政2年2月吉日		寛政元年3月22日		天明8年7月25日		天明8年7月25日	
寛延二巳年生 堀源右衛門												
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		横帳	状	横帳	状

6 冠婚葬祭

堀家(冠婚葬祭)

ア-232 -6	ア-232 -5	ア-232 -4	ア-232 -3	ア-230 -6	ア-232 -2	ア-232 -1	ア-232	ア-231 -2	ア-231 -1	ア-230 -2	ア-230 -1	ア-230	ア-229
彦兵衛養子ニ参候御祝儀覚	げんふく御祝儀覚帳 * 亀松ヲ源次郎と改名いたし候	疱瘡之節祝儀覚帳 * おくま七才之時	西国参詣之時儀別貫覚帳 * 源右衛門おいそ兩人 出	① 井田村玄貞母死去之時悔ニ参り人数	伊勢参詣儀別帳 * 亀松十一才初	五位馬乘御祝儀覚帳 * 扇亀松馬乗之時源太夫事、源太夫正權馬乗之時、 文化元年金比羅参詣・文化2年熊野より伊勢参詣儀別覚あり	【祝儀儀別関係帳面綴】 * 7冊一綴、各年に分けて記す	おくま雛初御祝儀帳	安産御祝儀留帳 * 源太夫正權姫山崎屋吉五郎ノ方江嫁 ス七回家松三郎妻、おくまへ祝儀	諸色買もの入用附帳 * 文化4年鶴千代七回忌、文政3年親阿妙全 五十年忌、天性自明二十三年忌の記事もあり	香奠帳 * 見返一寛政十一年未年四月八日嫡賢父死去 源十郎正權四才之時源十郎ちい之事也	【葬儀関係帳面綴】 * 6冊一綴、各年に分けて記す	疱瘡御祝儀 * 五月十一日より おいそ 鶴千代初 五月十二日より 亀松
文化11年正月26日	文化9年正月25日	文化5年6月21日	文化5年3月6日 門	文化4年7月18日	文化3年3月15日出	享和3年8月15日		享和3年3月吉日	享和2年5月4日生	寛政11年卯月	寛政11年卯月	寛政9年4月13日初	
横帳	横帳	横帳	横帳	横綴	横帳	横帳		横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	

堀家(冠婚葬祭)

ア-236 -4	ア-236 -3	ア-236 -2	ア-236 -1	ア-236	ア-200 -5	ア-200 -4	ア-200 -3	ア-200 -2	ア-200 -1	ア-200	ア-230 -6	ア-234	ア-232 -7
買もの覚帳	香奠帳	買もの帳 貸りものひかへ共	勝手買もの帳	【おかし葬儀関係帳面綴】	(手伝人など書上覚)	手伝人	香奠帳	諸入用覚	諸造用払方覚	【源一郎葬儀関係帳面綴】	②井田村玄貞死去之節悔ニ行候人数覚	祝儀物控帳	西国巡礼銭別覚帳
*仙臺芳重俗名おかし正羅母行年七十二歳	*仙臺芳重俗名おかし七拾一歳正羅母事也		*仙臺芳重俗名おかし年七拾二才正羅母にて候						*桂香重子 源一郎事四才ニ而死去				
天保5年7月8日八ツ時死去	天保5年7月8日八ツ時死去	(天保5年)	天保5年7月8日八ツ時死去	(天保5年)	(文政12年8月)	文政12年8月10日	文政12年8月10日	(文政12年8月)	文政12年8月12日		文政9年8月12日	文政7年正月26日	文化13年3月14日門出15日立
												おくま	堀氏かち
横帳	横帳	横帳	横帳		横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		横綴	横帳	横帳

堀家(冠婚葬祭)

ア-240 -2	ア-240 -1	ア-240	ア-237 -2	ア-199	ア-239 -2	ア-239 -1	ア-239	ア-238	ア-237 -1	ア-237	ア-236 -7	ア-236 -6	ア-236 -5
覚(参詣費用、山東参詣人書上) *縦じ紐にくくり付け文書	とめの病氣ニ付御祈禱被成下并ニ手伝貫物控帳	【とめの病氣祈禱関係帳面綴】	幟立御祝儀覚帳 *親之助事堀虎之助正直	(八十八賀貫物覚帳) *前欠	八十八賀ニ付雑用控江帳	堀源右衛門值賢八十八賀本掛賦控帳	【堀源右衛門值賢八十八賀関係帳面綴】	諸色心覚ひかへ 妹くま死去ニ付	平彦祝儀帳 *親之助改堀虎之助正直	【親之助祝儀関係帳面綴】 *4冊一綴、各年に分けて記す	(三十五日追善人数書上覚) *大保五年八月十二日三十五日追善人数也 (天保5年)	(葬儀参列者か書上覚) (天保5年)	手伝人覚帳 *仙雲芳薫价名おから値賢妻 天保5年8月8日
(天保6年7月22日)	天保6年7月16日	(天保6年)	天保6年4月吉祥日		天保6年2月21日	天保6年2月22日	(天保6年)	天保5年9月2日	天保5年7月17日		(天保5年)		天保5年8月8日
				堀源右衛門值賢人	堀源右衛門尉值賢								
状	横帳		横帳	横帳	横帳	横帳		横帳	横帳		横綴	横綴	横帳

堀家(冠婚葬祭)

テ-304	テ-303	テ-301	テ-305	テ-302	ア-201-2	ア-201-1	ア-202	ア-235-4	ア-235-3	ア-235-2	ア-235-1	ア-235	ア-240-3
献立	口演(粗餐に参加願) *封紙「同章 源右衛門」 「親之助正珍馬乗ニ付」	覚(親之助馬乗時の振舞人につき) *十四日十五日の人員書上もあり	覚(料理代金)	〔十五日祭礼渡御参加願廻文〕 *封紙「親之助正珍馬乗ニ付」	(献立、注文品ほか覚)	五位馬乗ニ付諸色控江帳 *2冊一綴、堀親之輔正珍齡十才之節	見舞ニ付貰ひ物控帳 *幼名龜松改名源二郎又源十郎又源右衛門 後々胡乱者改役ニ相成源太夫改名	御悔帳	買もの帳 *姿谷妙艶俗名とめの行年二十式才死去	手伝人取寄控帳 *姿谷妙艶俗名富野是八源十郎正耀妻、裏表紙「貰ひ物覚味」	香奠帳 *姿谷妙艶俗名とめの行年二十二才卒ス	【とめの葬儀関係帳面綴】	金銀出入帳
(天保14年8月か)	天保14年8月16日		(天保14)8月13日	(天保14)8月12日	(天保14年8月3日)	天保14年8月3日	天保10年極月吉祥口	天保6年7月22日	天保6年7月22日朝	未(天保6年)7月22日	天保6年7月22日	(天保6年)	天保6年7月22日
	堀源右衛門		魚吉	堀源右衛門			堀源右衛門正耀						
	藤田喜左衛門 西本喜十郎 平井彦三郎 同清兵衛 妹 昔太右衛門 藤田文次郎	堀源次郎		名出右衛門 名出文補 名出利兵衛 名出山兵衛 名出兵衛 名出文 兵衛 井田三兵衛 井田五兵衛 井田次兵衛 井田四郎五郎									
状	状	状	状	状	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		横半帳

堀家(冠婚葬祭)

ア-208 -3	ア-208 -2	ア-208 -1	ア-208	ア-207 -4	ア-207 -3	ア-207 -2	ア-207 -1	ア-207	ア-206	ア-205	ア-204	ア-237 -3	ア-107
買物帳	手伝帳并払方場帳	香奠帳 *俗名くに お源事こつる又病中六月二日ニおくにと改之候	【くに葬儀関係帳面綴】	(手伝人覚)	御手伝覚帳 *俗名おもん 行年四拾二	(饅頭个数、送り先覚)	香奠帳 *俗名おもん		諸色附込ミ控帳 *小つる事堀氏お国 堀御氏小つる式拾才	病氣全快見舞帳 *お門 こつる	伊勢初参宮饒別土産覚帳堀親之祐正珍十五歳	痘瘡祝儀帳 *堀親之助正珍十四才	献立覚
*堀氏お国													
嘉永元年6月8日	嘉永元年6月8日	嘉永元年6月8日	(嘉永元年)	(嘉永元年)	嘉永元年5月23日	(嘉永元年)	嘉永元年5月		賀永元年4月26日	嘉永元年4月8日	嘉永元年4月5日	弘化4年正月12日	
									源太夫正珍				
横帳	横帳	横帳		横綴	横帳	状	横帳		横帳	横帳	横帳	横帳	状

堀家（冠婚葬祭）

カ-4	カ-2	ア-217	ア-216	ア-215	ア-214	ア-212	ア-213	ア-211	ア-210	ア-237 -4	ア-209	ア-208 -5	ア-208 -4
(内座経常献立覚)	内座経営ニ付諸雑用控帳	痘瘡見舞控覚帳 *千代藏事又仙助改名幼名堀徳治郎神吉八才之時	買物帳	諸勘定払帳(源太夫正羅死去につき) *密蔵院義光正羅后上、俗名堀源太夫正羅行年五十八才	梅請帳(源太夫正羅死去につき) *俗名源太夫行歳五拾六歳死去之時	御祝儀控帳 *おとよ 源太夫正羅妹	手伝帳(源太夫正羅死去につき) *俗名源太夫正羅死去之前 行年五十八才	千代藏人形祝帳*千代藏事 改名仙助 源太夫弟	御祝儀控帳 *堀千代藏 改名仙助	元服祝儀帳 *堀親之助事堀源十郎正珍	お米縁組致祝儀覚帳 *堀源太夫正羅再三上組田中助三郎殿世話にて寺領中道村鑄田地上田伝右衛門様お米貸懐尤仙助実母	(野辺送り役ほか覚)	買物帳
(安政4\明治4年)	安政4年8日	安政3年3月16日	嘉永4年極月5日	嘉永4年11月21日	嘉永4年11月21日	嘉永4年10月28日	嘉永4年10月	嘉永3年4月13日	嘉永2年7月5日未 明誕生	嘉永元年12月24日	嘉永元年10月6日	(嘉永元年)	嘉永元年6月8日
	堀源太輔正珍 廿四歳之時												堀氏
伏・横綴	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横綴	横帳

堀家(冠婚葬祭)

オ-87 -2	オ-87 -1	オ-86	ア-227	ア-222	カ-3	ア-241	ア-221 -4	ア-221 -3	ア-221 -2	ア-221 -1	ア-221	ア-220	ア-219
(香典帳)	香奠帳	手伝人名前控(堀源太夫正珍死去につき) *俗名堀源太夫正珍当日前九時仙化行年六十四歳	家建結婚其他贈贈寄附救助記録	如雪童女(香奠帳) *俗名ヲ甲(申か)	内座経営入用物覚帳	再嫁ニ付諸入用日家栄帳 *山崎屋源三郎娘お寄入家、明治4年7月4日離縁	買もの帳	香奠帳 *勝明院慈覺大師 俗名おんめ行年式拾三才、挾込文書あり	手伝帳	お梅病氣ニ付諸家より御見舞受帳 *堀源太夫正珍妻	【お梅葬儀関係帳(面綴)】	織立人形御祝「」	婚姻ニ付祝儀控帳 *源十郎正珍事改名堀源太夫正珍
	明治32年6月2日、 陰曆4月24日 *俗名堀武寿行年五年	明治30年9月13日	明治28年正月 (大正7年8月)	明治16年正月7日	(明治3年)	明治2年卯月13日	慶応4年8月5日	慶応4年8月5日 六ツ時病死	慶応4年8月5日	慶応4年7月20日	(慶応4年)	元治2年4月4日	文久2年4月25日
			堀源太夫正珍			堀源太夫正珍	堀氏		堀氏				
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		横帳	横帳

堀家（冠婚葬祭）

チ-9-12	チ-9-27	チ-9-13	チ-9-11	チ-9-14	チ-9-3	チ-9	ア-226	ア-225-1	ア-228	ア-224	オ-87-5	オ-87-4	オ-87-3
〔御内室様御娘子様死去につき悔やみ状〕 *秋月村より	〔縁談につき女性を紹介する書状〕	〔伺えなかったことを詫び烏居浦田中了敬方へ書状を差し出した旨書状〕	〔過日御咄の一条につき近藤氏は二十日までには参る旨を伝える書状〕 *井田村より	〔心当たりの女性を紹介する書状〕	〔仰せ越の趣は見合わせる旨書状〕 *大野より	【袋入り27通一括】 *袋上書一嘉永元申七月 妻事入一 (嘉永元年)	正侃順子兩人結婚祝儀受入日記 附配送品目録	大正十二年八月十二日より正侃赤十字社和歌山支部病院ニ於テ肥厚性鼻炎治療ヲ受ケ九月一日夕退院ニ至ルニ週間訪問並ニ物品ヲ贈ラレタル人名及 同月二日返礼品等一件記録 *挾込文書2当方ヨリ返礼品口	慶吊記録	正侃負傷記事	〔贈答控〕	手伝人及訪問控 *後と紐にくくり付け文書あり	買物帳
8月24日	8月朔日	7月25日	7月9日	7月4日	7月朔日		昭和9年	大正13年8月12日	大正7年8月	明治44年5月		明治32年旧4月23日	明治32年旧4月
秋田屋勘助	河田源大夫	近藤拜	林玄昌	新在家村長田作左衛門	池田兵次郎								堀氏
堀源右衛門	堀源大夫	堀大人	堀導大人	井田村庄屋清兵衛	堀								
封紙包状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	袋	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家(冠婚葬祭)

チ-9 -7-2	チ-9 -7-1	チ-9 -6	チ-9 -8	チ-9 -15	チ-9 -10	チ-9 -16	チ-9 -17	チ-9 -26	チ-9 -24	チ-9 -5	チ-9 -2	チ-9 -22	チ-9 -19
〔二十九日の引越を頼む書状〕	〔屋敷水漬かりにつき四、五日引越の延引を求める書状〕 *封紙で一通一括、封紙上善、九月廿七日 四番	〔二十九日貴家に引越をする旨書状〕 *九月廿八日 五番目	〔引越時の人数につき書状〕 *二三番目	〔進物のお礼ほか書状〕	〔上田氏娘を貰うことを勧める書状〕	〔半紙長帳を忘れていた時は非人番次で送付を頼む旨書状〕 *端裏「石山行」	〔寺領渡田村牛盗賊一条の取り扱い頼みほか書状〕	〔塙源三郎娘の死去を伝える書状〕 *二才で死去	〔衣屋一条につき面談したい旨書状〕	〔上田伝右衛門厄介の娘の身上につき書状〕 *「ばん」	〔中道村上田伝右衛門所に厄介の娘を紹介する書状〕 *「二番」	〔縁談の断りを伝える書状〕 *井辺村より	〔彼家の家筋につき書状〕
9月27日	9月27日	9月27日	9月24日	9月23日	9月21日	9月20日	9月18日	9月14日	9月13日	9月12日	9月8日	8月26日	8月26日
堀源太夫	田中助三郎	田中助三郎	田中助三郎	兵次郎 (伊都郡中組大野村池田)	(井田村) 林玄昌	堀源太夫	伊兵衛	堀源太夫	守内伊左衛門	田中助三郎	田中助三郎	源之助	守内伊左衛門
田中助三郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀	堀源太夫	衣屋嘉十郎	源太夫	川西 竹内	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	源三郎	堀貞姓
状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状

堀家（冠婚葬祭）

チ-10-3	チ-10-1	チ-10-5	チ-10-4	チ-10-6	チ-10	チ-9-21	チ-9-9	チ-9-4	チ-9-1	チ-9-20	チ-9-18	チ-9-25	チ-9-23
〔結婚を祝う書状〕	〔結婚を祝う書状〕	〔結婚を祝う書状〕	〔婚礼祝儀送り状〕	〔結婚を祝いほか書状〕	【袋入り6通一括】 *上書「嘉永元年十月六日より伏入 よね婚礼相済候より」	〔十五日面談したい旨書状〕	〔天佐娘西村娘などを紹介する旨書状〕 *封紙「米屋丁中伊二而堀源太夫様 途中ニ而藤田源輔」	〔先方からの別紙送り状〕	〔先達ての一条につき伺い書状〕	〔縁談の状況を尋ねる書状〕 *橋本より	〔六日おぬい引越につき書状〕 *「六番」	一啓（おぬいが下拙方に参るよう頼むことほか書状）	〔手紙の趣を承知した旨書状〕
霜月29日	10月23日	10月17日	10月12日	10月10日	〔嘉永元年〕				10月朔日	10月朔日	9月28日	9月27日	
鈴木兵右衛門	（中組大野）池田兵次郎	田中助三郎	北垣小三郎 藤田伊十郎	林玄昌		（中組）守内伊左衛門	藤田源輔	林房吉	源太夫内堀源重郎	大和屋久兵衛	（田中）助三郎	堀源太夫	堀源太夫
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	何之丞	堀源太夫	源太夫	橋屋喜兵衛	田中助三郎
状	封紙包状	状	封紙包状	状	袋	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状

堀家(所有地)

テ-19 -1	テ-19	テ-79	テ-77	カ-64	キ-15	ツ-344	セ-19	テ-14	テ-82	テ-81	カ-44	ツ-241	ツ-13
受取申書附之事(道幅直し料として金子受取) *2通	【封紙で2通一括】 *封紙「嘉永四亥、月廿五日兩人立合せ道幅四尺五寸と相改候」	下作手形之事	下作手形之事	諸事下作共控帳	(穴伏村喜助田地質入一件につき覚) *本銀返しは天保13年11月付	下作手形之事	(作徳覚書)	下作手形之事	(埋樋見取り図) *テ81関連	約定覚(埋樋につき取り決め)	田畑畝高名寄帳(所有地と本銀返し証文写し) *挟込文書あり	(領地境目普請費金につき書付)	下作手形之事
嘉永4年2月25日	(嘉永4年5月25日)	嘉永4年3月	嘉永4年正月	嘉永4年正月21日	嘉永3年10月	嘉永3年5月	(嘉永2年)	弘化5年正月	23日	弘化4年5月	同弘化3年4月15日 同日より初打廻り	天保15年11月28日	天保9年3月
市場村本人次兵衛(印)同 証人善四郎(印)		丁田屋惣兵衛(印)	下丹生谷村徳次郎(印)同 証人幸右衛門(印)	名手駅堀源重郎正珍所持		狩宿村本人喜助(印)同村 受人直吉(印)同村世話人 貞次郎(印)		下夙村下作人宇兵衛(印)同村 受人謙兵衛(印)【奥書】下夙 村庄屋浅右衛門(印)	文兵衛	市場村文兵衛(印)同村証 人甚六(印)	堀源十郎正羅	谷口屋男亀吉	下夙村下作人卯兵衛(印) 同村請人武兵衛(印) 【奥書】庄屋利右衛門(印)
堀源太夫		堀源太夫	市場村堀源太夫			市場村堀源太夫		市場村堀源太夫	堀旦那	堀源太夫			名手市バ村源右衛門
状	封紙	状	状	横張小	綴	状	状	封紙包状	状	状	堅	状	状

堀家(所有地)

エ-6	エ-5	エ-3	エ-2	エ-1	カ-19	ツ-48	カ-66	テ-46	テ-45	テ-40	テ-41	テ-43	テ-156
土地賃貸価格調査書 複本 伊都郡	土地賃貸価格調査書 複本 那賀郡	小作名寄帳 * 挟込文書あり	小作名寄帳 * 挟込文書あり	土地台帳 堀氏所有 * 挟込文書あり	穴伏村耕地小作米取立地租并ニ村費諸請払共控録	差上置申一札之事(貴家所持の狩宿村田地耕作請書) * 封紙「為後日の指上置申一札納入」	日下米(所有地関係)	乍恐内存奉願上候覚(字上エ下タか摺田田地支配証文お下げ願ひ) * テ43・44は関連するか、テ40は草稿	乍恐内存奉願上候覚(字上エ下タか摺田田地支配証文お下げ願ひ) * テ43・44は関連するか、テ40は草稿	乍恐内存奉願上候覚(字上エ下タか摺田田地支配証文お下げ願ひ) * 草稿	(内存書は少し願意が通らず直しを求める書状)	(別紙内存書送る旨書状)	(別紙の内存願書の送り状) * 草稿
大正15年4月1日	大正15年4月1日	大正6年10月	明治32年7月	明治32年7月	明治18年2月	明治2年10月日	慶応3年正月	嘉永4年7月日	嘉永4年7月日		7月25日	7月20日	7月19日
			堀正寿		堀源太夫正珍	狩宿村本人文蔵(印)	堀氏	堀源太夫(印)	堀源太夫(印)		又兵衛	堀源太夫	堀源大夫
						市場村堀源太夫		的場紋九郎	的場紋九郎		源大夫	野村亦兵衛	野村亦兵衛
縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	横帳	封紙包状	横帳小	状	状	状	状	状	状

堀家(所有地)

キ-16 -2	キ-16 -1	テ-21	テ-17	チ-19 -20	ツ-242	チ-19 -42	ツ-114	ツ-287	テ-321	チ-19 -41	ツ-347	オ-82	エ-4
下丹生谷荒跡普請ニ付日傭帳 二番	下丹生谷領普請人夫帳 壹番帳 * 4冊一綴	下作より受取覚 * 由兵衛・半兵衛・平八・庄兵衛より	控覚(江川領の内下作米・年貢勘定書) * (吉五郎親子…)とあり	(地所間教書上覚)	覚(領地境目普請料受取)	(田地に関する約束を伝える書状)	御受合申書付之事(嘉兵衛年貢の内米九斗預かりほか)	(封紙) * 上書「上かぎ屋権太郎家買」	覚(かぎや権太郎分家賃指引受取) * ツ287が封紙	覚(田地作徳などにつき)	御受合申一札之事(下作料延引につき引受人保証一札)	貸地料収入帳	小作名寄帳 * 挟込文書あり
天保6年5月14日	天保6年4月1日				霜月	水無月	申12月		申3月	未極月	寅9月	昭和21年	昭和3年10月
堀源十郎正耀 四十五歳之節	堀源十郎正耀				谷口屋又兵衛(印)	西本喜十郎	馬寄村下作人嘉兵衛(印) 河村五人組受人善次郎(印) 同五人組同新幸右衛門(印) 鹿書 御蔵庄屋茂兵衛(印)	(かぎ屋権太郎)	かぎや嘉兵衛(印) 幸左衛門(印)		狩宿村下作人小重郎(印) 受人嘉四郎(印) 奥書 同村庄屋伊左衛門(印)		
					源次郎	堀源次郎			堀源重郎		堀源治郎		
横帳	横帳	状	状	状	状	状	状	封紙	状	状	状	横帳	横帳

堀家(所有地)

ツ-174 -6	ツ-174	キ-18 -5	キ-18 -4	キ-18 -3	キ-18 -2	キ-18 -1	キ-18	テ-312	キ-17	テ-3 -7	キ-16 -4	チ-19 -3	キ-16 -3		
永定一札之事(水車水吐樋設置につき年々米三斗支払) *【奥書】市場村基帯庄原大右衛門	【袋入り11通一括】 *袋上書「弘化二巳九月 蒲川新車ニ付布屋より書付入」	覚(代銀請取)	(間数書上覚)	(工賃書上帳)	(普請場絵図)	普請帳 下丹生半田殿畑林とも	【袋入り5通一括】 *上書「嘉永 西五月十六日 下丹生谷領河端普請帳」	覚(大水による普請につき人足賃) *去申年8月大水につき	下丹生田地床平人夫控帳	永代養水通し一札之事 *草稿	下丹生谷領普請人夫覚帳	下丹生谷歌高引集メ覚	下丹生谷領普請人夫帳		
弘化2年9月11日	西12月大廿日					嘉永2年5月16日		(嘉永2年4月)	天保14年3月5日	天保9年5月	天保8年3月吉祥日	天保7年4月23日	天保7年3月16日		
堀源右衛門	堀源右衛門	源二郎(印)				堀源太夫				名手組下丹生谷村本人彦兵衛 同村証人文次郎 同村証人勝蔵			堀氏正耀		
伏	袋	状	状	横	綴	状	横	半帳	袋	状	横	帳	状	横	帳

ツ-231	ツ-484	ツ-224	ツ-154	ツ-174 -5	ツ-174 -7	ツ-174 -8	ツ-174 -11	ツ-174 -10	ツ-174 -9	ツ-174 -4	ツ-174 -3	ツ-174 -2	ツ-174 -1
奉願覚 (西八月願馬宿村出作田地水引につき再願) *端裏 大池尻水切落候ニ付願書上候而勝ニ相成候故残し續候	奉願覚 (馬宿村田人による用水溝床切り崩して水入れできない旨訴え) *端裏 大池尻田地之溝論談願書	奉願覚 (馬宿村領大池尻田地用水不通一件は大庄屋指図無きにつき見分け願ひ) *端裏 大池尻田地之溝論談願書	午恐奉申上候口上覚 (大池普請樋取替不正訴え) *封紙「山村様」	覚 (銀二百目受取) *年々米三斗を銀二百目にて済ます	(年々請取米は銀三百目で済み切り承知の旨書状草稿) *添削あり	(年々請取米は銀三百目で済み切り承知の旨書状) *銀請取写しあり	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき約定) *【奥書】兼帯庄屋太右衛門 (印)	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき約定) *草稿	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき約定) *【奥書】同村兼帯庄屋太右衛門 (印)	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき年々米三斗支払) *【奥書】兼帯庄屋太右衛門	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき年々米三斗請取の請書) *端裏 一布屋より一度日遣し候写し	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき年々米三斗請取の請書) *端裏 一布屋より一度日遣し候写し	永定一札之事 (水車水吐樋設置につき年々米三斗請取の請書) *端裏 一布屋より一度日遣し候写し
戌3月	酉8月	酉8月	西2月日	弘化4年7月5日	5月	弘化4年5月3日	弘化2年9月	弘化2年9月	弘化2年9月	弘化2年9月	弘化2年9月	弘化2年9月	弘化2年9月
市場村源次郎 (印) 【奥書】馬宿村庄屋立次右衛門 (印) 同村肝いり孫右衛門 (印) 五同孫右衛門 (印)	市場村田人源右衛門 (印)	市場村源次郎 市場村庄屋左次右衛門 同村肝いり孫右衛門 同善右衛門	中 市場村馬宿村かり宿村田人	堀源太夫印	堀源太夫	堀源太夫 市場村本人藤田良右衛門 (行) 同村親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人清兵衛 (印) 右同断五郎次郎 (印) 右同断虎吉 (行)	市場村本人藤田氏 同村証人 同同右同断	市場村本人藤田良右衛門 (印) 証人十助 (印) 右同断虎吉 (印)	市場村本人藤田良右衛門 (印) 同親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人藤田源次郎 (印) 右同断虎吉 (印) 右同断清兵衛 (印)	市場村本人藤田良右衛門 (印) 同親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人藤田源次郎 (印) 右同断虎吉 (印) 右同断清兵衛 (印)	市場村本人藤田良右衛門 (印) 同親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人藤田源次郎 (印) 右同断虎吉 (印) 右同断清兵衛 (印)	市場村本人藤田良右衛門 (印) 同親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人藤田源次郎 (印) 右同断虎吉 (印) 右同断清兵衛 (印)	市場村本人藤田良右衛門 (印) 同親類庄屋人藤田源輔 (印) 右同断十助 (印) 同村庄屋人藤田源次郎 (印) 右同断虎吉 (印) 右同断清兵衛 (印)
田林茂兵衛	馬宿村村役人衆中		御上	利兵衛	名出利兵衛	名出利兵衛	堀源右衛門 又左衛門 源長五郎	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	藤田良右衛門	藤田良右衛門
状	状	状	封緘包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

堀家 (所有地)

堀家（所有地）家計（万覚帳）

テ-3 -2	チ-19 -31	ツ-468	ツ-434	ツ-233
〔田人中との用水争論につき吟味願〕	〔田地水引につき願〕	乍恐奉申上候口上覚（大池普請樋取替不正訴え） *下げ紙に証憑書上あり	乍恐奉申上候口上覚・樋成証憑奉申上候口上（大池普請樋取替不正訴え） *封紙（今井棟）	乍恐奉申上候口上覚・樋成証憑奉申上候口上（大池普請樋取替不正訴え）
*草稿	*状断簡3点	2月日	2月日	2月日
		中 市場村馬宿村かり宿村田人	中 市場村馬宿村かり宿村田人	中 市場村馬宿村かり宿村田人
		御上	御上々	御上
状	状	状	封紙包状	状

8 家計

a 万覚帳

ウ-65	ウ-119	ウ-118	ウ-117	ウ 64	ウ-63	ウ-62
万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳
天明4年正月吉日	天明3年正月吉日	天明2年正月吉日	安永10年正月吉日	安永9年正月吉日	安永7年正月吉日	安永5年正月吉日
堀源右衛門	堀源右衛門		堀源右衛門	堀源右衛門		堀源右衛門
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家(家計(万覚帳))

ウ-78	ウ-75	ウ-74	ウ-73	ウ-72	ウ-71	ウ-70	ウ-69	ウ-68	ウ-67	ウ-77	ウ-66	ウ-121	ウ-120
申ノ年中万覚帳	万覚帳 *挟込文書あり、表紙下部欠、後半水道下部欠	万覚帳 *挟込文書あり	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳	万覚帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	万覚□(帳) *表紙下半分欠	申之歳中万覚帳	よろつ覚帳	万覚帳	万覚帳
*綴じ紐切れ													
文政7年正月吉日	文化14年正月	文化8年正月吉日	文化7年正月	文化6年正月吉日	文化5年正月吉日	文化4年正月吉日	文化3年正月吉日	文化2年正月吉日	享和3年□」	寛政12年正月吉日	天明9年正月吉日	天明8年正月吉日	天明5年正月吉日
叶名出文吾										叶名出長四郎			
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家（家計〔万覚帳／大福帳〕）

ア-260	ア-259	ア-258	ア-257	ア-255	ア-254	ア-261	ア-250	ア-249	ア-248	ウ-80	イ-54	ウ-79
大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	大福帳	〔大福帳〕	大福帳	大福帳	大福帳	〔万覚帳カ〕	二万覚帳	子歳万覚帳
										*前後欠、綴じ紐にくくり付け文書あり	*くずれ4枚	*綴じ紐にくくり付け文書・挟込文書あり、
明治25年正月吉日	明治24年正月吉日	明治23年正月吉日	明治22年1月吉日	明治21年	(明治18年か)	(明治15年)	慶応2年正月吉日	嘉永3年正月吉日	嘉永2年正月吉日		天保6年11月吉日	文政11年正月吉祥日
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀九寿一				堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫			叶名出文吾
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

b 大福帳

堀家(家計)〔大福帳/年玉・小遣・贈答控帳〕

ア-157	ア-156	ア-181	ア-155	ア-180	ア-154	ア-153	ア-151 -1	ア-151 -2	ア-151 -3	ア-151 -4
酉年玉物覚帳	歳玉物控帳	未歳中日備控帳	未年玉控帳	巳歳中日履帳	辰年玉覚帳	卯年玉覚帳	酉歳玉覚帳 *5冊一綴、 -5は由緒の項へ	申歳玉覚帳	未年玉覚帳	巳歳暮午年玉控帳
文政8年正月朔日	文政7年正月	文政6年正月	文政6年正月	文政4年正月吉祥日	文政3年正月朔日	文政2年正月朔日	文化10年正月吉日	文化9年正月吉日	文化8年正月吉日	文化6年12月日
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

c 年玉・小遣・贈答控帳

ア-251	ア-256
〔大福帳〕	大福帳
*前欠(明治・午・未など)	明治29年正月吉良日
堀九寿	堀源太夫
横帳	横帳

堀家(家計〔年玉・小遣・贈答控帳〕)

ア-186 -2	ア-186 -1	ア-165	ア-185	ア-164	ア-184	ア-163	ア-183	ア-162	ア-161	ア-160	ア-182	ア-159	ア-158
(歳玉日備小遣書上覚)	亥歳下日備小遣控帳 * 綴し紐にくくり文書 ² 歳玉日備小遣書上覚	申歳玉覚帳	午歳玉日備小遣控帳	巳歳玉覚帳	辰歳中日備小遣控帳	辰年玉控帳	寅歳中小遣〔 〕	寅歳玉覚帳	丑歳玉覚帳	子歳玉覚帳	亥歳中日備控帳	年玉物覚帳	戌年玉物覚帳
	天保10年正月吉日	天保7年正月吉日	天保5年正月吉日	天保4年正月吉日	天保3年正月吉日	天保3年正月朔日	文政13年正月吉	文政13年正月吉日	文政12年正月吉日〔 〕	文政11年正月	文政10年正月吉日	文政10年正月	文政9年正月
	堀源右衛門	堀源十郎正耀	〔 〕郎正耀	源大夫正耀事堀源十郎	堀源十郎	堀源十郎正耀	堀源十郎正耀主	山城屋龍三郎	堀源次郎事 源十郎事 三郎也				
横 綴	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳	横 帳

堀家(家計(年玉・小遣・贈答控帳))

ア-168	ア-193	ア-167	ア-166 -1	ア-192	ア-166 -2	ア-152	ア-166 -3	ア-10 -3	ア-191	ア-190	ア-189	ア-188 -1	ア-187
歳玉日備小遣控帳	日備小遣控覚帳	亥歳玉覚帳	戌歳玉覚帳 * 4冊一綴、 -4は出緒の項へ	酉日備小遣控帳	酉の年玉帳	申歳玉控帳 * 「嘉永元年改ル」	申歳玉控帳	酉の年玉遺物帳	巳歳玉日備小遣控帳	辰歳玉日備小遣控帳	辰諸色出入日備控帳	諸色小遣帳 * 綴じ紐にくくり付け文書 ² 取替銀覚、 谷口屋又右衛門↓山崎屋源三郎	丑歳玉日備小遣控帳
安政6年正月吉日	嘉永5年正月吉日	嘉永4年正月吉日	嘉永3年正月吉日	嘉永2年正月吉日	嘉永2年正月	弘化5年正月5日	弘化5年正月	嘉永2年正月元日	弘化2年正月「」	天保15年正月吉日	天保15年正月吉日	天保14年	天保12年正月吉日
堀源大夫正珍	堀源十郎正珍	源太夫正耀 伊部胡乱者改流木方兼勤堀	堀源太夫正耀	堀源太夫正耀					堀源右衛門正耀	堀源右衛門正耀	山崎屋源三郎	山崎屋源三郎	堀源右衛門正耀
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家(家計〔年玉・小遣・贈答控帳〕)

オ-83	ア-195	ア-194	ア-179	ア-178	ア-177	ア-176	ア-175	ア-174	ア-173	ア-172	ア-171	ア-170	ア-169
年玉日僮小遣帳	年玉日雇小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	歳玉日備小遣帳	日備覚控帳
明治24年正月吉日	明治19年正月吉日	明治16年正月吉日	明治14年正月吉日	明治13年正月吉日	明治12年1月吉日	明治6年1月吉日	明治5年正月吉日	明治4年正月吉日	明治3年正月吉日	明治2年正月吉日	慶応4年正月吉日	万延2年正月吉日	安政7年正月吉日
堀源太夫正珍	堀九寿一	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍	堀源太輔	堀源大夫正珍	堀源太夫正珍	堀源大夫正珍	堀源大夫正珍	堀源大夫正珍	堀源太輔	堀源太輔内吉兵衛
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家(家計 (年玉・小遣・贈答控帳))

オ-73	オ-72	オ-71	オ-70	オ-69	オ-68	オ-67	オ-66	オ-65	オ-64	ア-197	オ-63	オ-61	ア-196
各役場納附金贈受品目小遣其他雜録	各役場納附金贈答品小遣金并雜録	年中贈答及小遣帳	年中小遣並贈受贈控	年中小遣贈受贈控	年中小遣贈受贈控	年中小遣并贈受贈控	年中小遣並贈受贈控	年中小遣並贈受贈控	年中小遣贈受贈品控	年中小遣贈受日記	年中小遣并贈受贈控	歳玉日僱小遣日下米	年玉日僱小遣帳
昭和5年1月	昭和4年1月	大正14年1月	大正11年1月	大正10年1月	大正9年1月	大正8年1月	大正6年1月	大正5年1月	大正4年1月	大正3年1月	明治32年1月	明治29年正月吉良日	明治26年正月吉良日
堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家（家計（年玉・小遣・贈答控帳／穀物出入帳））

ア-198	オ-81	オ-80	オ-79	オ-78	オ-77	オ-76	オ-75	オ-74
〔日備賣物書上帳〕	公租公課贈答品目其他雜録	公租公課贈答品目其他雜録	公租公課贈答品目其他雜録	公租公課贈答品目其他雜録	公租公課贈答品目其「」	公租公課贈答品目其他雜録	公租公課贈答品目其他雜録	各役場納附金贈受贈品目小遣其他雜記
	昭和18年1月	昭和17年1月	昭和14年1月	昭和13年1月	昭和12年1月	昭和10年1月	昭和9年1月	昭和6年1月
堀源太夫正珍						堀正寿	堀正寿	堀正寿
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

d 穀物出入帳

オ-43	オ-42	オ-41	オ-40
穀物出入並雜録	穀物出入其他附込帳	穀物出入其他附込帳	穀物出入其他附込帳
大正4年1月	明治37年1月	明治32年1月1日	明治31年1月
堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿
横帳	横帳	横帳	横帳

堀家（家計）〔穀物出入帳〕

オ-57	オ-56	オ-55	オ-54	オ-53	オ-52	オ-51	オ-50	オ-49	オ-48	オ-47	オ-46	オ-45	オ-44
穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出入帳	穀物出入帳	穀物出入帳	穀物出入帳	穀物出入並雜録	穀物出入並雜録	穀物出入并雜録	穀物出入并雜録	穀物出入并雜録
昭和13年1月	昭和12年1月	昭和11年1月	昭和10年1月	昭和9年1月	昭和4年1月	昭和3年1月	昭和2年1月	大正15年1月	大正14年1月	大正13年1月	大正11年1月	大正10年1月	大正6年1月
		堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿		堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿	堀正寿
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家（家計（穀物出入帳／その他勘定帳））

e その他勘定帳

ケ-16 -1	ア-247	イ-109	ノ-19	イ-57	カ-22	ア-253	イ-114
〔勘定帳崩れ〕	大福日下恵	勘定通	紺屋商売相初候節より諸雜用覚 引店卸水上帳	大宝恵	干鰯売覚帳	万貫物控帳	文化三年暮入用筋
(文政10年)	文政10年霜月吉祥日	文政9年12月25日	文政8年3月3日	文政8年正月	文政3年3月3日	文化6年正月吉日	(文化3年)
	山城屋龍三郎	山城屋竜三郎				堀源右衛門	
		助之丞					
横半帳	横帳小	横半帳	縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳

オ-62	オ-61	オ-60	オ-59	オ-58
穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出納帳	穀物出入帳	穀物出納帳
昭和18年1月	昭和17年1月	昭和16年1月 *水損	昭和15年1月	昭和14年1月
堀正寿		堀正寿		
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

堀家(家計) (その他勘定帳)

イ-112	イ-111	イ-56	イ-104	カ-21	ウ-38 -1	イ-110	ウ-38 -2	イ-55	チ-19 -14	イ-62 -1	カ-25	カ-24	イ-61
正米中仕切覚	通帳 *綴じ紐に文書3点括り付け	名出喜助殿諸色出入控帳	帳合米之通	金銀私方覚控帳	諸色勘定控帳覚	鍛冶備控帳	諸色勘定覚 *綴じ紐にくくり付け文書あり	米出入覚帳	正帳差引通	〔元利指引勘定帳〕 *綴じ紐にくくり付け文書あり(天保5か)5月	利揚日家栄	利揚日家栄 *虫損、左下部欠	永代帳
天保14年	天保14年	天保14年11月	天保14年10月	天保14年7月日	天保10年9月吉日	天保9年9月朔日	天保8年	天保8年11月吉祥日	天保7年	(天保5か)5月	天保4年正月朔日	天保3年正月	文政13年正月日
田中屋治兵衛(印)	西本喜十郎(印) 名出庄右衛門(印)		田中屋治兵衛(印)	山崎屋源三郎	堀吉五郎	堀源十郎正耀四十三歳之節	堀源右衛門正耀	堀源三郎	大和屋甚助(印)		堀源重郎正耀三拾八才	堀源十郎正耀三拾七才	堀源十郎正耀 三十五才之節
伊印堀源右衛門	山崎屋源三郎		伊印 堀源右衛門						名手堀印				
横半帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	状	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳

堀家(家計(その他勘定帳))

イ-59	イ-107	イ-108	エ-7	イ-60	ア-252	イ-113	カ-55	イ-106	カ-27	カ-28	カ-54	カ-26	イ-105
酉極月掛取帳 代富吉	材木之通	呉服染物之通	(金銭取納帳) *穀物・貸預金利息・公仕債配当など (昭和6(21年)	諸事日家業(貸借勘定)	買物帳	去寅年ヨリ金銀出入勘定書帳	板木駄賃秀八殿取替控	万之通 *縦じ紐にくくり付け文書あり	店卸帳	金銀諸取替控江	永世分取不動定控帳	店卸目下米	現銀呉服売上控
	未	寅		明治15年正月吉日	明治15年1月吉日	明治8年3月	明治3年9月8日	明治2年正月吉日	慶応4年5月吉日	慶応4年正月・明治2年正月	慶応3年正月吉日	慶応3年正月吉日	弘化2年3月吉日
山城屋半三郎 代富吉	木材屋常右衛門	取次春木代長兵衛(印)			堀源太夫	堀源太夫			堀正珍 三十五歳之時	ホリ氏梅より	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍	三井彦三郎 源五郎
	堀源治郎	堀源太夫				小倉又治郎							米屋彦三郎 同清兵衛
横帳	横半帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横半帳	横半帳	横帳	横半帳	横綴

堀家(家計)〔その他勘定帳〕/年貢

ケ-3	テ-4 -5	テ-338	イ-88	テ-174	イ-87	ウ-28	テ-3 -4	テ-326
【袋入り8通一括】	東之并銀小入用通	覚(辰納米受取) *エフに移り村御蔵庄屋九右衛門とあり	御年貢小入用日家栄 *貼付・挟込文書多数	〔万延元年分年貢通一括〕 *19通	御歳貢小入用通	御年貢之通	〔畑米・年貢通綴〕 *綴り4通	覚(畑米代受取)
(文政10亥年)		11月29日	(慶応元〳明治8年8月12日)	(万延元年分)	嘉永2年11月吉祥日 〔明治18年8月11日〕	天保5年11月	(文政11年・12年)	文政8年11月8日
	池田垣内村庄屋仁兵衛(印)	御蔵庄屋(印)		(馬宿村御蔵庄屋、狩宿村納庄屋、池田垣内村庄屋など)	堀源太夫正耀		(馬宿村庄屋ほか)	庄屋源助(印)
	市場源次郎	堀源右衛門		源大夫・源十郎あて		コ川屋喜兵衛	(源右衛門・源十郎)	市場村源右衛門
袋	状	状	横半帳	綴り	横半帳	横半帳	綴り	状

9 年貢

テ-177	カ-23	ウ-81	イ-103
〔家内世話諸入用塚買物造用書上〕	覚(貸金預銀指引勘定)	〔振舞料理人・人足賃等差引勘定帳〕	永代帳
状	横綴	横帳	横半帳

堀家(年貢)

ケ-4 -10	覚(米勘定渡し)	亥12月17日	次右衛門	市は庄屋源次郎	状
ケ-4 -12	覚(米受取)	亥12月8日	元右衛門	源右衛門	状
ケ-4 -1	亥畑銀(受取) *西之之村分	11月11日	庄屋清蔵(印)	源右衛門	状
ケ-4 -17	(支払い分・米麦・有金銭書上)	亥8月6日			状
ケ-4 -15	覚(書替米受取)	亥7月晦日	千か屋太郎兵衛(印)	市場庄屋源次郎	状
ケ-4	【袋入り27通一括】 *袋上書「文政十年十月 亥御存直通入」	(文政10亥年10月)			袋
ケ-3 -8	亥納・亥御切米・亥畑銀(受取・渡し) *付通一括	亥	中嶋十之右衛門・中嶋雄左衛門		状
ケ-3 -7	文政十亥歳小入用之通	文政10年	庄屋元	源次郎	状
ケ-3 -6	覚(鯛ほか食品代金勘定)		若山みなと清兵衛		状
ケ-3 -5	亥之井銀小入用通 *幸右衛門とある	26日	池田垣内村庄屋啓助(印)	市場村源次郎	状
ケ-3 -4	亥ノ組小入用通 *幸右衛門とある	26日	池田垣内村庄や定次郎(印)	市ハ源次郎	状
ケ-3 -3	覚(亥小入用受取)	極月26日	下夙村庄屋利右衛門(印)	「」源右衛門	状
ケ-3 -2	「亥小入用受取書」	極月25日	馬宿村庄屋元	市場村源次郎	状
ケ-3 -1	覚(米受取)	12月25日	納庄や貴次郎(印)	市ハ源次郎	状

堀家(年貢)

ケ-4 -19	ケ-4 -3	ケ-4 -11	ケ-4 -7	ケ-4 -2	ケ-4 -22	ケ-4 -6	ケ-4 -24	ケ-4 -23	ケ-4 -14	ケ-4 -8	ケ-4 -5	ケ-4 -18	ケ-4 -4
口演(年貢勘定ほか延引願い)	(富士巻狩人形・幡代金勘定書一括) *こよりで4通一綴	覚(酉納米預り) *こよりで2通一綴、こよりに「市場村」とあり	覚(卯年小人用割帳ほか借用)	亥納(市場村在扶持・名手飛脚常扶持渡し) *こよりで3通一綴	覚(石灰塩ほか代金勘定)	作方上り物覚	文政十年亥御年貢之通	文政十年亥御年貢之通	亥大池床御年貢之通	亥小人用筋(差引勘定書)	亥之御年貢之通	覚(石灰・塩・附木等代金勘定)	覚(金子受取)
9月26日	4月2日・3日・15日	酉3月晦日	辰3月24日	子10月3日・4日	子7月	天保8年9月21日	文政10年	文政10年	文政10年	亥	亥	い極月	亥12月18日
源次郎	曾根弥七・山崎屋平兵衛	油屋卯兵衛(印)	西村孫兵衛	中嶋雄右衛門(印)	儀八		御蔵庄屋源次郎(印)	御蔵庄屋源次郎(印)	馬宿村御蔵庄屋元		(印)池田垣内村納庄屋定次郎	儀八	且来村次郎右衛門(印)
源次郎	山崎屋源三郎	市場村庄屋源次郎	小林定之進	池田垣内・井田村	堀源次郎		かじ甚七	神宮寺	市場村		市八源次郎	堀源次郎	源次郎
状	状	状	状	状	状	横半帳	状	状	状	状	状	状	状

堀家(年貢)

ケ-5 -32	ケ-5 -14	ケ-5 -15	ケ-5 -26	ケ-5 -24	ケ-5	ケ-4 -27	ケ-4 -25	ケ-4 -21	ケ-4 -13	ケ-4 -9	ケ-4 -26	ケ-4 -20	ケ-4 -16
〔紛失の文政十二年貢通を探し差し上げる旨書状〕 *文政13年の年貢通紛失につき	〔寅年貢受取書〕	覚(米預かり証) *こよりで2通綴	覚(米六俵受取)	覚(帝釈院様から金五兩受取)	【袋入り37通一括】 *袋上書「文政十二年九月御年貢小入用通入」	〔白紙・郵紙〕 *2通	〔御切米銀納願書〕 *訂正加添多い、人別銀高書上覚あり	〔惣高書上覚〕	〔長藏株米村方から渡す旨書付〕	覚(米銭勘定)	覚(過米万利から渡す旨)	〔馬宿村池床米渡し願ひ書状〕	覚(泊り造用勘定)
11月晦日	(寅)11月24日	寅11月4日	寅10月28日	寅7月14日	(文政13寅年9月)						25日	11月20日	(10月15日以降)
下夙村半兵衛(印)	馬宿村御蔵庄屋元(印)	大和屋三三郎	大のや三三郎(印)	とくや千次(印)							庄兵衛	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	多右衛門
源次郎	市場村吉五郎	堀源次郎	南源次郎	堀源次郎							源次郎	市場村御蔵庄屋源次郎	源二郎
扶	扶	綴り	扶	扶	袋	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶	扶

堀家(年貢)

ケ-5 -7	ケ-5 -27	ケ-5 -25	ケ-5 -23	ケ-5 -17	ケ-5 -6	ケ-5 -27	ケ-5 -28	ケ-5 -27	ケ-5 -33	ケ-5 -27	ケ-5 -27	ケ-5 -31	ケ-5 -16
天保式年卯御年貢之通	④ 加納大隅守様貢通	米納通	文政十三年寅ノ御年貢通	寅小入用	当寅ノ御年貢(馬宿村分)	⑤ 寅小入用之通	寅小入用之通	② 寅小入用之通	覚(山崎吉五郎株入作年貢勘定)	③ 村上様貢納通	① 覚(江川中村村組御蔵小入用受取)	寅御年貢通	(年貢差引勘定書)
天保2年	文政13年	文政13年	文政13年	寅	寅	(寅) 29日	(寅)12月27日	(寅)極月27日	寅極月24日	とら12月24日	とら12月24日	(寅)12月9日	文政13年11月
御蔵庄屋兵衛(印)	門(印) (西野山村) 納庄屋文左衛門	納庄屋藤兵衛(印)	納庄や定十郎(印)	西ノ芝村仁兵衛	馬宿村御蔵庄屋元(印)	(市場村) 庄屋許(印)	馬宿村庄屋元(印)	馬宿村庄屋元(印)	穴伏むら庄屋文吾(印)	江川中村九右衛門代庄屋元(印)	中村庄屋元(印)	御蔵庄屋庄兵衛(印)	
吉五郎	一八吉五郎	市場村源右衛門	市源次郎	一八源右衛門	市場村源次郎	吉五郎	市場源次郎	市場吉五郎	野上楠三郎 市八佐次兵衛 同源次郎	市場村吉五郎	市場村吉五郎	吉五郎	
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

堀家(年貢)

ケ-5 -20	覚 (江川中村巳村小入用受取)	巳12月25日	江川中村庄屋許(印)	市場村吉五郎	状
ケ-5 -12	(辰年分年貢差引動定書)	辰			状
ケ-5 -30	(はい代金・用水井口修復の件につき書状)	辰6月5日	江中儀平次	堀源次郎	状
ケ-5 -29	覚(吉五郎・源右衛門分年貢受取)	卯年	御蔵庄屋庄兵衛(印)	源右衛門	状
ケ-5 -11	(卯年分年貢差引動定書)	卯			状
ケ-5 -8	当卯小入用之通	(卯)12月29日	(市場)庄屋元(印)	吉五郎	状
ケ-5 -13	卯ノ小入用帳	(卯)12月27日	馬宿村庄屋元	一八源次郎	状
ケ-5 -9	卯小入用通	(卯)12月27日	馬宿村庄屋元	一八吉五郎	状
ケ-6 -2	覚(年貢小入用請取)	卯極月23日	六伏庄屋文吉(印)	堀源次郎	横
ケ-5 -34	御立願之写(くま大病につき)	天保5年7月21日			縦
ケ-5 -18	天保四巳御年貢之通	天保4年	納庄屋数助(印)	市場村吉五郎	状
ケ-5 -21	天保四年巳御蔵納通	(天保4)11月26日	御蔵庄屋茂兵衛(印)	一八源次郎	状
ケ-5 -4	天保三卯小入用之通	天保3年	庄屋元(印)	源右衛門	状
ケ-5 -10	天保貳卯小入用通	天保2年	(市場)庄屋元	山崎屋吉五郎	状

*9月2日くま死去

堀家(年貢)

ケ-16-4	ケ-16-3	ケ-16-2	ケ-16	チ-19-6	チ-19-7	ケ-5-36	ケ-5-35	ケ-5-3	ケ-5-37	ケ-5-22	ケ-5-b	ケ-5-1	ケ-5-19
(源右衛門・源次郎あて通一括) *15通	(源右衛門・源次郎あて通一括) *貼籠、綴など25通、胡亂者改開係書状3通あり	(源右衛門・源次郎あて通貼籠)	【こよりでくり7通一括】 *1はその他勘定帳へ	戌御年貢通	西之組小入用通	再応奉願上覚(吉五郎跡相続一件につき早々の取り扱い再願)	吉五郎方田地御年貢預々歩敵高尋扣帳	(くま吉裁許につき御礼の者書上)	乍恐奉向上候以上(妹ぬい私方へ御預けを頼む旨) *奥に「右之通り相認文政十二年丑十一月廿四日ニ御評定所へ差上候」とあり	本銀返し証文之事(写し)	(江川勘之丞殿分米高書上)	(年貢勘定書)	巳御年貢通
				戌	西	丑8月	文政13年3月24日	文政13年3月	文政12年11月24日	文政7年10月			巳
				池田垣内村納庄屋定次郎(印)	納庄屋定次郎(印)	名手組市場村源右衛門	堀源十郎止耀		伊都郡橋本町大和屋儀助印 天野村亮吉右衛門 同村 五人組幸助 同村肝煎 同村 衛門 同村庄屋豊次郎				納庄屋六左衛門
				市八源次郎	名手源次郎								市場村源次郎
				状	状	状	横半帳	状	状	状	状	状	状

堀家(年貢/米相場・売買)

10 米相場・売買

ケ-16-7	ケ-16-6	ケ-16-5
〔年貢通など一括〕	〔納米勘定・代銀受取など重ね巻一括〕	〔池床料関係資料一括〕
*15通	*3通	*5通
御蔵庄屋瀬蔵・良介など	油屋彦十郎など	馬宿村直之丞など
源右衛門など	源右衛門など	源右衛門など

テ-133	テ-101	テ-128	テ-124	テ-7	テ-253	テ-2-2	テ-3-10	ス-2	テ-123
申通	卯年帳合米御通	追啓(米値段ほかにつき)	〔川吉・す友の勘定につき書状〕	卯通	〔お申越の一件につき山印様ほかとの面会の様子を伝える書状〕	伊勢帳(米売につき)	〔金銭米ほか相場覚〕	巳通	辰通
		*テ124の追啓か	*テ128は追啓か	*袋上書「川吉 御通入 勢印様」			*2通	*袋上書「御通入 天印様二巳正月吉日」	
2月22日	卯年	(う)10月23日	う10月23日	10月19日	弘化2年11月7日	天保14年閏9月6日	(天保8年5月20日・25日)	(天保4年)	(天保3年)
川吉(印)	塩屋喜兵衛(印)	源三郎	源三郎 おもん	川吉(印)	松田(清兵衛)	堀正耀		川吉(印)	川吉(印)
中又取伊印	勢印	親	堀御親	勢印	堀(源右衛門)			天印	布印 藤次
袋入横綴	状	状	状	袋入横綴	封筒入状	横半帳	状	袋入横綴	横 帳

堀家（米相場・売買）

テ-356	テ-6	テ-355	テ-116	テ-293	テ-320	テ-238	テ-132	テ-308	テ-252	テ-228	テ-117	ツ-49-2	ツ-49-1
〔米売貴に関する書状、相場書など一括〕	【袋入り34通一括】 *袋上書「天保十四年相場ニ付懸引入」	〔金銭米油相場書〕 *83通、木版	通	〔種子売買・米相場につき書状〕	覚（米売払代銀から受取）	〔勢印・勝印分勘定を知らせる書状〕	かい附覚（米かい附）	〔相場、勘定につき書状〕 *相場書2通（2・3）添付	〔米代につき来る二日には参上する旨書状〕	〔俸に代替わりした旨を伝え注文を頼む書状〕	〔相場通知書〕 *73通、大坂金・ぜに・正米・長合・あぶら・油栗・若山金・ぜに・伊都米・御切手、木版	〔この者へ米渡し願書状〕	〔手形送り状・米渡し願書状〕 *封紙で2通一括
*111通				11月5日	10月晦日	10月28日	10月28日	10月19日	9月29日	8月19日	(7月)12月	4月16日	4月16日
			す友(印)	才かや新八	堀田六左衛門	川吉	塩屋喜兵衛(印)	川吉(印)	木綿屋平兵衛 助次郎	川辺屋吉兵衛		木綿屋平兵衛(印)	木綿屋平兵衛
			伊部	堀源右衛門	名手源次郎	堀源左衛門	勢印	堀源右衛門	堀源太夫	堀源十郎		名手山崎屋源三郎	名手山崎屋源三郎
綴り	袋入一括	状	帳	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

堀家(奉公人)

11 奉公人

テ-3 -36	テ-3 -44	テ-3 -34	テ-379	テ-55	テ-3 -41	テ-3 -43	テ-47	テ-3 -24-2	テ-3 -24-1	テ-52	テ-48	テ-51
奉公人受状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事	差入一札之事(出稼ぎにつき請書)	指入一札之事(倅弥兵衛奉公につき)	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事	(利助返給銀は本人に持参させる旨書状)	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事
文政10年7月	文政9年12月	文政9年10月	文政8年11月20日	文政8年11月9日	文政5年12月日	文政3年11月15日	文化10年3月	12月3日	文化10年3月	文化3年12月	天明8年正月6日	宝暦6年極月
加勢田史村本人善兵衛(印)同 也受人是助(印)名手市場証人 善兵衛(印)【奥書】役人善右 衛門(印)	同村本人市右衛門(印)	粉川村南町請人喜八(印)	高野寺領高野元福田村本人 弥兵衛 請人親半右衛門 善右衛門	高野寺領高野止福田村本人弥兵 衛(印)右同請人親半右衛門 (印)名手市場村同受人善兵衛	高野寺領高野止福田村本人弥兵 衛(印)右同請人親半右衛門 (印)名手市場村同受人善兵衛	粉川村根来小路本人長兵衛 (筆軸)名手組馬宿親類受 人佐太郎(印)	本人庄吉(印)受人忠右衛 門(印)	藥王寺右衛門	本人庄吉(印)受人忠右衛 門(印)【奥書】登尾村上 屋兼帯葉土吉右衛門(印)	下丹生谷村本人平兵衛(印)同 村請人文次郎(印)【奥書】下 丹生谷村庄屋 吉郎右衛門(印)	西野山村本人善助(印)同 人親源七(印)【奥書】西 野山村五兵衛(印)	市場村奉公人市郎兵衛 同 村請人善四郎
紺屋源次郎	名手市場村源次郎	山城屋源右衛門		堀源右衛門	名手組市場村源右衛門	市場村源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	市場村源右衛門	源右衛門	源右衛門
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

堀家（奉公人）

テ-3 -33	テ-3 -50	テ-86 -2	テ-3 -37	テ-3 -38	テ-3 -39	テ-3 -27	テ-3 -17	ツ-9	テ-4 -7	テ-3 -29	ツ-550	テ-3 -45	テ-3 -25
奉公人請状之事（吉松奉公につき）	奉公人請状之事 *2通あり、1通は印なし	奉公人請状之事	奉公人請状之事 *端裏「高野辻より」	*上書一紙より未迄十ヶ年 奉公人請状 下丹生谷佐太郎、テ3-39の封紙か 〔封紙〕	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事	奉公人請状之事（娘たね奉公につき）	引請中一札之事（伝吉不奉公による戻り給延引につき）	添書差入一札之事（借用銀用捨と奉公勤めにつき定）	奉公人請状之事	請合申一札之事（儀兵衛奉公につき）
天保12年12月	天保12年11月日	天保11年極月	天保9年11月		天保8年12月	天保8年11月日	天保7年正月	天保6年11月	文政13年6月	文政12年3月	文政11年7月16日	文政10年12月	文政10年9月26日
【奥書】東村庄屋藤四郎（印） 東村奉公人親打伝次郎（印）折 居村請人藤兵衛（印）	奉公人るい 親忠左衛門 （印） 親類受人勝之右衛門	林峯奉公人藤次郎（印） 同 村親引受定七（印） 【奥書】藤五郎（印）	東野村勤主とく 同親字兵衛 （印） 同村受人平兵衛（印） 市 場村受人宇兵衛（印）	（下丹生谷佐太郎）	西正原村奉公人十右衛門（印） 同親軍兵衛（印） 同村請人古三 衛（印） 【奥書】 同村庄屋辰兵 衛（印） 同村庄屋辰兵衛 名手親、丹生谷村法太郎 辰兵 衛（印） 同請人等右衛門（印） 【奥書】 下丹生谷村庄屋藤四郎 （印）	江村中村奉公人三助（印） 同村上人親 受人藤右衛門（印） 西之市村之内野田 内三右衛門七 市場村親四郎藤次 郎（印） 江村庄屋藤平次郎（印）	村奉公人虎藏（印） 同親源兵衛 （印） 同受人源吉（印） 【奥書】 市場村庄屋源十郎（印）	市場村奉公人親十兵衛（印） 同 村親類受人幸四郎（印） 同 【奥書】 同村庄屋彦四郎（印）	古佐田村引受人勇助（印） 同所引受人乾一角（印）	名手受人藤藏 粉河同用藏 （印） 同村本人喜兵衛（印）	加勢田中村奉公人藤兵衛（印） 同村親金吾（印） 名手親次郎村 請人手藏（印） 【奥書】 中村庄 屋房之丈（印）	かせ田折居勤人親金介（印） 名手六伏村受人千藏（印）	
堀源右衛門	堀源右衛門	市場村源右衛門	名手市場村堀源右衛門		堀源右衛門	市場村堀源右衛門	市場村源右衛門	堀源右衛門	同村堀源右衛門	堀源次郎	名手市場村堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門
状	封紙包状	状	状	封紙	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

堀家(奉公人)

テ-3 -32	奉公人請状之事 (古松奉公につき)	天保13年12月	東村折居奉公人親伝次郎(印) 左野村引受人藤兵衛(印) 【奥書】東村庄屋藤四郎(印)	堀源右衛門	状
テ-3 -28	奉公人請状之事 (伴若松奉公につき)	天保14年正月	本人はるの(印) 請人寅蔵(印) 同人文七(印)	升屋喜助	封紙包状
テ-3 -40	〔封紙〕 奉公人請状之事 *上書「弘化」(十一月奉公人請状入)	弘化2年11月			封紙
テ-3 -26	奉公人請状之事 *端裏一金次子利助	嘉永元年12月	市バ村木人利助(印) 同村受人十蔵(印)	堀源太夫	状
テ-3 -15	請状一札之事 (長兵衛奉公につき)	嘉永5年7月日	那賀郡山崎総堀口村兄親若右衛門(印) 奉公人長兵衛(印) 同村市人全右衛門(印) 【奥書】同村市庄屋神助(印)	名手源右衛門	状
テ-3 -31	奉公人請状之事	嘉永6年12月日	市場村木人駒太郎(印) 同村親吉右衛門(印) 同村請人彦兵衛(印) 【奥書】庄屋文兵衛(印)	堀源太夫	状
テ-3 -46	奉公人受状一札之事 (弟金右衛門奉公につき)	安政2年極月	田中頼東大井村奉公人兄源右衛門(印) 名手市増受人彦兵衛(印) 【奥書】庄屋太右衛門(印)	市場村源太夫	状
テ-54	引受申一札之事 (伴吉介奉公につき)	万延元年11月	奉公人親古右衛門(印) 引受人嘉助(印) 同断源次郎(印)	堀源太夫	状
テ-3 -49	奉公人請状之事 (伴ゆきの奉公につき)	文久2年7月日	本人親小ふし(印) 受人徳蔵(印)	堀氏源太夫	状
テ-3 -48	奉公人請状之事 (伴忠五郎奉公につき)	寅極月	奉公人親伝兵衛(印) 親類受人麻生津元五郎(印) 【奥書】庄屋彦四郎	源右衛門	状
テ-3 -47	奉公人請状之事	い8月26日	打田村本人きぬ(爪印) 同引受人岩吉(印)	堀源太夫	状
テ-3 -42	奉公人請状之事 *裏に給銀受取書あり	極月	佐野村奉公人仁兵衛(印) 名手細穴伏村親類受合忠三郎(印) 【奥書】佐野村庄屋恒五郎(印)	堀源右衛門	状
テ-3 -3	【袋入り50通一括】 *袋上書「奉公人請状入置」、23通は別項へ				袋

12 信仰

カ-8	イ-3	カ-31	ス-42	イ-2	イ-1	テ-95	イ-96	イ-95	テ-27	イ-94	カ-30	カ-51
正一位稻荷大明神御降臨ニ付諸方備物控帳并諸方江神仏天下り候ニ付備物共	伊勢参宮講銀諸勘定帳 *又左衛門・源太夫・源三郎・右兵衛・文兵衛・又左衛門の6名	病氣平癒願望成就控	取替書附之事 慈尊院開帳ニ付指入書付	伊勢講参日記帳 *4月3日掃着	いせ御かけ参り施行控帳 *文政12年宝永2年文政13年間3月参宮の記事あり	〔祝詞〕	西国道中日々泊中飯両替覚帳	西国中飯泊覚帳	奉願口上覚(心願につき本堂で七日の断食願) *端裏・牛瀧山にて正羅什歳之時断食即書付	西国道中入用覚帳 *イ92(順礼絵図)・93(宿屋案内)あり	諸願成就覚記帳	仲間道中さし引帳(順礼勘定につき)
上刻	安政3年3月25日	嘉永4年7月26日夕	天保14年正月	天保12年3月16日	文政13年3月28日	(文政2年11月12日)	文化13年3月15日	文化13年3月15日	文化12年8月7日	文化5年3月吉日 19日出	寛政4年	天明2年4月11日
改名源太夫正珍	幼名親之介 俗名源十郎	堀源太夫願主 五拾六歳之時	堀源十郎正耀 源太夫事	堀源十郎正耀 三十五才時					願主源次郎(印) 【奥書】 報恩坊(印)	堀源右衛門		
	講屋文兵衛		勝利寺院代 地藏寺						牛瀧山本坊			
横帳	横帳	横半帳	縦	横帳	横帳	扶	横半帳	横半帳	扶	横半帳	横半帳	横帳

堀家(信仰)

堀家(信仰)

カー32	テ-120	シ-1	テ-115	イ-16	イ-23 -2	カー34	イ-21	イ-17	カー33	イ-22	テ-122	テ-100	テ-73
勸化帳	高野山伽藍焼失ニ付願済有信之輩勸財村々人数控	大伽藍再建勸財記 *3冊、未使用	〔堀源十郎高野山賈い物控・勸化記録〕	敏化帳	印鑑(勸化世話願) *本版	谷波山本堂再建奉加帳 *本版	田村大明神御祈禱寄付帳 *本版	熊野那智本宮御普請勸化帳	西国廿一番観世音御厨子勸化帳 *本版	紀州長田如意山観音寺 本尊分身舍利塔再建募縁 一万人講帳 *本版	〔不動明王おみくじ〕 *本版3通	第七十二番(おみくじか)	〔大々講明年まで延引につき先々へ断りを頼む書状〕
弘化2年8月	弘化2年6月	弘化2年4月	〔天保14、弘化2〕	文政11年12月	文化13年	文化10年3月	文化9年9月吉日	文化8年閏2月	文化4年2月	天明3年2月			7月18日
細川庄氏子中 世話人宮村藤治郎(印) 花屋市兵衛(印)	名手組在々	高野山惣分掛り中(印)		伊予ノ国四拾四番札所より八丁下熊町東橋詰 晚橋庵清心	西国三十三番美濃国谷波山 尊厳寺役者(印)	在番坪内彦右衛門(印)	日延明桑両社神主宮道利主	上那賀郡名手組市場村	丹波国菩提山穴太寺	長田観音寺住職法印密浄			伊せ内宮御師大森大夫
													紀州名手市場村堀源治郎
縦帳	横帳	縦帳	横帳	縦帳	杖	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	杖	杖	封紙包帳

堀家（信仰／講）

イ-11	頼母子初会諸雜用入控帳	天保4年3月2日	世話人中	横帳
イ-12-3	〔掛銭書上〕 *利兵衛・又右衛門・吉五郎・藤兵衛・源盛分			状
イ-12-2	覚（金剛山での護摩料ほか諸入用）	3月26日	源六 彦十郎	状
イ-12-1	金剛山講掛銭覚 *綴じ紐に扶一・三差込	文化13年間8月	世話人源次良	横帳
イ-5	山ノ原天神御社入用帳	享和4年4月		横帳
イ-7	桜木大明神講中	享和2年正月	講親龜松	横帳
イ-13	金剛山講掛物諸色覚帳	寛政11年4月吉日		横帳
イ-90	山之原観音講中仲間定書帳 *講中22名、後講中22名の署名押印	寛延4年2月吉日	講親松岡庄左衛門 同堀源右衛門	横帳

13 講

イ-23-1	大御供講名前帳（日前・困懸宮） *本版、一丁袋内に2挟込文書あり			緊綴
チ-19-15	書契（勸化銀受取） *こより、閉七月廿四日此書付勸化銀庄介殿より受取候 其際寺へ相渡ス一	後7月24日	安養寺納所（印）	封紙包状
テ-160	〔伽藍再建寄付金の受納方につき書状〕	〔弘化4〕9月晦日	〔高野山惣分方〕長福院真心 〔花押〕五大院長恵〔花押〕	封紙包状
テ-184	〔壇上伽藍再建勸化のため阿光院廻村につき助力を頼む書状〕	〔弘化2か〕4月25日	堀源十郎 藤田源輔	封紙包状
シ-2	〔寄進帳〕 *伽藍再建に関連するか			緊帳

堀家(講)

イ-102	イ-101	イ-99	イ-100	イ-99	イ-98	イ-8-2	イ-8-1	イ-6-4	イ-6-2	イ-6-3	イ-6-1	イ-20	イ-9
關歲社掛金受取之通	保家講掛金請取帳	文明講建帳	祖師講掛金請取通	借積講懸錢受取通	借積講掛錢取通	(講參入用勘定覚帳)	桜木大明神講參人数覚帳 *綴じ紐に2横帳くり付け	桜木大明神講參人数覚帳 三ばん	金毘羅講帳 *講元堀源右衛門 世話人同源三郎	桜木大明神講參人数覚帳 二ばん	桜木大明神講參人数覚帳 壹ばん *四冊一綴	年賦調達講仕法帳 *山丸家勘定元とあり	毘沙門講頼母子初会控帳
明治11年11月	明治8年2月	明治7年12月	明治7年3月	明治6年3月	明治6年3月	(弘化3)3月23日	弘化3年3月23日	天保15年11月8日	天保15年5月吉日	天保12年11月18日	天保11年11月20日	天保9年6月13日写	天保4年3月15日
		勘定元		親脇中 井関助左衛門 周郎 同栄三郎	井関助左衛門 林周郎 栄三郎		紀州名手講元堀親之祐	講元堀親之祐	講元堀源右衛門	講元世話人親之祐正珍	講元親之祐正珍 世話人福松		親守安氏
切畑村林庄兵衛	太田兵左衛門		林庄兵衛	福岡楠太郎	林常三郎								
横半帳	横半帳	豎帳	横半帳	横半帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	豎帳	横帳

堀家(講)

ツ-128	ツ-109	ツ-99-2	ツ-99-1	テ-314	ツ-137	ツ-134	ツ-14	テ-269	テ-168	ツ-132	ツ-145	エ-8	オ-85
借用申一札之事(金借用)	清帳一札之事 *一八幡講へ源十郎より	下作手形之事	本銀返証文之事	覚(伊勢講取替のうち瓦屋文兵衛から受取銀)	覚(伊勢講充払) *端裏「仲間根元書、後欠か	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)	本銀返シ証文之事 *端裏「是ハ正權世託ニ而伊勢講地ニ致スト銀ヲ相取カヘ候而谷又と兩人し而取カヘ」	(明神講勘定書)	下書 一札之事(天神講頼母子取受けにつき) *裏書「此案紙六左衛門殿より来ル」	本銀返シ証文之事	譲り申田地之事	知新会掛金領収簿	諸頼母子取金并貸附控帳
天保6年7月12日	天保6年6月	(天保6年か)	天保6年6月	天保5年6月25日	天保5年6月6日	天保5年3月	天保3年9月	(天保2年〜6年)	文政4年7月	文政2年7月日	寛政10年3月	明治13年5月	明治13年3月吉日
市場村取請人(印) 同村請人新太郎(印)	市場村本人源十郎(印) 次郎(印) 右同左衛門(印) 兵衛(印) 同村引請人新次郎(印消)	市場村本人源十郎(印) 次郎(印) 右同左衛門(印) 兵衛(印) 同村引請人新次郎(印消)	市場村本人源十郎(印) 次郎(印) 右同左衛門(印) 兵衛(印) 同村引請人新次郎(印消)	谷口屋又左衛門(印)	伊勢講中	伊勢講中	本人源十郎(印) 次郎(印) 右同左衛門(印) 兵衛(印) 同村引請人新次郎(印消)	本人源十郎(印) 次郎(印) 右同左衛門(印) 兵衛(印) 同村引請人新次郎(印消)	かじや文吉(印) 後田村利右衛門(印) 次郎(印) 市場村田屋源右衛門(印)	市場村本人文吉(印) 同村本人(印) 同村源右衛門(印)	下田守吉(印) 市場村源右衛門(印) 同村源右衛門(印) 同村源右衛門(印) 同村源右衛門(印)		
天神講親臨源十郎 太右衛門	田中元右衛門	八幡講惣代米屋清兵衛	八幡講惣代米屋清兵衛	堀氏源十郎	(十歳)	伊勢講惣代米屋源右衛門	清兵衛		池田垣内村六左衛門	藤崎天神講中惣代六左衛門	妹背佐左衛門		
状	縦	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	縦帳	横帳

堀家（講）

ツ-401	ツ-395	ツ-391	ツ-1	ウ-44	ウ-43	テ-161	テ-83-3	セ-35	テ-212	ケ-8-2	テ-3-3	テ-206	テ-83-1
預り申御講銀之事 *【奥書】御所村村役人麻之進（印）	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村村役人新藏（印）	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村村役人引請麻之進（印）	久野丹波守様御預米控帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	久野丹波守様御預米控帳 *綴じ紐にくくり付け文書あり	久野丹波守様御物成預帳	〔観音講人数書上〕	覚（質所につき）	口演（二十五日清助頼母子経営につき案内）	〔講社につき案内書状〕	〔守安殿頼母子二十八日経営につき入米頼み廻文〕	御受合申手形之事（下作年貢延引につき）	〔借積講につき書状〕 *チ3-6 閑連か	本銀返し証文之事 *【奥印】名手組大庄原名出文輔（印）、印すべて抹消 （明治か）11年7月24日
天保14年極月日	天保14年11月日	天保14年11月日	天保14年11月吉日	天保14年11月	天保12年10月吉日		8月8日	6月24日	4月13日	2月25日	申11月	日	文久元年8月日
人喜助（印）	御所村預り主清藏（印）同 村請人石見（印）名手世話	御所村預り主麻之進（印） 同村引請孫次郎（印）穴伏 村世話人喜助（印）	堀源右衛門	世話人堀源三郎			堀源太夫	講親源十郎 右同太右衛門 右同清兵衛 世話人佐五兵衛 右同彦兵衛	堀源太夫	西野村太右衛門 市場村源 十郎 同村清兵衛	同村受人菊右衛門（印）	井関助左衛門	名手組市場村太右衛門（印）同親 堀源太夫（印）同堀源三郎 （印）同清兵衛（印） （印）同彦兵衛（印）
封紙包状	状	伏	横帳	横帳	横帳	状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	封紙包状	状
久野様御講銀取次堀源右衛門	久野様御講銀取次堀源右衛門	久野様御講銀取次堀源右衛門					親脇衆中	伊藤八右衛門 近藤玄仲 八塚八之右衛門 外45名	近藤玄仲 大豆や喜右衛門 ほか28名		講地御蓮中	同岡郎	妙音講親脇惣代音八

堀家(講)

ツ-403 4	添紙之事(印紛失で印を改めた旨)	天保15年12月	本人惣右衛門(印) 証人麻之進(印)	堀源右衛門	封紙包状
ツ-403 -3	添一札之事(銀納め方につき)	天保15年12月	御所村預り主惣右衛門(印) 同村請人善四郎(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-403 -2	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)	天保15年12月	寺領御所村預り主惣右衛門(印) 同村引請石見(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-403 -1	借用申一札之事(久野丹波守様御講銀のうち拝借金) *こよりでくくり1通一括、字ムカエ山立木伐取は石見係に差し支え無き旨の書付添付	天保15年極月	御所村本人石見(印) 同村引受人徳兵衛(印) 同村証人麻之進(印) 名手世話人善四郎(印)	久野様世話人堀源右衛門	封紙包状
ツ-400	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)、銀納め方につき添一札あり	天保15年極月日	寺領御所村預り主清盛(印) 同村請人石見(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-399	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村庄屋麻之進(印)、銀納め方につき添一札あり	天保15年極月日	寺領御所村預り主栄次郎(印) 同村受人徳兵衛(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-398	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)、銀納め方につき添一札あり	天保15年極月日	寺領御所村預り主清盛(印) 同村請人石見(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-397	添一札之事(銀納め方につき)	天保15年極月日	寺領御所村預り主徳兵衛(印) 同村請人友次郎(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-394	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請新藏(印)、銀納め方につき添一札あり	天保15年極月日	寺領御所村預り主徳兵衛(印) 同村請人友次郎(印) 市場世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-392	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)	天保15年極月日	寺領御所村預り主徳兵衛(印) 同村請人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-389	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)	天保15年極月日	寺領御所村預り主徳兵衛(印) 同村請人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-237	預り申御講銀之事(久野様講銀借用) *【奥書】御所村役人引請麻之進(印)	天保15年12月日	寺領御所村預り主伴藏(印) 同村引請石見(印) 名手世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-18	添一札之事(銀子預かり)	天保15年12月	寺領御所村預り主伴藏(印) 同村引請石見(印) 名手世話人善四郎(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状
ツ-417 -3	預り申御講銀之事 *【奥書】御所村役人麻之進(印)	天保14年12月日	御所村預り主惣右衛門(印) 同村請人石見(印) 名手世話人善助(印)	久野様御講銀取次堀源右衛門	封紙包状

堀家(講)

ツ-405	ツ-396	ツ-390	ツ-404	ツ-412	ツ-133	テ-86 -5	ツ-418	ツ-55	イ-58	ツ-393	イ-4	ツ-417 -2	ツ-417 -1
[封紙]	[封紙]	[封紙]	[米拝借の意向伺い書状]	[久野様物成米拝借聞き済みにつき借し渡し依頼書状]	差入申手形之事 (拝借講銀の内へ金三兩差上)	覚 (米十石請取)	差入申手形之事 (御講銀拝借銀二兩延引)	差入申手形之事 (講銀借用)	久野様御講銀取立帳	御拝借申御講銀之事	久野丹波守様御講銀取立控帳	添一札之事 (銀納方につき)	預り申御講銀之事
*上書「証文 日高村定右衛門」	*上書「御所麻之進」	*上書「御所村徳兵衛」											*封紙で3通一括
			11月3日	11月朔日	未12月14日	丑11月25日	弘化4年12月日	弘化4年12月日	弘化4年正月日	弘化3年10月日	弘化2年正月吉祥日	天保15年12月日	天保15年12月日
(日高村 定右衛門)	(御所村麻之進)	(御所村徳兵衛)	(御所村) 麻之進	新在家庄屋喜右衛門	御所村本人麻之進(印) 世話人嘉助代藤吉 同断源三郎	御所村麻之進(印)	本人吉兵衛(印) 引受人新蔵(印) 世話人嘉助代藤吉	本人伴蔵(筆軸) 世話人嘉助代藤吉 源三郎	堀源太夫	御所村本人徳兵衛(印) 同村受人新蔵(印) 同断孫次郎(印)	善四郎 同源三郎	堀源左衛門正耀 世話人堀世話人善四郎(印)	宇願御所村預り主石見(印) 同村請人徳兵衛(印) 市場村世話人善四郎(印) 同断源三郎(印) 御所村世話人引請麻之進(印)
			堀源十郎	堀源右衛門	堀源太夫	名手堀源十郎	堀源太夫代源三郎	堀源太夫		名手市場村堀源十郎		久野様御講銀取次堀源右衛門	久野様御講銀取次堀源右衛門
封紙	封紙	封紙	封紙	封紙	封紙	封紙	封紙	封紙	横帳	封紙	横帳	封紙	封紙

堀家(講/結社)

14 結社

カ-73	カ-70	カ-77	カ-69	テ-112	ツ-416	ツ-415	ツ-414	ツ-413	ツ-409	ツ-408	ツ-407	ツ-406
当明治十一年旧正月廿日不朽社ヨリ此協修舎設立ニ候附同七月迄 舎費請払帳 *表紙朱書(第7号)	県庁布達留 *編綴くずれ	〔協修舎日誌〕	確礎社法則	印形鏡(御所村・日高村・星川村分)	〔封紙〕 *上書「御所村 采次郎」	〔封紙〕 *上書「御所村 清蔵」	〔封紙〕 *上書「御所村 吉兵衛」	〔封紙〕 *上書「御所村 石見」	〔封紙〕 *上書「勇次」	〔封紙〕 *上書「手形 星川村大福寺」	〔封紙〕 *上書「徳兵衛」	
(明治11年)	明治11年2月 (明治12年1月27日)	(明治10年12月~17年)	明治10年3月		(采次郎)	(御所村 清蔵)	(御所村 吉兵衛)	(御所村 石見)	(勇次)	(星川村 大福寺)	(徳兵衛)	
交番會計方辻利右衛門 (印:協修社章)	協修社		社惣代十姓									
横 張	縦 張	縦 綴	縦 綴	横 帳	封 紙	封 紙	封 紙	封 紙	封 紙	封 紙	封 紙	封 紙

堀家(結社/日記)

オ-3 -2	オ-3 -1	オ-10	オ-2 -2	オ-2 -1	オ-1
露国皇太子我大津駅ニ而遭難新聞附録編挿入 *20通、封筒2通	日誌 第参号	日誌	明治廿二年八月十八日我和歌山桌下前代末間大洪水ニ附和歌山新聞抜粋記	日誌 第貳号	日誌 第壹号
明治24年旧4月7日	陰曆明治23年8月朔日 日 24年7月晦日	明治23年5月15日	明治22年10時雨月下旬書写終ル	陰曆明治22年8月朔日 日 23年7月晦日	明治21年陰曆8月
	堀源太夫正珍	情海子	堀源太夫正珍	堀源太夫正珍	一癖齋主人
袋入状	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳

15 日記

カ-68	カ-29	カ-76	カ-75	カ-74	カ-72	カ-71
協修学舎會則	上村宮本平四郎より社中江抵当書入今般四期未納ニ付公充相成候間左之株々代価ヲ以落札致シ夫故小作人并ニ明治十八年度地稅諸納取記録 *裏表紙 紀州名手駅住 堀源一郎	協修学舎惣通	協修舎惣通	協修舎惣通	生徒出席表	日誌
	明治18年4月	明治15年1月	明治14年	明治13年8月	明治13年1月	明治13年1月
	不朽社中	會計係	当番名出平四郎	會計係	協修学舎	協修学舎
縦綴	横半浪	横帳	横帳	横帳	縦帳	縦帳

堀家(日記)

オ-18	オ-17	オ-16	オ-15	オ-14	オ-13	オ-12	オ-11	オ-9	オ-8	オ-7	オ-6	オ-5	オ-4
日記帖	日記帖	(日誌)	日誌	日誌	日誌	日誌	日誌	日誌 第九号	日誌 第八号	日誌 第七号	日誌 第六号	日誌 第五号	日誌 第四号
明治44年1月1日	明治42年5月1日 明治43年12月31日	明治41年4月 明治42年4月30日	明治34年12月	明治34年7月	明治34年3月1日	明治32年9月	明治32年3月	陰曆明治29年8月朔 日明治30年7月晦日	陰曆明治28年8月朔 日明治29年7月晦日	陰曆明治27年8月朔 日明治28年7月30日	陰曆明治26年8月朔 日明治27年7月30日	陰曆明治25年8月朔 日明治26年7月29日	陰曆明治24年8月朔 日明治25年7月30日
娛句老手記	娛句老手記	むくの木主人	有標居主人			有標居主人	有標居主人	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫止珍	堀源太夫正珍
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

堀家(日記)

オ-32	オ-31	オ-30	オ-29	オ-28	オ-27	オ-26	オ-25	オ-24	オ-23	オ-22	オ-21	オ-20	オ-19
日記	日誌	日誌	日記	日記	日誌	日記	日記	日誌	日誌	日誌	日誌	日誌	日誌
昭和3年9月1日 〜5年5月31日	昭和2年6月1日 〜昭和3年8月末日	大正14年10月 〜16年5月	大正13年11月1日 〜14年10月15日	大正12年3月1日 〜13年10月31日	大正10年9月15日 〜12年2月末日	大正9年1月1日 〜10年9月14日	大正8年1月1日 〜12月31日	大正7年3月1日 〜12月31日	大正5年12月1日 〜7年2月28日	大正4年10月1日 〜5年11月末日	大正3年4月1日 〜4年9月30日	大正元年12月1日 〜3年3月31日	明治45年 〜大正元年11月末日
娛句老	娛句老人	娛句老	娛句老	集義齋主□	娛句老	娛句老	娛句老	集義齋主人	集義齋主人	自他楽舎主人	有棕居士	棕乃本主人	棕乃本主人
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

16 法政大学講義録

エ-14	エ-13	エ-12	エ-11	エ-10	カ-35	オ-39	オ-38	オ-37	オ-36	オ-35	オ-34	オ-33
大日本民法債権担保編 *梅謙次郎先生口述	民法原理 *ボアンテード先生口述	民事訴訟法 *日本仏国法学博士梅謙次郎口述	大日本帝国民法物上入上担保編第二卷 *ドクトルアンドロワウ井政章講義	日本民法取得編第壹章 *ドクトルアンドロワウ井政章講義	三月二日より日記覚	日誌 *水損インキ流れ	日誌 *水損インキ流れ	日記	日誌	日誌	日誌	日記
					(3月3日～4月朔日)	昭和23年9月 (～24年12月18日)	昭和17年4月1日 (～19年9月30日)	昭和10年6月 ～11年10月30日	昭和9年3月 ～10年5月末日	昭和7年10月 (～9年2月28日)	昭和6年5月 ～7年10月15日	昭和5年6月1日 ～6年4月30日
百折庵不撓筆記	一癖齋筆記	一癖齋主人筆記	一癖齋主人筆記	一癖齋自專		有椋居士	椋乃本主人	椋処士	有椋居士	無苦の本主人	有椋居士	有椋「」
縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳

八 売買・貸借

ツ-273	ツ-1	エ-25	エ-24	エ-23	エ-22	エ-21	エ-20	エ-19	エ-18	エ-17	エ-16	エ-15
本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋妹背四郎五郎(印)、添付文書あり	売渡し申証文之事(新田売渡)	(法律に関する講義録)	証拠編	民法財産取得編第十三章以下 * 田代講師	仏国人事法講義抜粹 * 井上正一・岸本辰雄述、×で扶消	日本民法取得編第五章和解 * 法学士飯田宏作講義	日本憲法議會職権 * 講師法字博士本野一郎講義	債權担保編	民事訴訟法第三編以下 * 阿部謙二郎講義	國際私法講義 * 黒川誠一郎先生	民事訴訟法第三編以下 * 河村先生講義	日本商法第十式章手段法講義 * 高木甚平講師
宝曆5年7月	宝曆4年11月28日											
市場村彦重郎	狩宿村売主庄吉(印)口入源右衛門(印)									百折庵主人不撓筆記	百折庵主人筆記	百折庵主人不撓筆記
市場村彦重郎	市場村買主権太郎											
状	状	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

堀家(法政大学講義録)ノ売買・貸借

テ-3 -13	テ-4 -4	ツ-140	ツ-115	テ-9	ツ-103	ツ-269	ツ-79	ツ-80	ツ-46	ツ-353	テ 23	チ-19 -32	ツ-338
借用申手形之事 (銀借用)	借用申手形之事 (年貢差支につき銀借用)	預り申米之事	本銀返証文之事 *【奥書】森田惣助(印)	預り申綿之事	借用申一札之事 (卯辰年貢上納のため銀子借用)	はい預り手形之事 (銀預り) *封紙と本紙違う、ツ272の封紙か *封紙「借り受書之事 河内屋藤兵衛」	借用申一札之事 (宝林尼から借用銀方延引始末につき)	受取申銀子之事 (藤兵衛借用銀始末につき)	譲り状之事 (神宮寺支配庄田譲り) *【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)	借用申一札之事 (菜種借用)	預り申米之事	添手形之事 (鎌子で銭借用)・覚(鎌子借用証) *紙で巻き通一括、鎌子を實に銭二貫借銀し、その鎌子を借用	請合申手形之事 (米借用) *【奥書】庄屋磯石衛門(印)
文政6年極月	文政5年12月26日	文政5年11月	文政5年9月	文政4年正月	文政3年極月日	文政3年4月	(文政元年か)	文政元年11月	文化14年12月	文化13年6月日	文化12年11月	享和2年8月11日	享和元年12月
下夙村本人加兵衛(印)同村 請人栄助(印)【奥書】下夙 村庄屋利右衛門(印)	芝受人庄兵衛(印)	市場村借主安兵衛(印)西之 場村請人文兵衛(印)	移村預り主丸右衛門(印)市 場村請人文兵衛(印) 抄写本人止古高洲(印)名手組行岡村 頼頼証人文兵衛(印)移村莊屋忠兵衛 長慶(印)河村利右衛門(印)	預り主兵次郎(印)	借主文点(印)証人与四郎(印)	丁ノ町組移り村長兵衛(印) 同村受人利兵衛(印)	五人組証人「」(河内屋藤 兵衛)	かし主法輪尼(印)親類受人 兵次郎(印)証人利兵衛(印)	名手組惣代百野村三郎(印)六 代村庄屋長四郎(印)馬場村庄屋清之 助(印)市場村頼頼次郎(印)同村兵 衛(印)同村利右衛門(印)同村利右衛門(印)	借り主麻生津笹々江丁本人 彦兵衛(印)	油屋善藏(印)	宇野庄藏(印)	狩宿村本人兵右衛門(印)同 証人平六(印)同断庄藏(印)
市場村源右衛門	市場村源右衛門	市場村堀源右衛門	名手組市場村源右衛門	源次郎	源次郎	名手市場村源右衛門		庄屋源右衛門	譲り受市場村庄屋源右衛門	名手組市場村源右衛門	堀源右衛門	堀源太夫	市場村源右衛門
状	状	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状

売買・貸借

ツ-73	ツ-361	ツ-356	ツ-275	ツ-74	ツ-98	ツ-105	テ-3 -16	テ-80	ツ-152	テ-18	ツ-147	キ-10	ツ-70
本銀返シ証文之事	清帳一札之事	本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事	本銀返証文之事	添手形を以借用一札事(錢借用)	預り申米之事	請合申一札之事(米借用)	借用申一札之事(銀借用)	預り申米之事	本銀返シ証文之事	清帳一札之事・本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事
			*【奥書】名出組大庄屋申中元右衛門	*【奥書】名手組大庄屋申中元右衛門(印)	*【奥書】名手組大庄屋申中元右衛門(印)	*【奥書】市場村庄屋彦四郎		*本文線で抹消			*【奥書】名手組大庄屋申中元右衛門(印)		*【奥書】名手組大庄屋申中元右衛門(印抹消)、印全抹消
文政11年12月	文政11年霜月	文政11年11月	文政10年霜月	文政10年10月	文政10年正月	文政9年12月	文政9年霜月	文政9年6月	文政8年霜月	文政8年10月日	文政8年6月日	文政8年6月	文政7年極月
符商付本人李次郎(印)同受人嘉四郎(印)同折茂九郎(印)同折茂右衛門(印)同折茂文之丞(印)同折茂宇五郎(印)	符商付本人長九郎(印)同受人嘉四郎(印)同折茂九郎(印)同折茂右衛門(印)同折茂文之丞(印)同折茂宇五郎(印)	符商付本人長九郎(印)同受人嘉四郎(印)同折茂九郎(印)同折茂右衛門(印)同折茂文之丞(印)同折茂宇五郎(印)	符商付本人長九郎(印)同受人嘉四郎(印)同折茂九郎(印)同折茂右衛門(印)同折茂文之丞(印)同折茂宇五郎(印)	市屋村先主惣助(印)同請人市右衛門(印)同折茂右衛門(印)同折茂文之丞(印)同折茂宇五郎(印)									
市場村蔵本源右衛門	市場村蔵本源右衛門	市場村源右衛門	市場村蔵本源次郎まいる	源右衛門	馬宿村藤四郎	こう野山平兵衛	名手市場村源右衛門	市場村源右衛門	源右衛門	名手市場村源右衛門	同村源右衛門	森田祥助	惣助
伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏	伏

ツ-151-1	差入申下作手形之事 *こよりで5通一括、 庄屋彦四郎(印) ツ149・150関連	文政12年7月日	名手市場村源右衛門(印)井田村親類受人玄貞(印)コ川村証人源藏(印)	粉川村新四郎	伏
ツ-150	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉河村新四郎	伏
ツ-149	本銀返シ証文之事 *本文横線で抹消	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉川村新四郎	伏
ツ-148-2	清帳一札之事 *【奥書】池田垣内肝煎六左衛門(印)同村庄屋彦四郎(印)消	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉川村新四郎	伏
ツ-148-1	① 本銀返シ証文之事 *①で②と③を包む	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉川村新四郎	伏
ツ-146	本銀返シ証文之事	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉川村新四郎	伏
ツ-104	本銀返シ証文之事 *全体を横線で抹消	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉河村新四郎	伏
ツ-82	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)	文政12年7月	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	粉川村新四郎	伏
キ-12	清帳一札之事	文政12年7月日	市場村本人源右衛門(印)親類井田村玄貞(印)同村証人源藏(印)同村庄屋彦四郎(印)	堀源右衛門	綴
ツ-330	受取申金子之事(田地売り)	文政12年5月23日	狩宿村本人源右衛門(印)同村証人源藏(印)	市場村堀源十郎	伏
ツ-345	下作手形一札之事	文政12年4月29日	狩宿村下作人長九郎(印)同村受人嘉四郎(印)	堀源右衛門	伏
ツ-90	売渡シ申書付之事(田)	文政12年4月29日	狩宿村本人源右衛門(印)同村証人源藏(印)	市場村堀源右衛門	伏
ツ-328	差入申添手形之事(金借入)	文政11年12月	狩宿村本人長九郎(印)同受人嘉四郎(印)	市場村堀源右衛門	伏
ツ-240	清帳一札之事	文政11年12月	名手組大庄屋田中元右衛門(印)同村証人源藏(印)	名手組大庄屋田中元右衛門	伏

売買・貸借

ツ-69	ツ-44-2	ツ-44-1	ツ-16-2	ツ-16-1	キ-13	キ-11	イ-63	ツ-31	ツ-113	テ-93	ツ-419	ツ--271	ツ-270
下作手形之事	本銀返シ証文之事	下作手形之事	清帳一札之事	本銀返シ証文之事	清帳一札之事	清帳一札之事	清帳一札之事	借用申手形之事	借用申銀子之事	本銀返シ証文之事	差入申一札之事 (年貢不納分麥種出来るまで延引)	借用一札之事 (金借用)	清帳一札之事 *【奥書】馬宿村肝煎茂兵衛(印) 同村庄直之丞(印)
天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年7月	天保3年正月	文政13年9月22日	文政13年6月	丑(文政12か)12月19日	文政12年11月	文政12年7月
名手市場村源右衛門(印)親類受入理兵衛(印)【奥書】庄屋彦四郎	名手市場村源右衛門(印)親類受入理兵衛(印)【奥書】庄屋彦四郎	名手市場村源右衛門(印)親類受入理兵衛(印)【奥書】庄屋彦四郎	名手市場村源右衛門(印)親類受入理兵衛(印)【奥書】庄屋彦四郎	名手市場村本人源右衛門(印)同村親類証人理兵衛(印)丁ノ組下夙村肝煎弥兵衛 止屋利兵衛									
大和屋三十郎	粉川村田辺屋新四郎	森田久右衛門	大和屋三十郎	大和屋三十郎	大和屋三十郎	田中元右衛門	田中元右衛門	源右衛門	粉川村田辺屋利兵衛	場村佐次兵衛	御後見野上村楠三郎 同市	市場村堀源右衛門	名手之庄市場村源次郎 米屋町伊八取次
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

売買・貸借

ツ-23	ツ-268	ツ-239	ツ-102	ツ-96	ツ-10	ツ-8	ツ-20	ツ-7-3	ツ-7-2	ツ-7-1	ツ-278	ツ-354	テ-71
本銀返証文之事 *【奥書】名子組大庄屋申元右衛門(印)	覚(岩喜田地につき金受取書)	差入申添一札之事(年貢入用に銀借用)	清帳一札之事 *【奥書】肝煎方次郎(印)右同断幸左衛門(印) 御藏庄屋庄兵衛(印)庄屋源重郎(印)	本銀返シ証文之事	売渡シ申種子之事 *【奥書】同村庄屋伊左衛門(印)	売渡シ申一札之事 *端裏(南忠助より)	本銀返シ証文之事	(見分田地図)	下作手形之事 *【奥書】庄屋伊左衛門(印)	清帳附一札之事 *【奥書】同村庄屋伊左衛門(印) 同村肝煎文之系(印)同村右同断政次郎(印)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名子組大庄屋申元右衛門(印)	養水証文之事(用水買求支配筋變更) *【奥書】かり宿庄屋伊左衛門(印) 同村肝煎文之系(印)同村右同断政次郎(印)、ツ356関連	借用申銀子之事
天保6年正月	(天保6)正月18日	天保5年12月	天保5年12月	天保5年12月	天保5年11月	天保5年11月	天保5年10月	(天保5年)	天保5年11月	天保5年10月	天保5年7月6日	天保5年6月	天保5年5月
内場村本人喜兵衛(印)親類清次郎(印)受人源兵衛(印)五人組長四郎(印)肝煎方次郎(印)右同断幸左衛門(印)御藏庄兵衛(印)庄屋源重郎(印)	弥助	本人喜兵衛(印)親類請人弥助(印)	本人良助(印)親類清次郎(印)受人源兵衛(印)五人組長四郎(印)買主源右衛門(印)	本人良介(印)親類清次郎(印)受人源兵衛(印)五人組長四郎(印)肝煎方次郎(印)右同断幸左衛門(印)御藏庄兵衛(印)庄屋源重郎(印)	狩宿村本人長八(印)同村受人七右衛門(印)	市場村親類喜兵衛(印)同本人弥助(印)同親類幸五郎(印)	狩宿村本人友右衛門(印)同村証人柳八(印)市場村受ケ主源治郎	狩宿村本人友右衛門(印)同村証人柳八(印)	かり宿村下作人友吉(印)同村証人柳八(印)	狩宿村本人友右衛門(印)同村証人柳八(印)市場村受ケ主源治郎	同村源右衛門	同村源右衛門	名手組市場村借り主源右衛門(印)×抹消(川組井田村受人玄道(印))
源十郎	源十郎	堀源十郎	田中元右衛門	源右衛門	市場村御藏庄屋蔵本庄兵衛	源十郎	市場村受ケ主源治郎江参ル	市場村源十郎	市場村源十郎	地方元	同村源右衛門	市場村源右衛門	粉河村田辺屋新四郎
状	状	状	綴	状	状	状	状	状	状	綴	状	状	状

売買・貸借

ツ-151 -4-2	ツ-151 -4-1	ツ-249	ツ-11	ツ-5	ツ-6	ツ-111	ツ-247	ツ-238	ケ-8 -1	ケ-8 -1	ケ-8 -1	ツ-91	ツ-71
清帳一札之事 幸左衛門(印) 同御蔵庄屋清兵衛(印) 同西ノ村兼帯庄屋太右衛門(印)	本銀返し証文之事	下作手形之事	約定申一札之事	約定申一札之事	本銀返し証文之事	覚(屋敷田地銀四百目で売払)	売渡し申田地之事	預り申一札之事(銀借用)	③売渡し申田地之事	②預り申一札之事(銀借用)	①預り申一札之事(銀借用)	清帳一札之事 *【奥書】市場村肝煎万次郎(印) 右同断幸左衛門(印) 同御蔵庄屋兵衛(印) 同庄屋源十郎(印)	本銀返し証文之事 *端裏「させる屋儀右衛門より」
*【奥書】市場村肝煎万次郎(印) 同断幸左衛門(印) 同西ノ村兼帯庄屋太右衛門(印)			*代銀の内六ト目村安養寺へ差上の旨下げ紙あり	*【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)、端裏「させる屋弥助より源十郎へ入」		*【奥書】庄屋源十郎	*抵開講へ差入田地を1貫目で売り				*一通に3点写し		
天保7年10月	天保7年10月	天保7年7月6日	天保6年10月	天保6年10月	天保6年9月	天保6年4月5日	天保6年3月	天保6年3月	天保6年3月	天保6年3月	天保6年3月	天保6年正月	天保6年正月
市場村本人源十郎(印) 同村証人文次(印) 切畑村買主庄兵衛	市場村本人源十郎(印) 同村証人文次(印) 切畑村庄兵衛 東川原村熊五郎	市場村本人源十郎(印) 同村証人文次(印) 西野村喜助(印) 西野村庄屋助三郎(印)	源四郎代売主(印) 親類請人弥助(印) 同証人孫次郎(印)	市場村小ふじ津コ川村きせる屋儀右衛門(印) 市場村親類請人同村買主源右衛門(印)	市場村小ふじ津コ川村きせる屋儀右衛門(印) 市場村親類請人同村買主源右衛門(印)								
田中元右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	堀源右衛門	源右衛門	源右衛門	源右衛門	源右衛門	源右衛門	源右衛門	田中元右衛門	堀源右衛門
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	綴	状

ツ-313	ツ-29	ツ-17	ツ-28-2	ツ-28-1	テ-22	ツ-30	ツ-19	テ-16-2	テ-19-43	ツ-108	テ-16-1	ツ-26	テ-86-3
本銀返証文之事	譲り受候一札之事 (銀子・かん略瓦)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名手文輔(印)	覚(金銀の受取額)	年賦証文之事(銀借用)	引口口口手形之事	本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事	清帳附一札之事	預り申米之事 *本文・名前を線で抹消	預り申一札之事(金借用)	預り申米之事 *奥書「米預り証文 日高村甚右衛門」	預り申米之事 *【奥書】御所村庄屋麻之進印	借用申銀子之事
天保15年11月	天保15年9月28日	天保15年7月		天保15年4月	天保14年9月日	天保14年9月日	天保13年11月	天保13年11月	天保13年11月30日	天保13年5月	天保12年12月日	天保12年11月10日	天保12年2月日
符前村本人惣太郎(印)河村請入次右衛門(印)同村肝煎辰右衛門(印)同村古河邸文之丞(印)同村庄屋兼常西ノ芝村清盛(印)	兵衛(印)	符前村本人惣太郎(印)河村請入次右衛門(印)同村肝煎辰右衛門(印)同村古河邸文之丞(印)同村庄屋兼常西ノ芝村清盛(印)		紀州伊都郡名手組市場堀源右衛門 同所請人布屋文治	寺領友割上番平次郎印 引請人青ノ山源兵衛印 引請人宇右衛門印 年次引請人 次郎印 庄屋引受藤右衛門印	高野寺縁女割上番本人普治郎印 同所請人海兵衛印 同所請人宇右衛門印 同所請人平次郎印 同村庄屋藤左衛門印	穴伏村本人喜右衛門(印)同村五人組常助(印)同村肝煎為右衛門(印)同村庄屋文輔(印)	穴伏村本人喜右衛門(印)同村五人組常助(印)市堀村買主堀源十郎(印)穴伏村庄屋文輔(引)同村肝煎為右衛門(印)	寺領御所村預り主堀右衛門(印)同村請合人新蔵(印)穴伏村世話人喜助(印)御所村役人麻之進(印)	預り主堀源右衛門(印)	寺領預り上莫右衛門印 同請人庄屋兼之進印 名手世話人小二郎 名手御世話人堀源右衛門	伴蔵印 石見印 幸太郎印	本人おるい(筆軸)受人小太郎(印)
市場村源右衛門 参ル	世話人堀源右衛門	市場村井関庄助 参る		大坂堂島田中屋治兵衛	後見穴伏村名出庄右衛門	上那賀郡名手組市場村山崎や源三郎 後見穴伏村名出庄右衛門	市場村堀源十郎	大庄屋藤田新次郎	名手本世話人堀源十郎	平井彦三郎		堀源十郎	堀源右衛門
扶	封紙包状	扶	扶	扶	扶	扶	扶	縦	扶	封紙包状	扶	扶	扶

売買・貸借

ツ-329	ツ-314	ツ-112	ツ-318	ツ-66	ツ-81	ツ-64	ツ-326	ツ-359	ツ-319	ツ-315	ツ-336	ツ-63	ツ-54
借用申米之事	借用申米之事	借用申一札之事 (米借用)	借用申手形之事 (米借用)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	本銀返証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	預り申米之事	本銀返シ証文之事	借用申手形之事 (銀借用)	売渡申証文之事 (田地)	借用申手形之事 (米借用)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)
弘化3年11月	弘化3年11月	弘化3年11月	弘化3年10月	弘化3年3月	弘化3年正月	弘化3年正月	弘化2年極月	弘化2年11月	弘化2年11月	弘化2年11月	弘化2年10月	弘化2年9月	弘化2年4月
狩宿村本人兵五郎(印)同証人柳八(印)同引受人光明寺(印)	狩宿村本人吟六(印)同村受人六助(印)【奥書】同村庄屋伊平(印)	本人四郎右衛門(印)受人立八(印)引受人弥右衛門(印)	狩宿村本人柳八(印)引受人弥右衛門(印)	本人左左衛門(印)五人組喜助(印)野崎文兵衛(印)同断方次郎(印)同断王清兵衛(印)庄屋多右衛門(印)	市場村本人長四郎(印)五人組儀兵衛(印)野崎文兵衛(印)石川断方次郎(印)同断王清兵衛(印)庄屋太右衛門(印)	本人方五郎(印)五人組証人成兵衛(印)早瀬惣助(印)石河万次郎(印)同断庄屋清兵衛(印)生原多右衛門(印)	狩宿村本人柳八(印)同村証人四郎右衛門(印)	狩宿村本人弥右衛門(印)同村証人柳八(印)同村庄屋伊平(印)同断証文之丞(印)同右河断氏右衛門(印)	狩宿村本人柳八(印)同村証人弥右衛門(印)引受人豊七(印)	狩宿村本人早助(印)同村証人柳八(印)	狩宿村借主喜代松(印)同請合人柳八(印)石同断弥右衛門(印)	狩宿村借主喜代松(印)同請合人柳八(印)石同断弥右衛門(印)	五人組源次之丞同断市場村三郎(印)同五人組源次之丞同断早瀬惣助(印)同右河断万次郎(印)同断庄屋清兵衛(印)庄屋太右衛門(印)
蔵木堀源右衛門	市場村御蔵本堀源右衛門	堀源右衛門	市場村御蔵本堀源右衛門	堀源右衛門	同村源十郎	堀源太夫	市場村堀源右衛門	同兵右衛門へ参ル	市場村蔵本堀源右衛門	買主兵五郎へ参ル	市場村蔵本堀源右衛門	源重郎	源十郎
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

売買・貸借

ツ-116	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	嘉永2年5月	下丹生谷村本人吉郎兵衛(印) 同村証人良助(印)同村肝煎 文次郎(印)同村庄屋兼祐(印)	市場村堀源太夫	状
ツ-136	添手形事(田地質物借銀につき)	嘉永2年閏4月	本人利助(印)請人庄助(印)	堀源太夫	状
ツ-335	借用申手形之事(米借用)	嘉永2年4月	狩宿村本人柳八(印)同村引 受人弥右衛門(印)	市場村御藏本堀源大夫	状
ツ-334	本銀返証文之事(養水で銀借用)	嘉永元年12月	狩宿村水主元次郎(印)同村 証人柳八(印)【奥書】狩宿 村庄屋伊平次(印)	市場村堀源太夫参ル	状
ツ-325	指入申手形之事(米二石用捨)	嘉永元年極月	狩宿村本人柳八(印)同村引 受人弥右衛門(印)	市場村堀源大夫	状
ツ-252	覚(銀返済延引につき返済法)	嘉永元年10月26日	本人弥助(印)引受人源兵衛 倅吉次郎(印)	堀源太夫	状
ツ-331	相添申手形之事(米借用)	弘化4年11月	狩宿村本人兵五郎(印)同村証 人柳八(印)引受人源四郎(印)	市場村堀源大夫	状
ツ-324	指入申質物之事(建家一軒指入で米借用)	弘化4年10月	狩宿村本人太四郎(印)同村 引受人丹七(印)同村右同断 柳八(印)	市場村堀源大夫	状
ツ-322	借用申手形之事(米借用)	弘化4年6月	狩宿村本人柳八(印)同村請 人弥右衛門(印)	市場村御藏本堀源大夫	状
ツ-402	預ケ覚(不動掛け軸一つ預けて金二歩)	弘化4年4月11日	御所村本人石見(印)	名手世話人善四郎 源三郎	封紙包状
ツ-332	差上申受書之事(質物田地十月中に請け戻す旨)	弘化4年3月	狩宿村本人元次郎(印)同村 証人柳八(印)	堀源右衛門	状
ツ-85	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	弘化4年2月	馬宿村本人元次郎(印)同村証 人孫作(印)同村庄屋兼祐(印) 同村肝煎 馬宿村本人元次郎(印)同村証 人孫作(印)同村庄屋兼祐(印) 同村肝煎	堀源太夫	状
ツ-56 -2	清状一札之事 *【奥書】市場村肝煎与助 同断文兵衛 同御藏庄屋清兵衛 馬宿村庄屋孫右衛門 市場村兼帯庄屋太右衛門	弘化4年2月	馬宿村売主弥五郎 市場村親類 証人孫作 同村庄屋兼祐 堀源太夫	名出文輔	状
ツ-56 -1	本銀返シ証文之事	弘化4年2月	馬宿村本人元次郎(印)同村証 人孫作(印)同村庄屋兼祐(印) 同村肝煎	堀源太夫	状

売買・貸借

ツ-125	ツ-60	ツ-77	ツ-323	ツ-321	ツ-333	ツ-121	ツ-135	ツ-118	セ-43	ツ-258	ツ-351	ツ-117	ツ-124
本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	相添申手形之事(米三俵拝借のうち一俵は戌十月中返済の旨)	借用申手形之事(米借用)	預り申手形之事(米借用)	添書之事(借用銀返済仕方につき)	覚(田地戻しに関する約定)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)	指上申下作手形事(田地譲り下作につき)	米預り申書附事 *ツ121関連	借用申一札之事(銀借用)	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)セ43・ツ135関連	本銀返シ証文之事 *【奥書】名手組大庄屋名出文輔(印)
嘉永3年9月	嘉永3年9月	嘉永3年6月	嘉永3年5月	嘉永3年5月	嘉永3年5月25日	戌(嘉永3)年3月日	嘉永2年12月	嘉永2年12月	嘉永2年極月	嘉永2年11月	嘉永2年10月	嘉永2年10月	嘉永2年5月
同村証人幸右衛門(印)同村 煎文次郎(印)同庄屋兼助(印)	下丹生谷村本人徳次郎(印) 同村証人幸右衛門(印)同村 煎文次郎(印)同庄屋兼助(印)	狩宿村本人孫左衛門(印)同村証 人弥五兵衛(印)下丹生谷村正屋 兼助(印)同村煎文次郎(印)	狩宿村本人柳八(印)同村引 受人政次郎(印)	狩宿村本人柳八(印)同村引 受人政次郎(印)	かりしく村預り主し伝助(印) 同村引請人源次郎(印)	東村本人酒屋孫右衛門(印) 中村請人留中屋善次郎	堀源太夫	下丹生谷村本人文之右衛門(印) 同村証人忠次(印)同村煎文次 郎(印)同村正屋兼助(印)	狩宿村本人嘉左衛門(印)同 村引受人源四郎(印)同村証 人柳八(印)	東村酒屋孫右衛門(印)引請 人稲屋才次郎(印)	狩宿村借り主兵五郎(印)同村 受人柳八(印)同村同断勝威(印)	狩宿村本人嘉左衛門(印)同村煎 文次郎(印)同村証人柳八(印) 同村証人忠次(印)同村煎文次 郎(印)同村正屋兼助(印)	市場村本人与助(印)河五人組親 類源助(印)同庄屋孫五郎(印)同 庄屋伴屋清兵衛(印)同庄屋文兵 衛(印)
名手市場村堀源太夫	市場村買主堀源太夫へまい る	市場村受ケ主堀源太夫参ル	市場村御藏本堀源太夫	市場村御藏本堀源太夫	堀源大夫	市場村堀源太夫	嘉左衛門宛	市場村堀源太夫	市場村堀源太夫	市場村堀源太夫	市場村藏本堀源太夫	市場村源太夫江参ル	堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

ツ-253	借用申一札之事 (金借用)	嘉永4年12月	市場村本人堀源十郎 同村引受人同源三郎	名出文輔	状
ツ-312	借用申米之事	嘉永4年11月	狩宿村本人孫四郎(印)同村本人貞吉(印)同村受人喜助(印)【奥書】狩宿村庄屋伊平次(印)	堀源太夫	状
ツ-349	差入申証文之事 (仏壇差入銀借用)	嘉永4年10月	狩宿村本人柳八(印)同引受繁右衛門(印)【奥書】庄屋伊平次(印)	市場村堀源太夫	状
ツ-339	相添申引請書之事 (儀兵衛家屋敷指入銀子借用につき引受人保証の旨)	嘉永4年6月	狩宿村本人儀兵衛(印)同村引受人喜助(印)	市場村堀源太夫	状
ツ-67	借用申手形之事 (銀子借用)	嘉永4年4月12日	名手堀源太夫(印消)	米屋六兵衛	状
ツ-337	御預申手形之事 (金借用)	嘉永4年正月	狩宿預り庄屋伊平次(印)同村証入伊七(印)	市場村堀源太夫	封紙包状
ツ-94	返シ手形之事 (畑地買受につき)	嘉永4年正月	買主堀源太夫	市場村売主善四郎 野上村親類証人重右衛門	状
ツ-57	本銀返し証文之事 *【奥書】名手組大庄屋妹背佐次兵衛(印)、	嘉永4年正月	市場村売主善四郎(印)同村引受人伊七(印)【奥書】伊平次(印)同村庄屋伊平次(印)	堀源太夫	状
テ-13	借用一札之事 (銀借用)	嘉永3年12月	市場村本人宇右衛門(印)江川中村引受人幸次郎(印)	堀源太夫	状
ツ-346	指入申裏毛之事	嘉永3年12月	狩宿村本人儀右衛門(印)同村引受人柳八(印)【奥書】同村庄屋伊平次(印)	市場村御藏本堀源太夫	状
ツ-316	奉指上質物之事 (長屋・裏毛)	嘉永3年12月	狩宿村本人柳八(印)同村受人繁右衛門(印)同村庄屋伊平次(印)	市場村堀源太夫	状
ツ-254	奉指上質物之事 (長屋ほか差し入れ米借用)	嘉永3年12月	狩宿村本人柳八(印)同村引受人繁右衛門(印)【奥書】同村庄屋伊平次(印)	堀源太夫	状
ツ-355	奉指上引当手形之事 (納米五月まで延引につき) *【奥書】庄屋伊平次(印)	嘉永3年11月	狩宿村本人新五郎(印)西ノ芝村引当人忠次郎(印)同右同断柳八(印)	市場村堀源太夫	状
ツ-327	奉指上引当書之事 (年貢延引につき家田地指入) *【奥書】同村庄屋伊平次(印)	嘉永3年11月	狩宿村本人儀右衛門(印)同村引受人柳八(印)同村居家長兵衛(印)	市場村堀源太夫	状

売買・貸借

ツ-65	ツ-68	ツ-45	ツ-139	テ-11	ツ-78	ツ-100	ツ-58	ツ-59	テ-72	ツ-129	ツ-342	ツ-257	ツ-320	
本銀返シ証文之事	本銀返証文之事	借用申一札之事	預り一札之事(銀借用)	借用申米之事	本銀返シ証文之事	預り申一札之事(銀借用)	拝借申書附之事(銀借用)	差入申一札之事(銀借用)	預り中銀子之事	離一札之事(田地質流れ)	引請申手形之事(儀右衛門不納につき上納の引受保証一札)	奉指上質物之事(建家で米借用)	指入申質物之事(雄牛一疋仏壇諸雜具で米借用)	
*【奥書】仲谷彦次郎(印)	*【奥書】名手組郷長仲谷彦次郎(印)				*【奥書】中谷彦次郎(印)									
慶応3年6月	慶応3年4月	慶応2年12月	文久3年7月	文久2年12月日	文久2年12月日	文久2年6月日	文久2年4月	安政6年12月	安政2年12月	嘉永7年10月	嘉永5年5月	嘉永5年2月	嘉永4年12月	
市場村赤主(印)原五人惣惣(印)同村野原源十郎(印)同村右衛門(印)同村源十郎(印)同村源十郎(印)同村源十郎(印)	市場村本人安兵衛(印)同村請人秀八(印)同村安兵衛(印)庄屋勘右衛門(印)	市場村本人安兵衛(印)切畑村親類引受人常右衛門(印)	本人五郎兵衛(印)引請人清四郎(印)証人文蔵(印)	秀八(印)文左衛門(印)	市場村本人孫治郎(印)同五人組請人忠治郎(印)同村源十郎(印)同御蔵庄屋重助(印)同庄屋利助(印)	西野村本人秀八(印)西河原村請人弥兵衛(印)	布屋儀介(印)	村惣代長四郎(印)肝煎弥五郎(印)右清兵衛(印)御蔵庄屋利助(印)庄屋佐次兵衛(印)	かり主孫作(印)証人文兵衛(印)	狩宿村本人定右衛門 同村証人周三郎【奥書】庄屋伊平次	狩宿村本人儀右衛門(印)同村引受人長六(印)同政次郎(印)同証人朝右衛門(印)同職兵右衛門(印)	狩宿村本人良一(印)引受人長四郎(印)証人白巻(印)同証人林四郎(印)【奥書】同庄屋伊平次(印)	狩宿村本人京次郎(印)同村引受人政右衛門(印)【奥書】同村庄屋伊平次(印)	
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源次郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	
市場村御蔵庄屋布屋義助	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村源太夫	市場村堀源太夫	市場村堀源太夫	市場村堀源太夫	市場村堀源太夫	
状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状	

ツ-39	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	ふみ(印)仙助(印)	源右衛門	状
ツ-38	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	本人藤蔵(印)請人卯兵衛(印)	源右衛門	状
ツ-37	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	与四郎(印)請人源助(印)	源右衛門	状
ツ-36	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	甚七(印)	源右衛門	状
ツ-35	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	卯兵衛(印)受人弥左衛門(印)	源右衛門	状
ツ-34	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	本人七兵衛(印)受合人小四郎(印)	源右衛門	状
ツ-33	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	清右衛門(印)	源右衛門	状
ツ-32	覚 (小入用不納銀借用)	辰12月	佐右衛門(印)	源右衛門	状
ツ-126	質入申書附之事(重戸棚で金借用)	辰2月日	借主龜蔵(印)請人嘉兵衛(印)同彦兵衛(印)	源次郎	封紙包状
ツ-43	預り申手形之事(銀預り)	卯10月	具足屋五兵衛(印)	兩替屋弥兵衛	状
ツ-122	(借用銀計算書)	丑7月15日			状
テ-70	覚(菜種子借用)	子3月日	麻生津油や彦兵衛(印)	名手市場村源右衛門	状
ツ-144	本錢返シ証文之事	明治4年2月	市場村売上孫次郎(印)同五人組 引受人長四郎(印)同止次郎(印) 同野村佐四郎(印)同源太夫(印) 同野村佐四郎(印)同源太夫(印)	同村買主妹背四郎五郎	状
ツ-83	本銀返シ証文之事	明治2年3月	市場村本人孫次郎(印)同五人組 受人忠次郎(印)同軒煎孫作(印) 同郷御蔵庄屋利助(印)	源太夫	状

*ツ121の借用銀計算書

*【奥書】中谷彦次郎(印)

ケ-12 -2	ケ-12 -35	ケ-12 -25	ケ-12 -34	ケ-12 -20	ケ-12 -43	ケ-12 -21	ケ-12
〔先日の御出に対する礼と塩肴進上につき書状〕 <small>*端裏〔佐野六兵衛より〕</small>	〔昨日訪問したことの礼状〕	〔左野村一条の返事延引を頼む書状〕	〔借用物返送書状〕	〔嶋野屋新助弥左衛門の身分柄良い旨を伝える書状〕	〔縁段調よう頼み、明朝参上する旨書状〕 <small>*佐野村より</small>	〔中飯隆村醬油屋ほかの約定決定し会日は当月九日の旨書状〕 <small>*妙寺より</small>	【袋入り43通一括】 <small>*袋上書「私用入 弘化四丁未正月」 (弘化4未年)</small>
4月28日	弥生27日	4月21日	4月9日	4月9日	2月3日	2月3日	
森本六兵衛	(米屋) 彦三郎	有田房五郎	彦三郎	大和や利介	松山庄兵衛	大松屋金助	
堀源大夫	源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源大夫	堀源太夫尊下	堀源次郎	
状	封筒入状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	封紙包状	袋

九 書状

ツ-87	ツ-203	チ-334	ツ-42	ツ-40
①彦兵衛藍覚 ②借用申一札之事(卯辰上納銀) <small>*裏表使用</small>	引受一札之事(借銀分割返済につき)	覚(大豆借用)	指入申一札之事(銀借用)	本銀返し証文之事 <small>*【奥書】名手組大庄屋田中元右衛門(印)</small>
	亥12月19日	亥12月12日	戌霜月	戌7月
	本人彦兵衛(印) 請人井田屋宇兵衛(印)	かり主益田屋宇兵衛(印)	本人次兵衛(印) 受人与四郎(印) 【奥書】 庄屋利輔(印)	<small>名手市場村本人惣五郎(印) 同村証人次次(印) 同村手前次次(印) 同村手前庄兵衛(印) 同村庄屋彦四郎(印) 同村</small>
	名手堀源十郎	堀源次郎	堀源太夫	丁ノ町組萩原村吉兵衛
状	状	状	封紙包状	状

書状

ケ-12 -29	ケ-12 -39	ケ-12 -28	ケ-12 -27	ケ-12 -9	ケ-12 -42	ケ-12 -41	ケ-12 -22	ケ-12 -3	ケ-12 -17	ケ-12 -37	ケ-12 -40	ケ-12 -18	ケ-12 -1
〔御光来を願う書状〕	〔御名代行列見物参入来を勧める書状〕 *添付文書(2) 御名代行列次第あり	〔厄介御馳走になった礼状〕	〔進物送り書状〕	〔飛脚間違いで不着の願書を再指し上げの旨書状〕	〔伊賀への差し向けを当年は断る旨書状〕	〔先達で取り扱いの嘉兵衛不参につき再願書状〕 *中飯降村より	覚 (代金請取)	〔進物への礼状〕	〔弥助宅にぬす人らしい人物がいることを知らせる書状〕	〔先達での咄は出府で片付いた旨書状〕 *封紙「堀源大夫様 西本善之右衛門」	〔暑中見舞いと進物送り書状〕	〔神事への出席案内書状〕	〔先達での頼みは片付いた旨ほか書状〕
未9月19日	9月13日	9月12日	9月9日	8月13日	8月4日	7月晦日	未7月26日	7月26日	7月18日	6月28日	6月22日	6月12日	6月7日
勲進方仁兵衛	市右衛門	門 (久野御台内) 岡本李右衛門	西本善之右衛門	仙左衛門	名出専之丞	鈴木又市郎	イセヤ小次郎(印)	一色仙輔	大のやいんきよ	西本伴	西本善之右衛門	神野新右衛門	大和屋利祐
堀源重郎	堀源右衛門	堀源大夫	堀源大夫	源大夫	堀源大夫		御客	堀源大夫	堀源大夫	堀源大夫	堀源大夫	堀源十郎	堀源大夫
状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状

書状

ケ-12 -8	ケ-12 -5	ケ-12 -4	ケ-12 -11	ケ-12 -30	ケ-12 -24	ケ-12 -13	ケ-12 -23	ケ-12 -15	ケ-12 -14	ケ-12 -36-2	ケ-12 -36-1	ケ-12 -16	ケ-12 -26
(追って御館へ推参仕るべき旨書状)	(植山善五郎手跡) *封紙「堀源太夫様 木沢徳五郎」	(別紙一通を粉河村協氏へ届けることを頼む書状)	(移り村九右衛門一件落着につき御礼に鴨一羽を送る旨書状)	(責意伺いに推参したく止宿所と差し支えの有無尋ね書状)	(御世話への礼を述べる書状)	覚(小杉原ほか紙代銀)	(病気で参上できない旨書状)	覚(袴代受取)	覚(代銀受取)	(一向墨付と相違していることを尋ねほか書状)	(内談の筋につき確かなる返事を求める書状) *封紙で2通一括	(面談口時を相談する書状)	(中細出銀受け度この者へ御渡し願ひ書状)
12月18日	弘化4年 12月17日	12月16日	12月13日	12月11日	12月9日	12月4日	11月24日	霜月23日	11月22日	14日	11月14日出	11月7日	10月16日
田中七郎	五郎 (伊都郡胡麻生村) 植山善	久保吉之右衛門	前山藤十郎	田中七郎	(辻本屋) 幸助	かみや弥兵衛	西本三十郎	本町一丁目山形屋平助	さかい屋藤次郎	幸助	辻本屋幸助	幸助	上村惣兵衛
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	上	堀源太夫			堀御氏御内宝さまへ	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫
状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状

書状

ア-88-34	ア-88-21	ア-88-10	ア-88	ケ-12-38	ケ-12-19	ケ-12-12	ケ-12-7	ケ-12-6	ケ-12-10	ケ-12-32-1	ケ-12-32-2	ケ-12-33	ケ-12-31
〔署中窺いのため二十六日の都合伺い書状〕	〔寺内芝居興行は何れからの許しか尋ね書状〕	〔井の森皮田の内済書附差上と定免願書に調印を求める書状〕	【袋入り45通一括】 *袋上書「私用人 弘化五年正月吉日」 〔弘化5・嘉永元年〕	乍恐奉願上口上〔養子正三郎へ地主相統願〕	西ら道覚	〔二夫米売払につき書状〕	永代一札之事〔替え地につき〕 *米預かり手形を抹消し裏を使用	人数覚〔人名書上〕	〔幸助への金子取替を断る書状〕	〔中嶋村庄兵衛から訴えの丁ノ町村茶碗屋安兵衛について厳しい処置を願う書状〕 *封紙で2通一括	覚〔召し捕り報告〕	〔辻本屋幸助にかんしてお尋ねにつき返答書状〕 *封紙「堀源太夫様尊下 西原屋長兵衛」	口暢〔今朝は頭痛で遂参しがたき旨を伝え書宅へ伺うことを尋ねる書状〕
口 〔嘉永2か〕閏5月24	〔嘉永元〕6月13日	〔弘化3〕閏5月13日	〔弘化5・嘉永元年〕						臘月28日	12月22日	12月20日	極月19日	極月19日
藤田源助	堀源太夫	鈴木兵右衛門		橋本町地主橋坂官兵衛		米清			辻本屋定七	田中七郎	楊谷村肝煎与惣兵衛 嘉右衛門	吉田長兵衛	田中七郎
堀源十郎	藤田源輔	堀源十郎				堀源治郎			堀源太夫玉下	堀源大夫		堀源太夫	堀源大夫
伏	伏	伏	袋	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	封紙包状

書状

ア-88 -24	ア-88 -38	ア-88 -8	ア-88 -45	ア-88 -17	ア-88 -4	ア-88 -16	ア-88 -40	ア-88 -13	ア-88 -14	ア-88 -28	ア-88 -11	ア-88 -3	ア-88 -6
(病死につき悔やみ状)	(別紙願書へ調印し達し願書状)	(注文の鐘柄・棒の代金請求につき書状)	奉御届申上候覚(伊都三組巡回報告ひな形か)	奉御届申上候覚(伊都三組巡回報告)	伊都三組惣廻り江遣し候控へ(村々相廻りにつき)	(舞さらへ仕度頼み書状)	(沢庵漬け送り状)	(この者へ一両御渡しを頼む書状)	(十六日から操興行の旨確認の書状)	(当村へ内聞の儀につき書状)	(舅入りの人数につき書状)	覚(紀州茶他代金書上)	誤り申一札之事(喧嘩口論一件内済につき)
5月19日	5月11日	5月8日	4月何日	4月26日	4月15日	4月12日	弥生25日	3月12日	3月3日	2月23日	2月朔日・中春1日	午5月	巳8月17日
(匠町橋木か) 源兵衛		名倉大工六兵衛	伊都郡胡乱者改堀源十郎	伊都郡胡乱者改堀源十郎 (印)	堀源十郎	辻本屋孝助	彦三郎	上村惣兵衛	庄屋七左衛門 森屋勘介	(大豆や) 塩田嘉兵衛	三谷松田清兵衛	安留	親千吉、伴才市、親類善松、家主文助、堀源十郎、辻田与助
堀源太夫		堀源太夫	小浦惣内	小浦惣内	下ノ町組惣廻り吉兵衛、上組惣廻り源兵衛	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源大夫	名手堀源太夫	堀御氏	粉川村平七郎
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状

書状

ア-88 -29	ア-88 -1	ア-88 -18	ア-88 -31	ア-88 -23	ア-88 -25	ア-88 -27	ア-88 -19	ア-88 -9	ア-88 -42	ア-88 -20	ア-88 -26	ア-88 -41	ア-88 -37
〔もゝ引一足送り状〕	〔小道殿当山御登りの節お世話承知の書状〕	〔七日には登る旨書状〕	覚 (紋付女袴・袖ほか装束代金書上)	〔五十目戻り給銀受取の旨書状〕	〔千三郎御取立につき礼状〕	〔生け鮎送り状〕	〔生け鮎を戴き礼状〕	口上 (鎗の穂返上、鎗棒作料請求につき)	〔進物御礼、頼母子勧誘頼み書状〕	〔御内室様・御息女様死去につき悔やみ状〕	〔御内室死去につき悔やみ状〕	〔毘沙門講頼母子証文入用につき併用願ひ書状〕	〔別紙近藤氏からの申し来たりにつきお調べ願ひ書状〕
10月晦日	9月16日	9月5日	(8月28日)~(10月24日)	8月4日	8月3日	7月25日	7月25日	6月23日	6月19日	6月14日	5月晦日	5月24日	5月24日
名出三四郎	(高野山より)西村良祐	若山橋源より		木下伊右衛門	木下伊右衛門	一色仙輔	西本三十郎	大上六兵衛	小池悟平	大和屋利助	丸屋次兵衛	守安	林玄道
堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫		堀御氏	堀御氏	堀源太夫	堀源太夫	堀	源右衛門	名手市場堀源太夫	堀源太夫尊下	玄昌主人	堀源太夫
状	封筒入状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	封紙包状	状	状

書状

ア-88 -44	ア-88 -35	ア-88 -22	ア-88 -15	ア-88 -5	ア-88 -39	ア-88 -12	ア-88 -2	ア-88 -32	ア-88 -30	ア-88 -43	ア-88 -36	ア-88 -33	ア-88 -7
(質素儉約につき速)	廿九日組合(相撲取り組みか)	(大水見舞いへの礼状)	三組大庄屋殿へ遣し候写し(胡乱者改め役就任、支配下巡回の旨)	(酒宴禁止・茶屋等取扱いにつき申遣書)	(源三郎は道具求めを見合わす旨書状)	(来る十一日酒飯に入米を頼む追啓)	覚(金子村入用へ継納につき)	(短の村平兵衛戻り給銀につき書状)	(両替比率伝えほか書状)	(短の村平兵衛願ひ筋につき書状)	(笠田安五郎出願取り扱ひ銀八十目取立受取につき礼状)	(堀村の節預り品の送致延引を詫び、たしかな便で送る旨書状)	(根来山で上様猪狩につき御入米を求める書状)
					22日七ツ時	(11日以前)	12月27日	12月26日	12月25日	12月10日	霜月28日	11月24日	11月23日
		堀源太夫			源太夫		舟屋万二郎	木下伊右衛門	米屋万次郎	木下伊右衛門	船屋兵右衛門	藤兵衛	松田清兵衛
		(伊勢松坂)小浦御若党			源三郎		堀源太夫	堀源氏	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	名手堀源太夫
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

書状

テ 265	テ 226	テ 246	テ 19-26	テ 144	テ 172	テ 4-2	テ 257	テ 208	ツ 411	テ 169	ア 118	テ 240	テ 242
〔年詞への礼状〕	〔若松の養父入りにつき書状〕	〔伊右衛門株喜太郎相続の件につき書状〕	〔封紙〕	口演（地直しにつき）	〔年始挨拶書状〕 *初相場あり	〔守安様頼母子を天佐方へ譲り替え決するまで金八両借用願ひ書状〕	〔立用を頼む書状〕	〔近況、金銭勘定報告書状〕	〔寺領越米の儀尋ねに付き返答書状〕 *越米は切手の出る分以外ほかまわらない、入米は御法度	〔本金延引願ひ書状〕	〔愛宕池堤重置一条仲裁のため源太夫方への来訪を求める回章〕 *封紙「廻常 麻生津愛宕池仲濟書件」	〔愛宕池一件につき書状〕	〔愛宕池普請完成祝宴の開催につき仲介を頼む書状〕
正月8日	正月8日	正月7日	正月2日	亥5月7日	戌正月	四7月朔日	申7月11日	う10月29日	寅11月26日	明治15年9月23日	慶応3年8月20日	慶応3年7月13日	慶応3年7月7日
田中助三郎	文七	惠光院納所	榎屋次兵衛	野上村伝三郎	才かや重左衛門 新八 藤七	六左衛門	いずみや儀兵衛	源三郎 もん	米調へ方平林六右衛門	野上村前田勝之助（印）	長太夫 源太夫	源太夫正珍事	愛宕池惣代間江野竹太郎
堀源太夫	源十郎	名手市場村庄屋堀源十郎	堀源太夫	堀源太夫	御中 堀源十郎 源三郎 参人々	堀源十郎	堀源右衛門	堀氏親	堀源宛にて	名手市場村堀源太夫	堀源太夫 堀源宛 四郎親	名出長太夫 穴伏村名出長	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	封紙包状	封紙	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

書状

テ-152	テ-158	チ-19 -27	ア-147	テ-235	テ-244	テ-157	テ-170	テ-261	テ-135	テ-218	テ-267	ツ-51	テ-219
〔父八十八賀の祝餅を西浜様へ差し上げた旨書状〕 *封紙「伊都郡名手庄原許 御勘定奉行所」	〔近況を伝える返書〕	〔「昨日来駕の節仰せ一件の対応につき礼状」〕	〔四国順拝者の日程、高野辻・粉河の状況伝え書状〕	〔油道具藤七に売払につき目録ご覧願ひ書状〕 *油道具目録?通添付	〔石積み人足につき書状〕	〔熊野参詣を断る書状〕	〔男子誕生の祝い書状〕	〔別封を届けることを頼む書状〕	口述 (籠酒進上したく入来願)	〔年始挨拶への礼状〕	⑥〔喜兵衛受け合ひの儀が済まない事を伝える書状〕	〔借用金子残り勘定頼み書状〕	〔年始挨拶書状〕
3月23日	弥生19日	3月13日	3月10日	3月朔日	閏2月19日	2月29日	中春15日	2月10日	2月3日	2月朔日	正月22日	正月22日	正月11日
小池悟平謙 (花押)	有地藤兵衛	善次郎	山崎屋源三郎	三木九左衛門	市場村堀源太夫様	伊左衛門	松田清兵衛		(久保) 孫助	本綿屋藤吉	近藤元□	弥助	久保吉之右衛門
堀源十郎	堀源十郎	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	□文	源太夫	堀源太夫		堀源太夫	堀源太夫		堀源十郎	堀源太夫
封紙包状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状

書状

ア-121	テ-258	テ-256	テ-189	テ-207	テ-213	テ-210	テ-215	テ-148	テ-148	タ-53	テ-233	テ-216	チ-19 一	
〔封紙〕	〔旦那様の帰宅日時を尋ねる書状〕	〔江戸からの帰村を伝えることほか書状〕	〔敷一条に日時がかかるので家のことを頼む書状〕 *封紙 堀源十郎殿 毛綿屋より	〔金子借用願書状〕	〔養子の見合わせを勧める書状〕	〔朝鮮鯉につき回答書状〕	〔ねふか種・菜子を頂戴した事への礼状〕	②〔厚敷買い取りを断る書状〕	①〔難波につき厚敷買い取りを頼む書状〕 2通一括、上書〔高野山西小田原帝釈院棟 阿吽院棟 九度山ニ前直教〕 *封紙で	〔大井一条別紙達しにつき意見を求める書状〕	〔お見舞いへの礼状〕	〔御世話になった事への礼状〕	〔家普請したく銀子米の借用を頼む書状〕	
6月10日五ツ出	6月8日	6月6日	6月2日七ツ時	6月朔日	5月24日	5月20日	5月18日	5月13日	5月11日	5月9日	4月21日	卯月11日	卯月6日	
名手より堀源十郎	大の池田兵次郎	房吉	堀源太夫	千右衛門 文七	彦三郎 吉二郎	源太夫	又兵衛	帝釈院	万五郎(印) 善四郎(印) 文兵衛(印) 堀源十郎(印) 妹背太右衛門(印)	源太夫	文七	的場内高垣栄次郎	後田庄兵衛	
胡乱者改方堀源太夫	堀御内	堀源太夫	同源十郎	堀源右衛門	堀御氏	木村(儀右衛門)	源大夫	妹背太右衛門	善四郎 文兵衛 堀源十郎	帝釈院	清兵衛	堀源右衛門	堀源太夫	市場村源次郎
封紙	状	状	封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	

書状

テ-284	テ-201	タ-60 -2	テ-287	チ-19 -17	チ-19 -35	チ-19 -16	チ-19 -34	ア-93	ア-145	テ-249	テ-121	ケ-8 -5	テ-183
(先達で申し込み一条は公事方へ申し込みの旨を伝える達)	(不在を詫げる旨ほか書状)	(名倉村新聞場所の高改め納米につき達)	口上(五人組の構成員尋ねとその返答) *裏に返答あり	(進物送り状)	(梨を送る旨、薬につき書状)	(医師矢出了敬の別紙診断を伝える書状)	(御尊父お見舞いに魚二尾送る旨書状)	(和歌山城焼失伝えほか書状)	極密書(若山二色仙助につき)	(母見舞いへの礼状)	(嫁の男子出産祝い書状)	(書状) *裏に利助借銀に対する嘉永2年の虎古・猪右衛門の引受一札あり	(御息女様死去につき悔やみ状)
8月15日	8月念五	8月14日	8月12日	8月11日	8月6日	8月6日夕方認候	8月5日	7月27日	7月22日朝	7月12日	7月9日	6月14日	6月13日
岡本左右衛門	石井跡斎	的場紋九郎	源十郎	木綿屋藤吉	辻本屋定七	辻定兵衛	西本三十郎	堀源三郎	榎田嘉左衛門	竹村清藏	大和屋儀介	林玄昌	野村又兵衛
堀源次郎	堀源重郎	辻田伝兵衛	谷口屋平兵衛	堀御氏	名手市場山崎屋源三郎	山崎屋源三郎	堀源次郎	堀源十郎		堀源太夫	堀源太夫	堀源十郎	源大夫
封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	封紙包状	状	状	封袋入状	状	封紙包状

書状

テ-229	テ-267	テ-262	テ-243	テ-19-40	タ-60-1	テ-241	テ-182	テ-270	テ-19-38	タ-57	テ-149	テ-255	テ-223
②〔美巻返却につき書状〕	①〔智入り男入りの日時を相談する書状〕	〔おくま死去につき悔やみ状〕	〔来訪を断る書状〕	〔大坂へ荷物を送ったことを知らせるよう頼む書状〕 *伊勢内宮より	〔病氣見舞いの延引を詫び様子を探ねる書状〕 にて2通一括、こよりの先「中組大庄屋辻田佐兵衛殿大河新聞記者付」とあり *こより	〔お縫の来訪を断る書状〕	〔御親父様全快見舞い、米勘定につき書状〕	〔訪問時の不在を詫びることほか書状〕	〔御礼廻りのことほか書状断簡〕 *前欠	〔相撲興行の有無尋ねほか書状〕	②〔約束の杉丸太について書状〕	〔返金の延引を頼む書状〕 *ソ121閉連	〔俵豊太郎を源太夫様の見舞いに違わず旨書状〕
9月19日	9月15日	菊月13日	9月10日	9月9日	9月8日	9月7日	9月3日	8月27日	8月24日朝認メ	8月23日	8月18日	8月16日	8月16日
松嶋	辻本屋市兵衛	(成慶院内)善光院	上田氏耕処	御師大森大夫	伝兵衛	隠居	米や清兵衛	岡本左右衛門	堀源次郎	田村丹宮	的場紋九郎内谷村健次	東村酒屋孫右衛門	辻本屋林兵衛
	名手山崎屋源三郎	堀源十郎	堀御氏お米	堀源右衛門	源太夫	上田氏耕処	堀源次郎	堀方五郎	堀源右衛門	堀源太夫	堀源大夫	市場村堀源太夫	山崎屋源三郎
状	状	封筒入状	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状

テ-132	テ-59	テ-237	テ-309	テ-225	テ-195	テ-130	テ-254	テ-19-18	テ-222	テ-247	テ-50	テ-190	テ-229
〔西本御氏勘定筋延引頼み書状〕	〔勘定の受け取りにつき書状〕	〔若松私方へ引き取り勤めさせる旨はか書状〕	〔田地普請のことほか近況を伝える書状〕	〔金子送り状〕	〔勘定残金借用願書状〕	〔高田殿はか川上へ登る旨を知らせる書状〕	〔縁談掛け合いの見合わせを伝えることほか書状〕	〔証文お渡しを頼む書状〕	〔病氣見舞いに行けない旨を詫げる書状〕	〔西川普請につき書状〕	〔当月晦日祭礼につき御家内様と御入来を願う書状〕	〔馳走・土産の礼を述べ、祭礼へのお出でを願う書状〕	①〔前欠書状〕
*ア131が追啓か						*「密書入」							
11月15日	11月11日	11月10日	11月4日	11月3日	10月晦日	10月17日	10月7日	10月2日	9月晦日	9月29日	9月27日	9月26日	9月20日
秀右衛門	善右衛門	堀源右衛門	堀源二郎	堀源二郎	木綿屋喜兵衛	御なじより	堀源太夫	穴伏村専之丞	義右衛門	米屋清兵衛	辻本屋市兵衛	辻本屋林兵衛	青五郎
堀源次郎	堀氏	内原文七	堀源右衛門	堀親	堀源重郎	本家	大和屋久兵衛	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	山崎屋源三郎	為予軒
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

書状

ア-131	テ-192	テ-227	ツ-248	テ-204	テ-149	テ-214	テ-4-3	テ-186	テ-131	テ-193	テ-84	テ-274	ア-119
追々(借財方延引を詫び間違いない皆済する旨)	(例年の神事への御光来を願うことほか書状)	(藤蔵を代人として挨拶に遣わした時の配慮に対する礼状)	(病氣難渋につき当月切小入用の取り計りを頼む書状)	(大野屋一件につき書状)	①(餅米八斗を差し出すので直ぐに搗かせるよう頼む書状) *重松松	(取立金子の送り状)	状 (延引の伊右衛門上納筋につき金子を持参させるので受納頼み書)	(野間様へ紹介の件はいつでも同道する旨書状)	(一件済まず慎みを求める書状) *若山より	(理介への馳走の礼ほか書状)	(勤助様治介二人伝馬船で下る旨伝え書状) *文化10、大保3	(御頼み筋委細承知の旨ほか書状)	(金子支分延引頼み書状) *ツ585-17参照
	26日	閏月11日	大晦日	12月26日	臘月22日	12月21日	12月11日	12月4日	12月3日	閏11月29日	閏霜月8日	11月20日	11月17日
		木村喜太郎	岩ばし万次兵衛	井関庄輔	手代衆より幾左衛門	平のと次郎	義右衛門	辻邑 <small>(註)</small> 輔		大和屋とめ	大和屋義助	小池悟平	帝釋院
		堀源太夫	堀源十郎	堀源十郎	堀大先生	堀源右衛門	堀氏源次郎	堀源次郎	堀源次郎	堀源重郎	堀源重郎	源右衛門	堀源右衛門
状	状	封紙包状	状	封筒入状	状	封紙包状	状	封紙包状	封紙包状	状	状	封紙包状	状

書状

テ-286	テ-276	テ-260	テ-245	テ-236	テ-234	テ-231	テ-86 -4	チ-19 -28	チ-19 -11	タ-52	タ-11 -2	セ-46	セ-45
〔もんへの返答書状〕	〔しんさいけ米かしかたほか書状〕	〔封筒〕	〔年賀状〕	〔書状〕 *こんにやく版が消えて読めない	〔寒中見舞い、豆腐一箱送る旨書状〕	〔堀源太夫容体書〕	〔買い取り田地につき内問の返答書状〕	〔報恩のために献じた短歌〕	〔河内屋柳助吐血症の処方箋〕	〔大森太夫へこの書状を渡してほしい旨送り状〕	〔守安頼母子掛け銀の目録を認め差し出すよう頼む書状〕	〔別封白王雅兄へ渡し依頼ほか書状〕 *関西鉄道株式会社銘紙	〔景品送付、運座会の開催につき書状〕 *関西鉄道株式会社銘紙
*テ276関連か	*テ286は返書か	*封筒のみ	*ひな形か	(明治)								(明治)	(明治)
	もん	米や彦三郎		津田仙		源助	米や	徳柳拝		伊勢内宮大森太夫内	米セ(米屋清兵衛)	橋本鯨	鯨
	御内	堀源十郎		堀正寿		上	源十郎			堀源太夫	堀源十郎	自守先生	自守先生
状	状	封筒	状	封筒人状	状	状	状	状	状	状	状	郵便紙	郵便紙

十 勘定書・書付

ケ-1-8	ケ-1-27	ケ-1-35	ケ-1-5	ケ-1-34	ケ-1-16	ケ-1-9	ケ-1-26	ケ-1-25	ケ-1-1	ケ-1-2	ケ-1	テ--295
送り状之事(堀源十郎様行き関東粕か)	〔本取上物注文につき送る旨書状・同送り状〕	覚(金受取)	覚(米代勘定)	吉書	〔天保八年分給米・年貢・小入用通こよりで一括〕	天保八酉小入用之通	文政十亥歳御年貢之通	文政十亥歳御年貢之通	亥御年貢之通	文政九戌大池床御年貢	〔袋入り35通一括〕 *袋上書(寛政四年子年 飛脚貢 子正月吉日)	口上(くるみ餅を作るので御出願い)
西11月22日	西11月17日	西8月3日	子11月	弘化3年正月	*30通(天保8年)	(天保8年)	(文政10年)	(文政10年)	文政10年	文政9年	寛政4子年	
雑賀屋重左衛門(印)	米屋六兵衛	梅林さと(印)	源二郎	藤吉	(江川中村・馬宿ほか庄屋・納庄屋など)	市場村庄屋太右衛門(印)	御蔵庄屋源次郎(印)	御蔵庄屋源次郎(印)	御蔵庄屋源次郎	馬宿村御蔵庄屋茂兵衛(印)		
英八	堀源右衛門	堀源次郎	池田垣内村庄屋衆中		吉五郎など)	な出堀源十郎	三秀	勢右衛門	利兵衛	市場村御蔵庄屋源次郎		
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	袋	状

勘定書・書付

ケ-1 -22	ケ-1 -6	ケ-1 -17	ケ-1 -24	ケ-1 -31	ケ-1 -23	ケ-1 -33	ケ-1 -13	ケ-1 -32	ケ-1 -14	ケ-1 -10	ケ-1 -3	ケ-1 -18	ケ-1 -11	
〔米受取証重ね巻一括〕	〔干水で通路致しかねる旨ほか伝え書状〕	〔頼母子二番会に孫太郎を差し出す旨書状〕	〔七兵衛岩喜ほか六月七日分銀子勘定書〕	覚（銀御渡し依頼）	覚（銀子受取）	西小入用	西組小入用	覚（つぼどびん代）	覚（米代勘定渡し）	覚（くわかま代金）	覚（桶たる製作代金）	借用申一札之事（銀八百目）	覚（井関造用割）	
*3通														
日	（7月29日・閏7月11日）	7月6日	6月25日	当6月7日分	亥12月28日	亥12月27日	（酉）	（酉）	酉晦日	酉12月	酉12月	酉12月	酉12月1日	
	（米屋清兵衛ほか）	六左衛門	守安禎助	妹背佐次兵衛	下村御蔵庄屋要蔵	且来村次郎左衛門（印）	庄屋六左衛門（印）	納庄屋文之丞（印）	義八	米屋六兵衛	かじや	桶屋利助	泉州堺茂兵衛弟儀兵衛（印） 当村受人源十郎 河村同断 田次郎	江河与兵衛
	（堀源太夫ほか）	市場村堀源十郎	妹背太右衛門 堀源次郎 米屋清兵衛 天野屋佐五兵衛 衛 山城屋彦兵衛	堀源十郎	源二郎	源次郎	市場村源次郎	市場村吉五郎	源次郎	名手市場堀源右衛門	堀源十郎	堀ノ源右衛門	御蔵庄屋清兵衛	市場源次郎
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

勘定書・書付

ケ-6 -19	ケ-6 -16	ケ-6 -6	ケ-6	ケ-1 -31	ケ-1 -29	ケ-1 -20	ケ-1 -15	ケ-1 -12	ケ-1 -7	ケ-1 -4	ケ-1 -21	ケ-1 -30	ケ-1 -19
おほへ(髪結い代)	(江川中村分年貢通)	天保式年当卯御年貢之通 *西之芝村1通・丹生谷村卯小入用書上2通あり	【袋入り22通一括】 *袋上書「天保式年卯御年貢并小入用通人」	(買目書上)	(左吉・甚之右衛門米差引勘定書断簡)	(惣助・久太郎ほか六名分米差引勘定書)	(奉公人請書ひな形)	覚(藤崎藤吉出米受取)	(戌免覚書)	本膳(品書き)	口上(江川中村小入用ほかの受取差上)	覚(米改め請取下さるべき旨)	(年貢通の発給を求める書状)
卯12月	卯12月	天保2年	(天保2卯年)								臘月26日	12月5日	10月11日
小じま長藏	御藏庄屋勤之丞 江川中村庄屋許・江川中村	御藏庄屋庄兵衛(印)	(袋上書「堀源十郎」)					船藏			江川中儀平次	孫次郎	西村三秀
堀氏源次郎	吉五郎	源次郎									堀源次郎	源十郎	堀源次郎
伏	横	縦	状	袋	状	状	状	状	状	状	状	状	状

ケ-6 -2	覚 (代金差引勘定)	7月13日	林	堀御氏	状
ケ-6 -9	覚 (代金勘定)	7月2日	うを吉	名手源右衛門	状
ケ-6 -14	覚 (かじ代金勘定)	辰7月	かじや甚七	堀源右衛門	状
ケ-6 -13	覚 (かじ代金勘定)	辰7月	か治文	源右衛門	状
ケ-6 -11	覚 (代金勘定)	辰7月	大のや円次郎	堀源次郎	状
ケ-6 -10	覚 (薬代金勘定)	辰7月	薬屋徳兵衛	名手市八源右衛門	状
ケ-6 -5	おぼへ (髪結代)	辰7月	床七	堀源次郎	状
ケ-6 -4	覚 (代金受取)	辰7月まへ	かわしまや	南源右衛門	状
ケ-6 -3	覚 (代金差引勘定)	辰7月	布や文次	堀源治郎	状
ケ-6 -1	覚 (薬代金)	辰7月	薬井	堀源右衛門	状
ケ-6 -21	銀納取立相場吉五郎年責任わけ *下拙より渡シ方扣(全体を×で抹消)の裏再利用	(卯年)			状
ケ-6 -20	卯小入用掛	卯	御蔵庄屋元	吉五郎	状
ケ-6 -17	卯組小入用	卯	納庄屋六左衛門(印)	市場村源次郎	状
ケ-6 -15	卯井銀小入用通	卯	庄屋多右衛門(印)	市場村堀源次郎	状

勘定書・書付

チ-3 -29	チ-3 -22	チ-3 -19	チ-3 -7	チ-3 -1	チ-3 -50	チ-3 -8	チ-3 -31	チ-3	ケ-6 -22	ケ-6 -18	ケ-6 -8	ケ-6 -7	ケ-6 -12
天保三年辰小入用通	天保三年辰村小入用通(皆済)	天保三年辰年貢之通	天保三年辰通	天保三年辰御年貢之通	(井出普請など工賃指引勘定書)	天保三年ノ御歳御年貢通	天保二年加納大隅守様卯通	【袋入り51通一括】 中非常書付通路(六貫目)返金書付人、16通は官頭座・胡乱者の項へ *袋上書(天保四巳年)	(受取有米・出し米書上覚)	(年貢小入用通)	覚(代金勘定) *裏に受取あり	(入足・工数通知、虫除け油を求める書状)	覚(代金勘定) *本版で金額日付宛名を書き入れ
(天保3)12月23日	(天保3)12月23日	(天保3)極月23日	(天保3)閏11月14日	(天保3)閏霜月13日	*3通 (辰11月20日・天保3年12月)	(天保3)11月29日	(天保2年)	(天保4巳年)	12月27日	7月	7月23日	7月13日	
(市場村)庄屋元(印)	(印)西野山村庄屋元	下夙村納庄屋藤兵衛(印)	加納大隅守様納庄屋文左衛門(印)	納庄屋類助(印)		馬宿村御蔵庄屋元(印)	納庄屋文左衛門(印)西野山村庄屋元		御蔵庄屋元	儀八	しく忠	井田林玄道(印)	
吉五郎	一八吉五郎	市場村源右衛門	吉五郎	市場吉五郎		吉五郎	一八吉五郎		堀源次郎	堀源次郎	堀源十郎	市場堀源十郎	
状	状	状	状	状	状	状	状	袋	状	状	状	状	

チ-3 -32	覚 (酒・とうふほか代金書上)	午12月	瓦屋源右衛門	状
チ-3 -12	覚 (辰人足賃入れ落ちにつき)	午11月18日	新兵衛	状
チ-3 -51	(貼り紙はずれ)	辰12月27日		状
チ-3 -37	辰小入用廿三日切(皆済)	辰12月26日	馬宿村庄屋元	一八吉五郎
チ-3 -20	覚(江川中村小入用受取)	辰12月26日	中村庄屋佐平次(印)	市場村源次郎
チ-3 -16	目録(年貢・小入用差引勘定)	辰極月23日	穴文吾	堀源次郎
チ-3 -15	辰ノ小入用	辰12月23日	穴伏村庄屋元(印)	市場村吉五郎分
チ-3 -26	覚(古俵・古むしろ・酒代勘定)	辰12月20日	下むら平次郎	一八堀源次郎
チ-3 -46	覚(山中様講銀受取)	嘉永2年4月17日	堀源太夫(二重線で抹消)	山中御講御世話方
チ-3 -49-2	辰とし御年貢通感下分・佐野伊左衛門様御年貢通・川合角助様御年貢之通	(天保3年)	御蔵庄屋文吾(印)・納庄屋為右衛門(印)・納庄屋甚右衛門(印)	市場村吉五郎代源次郎・市場吉五郎・一八吉五郎
チ-3 -49-1	天保三年当辰御年貢之通(皆済)	(天保3年)	御蔵庄屋庄兵衛(印)	山崎屋吉五郎
チ-3 -48	辰御蔵下納通・村上伊予守様辰納通(皆済)	(天保3年)	中村御蔵庄屋勘之丞(印)	一八吉五郎
チ-3 -30	天保三年辰ノ小入用之通	(天保3年)	庄屋元(印)・市場庄屋元	源次郎
チ-3 -2	天保三年辰ノ村小入用通	天保3年	(印)・西野山村庄屋元	一八吉五郎

勘定書・書付

チ-17	チ-4-14	チ-4-9	チ-4-13	チ-4-15	チ-4-5	チ-4-7	チ-4-1	チ-4-4	チ-4-3	チ-4-2	チ-4	チ-3-47	チ-3-40
【袋入り18通一括】	〔人名書上〕	下書 差入申一札之事 (鍛冶道具差し入れ銀百五十目借用につき)	〔かんさしや伊兵衛返給筋につき持参金の受取を頼む書状〕	〔馬宿・市場村分金銭勘定〕	〔近況を伝える書状〕	口上 (銀子をこの者へ渡す旨)	〔名倉村清左衛門借用の大豆につき取り捌きを頼むことほか書状〕 *高野山より、大豆借用証文の写しあり	〔人足賃・高野登り・廻文持廻賃ほか書上寛〕	巳組割筋通・御仲間割・御毛見割・御毛見組賄割 *4通綴	〔宮掛かり勘定書〕 *天保四是ハ巳割方筋とあり	【袋入り15通一括】 *袋上書「天保四」十一月書付入、6通は胡乱者・流木取締方の項へ	〔名出左次右衛門殿一件の掛け合い状況を伝える書状〕 *前欠	おぼへ (食品代金指引勘定)
*上書なし (天保6未・7申年)		年月日	12月晦日	12月13日記	11月15日	11月11日	9月4日	(8月14日~10月29日)	(巳)	(天保4年)	(天保4巳年)		
		市八本人文吉 同五人組定右衛門 門 同証人龜太郎 市場村肝煎 文右衛門 市場村庄屋伊右衛門	粉川村庄屋勝次郎		堀次兵衛	山崎や吉五郎	金地院		(田中元右衛門)		(袋上書)所持源十郎		
		天神講惣代六左衛門	市場村庄屋源十郎		堀源十郎	藤藏	堀源十郎		市場村				
袋	状	状	状	状	状	状	封紙包状	綴り	綴り	状	袋	状	状

勘定書・書付

チ-17 -4	チ-17 -13	チ-17 -5	チ-17 -6	チ-17 -16	チ-17 -18	チ-17 -10	チ-17 -8	チ-17 -7	チ-17 -3	チ-17 -1	チ-17 -12	チ-17 -15	チ-17 -2
(人別米指引勘定書)	(米渡し方と差引勘定書)	覚 (川原氏頼母子掛銀勘定)	(銀子指引勘定書)	(田地売払、本銀返し借銀人の有無尋ね書状) *裏に本数・把数書上覚あり	覚 (銀渡し)	覚 (要助方から年貢受取)	(年貢通・米受取証など綴) *9通一綴	天保七申ノ年河合角之助様御年貢之通	天保七年佐野様申御年貢通 *十五部分米受取証添付	天保七年申御年貢の通 *2通一綴	(申渡米指引勘定書)	(下夙村小入用・申水ほり人足賃勘定書など綴) *4通一綴	①天保六未年御藏御年貢之通 ②③覚 (年貢米差引勘定書) *3通一綴
	11月11日	6月23日	酉7月25日	申12月20日	申11月27日	申11月5日	天保7年	天保7年	天保7年	天保7年	(天保7年11月)	天保6年・申年	①天保6年②③申3月
	勝藏	田中元右衛門 岡村平次郎	山中世話人中		布屋新次郎	庄屋六左衛門	納庄屋甚右衛門代庄右衛門 (印) <small>前庄屋頼助、御藏屋源清兵衛、ふじさき定次、大前屋十助、在屋六左衛門、止兵衛、谷口五文右衛門、定藏庄屋伊左衛門など</small>	納庄屋甚右衛門代庄右衛門 (印)	納庄屋為右衛門	御藏庄屋清兵衛 (印)	(穴伏村)	下夙村庄屋藤兵衛	①納庄屋名出文輔 (印) ②③文輔
	源次郎	堀源次郎 良次	堀氏		源次郎	市場村源十郎	吉五郎、弥助、西之芝平介、西之文左衛門、市場源右衛門、文七、堀源次郎など	市場村吉五郎	市八吉五郎	源右衛門・山崎屋吉右衛門		市場村源右衛門	①吉五郎 ②源十郎 ③吉五郎
状	状	状	状	状	状	状	綴り	状	綴り	綴り	状	綴り	綴り

勘定書・書付

ケ-9 -1-2	ケ-9 -1-15	ケ-9 -1-8	ケ-9 -1-5	ケ-9 -4	ケ-9 -1-17	ケ-9 -1-6	ケ-9 -1-1	ケ-9 -1-10	ケ-9	チ-17 -17	チ-17 -14	チ-17 -11	チ-17 -9
覚(金二両受取)	(先達て頼んでおいた物をこの名へ貸すよう依頼書状)	(早々の帰宅を頼む書状)	覚(縮緬代金請取)	覚(代金勘定)	覚(紙代勘定)	覚(株仕立て代金ほか受取)	覚(取替銀差引勘定) *こよりでくりり17通一括	差上申書付之事(金五両受取出入り解決につき)	【袋入り10通一括】 *袋上書「大保十四年 書付入 卯十一月」	(未申溝手お渡し願書付)	永代一札之事(水車設置につき) *端裏「布屋より田人へ人候案紙」	覚(銀差引勘定書) *株消されている	(田畑高書上覚)
6月24日	5月28日	3月6日	3月6日	3月5日	3月5日	巳3月6日	辰7月朔日	大保15年11月	(大保14卯年)				
布又(印)	善之右衛門	名手市場より森太夫	たくみ町丁字屋吉五郎	キシ屋藤蔵	紙屋政兵衛	仕立屋忠右衛門	布屋新兵衛	堀源右衛門 塩屋平六		舛屋政次郎	市場村本人藤田良右衛門印、同親類証人虎古・四次郎・平井清兵衛、市八村兼帯庄屋太右衛門		
堀源右衛門	堀源右衛門	若山ニて堀源次郎	堀源右衛門	堀氏	ほり源右衛門	堀源右衛門	堀源十郎	貴僧		市場源右衛門	又左衛門、源三郎、堀源右衛門、伊勢講惣代善四郎、長五郎		
状	状	状	状	状	状	状	状	状	袋	状	状	状	状

勘定書・書付

ケ-9 -5	ケ-9 -2	ケ-9 1-16	ケ-9 1-13	ケ-9 1-11	ケ-9 -1-9	ケ-9 -1-7	ケ-9 -1-3	ケ-9 1-12	ケ-9 -3	ケ-9 -7	ケ-9 1-14	ケ-9 -10	ケ-9 -1-4
〔米出し覚〕	〔帳合売覚〕	〔諸品物代金書上覚〕	〔金子返済方法につき書状〕	〔太鼓・笛・つづみほか役割分担覚〕 *子供の役	〔太鼓・鼓・手とう・手拍子等の役割分担覚〕 *子供の役	〔御徒頭ほか美濃紙を送った家書上覚〕	〔貸し金勘定書上覚〕 *3通	覚〔金子受取〕	〔早々の帰国を勧める尚々書〕	〔八日帰国承知の旨ほか書状〕 *端裏「大阪堂島田中屋内堀源右衛門様 名手堀源三郎」	〔西本氏出銀筋延引の件ほか書状〕	覚〔碗ほか代金〕	覚〔代金請取〕
								2日	11月6日	11月5日夜五つ時認 メ	9月16日	7月晦日	7月晦日
								帳書	三十郎	堀源三郎	森田久右衛門 松本新次郎	万塗物仕入所有田屋藤助 (印による)	きし屋藤藏(印)
									源右衛門	堀源右衛門	堀源次郎	堀源右衛門	堀
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

勘定書・書付

チ-13	チ-13 -4	チ-13 -3	チ-13 -2	チ-13 -1	チ-13	チ-12 -4	チ-12 -3	チ-12 -2	チ-12 -1	チ-12	ケ-9 -9	ケ-9 -8	ケ-9 -6
【袋入り25通一括】 *袋上書「観音講帳入、天神講帳入、松岡庄右衛門、家屋敷事」	【勘定書綴】	山崎屋ばさま買物控 *8通綴	(人足賃・材木代など勘定書)	【勘定書綴】 *8通綴	【袋入り4通一括】 *袋上書「卯七月 諸色勘定書出入」	覚(名倉村三人酒肴代)	覚(宿泊者)	覚(旅費勘定書)	覚(旅費勘定書)	【袋入り4通一括】 *袋上書「嘉永四亥正月 雑用書付入」(嘉永4亥年)	(封紙・断簡) *3通	(近況を伝え早々の帰国を頼む書状)	帳合日賀惠売覚・帳合買 *2通
	7月	卯5月27日〜6月27日	(5月・6月・7月)	7月	(卯年)	(2月29日)	(2月28日)	2月晦日迄	2月晦日迄	(嘉永4亥年)		もん	
	酒屋庄右衛門、米屋清兵衛、 布や新兵衛など			堀源右衛門、布屋新次郎、 大の弥兵衛など		よし藤		吉多屋藤兵衛	吉多屋藤兵衛				
	谷の山崎屋吉五郎、西本喜 十郎・名出庄右衛門など			西本喜十郎・名出庄右衛門、 山崎屋吉五郎など		堀源大夫		堀源大夫	堀源大夫			旦那	
袋	綴り	横綴	横綴	綴り	袋	状	状	状	状	袋	状	状	状

勘定書・書付

チ-15 -11-2	チ-15 -6	チ-15 -23	チ-15 -21	チ-15 -25	チ-15 -9	チ-15 -13	チ-15 -7	チ-15 -18	チ-15 -15	チ-15- 17-3-2	チ-15- 17-3-3	チ-15 -17-2
亥年貢覚(指引勘定書)	借用申一札之事(年貢入用に銀借用)	(吉五郎分通・初買入用計算書綴)	本銀返し証文之事	酒屋三十郎殿方へ差入候証文筋(勘定書)	覚(金子受取)	(佐五兵衛分当毛荒願につき覚)	口上書覚(家屋敷を質物に取るにつき)	口上書覚(金子遣わす旨、米一駄受取さらに一駄送りを頼む旨ほか書状)	奉願口上覚(丁ノ町組嶋村牛商人弥助から買い求めの牛は病牛につき銀子戻し願)	(与次郎筋につき書状)	(先日申上の一義筋につき返答を促す書状)	覚(明和九年正月からのより元利差引勘定覚)
	*テ3-5が封紙か	*こよりで4通一括	*売買・貸借も参照				*安養寺勘定場で記述					
子極月	天保10年11月	(天保7年)	天保6年9月	(天保3年)	(天保3)4月28日	文政11年	文政11年12月16日	文政10年閏月19日	文政10年8月	(文化2)4月26日	(文化2)4月16日	明和9年正月より
藤五郎	高野完願早光村より作兵衛 堀野安人寺名下作兵衛 小太郎【奥書】堀野完願早光村 藤五郎	江川中村御蔵庄屋勘兵衛、 下作藤次郎など	市場村元主堀源十郎(印)同村 証人茂兵衛(印)同村肝煎方次 郎(印)同村右同断幸左衛門 (印)同御蔵庄屋兵衛(印) 同村庄屋源十郎(印)【奥書】 名下相入庄屋田中元右衛門(印)		名手役所			麻生津三爾屋小富士	市場村願主源右衛門印 【奥書】市場村庄原彦四郎印	井田屋藤兵衛	井田屋藤兵衛	
作兵衛	名手堀源右衛門	市場村吉五郎、作人元ノ与 兵衛・堀源次郎など	弥助後家梅のどの		堀源十郎			名手市場源右衛門	森田為之助	堀源次郎	堀源次郎	
状	状	状一括	状	状	状	縦	状	状	封紙包状	状	状	状

チ-15 -4-3	チ-15 -2	チ-15 -1	チ-15 -4-2	チ-15 17-3-1	チ-15 -5	チ-15 -3	チ-15 -19-2	チ-15 -12	チ-15 -4-1	チ-15 -11-1	チ-15 -16	チ-15 -11-3	チ-15 -11-4
(入れ替わり筋につきお目に掛かり談じ申度旨書状)	受取之事(銀受取) *封紙「天津二國屋謀書遣候て古松掠メ取候受取証」	(昨年の御年貢通い写しを送り扱いにつき伺う書状) 「文政十年御年貢之通」御藏庄屋源十郎→山崎屋吉五郎の通い写し添付	(父老年につき入れ替わり願書の差し出しを求める書状)	(ふしへの奉公給銀返済方法につき書状) *紙で巻き3通一括	(在人別帳に堀源次郎の記載有無を尋ねる書状)	(頼母子筋につき金子無心の旨書状)	(頼母子掛け銀の取替を頼む書状) *端裏「金地院様より万五郎事頼状」	口上(田地証文へ印判頼みほか) *端裏「庄屋正耀致シ候節大庄より来ル」	(在御徒浪人が済み当年までの期間、年齢を尋ねる書状) *こよりで3通一括	覚(亥年貢受取) *ひもでくくり4通一括	覚(代金勘定書)	覚(未進年貢受取)	家付諸道具目録
11月24日	11月20日	11月20日	9月7日出	8月27日出	7月17日	7月12日	7月3日	3月15日	3月11日	亥極月	申極月前	巳6月28日	辰10月9日
秋田良次郎	源兵衛	西村三秀	秋田良次郎	善兵衛	寺村九郎右衛門	守安貞助	金地院	御藏庄屋庄兵衛	堀内定右衛門	藤四郎	布や新兵衛	藤五郎	下村了菴
堀源右衛門	小ふじ	堀源次郎	堀源次郎	庄屋又兵衛	夏目丕左衛門 佐野仙兵衛	堀源次郎	堀源十郎	庄屋源重郎	堀源右衛門	作兵衛	下丹半田勝藏	文市	堀源右衛門
封紙包状	封紙包状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	封紙包状	状	状	状	状

勘定書・書付

チ-15 -10-5	チ-15 -10-9	チ-15 -10-8	チ-15 -10-4	チ-15 -10	チ-15 -24	チ-15 -22	チ-15 -20	チ-15 -17-5	チ-15 -17-4	チ-15 -17-1	チ-15 -14	チ-15 -8	チ-15 -19-1
〔銀子送りにつき書状〕	〔借用銀延引を頼む書状〕	〔忠次郎懸合筋は願ひ下げ書付を出すよう頼むことほか書状〕 *テ92 関連	〔子御納米難渡不納につき返済方内済一札〕 *前欠	【ひもでくくり10通一括】 *卯兵衛借用銀延引関係	〔三ヶ村立合大池尻田地用水溝床切り崩しの件につき覚書〕 *状断簡3点	〔預け金計算書・宿泊旅費書上綴〕 *こよりで2通一括	〔封紙〕 *上書一証文 させる屋 名手、ケ8-3の封紙か	奉願上口上寛 写シ（本銀返シ年限切れにつき家屋敷を渡すよう仰せ付け願ひ） *封紙「七 市場村堀源次郎 与助殿家付」	奉願口上党（本銀返シ年限切れにつき家屋敷を渡すよう仰せ付け願ひ） *こよりでくくり5通一括	〔願書奥書部分〕 *こよりでくくり5通一括	奉願党（水溝床切り崩しで用水掛からず見分け願）	〔溝路埋め立てで馬宿村出作田へ水引入れが出来なくなったので見分け願ひ〕 *訂正加除あり	〔用立の金五両来夏まで延引を頼む書状〕 *こよりで2通一括、高野山より
7月3日	4月2日	(寛政9)霜月28日	寛政5年11月										(申)12月8日
油屋卯兵衛	卯兵衛	伊藤助左衛門	粉河村忠次郎(印) 粉河村庄屋幸左衛門(印) 【奥書】伊藤助左衛門(印)				(させる屋)	市場村願主堀源次郎	名手市場村源右衛門	名手組大庄屋妹背四郎五郎(印抹消) 伊都地方手代田村中右衛門(印抹消)	名手組市場村田人源右衛門		金地院
源次郎	源次郎	市場村源次郎	市場村源次郎					庄屋彦四郎			馬宿村村役人衆中		堀源十郎
状	状	状	状	状	状	綴	封紙	封紙包状	状	状断簡	状	横綴	状

ツ-585	チ-16 -5	チ-16 -3	チ-16 -7	チ-16 -4	チ-16 -6	チ-16 -8	チ-16	チ-15- 10-10	チ-15 -10-1	チ-15 -10-8	チ-15 -10-2	チ-15 -10-6	チ-15 -10-7
【紐でくくり37通一括】	寺齋料之事(受取証)	覚(野院再建助成金一両受取)	売渡し申書付之事(半鐘一口)	覚(本山伽藍再建助成受取) *端裏(安養寺より齋米受取)	奉願上覚(八月まで返済延引の旨)	覚(御供料銀五十白寄附) *銀で御供山を買い永作徳米寄附	【袋入り8通一括】 *袋上書「諸色請取入」「諸色受取入」、2通は売買・貸借へ	(御切米代お越しを頼む書状)	(私方延引の旨ほか書状)	(借用銀延引に関する書状)	(借用筋延引を詫げる書状)	(卯兵衛は大病で延引の返事をしたことを伝える書状)	(借用銀延引に関する書状)
	申7月6日	嘉永7年8月19日	嘉永3年9月26日	弘化4年12月29日	天保15年7月前	明和9年正月		12月29日	12月29日	12月28日	12月25日	8月27日	7月13日
	寺務所(印)	高野山正覚院使僧蓮金院(印)	丁ノ町村売主半兵衛(印) 世話人辻本や幸助(印)	取次阿光(か)院代安養寺(印)	御所村借り主惣代庄屋麻之進(印)	名手庄心神山神宮寺(印) 同庄庄屋当番豊七(印)		卯兵衛	卯兵衛	油屋卯兵衛	油屋卯兵衛	油屋忠次郎	油屋卯兵衛
		堀源太夫	堀源太夫	堀源太夫	久野様御講銀取次堀源右衛門	市場村源右衛門		源次郎	源次郎	源次郎	源次郎	源次郎	源次郎
	状	状	状	状	封紙包状	封紙包状	袋	状	状	状	状	状	状

勘定書・書付

ツ-585 -22	ツ-585 -3	ツ-585 -30	ツ-585 -2	ツ-585 -9	ツ-585 -33	ツ-585 -5	ツ-585 -24	ツ-585 -6	ツ-585 -4	ツ-585 -37	ツ-585 -19	ツ-585 -16	ツ-585 -23
(封紙)	覚書(山崎屋からの借銀の経緯と今後証文が出てても反古の旨)	覚(元利勘定)	覚(利銀受取)	覚(利銀受取)	覚(金十五両返済につき本証文戻しの処不明につき仮受取証)	おぼへ(取替金差引勘定)	覚(山崎屋吉五郎へ越銀の内受取) *端裏「西木氏より銀子受取書」	預り申一札之事(金十両)	覚(利銀受取)	覚(利銀受取)	覚(元利勘定)	(利銀受取の旨書付)	覚(元利勘定)
*ツ585-7の封紙か													
弘化4年11月11日	弘化4年11月11日	弘化4年5月22日	弘化3年閏5月3日	弘化2年5月28日	天保14年11月29日	(天保14)卯閏9月12日	天保14年7月	天保14年3月29日	天保11年4月10日	(天保8)酉7月13日	天保7年5月14日	天保3年12月29日	天保3年6月
西本三十郎	堀源太夫	田新	田辺屋新四郎(印)	田新	金地院(印)	三十郎	喜十郎	源右衛門(印)	田新	田辺屋新四郎	田辺屋新四郎		(三川田辺屋)
堀源太夫	親之助へ	名手源右衛門	名手源右衛門	名手源右衛門	堀源十郎	堀源右衛門	源右衛門	西本三十郎	名手村源右衛門	名手市場村源右衛門	名手源右衛門		
封紙	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

ツ-585 -29	ツ-585 -15	ツ-585 -36	ツ-585 -21	ツ-585 -17	ツ-585 26	ツ-585 -34	ツ-585 -36	ツ-585 -11	ツ-585 -31	ツ-585 -20	ツ-585 -10	ツ-585 -14	ツ-585 -25
覚(利足受取)	覚(利足銀受取)	覚(大ミ殿分金受取)	受取申利銀之事	おほへ(銀・札受取証) *ア119参照	覚(利銀受取)	覚(清帳筋利銀受取)	おぼゑ(利銀受取)	覚(元利指引受取)	覚(利銀受取)	覚(元利勘定)	覚(着料銀百口受取)	おぼへ(銀受取)	覚(金銭受取)
戌7月29日	酉8月3日	巳12月15日	辰5月22日	卯11月28日	卯11月26日	卯6月朔日	う4月12日	寅6月26日	(寅か)5月25日	丑4月13日	子大晦日	子12月5日	子7月23日
梅林さと	梅林さと(印)	米清(印)	田辺屋新四郎	帝釋院納所(印)	田辺屋新四郎	田辺屋新四郎(印)	田新(印)	田辺屋新四郎(印)	田辺屋新四郎	田辺屋新四郎	米清兵衛(印)	久野内宮本文吉	米屋六兵衛(印)
堀源次郎	堀源十郎	堀源十郎	源右衛門	堀源二郎	名手源右衛門	源右衛門	名手村源右衛門	名手源右衛門	名手源右衛門	名手源右衛門	源十郎		名手市場堀源右衛門
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

勘定書・書付

テ-353 -2	テ-179	ケ-13 -4	テ-25	テ-335	ツ-585 -28	ツ-585 -13	ツ-585 -1	ツ-585 -7	ツ-585 -8	ツ-585 -27	ツ-585 -12	ツ-585 -32	ツ-585 -18
未御年貢通	覚(荒溝掘り普請入用)	天保式卯十二月十二日出立御代官(買物費用書上)	覚(子不納米納め方につき)	覚(路立てにつき請書)	覚(一人前銀戻し分差引勘定)	覚(堀源殿分元利差引勘定)	覚(池割銀指引勘定)	(先達て差し入れ書附の儀、新酒さし上げ度御光来願う旨書状)	覚(元利指引受取)	覚(利銀受取)	(天満屋頼母子勘定につき書状)	覚(山崎屋分利銀受取)	覚(利足受取)
*反古 天保6年	(天保5)12月15日	(天保2)12月	寛政4年5月23日	天明7年霜月			[]28日	11月11日	(戌4月以降)	4月6日	2月24日	亥12月29日	亥7月29日
御蔵庄屋庄兵衛	下むら藤次郎		惣代弥助 源次郎(印)	市八村本人兵次郎(印)		大三(大和屋三十郎か)	馬やと村役人	西本三十郎	田辺屋新四郎(印)	田辺屋新四郎(印)	建助	太右衛門	梅林さと
神宮寺	一八源次郎		長四郎	同村幸四郎		米清	市場村御役人中	堀源太夫	名手源右衛門	名子村源右衛門	堀源十郎	大野や伊兵衛	堀源右衛門
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

テ-86 --6	テ-313	テ-352	テ-3-35	テ-19-9	テ-102	テ-337	ソ-12	ソ-11	テ-105	テ-319	ア-75	テ-333	テ-329
①②覚(大豆受取) *こよりで2通括り	覚(銀受取)	覚(糶代)	寅年小入用取かへ残り	覚(御藏越銀)	子御年貢通	覚(銀受取)	江戸大地震	江戸御類焼御大名様方(焼失大名屋敷書上覚)	(嘉永二年納米高写)	(酒肴・わらじ代金書上覚) *3通(嘉永元年)	覚(受取銀了差引につき) *袋上書(嘉永元中七月惣廻り井人番へ)	覚(大阪田中屋出入筋へ受取銀)	受取申書付之事(大阪堂島田中屋出入筋へ受取銀) *テ333参照(天保15年10月か)
②巳11月18日 ①11月18日	辰12月13日	卯極月	寅	寅12月27日	子	子12月大晦日	安政元年	嘉永3年2月5日出 火	(嘉永2年)	(嘉永元年)	(弘化4か)未正月	天保15年12月	天保15年10月か
①益宇②鍵屋弥吉	角村新右衛門	天の崖弥兵衛		源二郎(印)	源二郎(印)	穴ふし弥兵衛					辻木屋嘉助	角村新右衛門(印)	
①堀源次郎②堀氏源重郎	堀源右衛門	堀源右衛門		池田垣内村庄屋伊左衛門	兵五郎	中村義左衛門					向島法専寺	堀源右衛門	
状	状	状	状	状	状	状	堅	綴	状	状	袋入状	状	状

勘定書・書付

テ-349	テ-275	テ-267	テ-1912	テ-163	テ-344	テ-343	テ-330	テ-353 -4	テ-336	テ-30	テ-173	テ-154	ツ-577
覚 (元利差引勘定)	覚 (食品ほか代金受取)	⑨覚 (大豆代銀受取)	覚 (食料品代金)	覚 (魚ほか代金)	覚 (紙代受取)	覚 (米納)	覚 (宿泊代銀)	覚 (一歩銀渡頼み)	覚 (代銀勘定書)	覚 (米佐伯粕など売買勘定)	覚 (米渡し願)	覚 (代金書上)	覚 (代銀差引勘定)
8月2日	7月29日	7月7日	4月分	卯月9日	1月11日	亥7月29日	戌12月日	酉12月20日	酉7月	申12月	未12月21日	午12月大晦日	午7月
中飯降庄屋治郎兵衛	中伊	井嘉右衛門	いせや	うを屋吉兵衛	紙弥(印)	名手御蔵庄屋源次郎	丸屋市之右衛門	かり宿村伊平治	「」金助	才かや十左衛門	ばんしうや文蔵(印)	文兵衛	才か屋十左衛門
妙寺村庄屋仁兵衛	源次郎	名手源次郎	魚吉	名出 妹背	堀	田中利右衛門	堀源太夫	市場村堀源太夫	堀源太夫	名手堀源治郎	堀源太夫	御村方	名手堀源十郎
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

テ-342	テ-325	テ-315	テ-345	テ-294	テ-282	テ-277	テ-209	タ-56	テ-151	テ-203	ツ-581	テ-311	テ-271
覚 (元利差引勘定)	覚 (当月収納米代の内受取)	覚 (間違えの米返送につき)	覚 (紙代受取)	覚 (宿泊代金)	おほへ (足袋ほか代金書上)	口演 (かけ銀差上につき)	(代金書き上げ断簡)	おほへ (代金指引勘定)	覚 (たび・盃茶碗ほか代金)	江戸大地震出火	(宿泊・飯料ほか勘定請取書)	おほへ (宿泊代書上)	覚 (酒肴代金)
12月10日	12月4日	11月29日	11月28日	11月26日	11月26日	11月17日	霜月12日	10月晦日	10月24日出	10月9日	10月2日	9月日	8月9日
堀源太夫	加納様納庄屋文蔵(印)	佐次兵衛	きしや藤	中伊	キシ屋藤蔵	天の屋庄兵衛	名倉木綿屋徳三郎	大三(大和屋三十郎か)	西岡兼蔵	津困屋十右衛門	吉多屋藤兵衛(印)	かむろ大坂屋平左衛門	中伊
円次郎	市場村吉五郎	堀源十郎	堀御氏	源次郎	堀御奥方	堀源次郎	御役人衆	源十郎	名手市場村堀源次郎	陶器御役所	堀源太夫	御役人衆	源次郎
状	状	状	状	状	状	状	状	状	封紙包状	状	状	状	状

勘定書・書付

テ-3 -18	チ-19 -39	チ-19 -23	チ-19 -21	チ-19 -13	タ-54	テ-351	テ-346	テ-316	チ-19 -22	テ-267	テ-340	テ-341	テ-273
〔糸取賃ほか工賃書上覚〕	〔買うべき品書上〕	賀詞	〔身体の占い図〕	覚 馬鈴入用〔装束・食料品など代金〕	〔渡し銀指引勘定書〕	覚〔代金勘定〕	亅代〔代金につき〕	覚〔宿泊代書上〕	御年暮御祝儀〔目録〕	⑧〔銀子・札送り状〕	覚〔二歩銀受取〕	覚〔代銀受取〕	覚〔足袋ほか代金受〕
						30日	17日	2日	12月	12月28日	12月20日	12月15日	12月15日
						紙半	布や	コ川丈鹿	佐野村かめや安兵衛 こまもの 屋清兵衛 長屋善助 森本八兵衛 衛 魚屋浅次郎 立花屋金兵衛	帯屋惣助	かり宿庄屋伊平治〔印〕	するかや庄兵衛	ふく町駿河屋庄兵衛
						堀御氏	堀	御役人衆	堀御氏	名倉村彦右衛門	堀源太夫	織源十郎	上
横綴	状	封紙包状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

テ-299	テ-297	テ-268	テ-267	テ-267	テ-164	テ-110	テ-108	テ-104	テ-103	テ-98	テ-4 -1	テ-3 -22	テ-3 -20
(餅数・米代銀書上覚一括) *3通	おほへ(反物ほか代金)	(銀・米など元利差引勘定書一括) *3通、頼母子講関係もあり	⑤(狂歌) *外国船渡米に関するものか	②(銀高書上断簡)	覚(こんにやく・あげ・豆腐代金)	(口数・金銭勘定覚) *2通	(年貢勘定書)	(人名書き上げ覚)	(松井・嶋村分高掛かり計算書)	(銀勘定書)	(田畑高書上覚) *袋入り7通一括、袋上書(文政十二年子七月 別止権 奉公人請状入借家請入)	(人名書上覚)	遣ひ物大騒動ニ付致ス心得覚(仁右衛門へ遣わす金子につき)
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

勘定書・書付／その他

チ-20	カー80	十一 その他	テ-353 -3	テ-353 -1	テ-350	テ-348	テ-347	テ-339	テ-332	テ-331	テ-322	テ-318	テ-306
(証文袋一括)	(袋・白紙等一括)		(石高書上覚)	(遣し米ほか書上)	(人足賃勘定書)	覚(宿泊代銀)	覚(代金書上)	覚(仕立て代ほか勘定書)	覚(料理代金)	(九月分人足賃ほか指引勘定)	覚(三月二十日限で銀子を渡す旨)	覚(毛藤分代銀指引)	(取銀指引勘定書)
*14通	*16通			*こよりでくりり通一括、裏にツ5の写し		*後欠、2通				*丁崩れ1枚			*2通
							重「」				赤尾村清兵衛(印)		
							源次郎	堀源次郎			なて源右衛門		
袋	状・袋等		状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状

十二 板本・写本・摺り物

資料番号	標	題	成立・発行年	編著者・作成・画者	版元・出版社	形態
ク-1 ~223	(曆)	本曆・略本曆66冊(明治5~昭和22年)、その他71冊(明治17~昭和23年) *伊勢曆86冊(宝曆12~明治4年)、	(宝曆12~明治23年)		江戸小林新兵衛梓行・大坂吉文字屋市兵衛弘所	新本・型等
コ-12	唐詩選	新刻	安永4年正月		江戸小林新兵衛梓行・大坂吉文字屋市兵衛弘所	摺板
ト-3	作文志毅		安永8年	東都 山本信有者	東都書肆 下谷池之端仲町 須原屋伊八	摺小板
コ-17	混雑倭草画	上・中・下	安永10年(明治版)	湖龍齋画	東京市 吉川半七	摺板
チ-2 -7	観世音和讃		天明4年正月	書林 粉川大坂屋長三郎板	京都河南四郎兵衛・大坂敦賀屋久兵衛・江戸須原屋市兵衛	摺小板
コ-11	詩学小成	一・四	明和6年3月	千葉茂右衛門著	京都河南四郎兵衛・大坂敦賀屋久兵衛・江戸須原屋市兵衛	摺板
テ-3 -12	(封紙)					封紙
テ-3 -5	(封紙)	*上書「預り手形 寺領星川村宇兵衛」、チ15!6の封紙か		(寺領星川村宇兵衛)		封紙
ツ-586	(封紙・封筒一括)					封紙・封筒
ツ-192	(封紙)	*封紙「上 馬宿屋仙二郎より一		(馬宿屋仙二郎)		封紙
チ-22	(封筒・領収書・帳面崩れなど一括)					封紙
チ-21	(封紙一括)					封紙

コ-2	コ-4	コ-8	コ-9	イ-123	コ-6	コ-19	コ-7	ト-8	コ-16	コ-15	コ-3	ト-2	コ-10
詞のやちまた 上・下 *2冊袋あり、袋に「若山五粒堂」の刷印あり	新增字林玉篇大全 *題箋一部欠	天保三十六家絶句 上 *題箋一部欠	遠思楼詩鈔 乾	近江源氏 三ツ目 花壳段 *一文政十四七月一の書込あり	方正学文粹 一・二・三冊、一は巻一・二を合冊、二は巻三巻、四以下欠	心機一払 上・中・下 *3冊	甌北詩選 上・下 *2冊	國史略 二・三・四・五 *4冊 再版	一蝶画譜 上・中・下 *3冊	光琳漫画 上・下 *2冊	糸のしらべ	和漢年契	増字百倍早引節用集 *青題箋
慶応2年	天保14年	天保9年	天保8年		文政12年新刊	文化11年(明治版)	文政10年	文政8年、明治10年	明和7年(明治版)	文化14年(明治版)	享和2年序	寛政9年新鶴、文化2年補正	天明6年
本居春庭	鎌田植 撰序	三上恒(九如)編	広瀬淡窓	新版 大坂船町天満屋玉水源次郎	村瀬誨輔編		趙翼雲松著 碓井歆青堂選	岩垣松苗編	英一蝶	尾形光琳	稲葉鳩輔ほか編	摂陽蘆屋山人	
大阪府下心齋橋筋一丁目松村九兵衛	摂府書林 秋田屋市兵衛ほか	種玉堂	郡玉堂・青藜館		群玉堂	東京市 吉川半七	前川六左衛門・和泉屋庄次郎・岡村庄助	京都府平民 藤井孫兵衛	東京市 吉川半七	東京市 吉川半七		京都額田正三郎 江戸西村源六 同西村宗七 大坂葛城長兵衛	大坂心齋橋村上伊兵衛ほか
縦小板	横小板	縦板	縦板	縦板	縦板	縦板	縦板	縦小板	縦板	縦板	横小板	縦板	縦板

イ-125	ト-16	ト-15	ト-22	ト-10	ト-17	ト-21	ト-19	ト-18	ト-23	ト-14	ト-11	ト-13	ト-25
真行千字文 全	小学読本 近体文二 改正日向勝浦鞆雄校閲	小学読本 日用文 下 紀伊松山亮閣	紀伊国地誌略 翻刻 全	初学入門 *2冊、和歌山県学務課蔵版	第三・五・六・七・八 習字本 *5冊、和歌山県学務課蔵版	地理初歩 全 *袋あり	官版 史略 一・三・四 *3冊、採り合わせ、一は袋あり	師範学校編集 日本略史 上・下 *2冊、上は袋あり	師範学校編輯 日本地誌略 一・二・三 *3冊、採り合わせ(明治8年3月)	小学読本 首 *例言は明治7年記す(明治7年)	小学読本 一・二 *2冊、一は袋あり	小学読本 四 *例言は明治6年記す(明治6年)	英算独学 一序は明治4年記す(明治4年)
明治13年11月	明治13年7月	明治13年6月	明治12年2月	明治10年10月	明治8年	明治8年	明治8年	明治8年	明治8年	(明治7年)	明治7年4月	(明治6年)	(明治4年)
部井芳松筆記	編集権出版人 和歌山県土族 三島豊三郎	編集権出版人 和歌山県土族 三島豊三郎	千田一十郎・烏山啓編	和歌山県 烏山啓編集	師範学校編纂 文部省刊行			木村正辞編 那珂通高訂			文部省編纂 和歌山県翻刻	那珂通高 稲垣千頼撰	東京 橋爪貫一校止
田中太右衛門	和歌山県平民野田大二郎	和歌山県平民野田大二郎	翻刻人 和歌山県土族三浦岡三郎 同平民井文助	書林 製本所 野田大二郎	翻刻書籍製本所 大坂心齋 橋坂田伝七 書肆和歌山県野田大二郎	大坂書林 華井卯助	大坂書林 秋田屋太右衛門、大坂心齋橋 田中太右衛門	西嘉助 飾磨県御用書林小川金助 製本発兌 京都古門前 中	大坂書林 秋田屋太右衛門		和歌山県学校用製本所 本町三丁目平井文助		東京書肆 青山堂
塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板	塀板

板本・写本・摺り物

イ-120	イ-119	イ-93	コ-18	コ-14	コ-13	ト-28	ト-24	イ-117	コ-5	ト-12	ト-27	ト-9	ト-26
新板絵つくし 全	福神稚遊興 上	西国道中記	浮世画譜 初編・二編・三編	武勇魁図会 一編・二編	俳諧白画賛 上・下	国民修身書 尋常小学校生徒用 巻四	筆算題叢答式 十一上・十三	奇言余誌 第九編	明治新撰扶桑詩史 全	師範学校編輯 小学読本 二	修身小学読本	冠註挿画 唐宋八大家文読本字類大全 上・下	修身児訓 二・三・四・五
*袋あり、裏付・刊記なし		*宿原の案内書、7.8×16.7cm	*3冊	*2冊	*2冊					*師範学校編集、文部省刊行		*2冊	*4冊、採り合わせ
			(明治版)	(明治版)	(明治版)	明治24年11月	明治10年出版、明治20年訂正御届	明治17年9月27日	明治16年6月	明治15年4月	明治14年6月	明治14年3月	明治13年版権免許
		溪斎英泉画	溪斎英泉画	松尾塊亭	安積五郎 田中登作	編集出版人 静岡県士族 山本正至 同士族田沢昌永	真木幹之助編	稲毛田佐蔵・麻生義一郎編	田中義廉編輯 那珂通高訂正	撰述人 福井県士族 池田	東京府平民 六郷弘純編	東京 光風社長亀谷行	
		東京市 吉川半七	東京市 吉川半七	書林 和歌山本町 平井文助	東京 普及舎	同平民 広瀬市蔵	団々社	山版人 東京府 山中市兵衛	翻刻人 和歌山県平民 平井文助	岐阜県平民山岸弥平	山中喜太郎、発兌人山中市兵衛・山中孝之助	浪華文会主 日柳政惣	
堅板	堅板	横小板	堅板	堅板	堅板	堅板	堅板	堅小活	堅板	堅板	堅板	堅小板	堅板

ト-6	イ-118	ス-54	イ-127	ト-5	イ-132	イ-131	ト-20	ト-1	コ-1	コ-20	カ-79	イ-124	イ-121
神仏年代記 下 *内題「神仏参詣重宝記下」	艶書大全	百姓一奇談 *文政六年一揆につき、 文政六未中秋 池林亭の識語あり	馬療秘伝書	慶安太平記 一・二・三・四 *3冊、三・四は合冊	(五龍円効能書くずれ) *2枚	(板木袋・駄) *新編合書童子訓全、 新板武者権	地理初歩 全	政記 八 *政記12・13巻	増補系のしらべ *題箋欠、後欠	頼光山入囃 全 *末尾に絵師寺澤昌次	(平家物語関係の絵本) *前欠	(府県尽し) *表紙・奥付欠	実語教
安政5年	嘉永4年正月5日	文政6年中秋	天明7年卯月下旬写	(宝暦10年霜月吉日 求)			文部省編纂 和歌山県翻刻						
(堀源太夫写)			市川兵庫源止長				和歌山本町二丁目 平井文助						天神橋筋伏見両替町 大坂 書林 いと屋市兵衛
堅小写	横小写	堅写	堅写	堅写	堅板		堅板	堅板	横小板	堅小板	堅小板	堅板	堅板

板本・写本・摺り物

イ-130	イ-92	イ-122	ニ-26	ニ-23	ニ-25	ニ-24	ト-7	ト-4	ス-53	イ-129	イ-128	イ-126	イ-115
歳代記	(西国三十三番札所巡礼絵図)	木国潤柯一覽表	大日本帝國憲法・憲法発布勅語 *一部多色刷り、袋あり、148 3×803・294×150cm	西南賊軍隊長人名記 上之部・下之部 *2枚組	古今英雄三幅対 *大判、一部多色刷り	紀在開募人名録(番附)	豊臣御武鑑 *版志「大関記」	小栗実記 *巻一・二の写本	(元禄五年の高野聖断に関する写本)	小川流算法一覽記 甲之内 *子・丑・寅・卯巻	早雲寺殿廿一ヶ条	糸のしらべ はうた	呪詛調法記
	*木版、59.2×67.8cm	明治26年4月	明治22年7月	明治10年6月	明治10年9月	明治6年6月							明治5年
		編集者若山奥山為治郎 高知 出村達太郎 新宮榎木快造	筆者兼発行人 土肥直康	岡市松 編集出版人 大坂今橋 西	編集出版人 大阪南久宝寺 町 田中安治郎					堀親之輔	堀氏		堀正珍
	粉川南町大坂屋長三郎	和歌山市拾一番丁耕文社印	東京麹町区 発蒙社			四ノ橋栄井伝兵衛							
鋪	鋪	鋪	鋪	鋪	鋪	鋪	写	写	写	写	写	写	横半写

ニ-8	ニ-7	ニ-6	ニ-5	ニ-4	ニ-3	ニ-2	ニ-1
塩屋判官館之図	日光山阿社真景	今古誠画 浮世西類考之内 慶長五年之頃	女官養蠶之図	東京浅草橋之風景	石山本願寺合戦	東西英雄競	横浜細見図其一
*3枚統	*3枚統	*2枚統	*3枚統	*3枚統	*3枚統	*3枚統	*5枚統きの内3枚 (慶応3年)
明治18年	明治18年5月	明治18年3月	明治17年5月	明治17年3月	明治16年9月	明治10年御届	
楊州周延		小林清親	広重	梅寿国利	一陽斎豊宣	久編集人 長谷川町 竹内栄	橋本貞秀
出版人 小林鉄次郎	日光鉢石町 鬼平金四郎	出版人 松木平吉	芝三島町 山本与市	えつ 駒込東片町 出版人 在田	郎 日本橋通 出版人 小林鉄次	新乗物町多智甚五郎	芝神明前丸屋甚八
大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判

十二 錦絵

ヌ-46	ヌ-44	ヌ-45	ヌ-43	ニ-22
動物第四 多節類一覽	動物第三 爬虫魚類一覽	鳥類一覽	動物第一 獸類一覽	大和めぐり順案内の図
				*一部多色刷り、15.7*43.5cm
明治10年	明治9年	明治8年	明治6年	
田中芳男選 服部雪齋画 柳原芳野校	田中芳男選 服部雪齋画 久保弘道校	田中芳男選 加藤竹齋画 久保弘道校	田中芳男選 久保弘道校 服部雪齋画	
文部省	文部省	文部省	文部省	ツ大竹堂
掛け図	掛け図	掛け図	掛け図	- 舖

二-21	二-20	二-19	二-18	二-17	二-16	二-15	二-14	二-13	二-12	二-11	二-10	二-9
(美人画)	角町 中正屋浜菊	江戸町二丁目 和泉屋鶴の雄	艶姿十六女仙	十月恵比子講 *新古原年中行事のうち	東都名所 浅草金龍山年ノ市	(品川男女蔵の奴二平)	富士御狩之図 *3枚続	頼光雲気を察して足柄山に公時を得る *3枚続	九連城勇戦図 *3枚続	小牧山ニ康政秀吉ヲ追フ *3枚続	二品親王女三宮 *3枚続	憲法発布祝典之賑ひ *3枚続
			一勇斎国芳	深斎英泉	広重	写楽	芳虎	一英斎芳艶	峰栄	楊州周延	楊州周延	三世歌川国貞
			有田屋清右衛門	上州屋金蔵	佐野喜	(鳶屋)	山甚板	辻岡屋	武右衛門 東京市日本橋区室町 秋山	浅草瓦町 森本順三郎	神田区力子丁 長谷川常二郎	日本橋区馬喰町 印刷兼発行者 小森宗次郎
大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判	大判

十四 引き札

資料番号	標 題	商 店 名	発 行 年	版元・出版社
ヌ-1	万荒物足袋たばこ 諸新聞 砂糖類大安売 *明治22年略曆つき	那賀郡名手市場米万事平井店	明治21年	新中通 建山弥吉
ヌ 2	諸新聞雜誌并ニ書籍ガラス勉強販売	那賀郡名手駅平井万次郎 伊都郡橋本駅平井支店		
ヌ-3	諸新聞雜誌書籍類万荒物並ニガラス板販売	那賀郡名手駅平井万次郎		
ヌ-4	万荒物木綿和洋服物足袋烟艸釣道具并ニ諸新聞安價販売	名手市場平井万次郎		
ヌ-5	万荒物ガラス板并ニ諸新聞雜誌類内外国諸書籍種々其他諸品大勉強販売	紀州那賀郡名手駅平井万次郎		
ヌ-6	銘酒相生・銘酢梅の露 酢醸造所并ニ酒類販売処 *明治22年略曆つき	紀州名手池田孫四郎	明治22年	中ノ店中ノ町 信時春
ヌ-7	銘酢梅の露・銘酒相生 酢醸所並ニ酒類販売所 *明治25年略曆つき	紀州名手池田孫四郎	明治24年	新中通 建山弥吉
ヌ-8	酢醸所并ニ酒類 *明治26年略曆つき	紀州名手駅池田孫四郎	明治25年	中ノ店中ノ町 信時春
ヌ-9	銘酒相生 銘酢梅の露 諸方名家売葉并ニ葉種安價販売	紀州名手池田孫四郎		
ヌ-10	万荒物紡績洋総真糸木綿 *明治23年略曆つき	那賀郡名手市場谷又商店	明治22年	茶屋町 建山弥吉
ヌ-11	万荒物木綿洋糸紡績縞糸其他諸品	紀州名手市場谷又商店		
ヌ-12	名手駅沢田下駄店 *明治26年略曆つき	名手駅沢田下駄店	明治25年	元寺町 田中善蔵

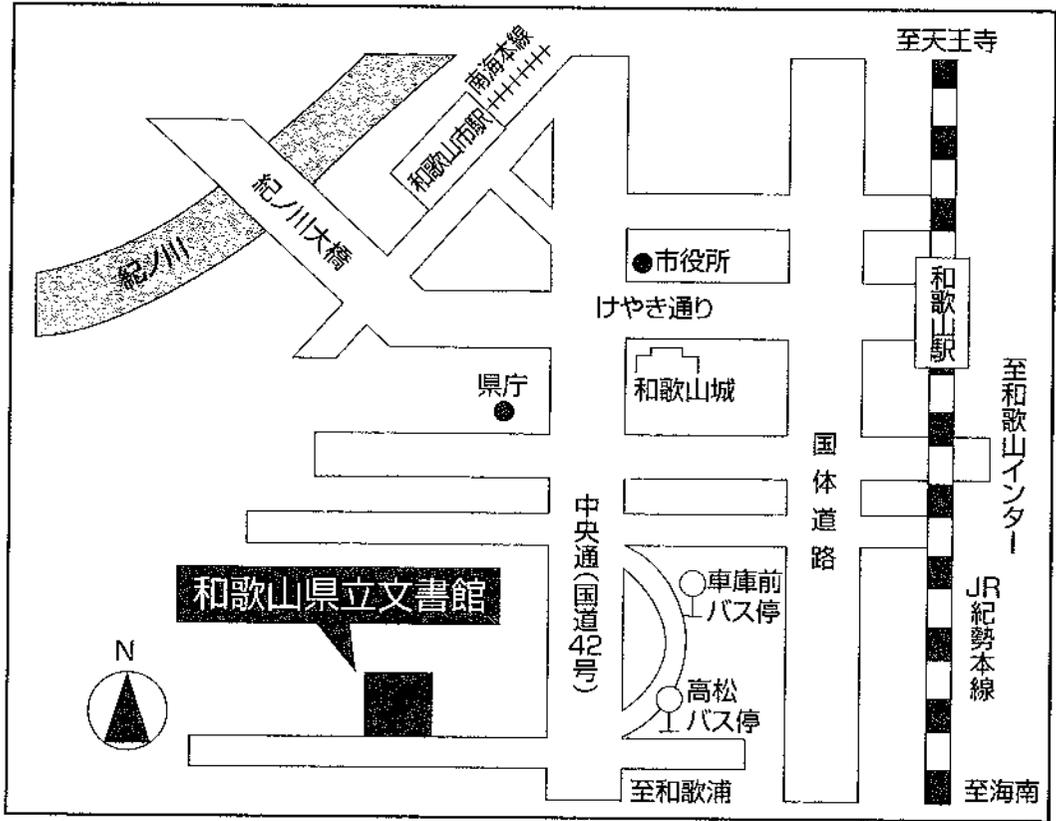
引き札

ヌ-26	酒類石油種油湯淺醬油高島塩粉用酢	名手市場平井新三郎		
ヌ-25	種油製造米穀并ニ塩石炭油販売	名手市場平井政之助		
ヌ-24	諸品販売所	名手近甚事井岡政太郎		
ヌ-23	荒物小問物砂糖木綿下駄種油石炭油塩鍋釜ランプ諸紙其他種々安 價売捌所 *明治30年略歴つき	名手市場松山徳兵衛	明治29年	大阪市東区安土町 原捨松
ヌ-22	諸國煙草製造所 卸小売 *明治28年略歴つき	名手市場林原由太郎	明治27年	中ノ店中ノ丁信時春
ヌ-21	荒物商	那賀郡名手市場雜賀屋商店		
ヌ-20	万荒物大勉強大安売	名手市場兵五郎事雜賀屋商店		
ヌ-19	現金正札広告 一呉服太物帯地のい 一御嫁入小袖品々 一西洋 反物るい おろし小うり *2枚	紀州名手札場藤田呉服店		
ヌ-18	呉服太物洋反物おろし小うり 正札附直引なし	紀州名手駅ふたば事藤田商店		
ヌ-17	御定宿 御料理御好次第仕候	名手市場岩辰コト尾谷辰造		するが町今田製
ヌ-16	御定宿 御料理御好次第仕候	名手市場岩辰コト尾谷辰造		するが町今田製
ヌ-15	酢醬油醸造并ニ酒類塩卸小売 *明治27年略歴つき、朱印のぶ時製	那賀郡名手駅久保屋事藤田商店	明治28年吉辰	
ヌ-14	酢醬油醸造 塩おろし小売并ニ酒類小うり *明治27年略歴つき、朱印のぶ時製	那賀郡名手市場久保屋事藤田商店	明治26年8月30日	大阪市東区安土町 古島竹次郎
ヌ-13	東京風流方はき物るい	名手市場沢田下駄店		

ヌ-40	ヌ-39	ヌ-38	ヌ-37	ヌ-36	ヌ-35	ヌ-34	ヌ-33	ヌ-32	ヌ-31	ヌ-30	ヌ-29	ヌ-28	ヌ-27
ごふくそめもの悉皆廻	御定宿	荷物運送所 并ニ商人衆御宿 川上那賀伊都五条ニ至ル	呉服商	呉服太物并ニ帯地友せん色々	呉服太物并ニ帯地友染色々	呉服商	呉服商帯地品々	呉服帯地類	呉服太物 并ニに帯地品々	呉服商	御定宿	御菓子製造所 砂糖類并金米糖饅頭品々せんべい	書籍類及筆墨販売所
本種三郎	和歌山市卜半町住友	和歌山市中ノ店中ノ丁五番地 池田和一郎	粉川東町樋口芳助店	粉川南町樋口武平	粉川中町ひの万事樋口武兵衛	粉川中町樋口武兵衛	粉川新町片山久之助	粉川新町片山久之助	粉川新町片山久之助	粉川新町片山久之助	*3枚 紀伊国名手市場東入口南側黒 木や源助	名手市場堂本安三郎	那賀郡名手市場堀富三郎
明治27年													
徳次郎		和歌山 建山製									新中通建山製		
大阪市南区饗谷仲ノ町 中井													

引き札

ヌー42	ヌー41
呉服染物悉皆所	呉服染物
西京四糸通烏丸西へ入山本種 三郎	京都市油小路通四糸上ル山本種 三郎



〈利用案内〉

- ・古文書の一般利用は、現本保護のため、写真版またはマイクロフィルムとします。
- ・一般利用に供している資料は、写真版等から複写できます(有料)。
- ・どうしても原本の閲覧が必要な場合には特別閲覧制度があります。
- ・事前に、文書館所定の用紙に申請の目的など必要事項を記入し、捺印のうえ申請してください。
- ・利用の際に資料破損のおそれがある場合など特別閲覧できないことがあります。

所在地

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目三八

きのくに志学館内 (TEL 073-436-9540)

開館時間

火曜日～金曜日 午後10時～午後6時
土・日曜日・祝日及び振替休日 午後10時～午後5時

休館日

月曜日(祝日又は振替休日と重なるときは、その後の平日)
年末年始 12月29日～1月3日

館内整理日

1月 4日(月曜日の時は5日)

2月～12月 第2木曜日(祝日と重なるときはその翌日)
特別整理期間 10日間(年1回)

交通

JR和歌山駅・南海電鉄和歌山市駅よりバスで20分
和歌山バス高松バス停下車徒歩3分

収蔵史料目録九 紀の川市名手市場 堀家文書目録

平成二十三年三月一二日発行

編集 和歌山県立文書館

発行 和歌山県

印刷 ㈱土屋総合印刷

